

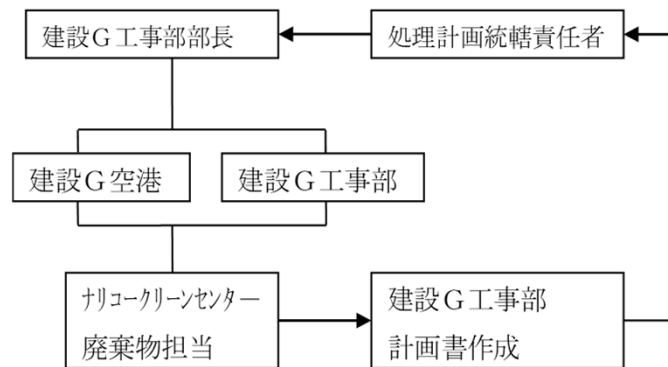
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月25日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒286-0117	
住 所 成田市三里塚光ケ丘1番地1331	
氏 名 代表取締役 加瀬敏雄	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0476-35-5321	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ナリコー
事業場の所在地	千葉県成田市三里塚光ケ丘1番地1331
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	44億
③ 従業員数	125
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 → 廃棄物 → 焼却 自社処理 → 委託処理 最終処分 → 委託処理 中間処理：焼却 再生利用業者で処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	1222.3 t	74.9 t
	(これまでに実施した取組) 現場での分別		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	1000 t	70 t
	(今後実施する予定の取組) 現場での分別		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場での分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 一部、自社の焼却施設で処理をしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年の通り		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	全処理委託量	1222.3 t	74.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	42.3 t
	再生利用業者への処理委託量	13.4 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	優良認定処理業者へ一部委託をしている。 再生利用ができる業者へも一部委託をしている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	全処理委託量	1000 t	70 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	40 t
	再生利用業者への処理委託量	13 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者と再生利用ができる処理業者への委託を増やす。		
※事務処理欄			

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合 廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
		排 出 量	1499.5 t	7877.3 t	178.3 t	70.6 t	84.9 t	55.3 t	26 t	63.9 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
		排 出 量	1400 t	7500 t	150 t	70 t	80 t	55 t	25 t	60 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	1.3 t	t	
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
	全処理委託量	1499.5 t	7877.3 t	178.3 t	70.6 t	84.9 t	55.3 t	24.7 t	63.9 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	428 t	t	t	24.4 t	64.6 t	36.2 t	1.5 t	42 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	72.4 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートくず	汚泥	管理型建設混合	管理型混合廃棄物	金属くず	紙くず	石膏ボード
	全処理委託量	1400 t	7500 t	150 t	70 t	80 t	55 t	25 t	60 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	420 t	t	t	24 t	64 t	35 t	1.5 t	40 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	70 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

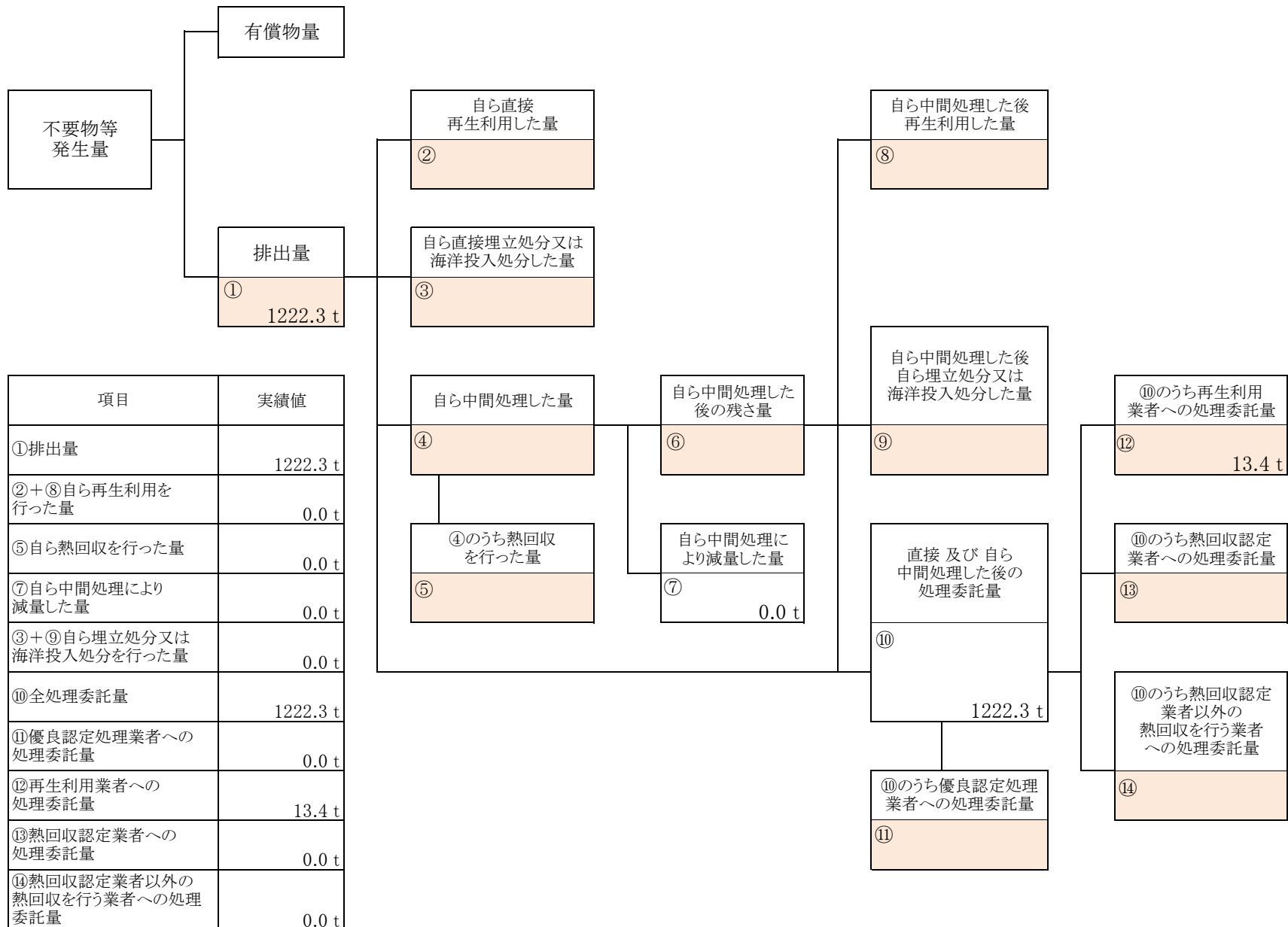
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等				
		排 出 量	2.5 t	295.8 t	3269 t	10.2 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等				
排 出 量		2 t	290 t	3200 t	10 t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等				
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等				
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等				
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	1.9 t	1.3 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等					
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	2 t	1 t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等				
	全処理委託量	2.5 t	293.9 t	3267.7 t	10.2 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.5 t	238.7 t	22.7 t	10.2 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	590.4 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃プラスチック	木くず	廃石綿等				
	全処理委託量	2 t	288 t	3199 t	10 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2 t	250 t	20 t	10 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	500 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月25日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 〒286-0117			
住 所 千葉県成田市三里塚光ヶ丘1番地1331			
氏 名 代表取締役 加瀬敏雄			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0476-35-5321			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社ナリコー		
事業場の所在地	千葉県成田市三里塚光ヶ丘1番地1331		
事業の種類	D06－総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	14777.7 t	全 処 理 委 託 量	14766.2 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1004.7 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		再生利用業者への 処 理 委 託 量	13666.2 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	11.5 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
※事務処理欄			

計画の実施状況

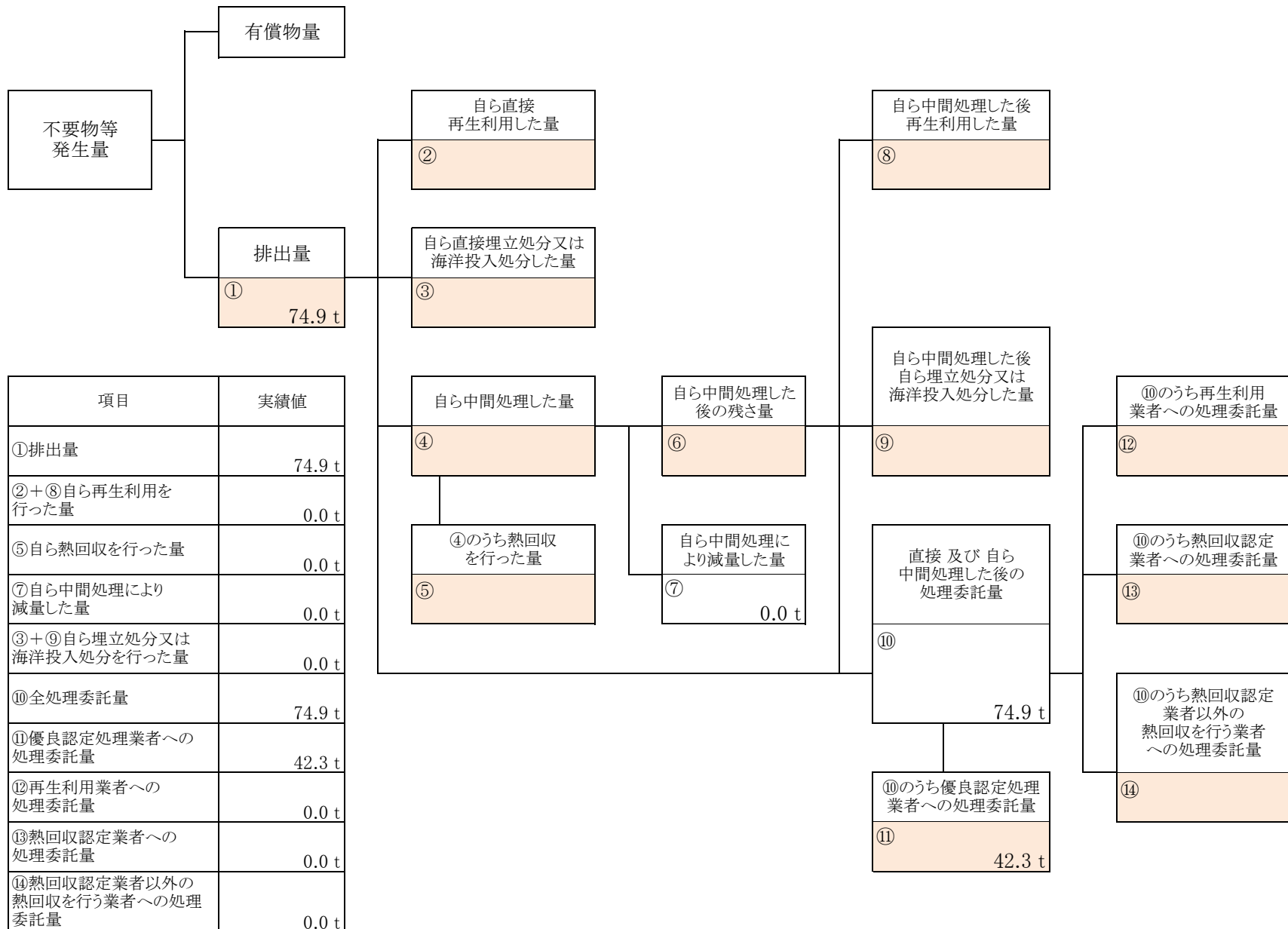
(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリート破片)



(第2面)

計画の実施状況

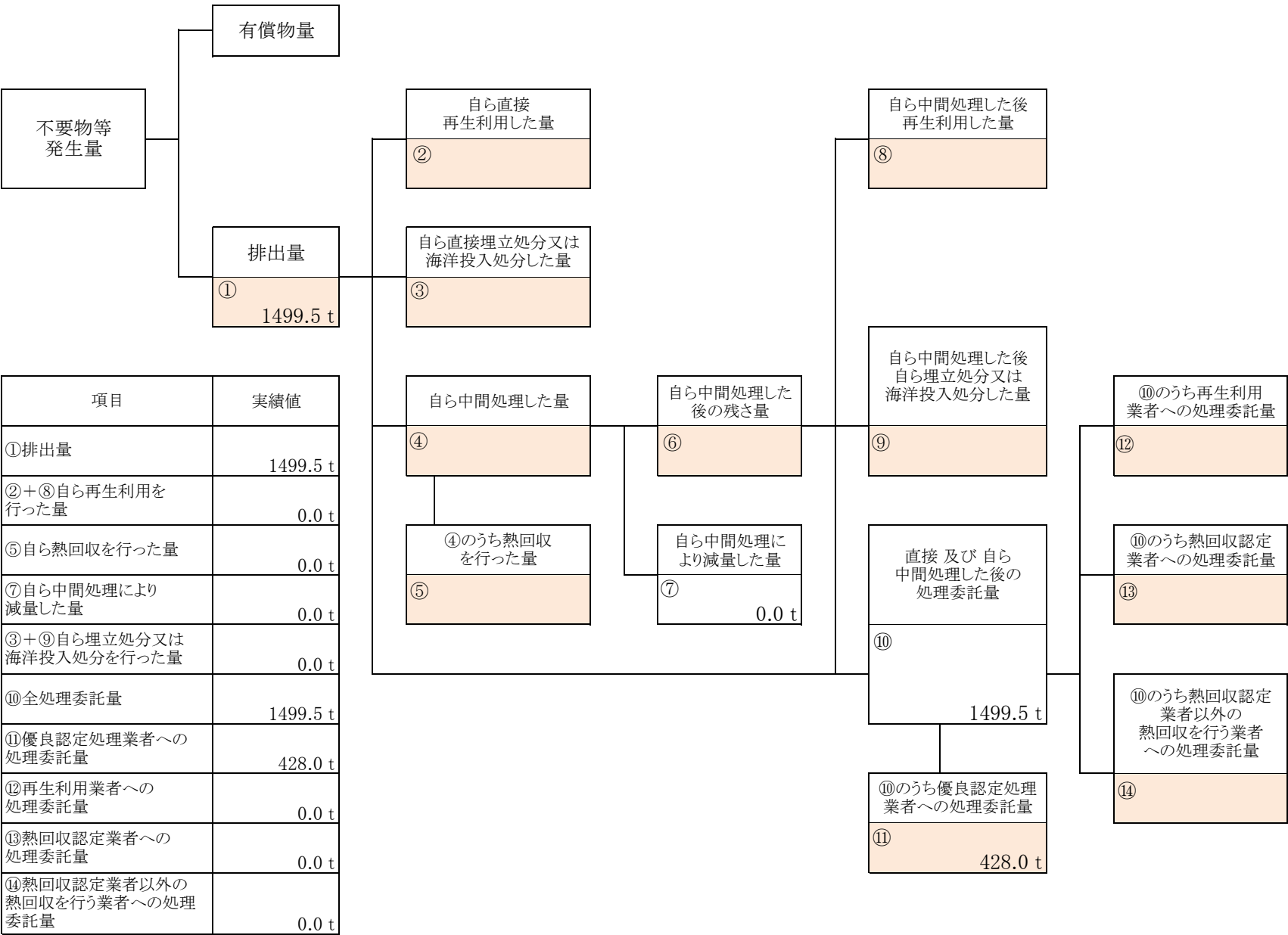
(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



(第2面)

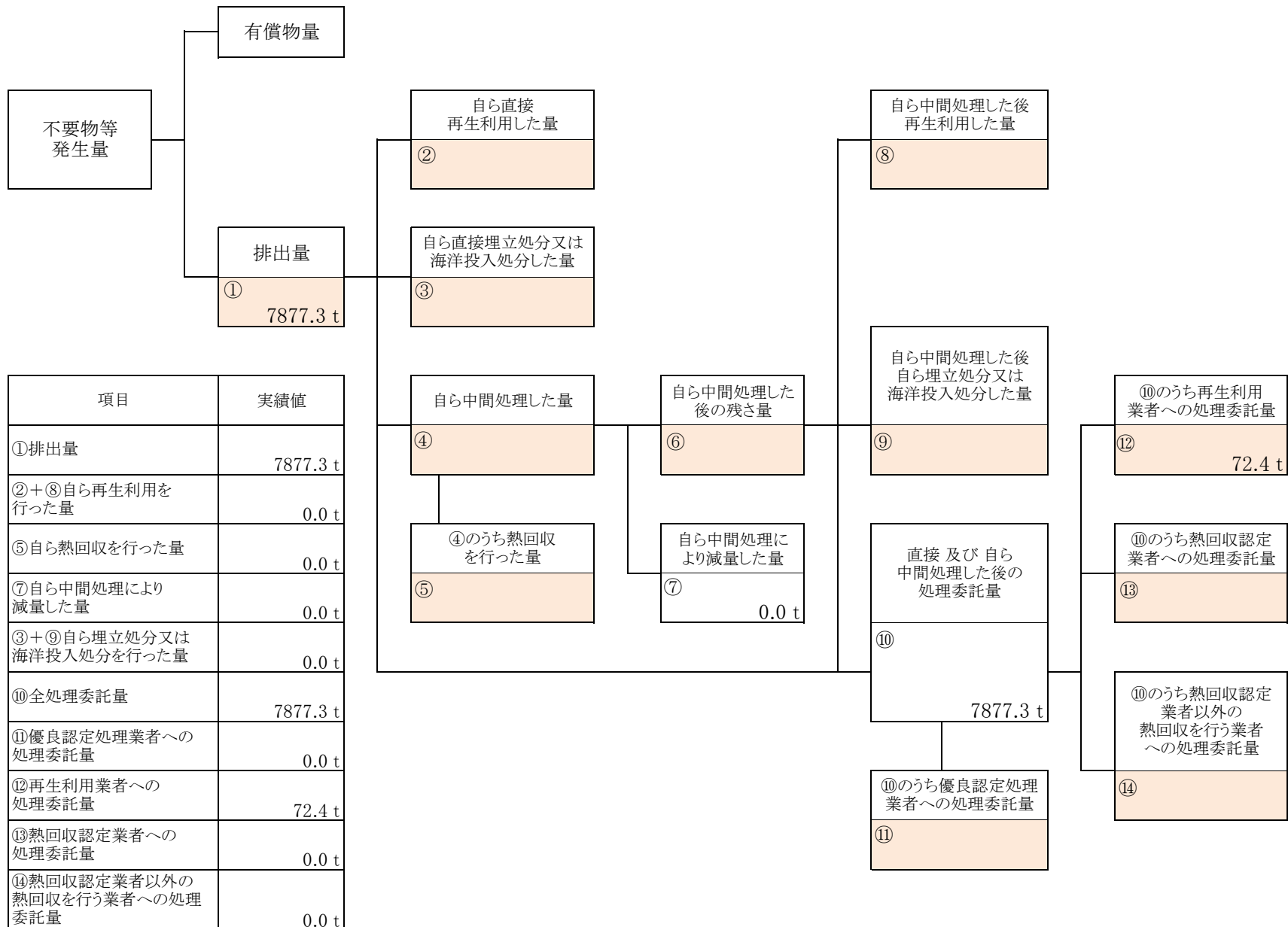
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **コンクリートくず**)

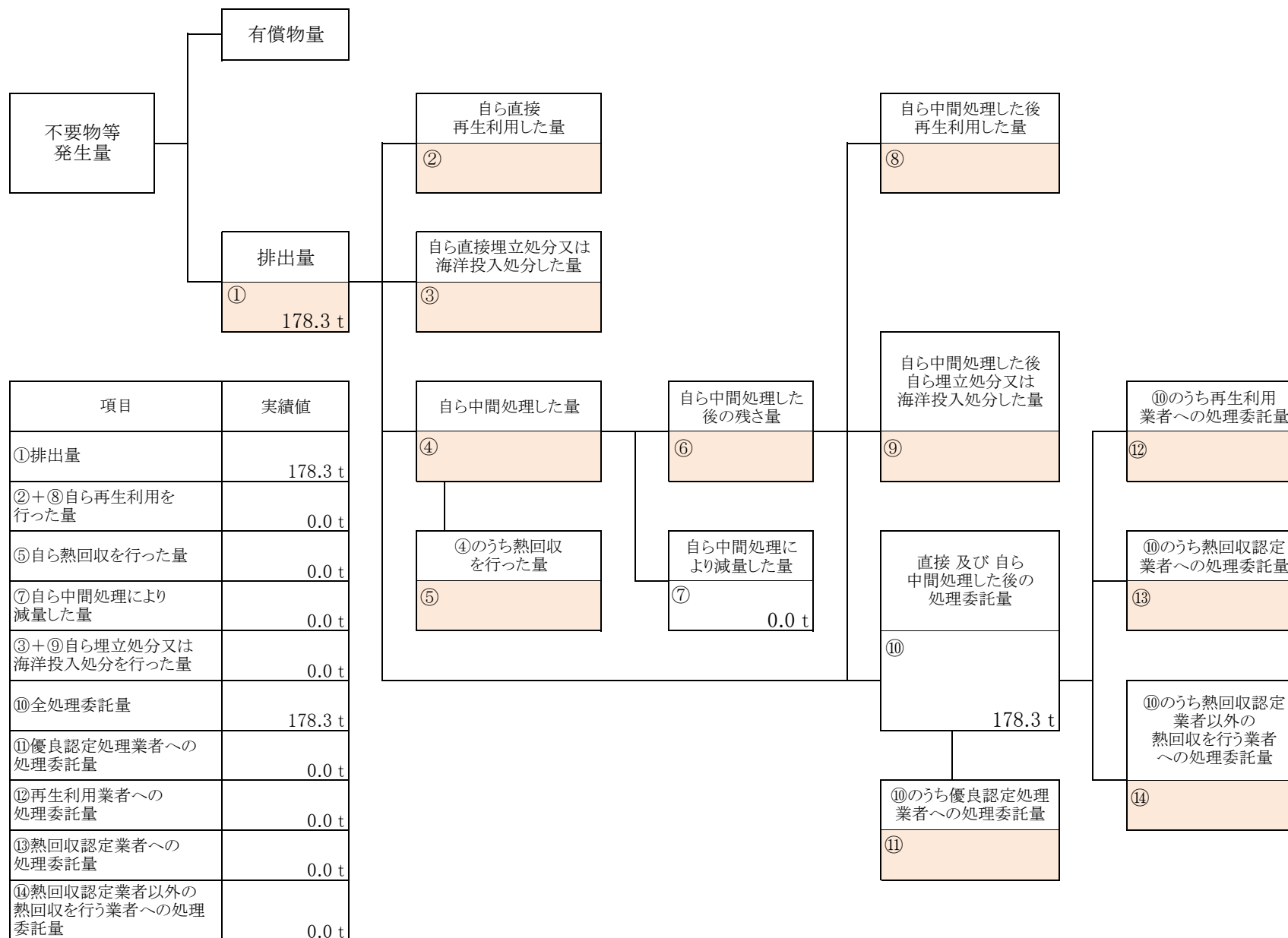


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥)

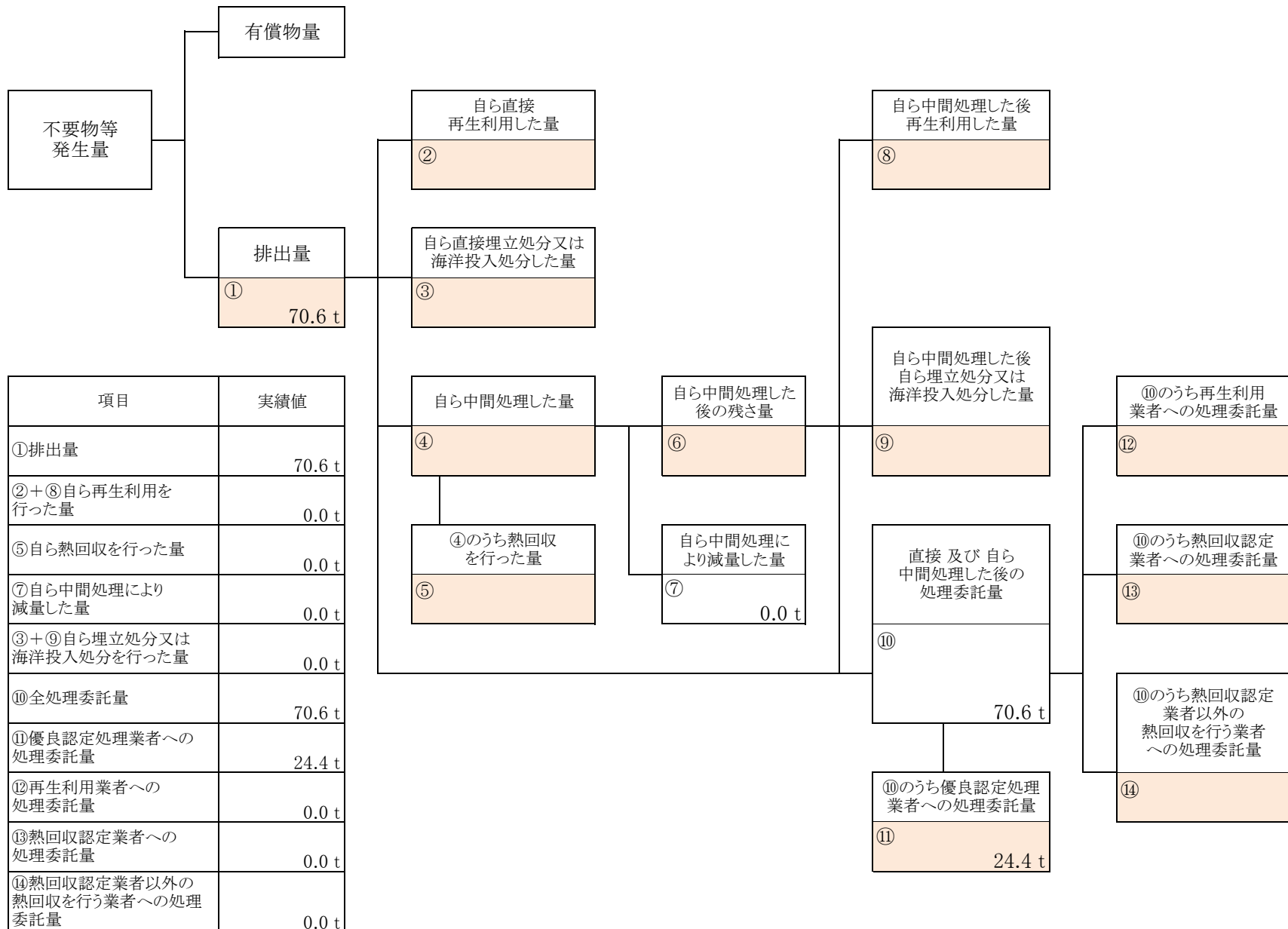


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

管理型建設混合廃棄物)

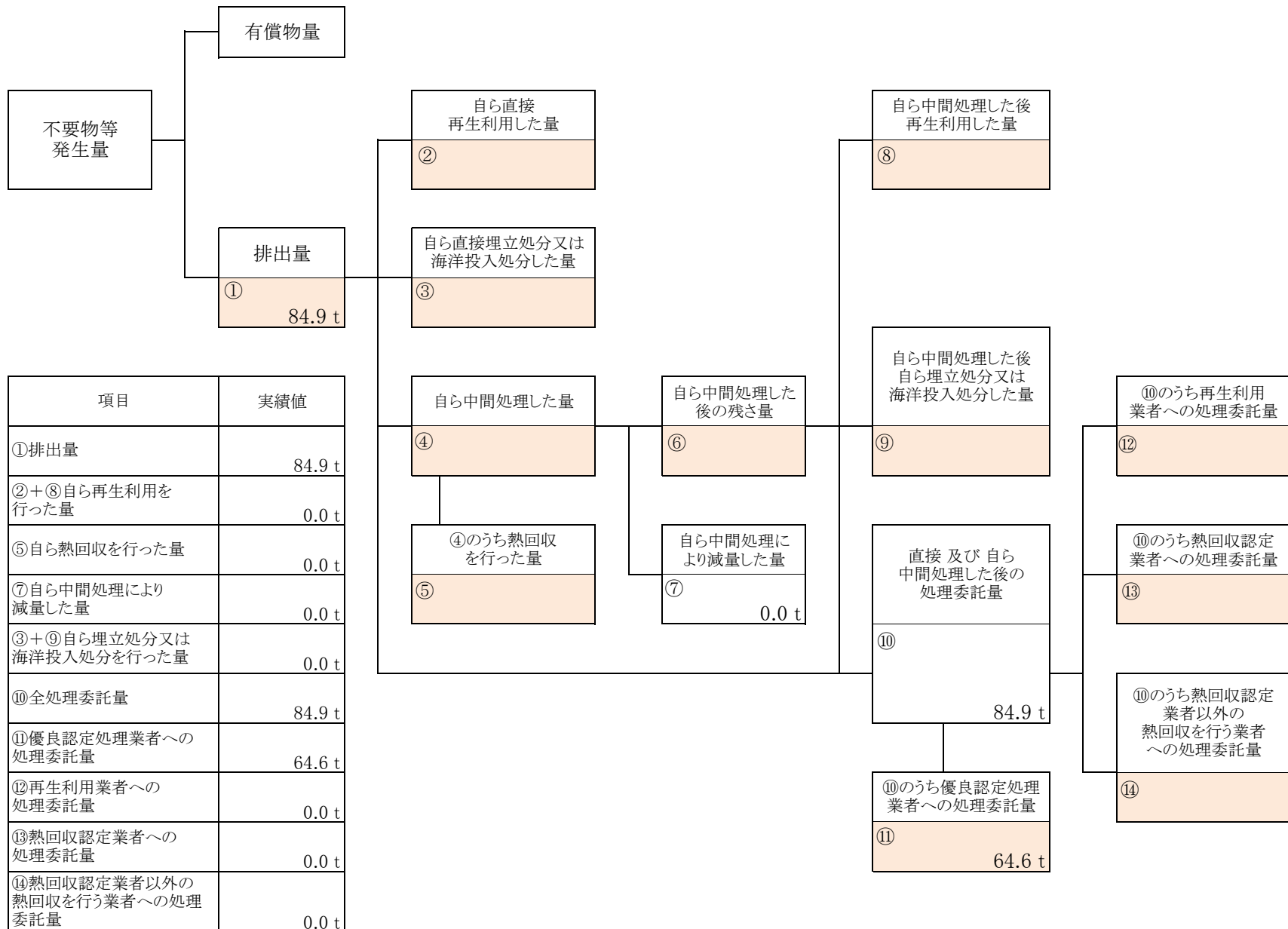


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

管理型混合廃棄物)



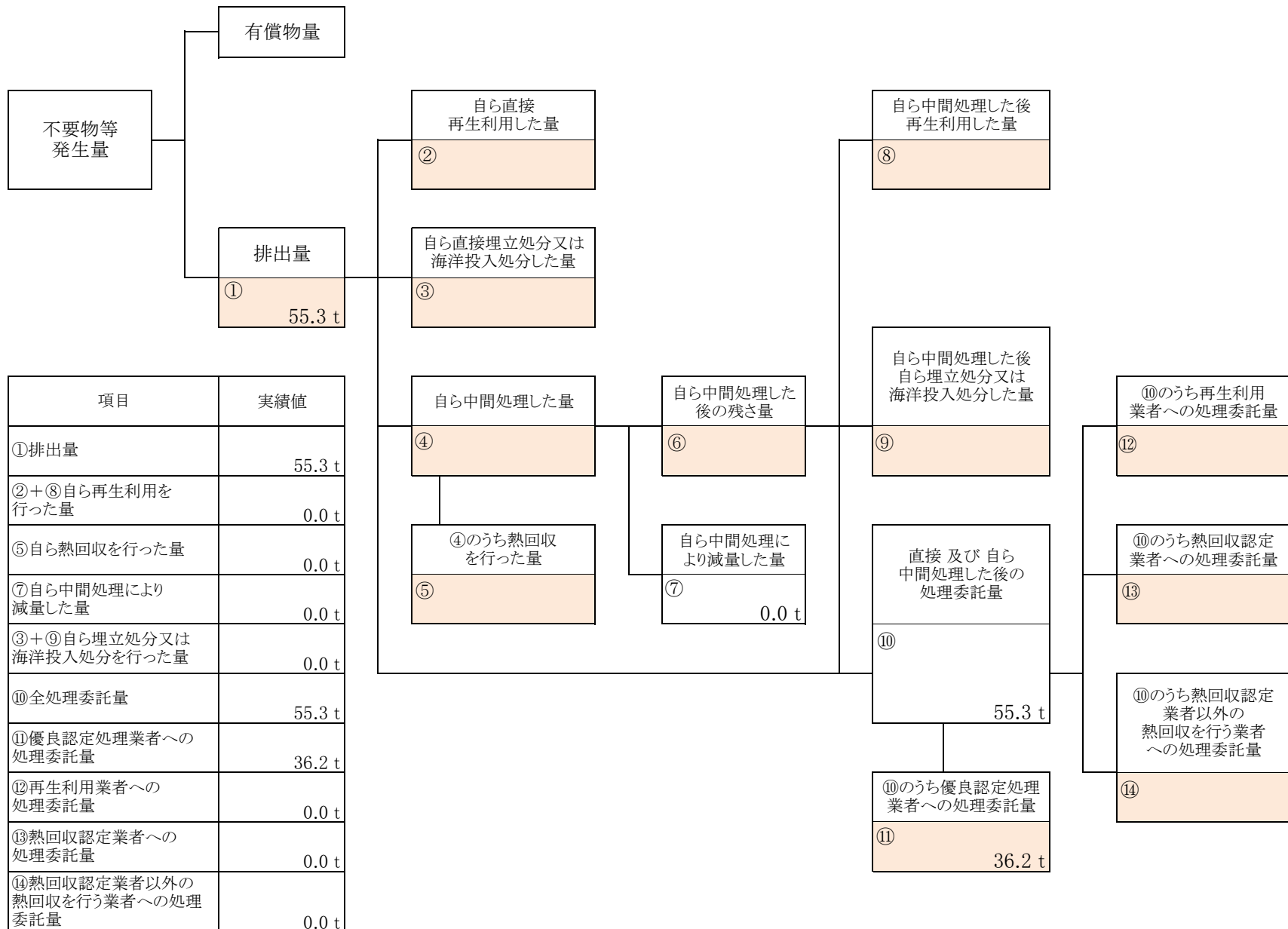
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

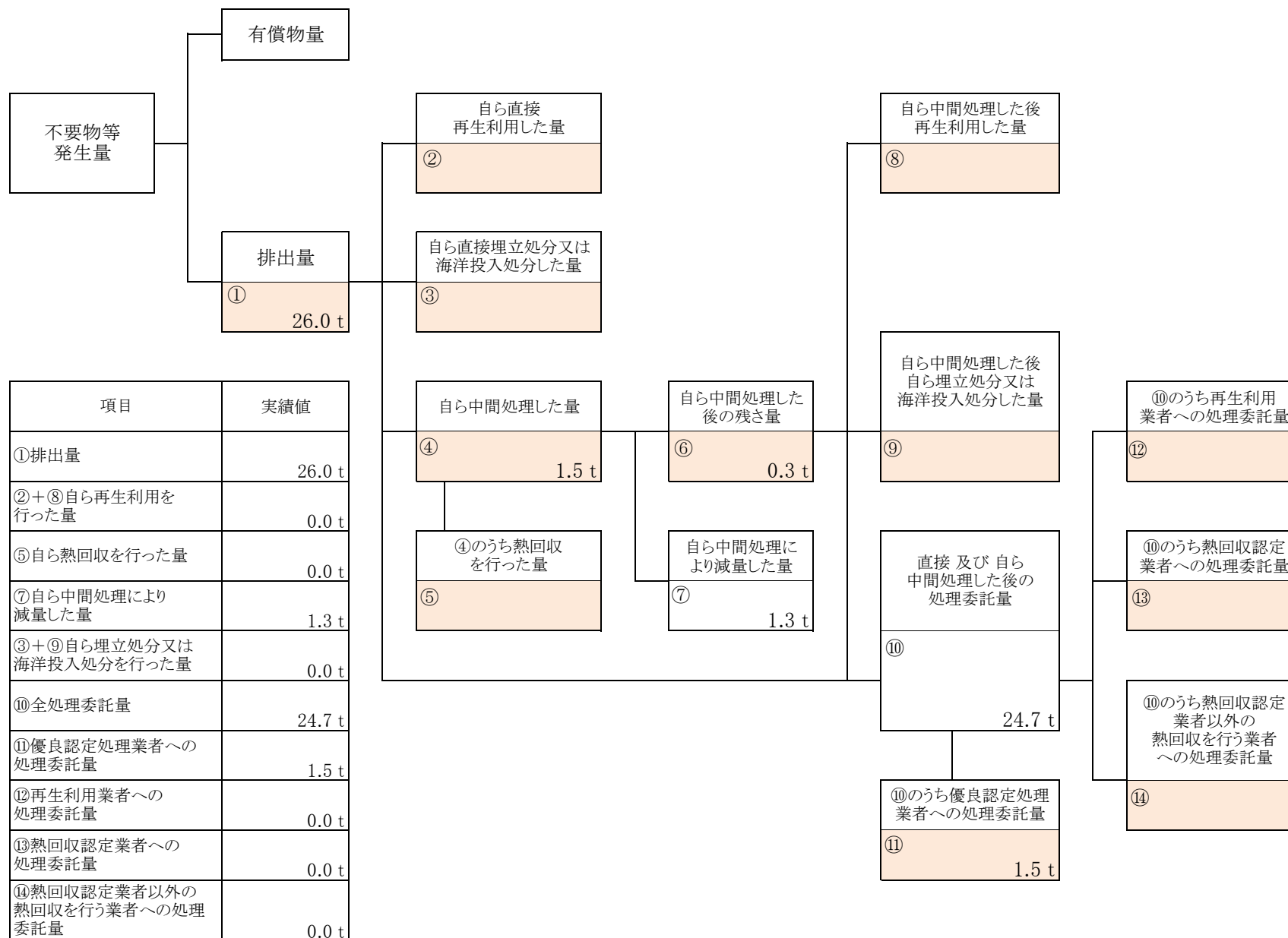
)



(第2面)

計画の実施状況

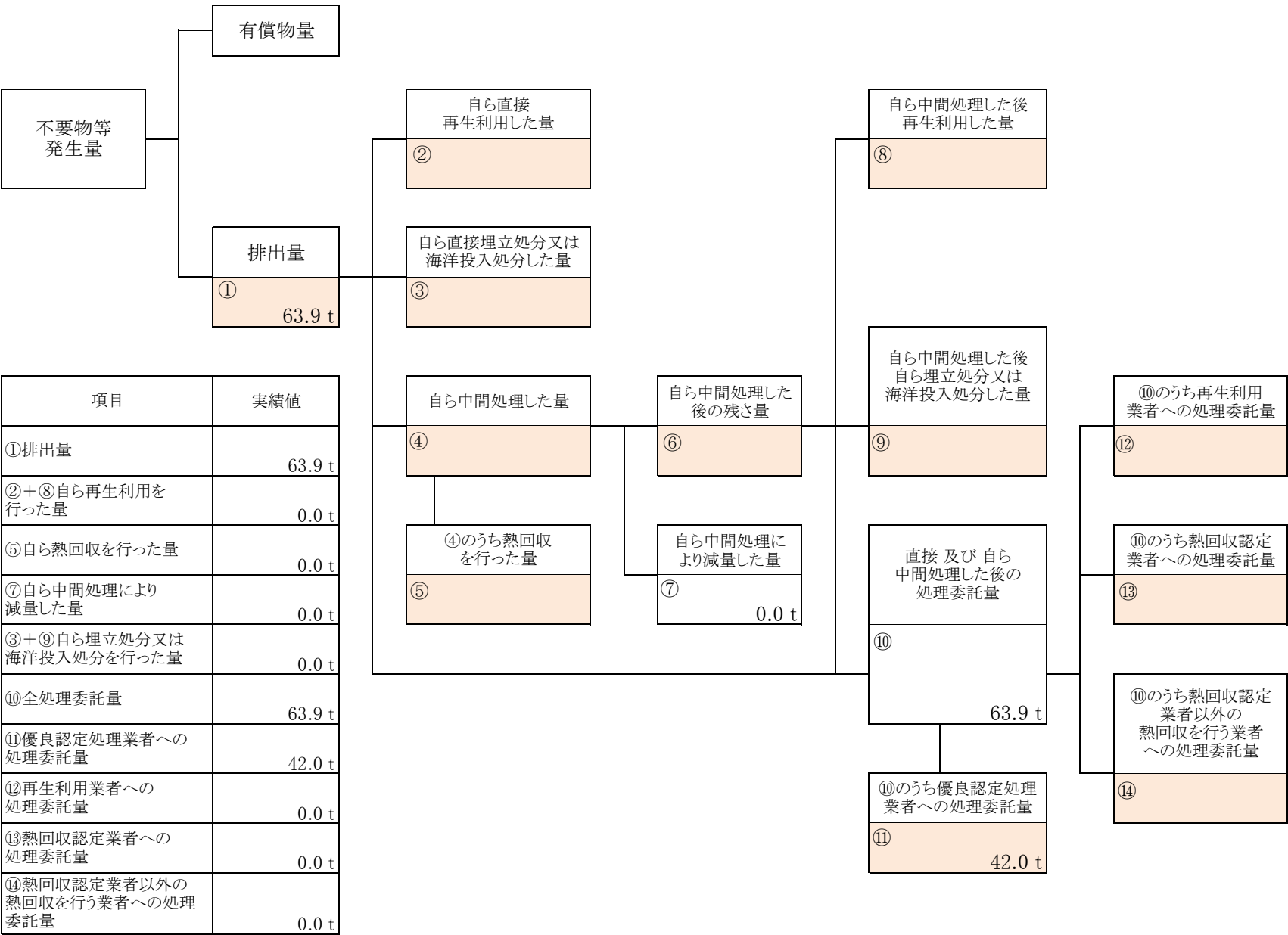
(産業廃棄物の種類: 紙くず)



(第2面)

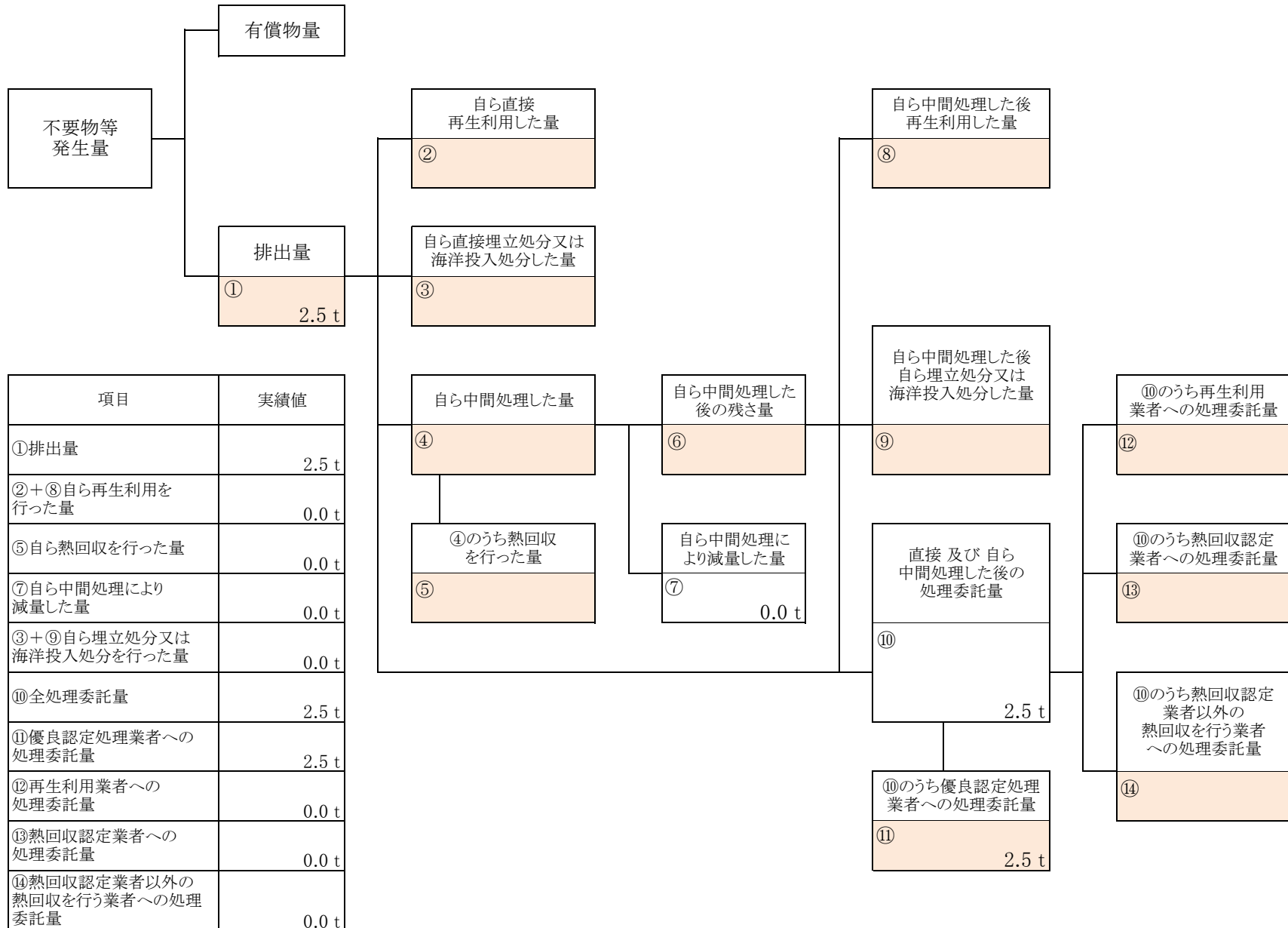
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石膏ボード)



計画の実施状況

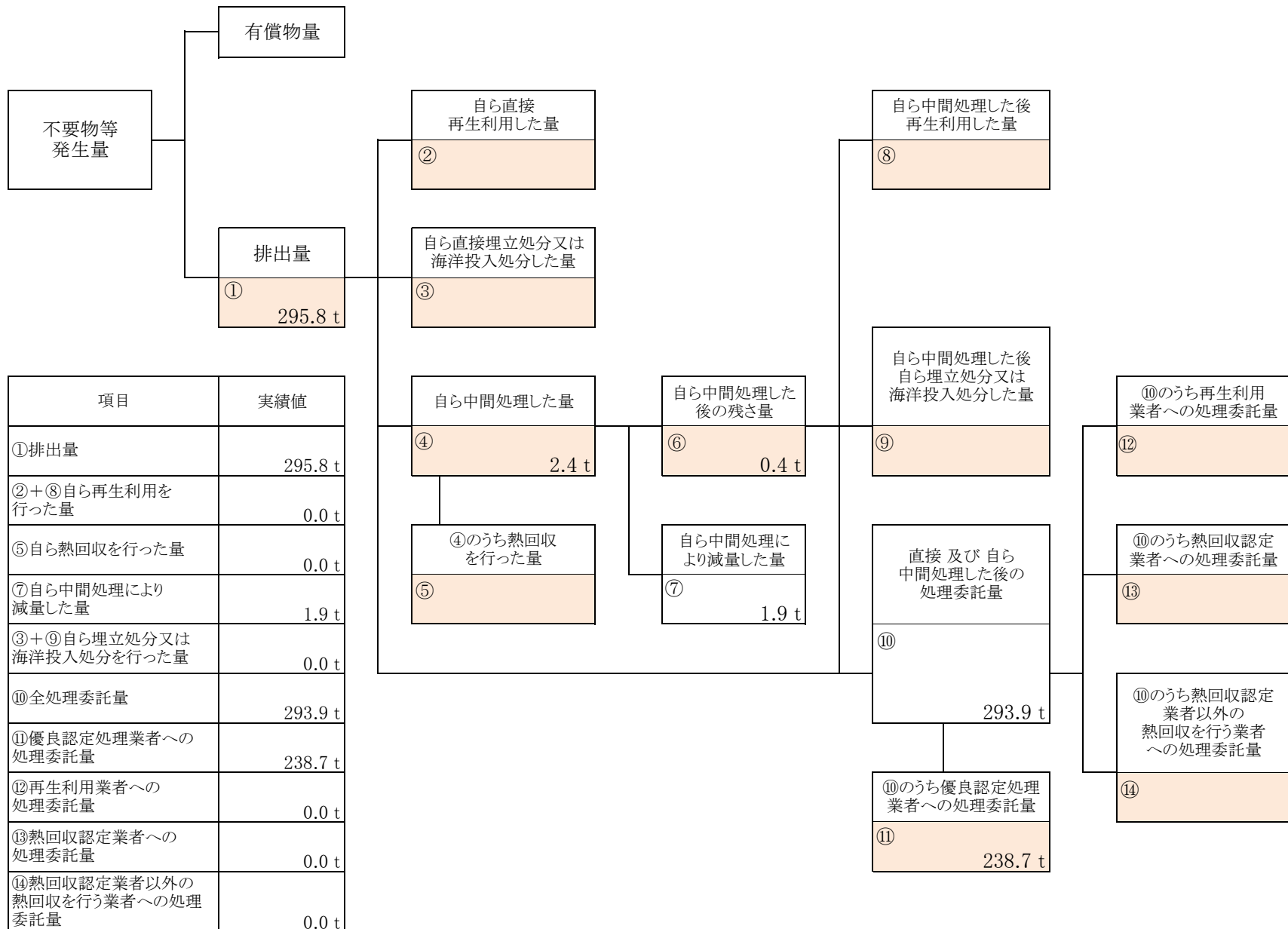
(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



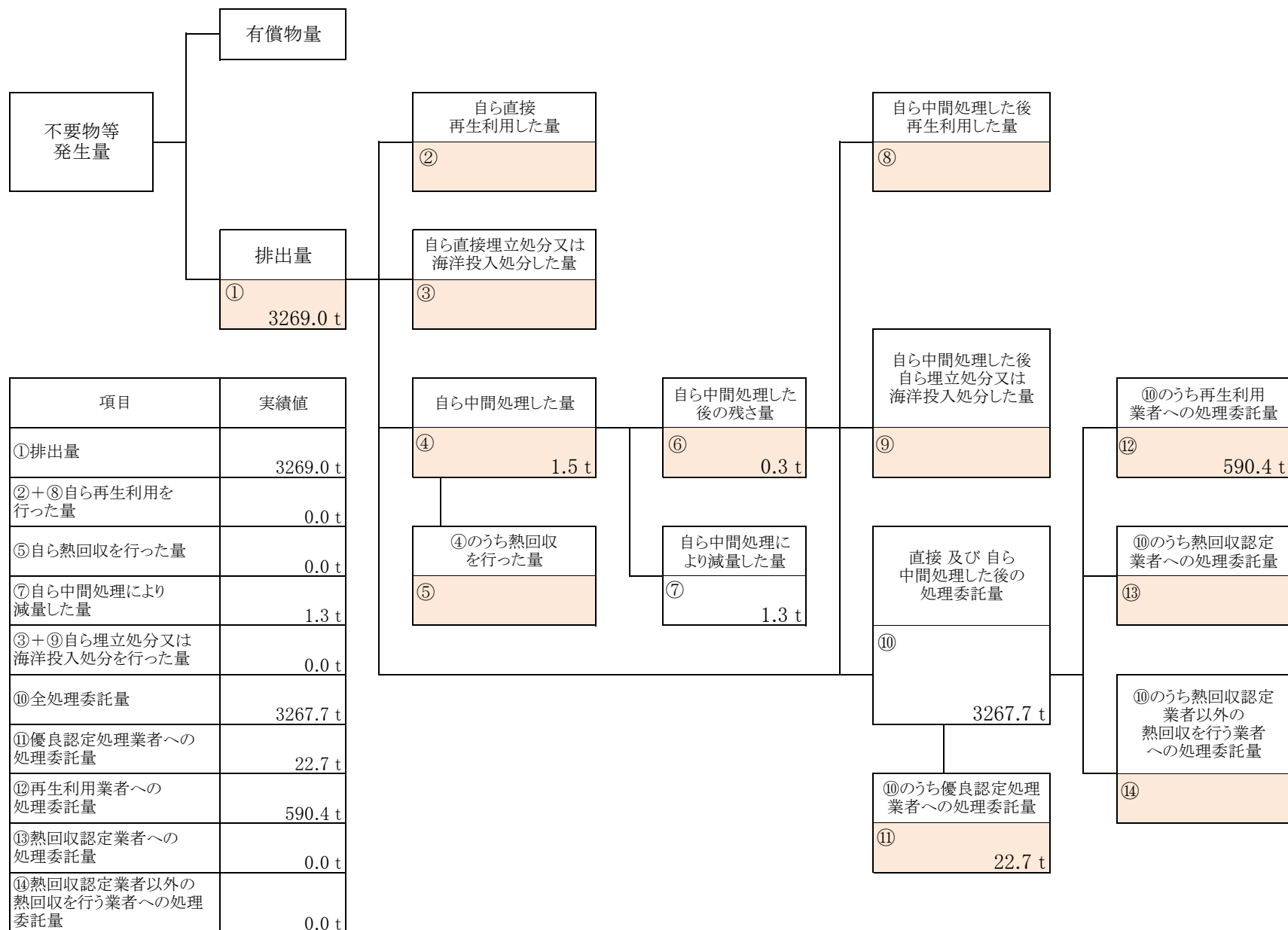
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

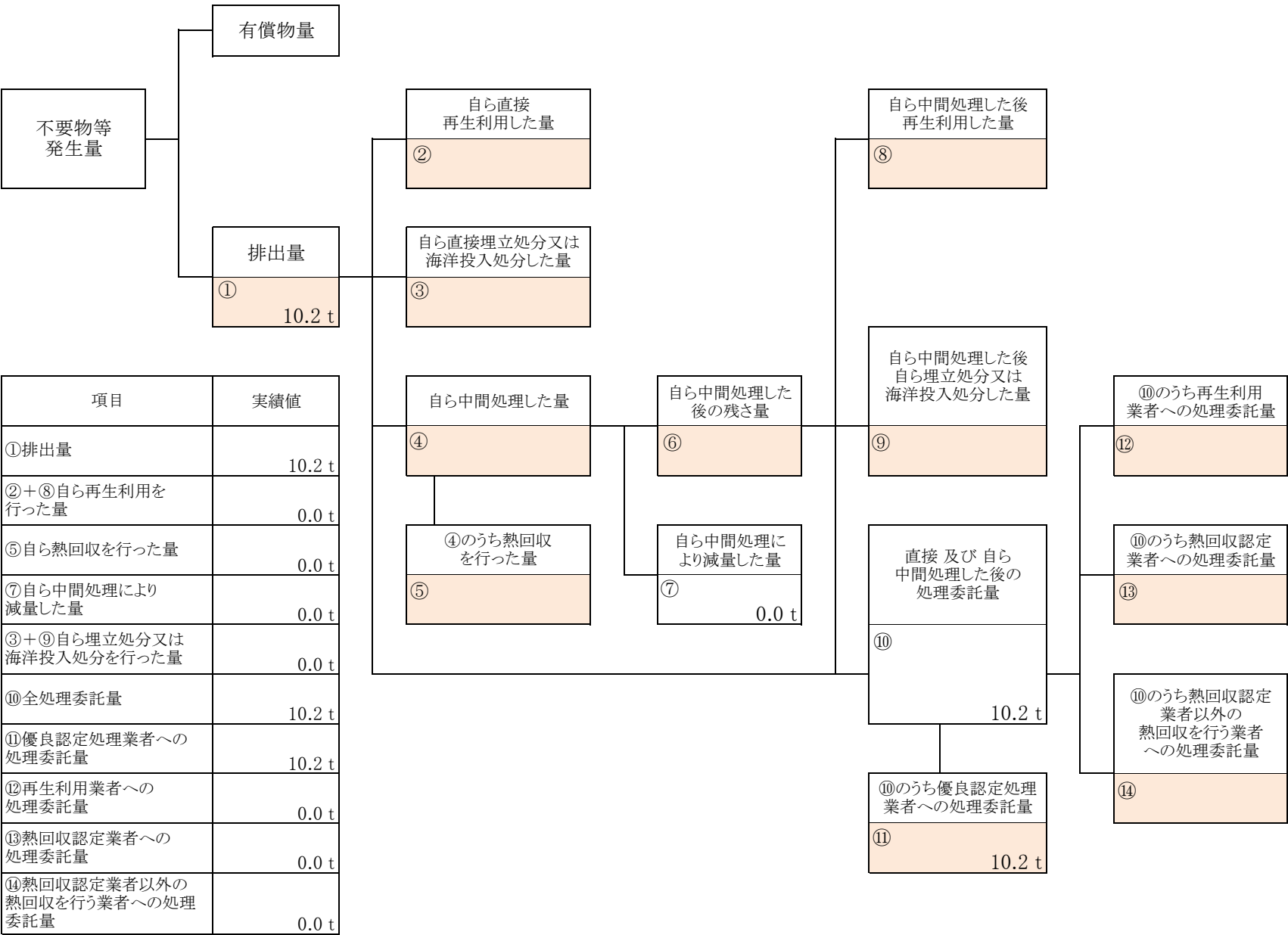
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石綿等)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月14日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都港区虎ノ門2-2-1	
氏 名 西松建設株式会社 関東建築支社	
常務執行役員支社長 黒田隆司	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-6453-0588	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	西松建設株式会社 関東建築支社
事業場の所在地	東京都港区虎ノ門2-2-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
②事業の規模	1,063億円
③従業員数	440名（R6年3月）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 施工計画時において下記事項を検討し実施可能な項目を採用している ・建設資材のプレキャスト化等による廃材発生削減 ・簡易梱包 ・資材の転用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 同 上		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック・紙くず・木くず・金属くず・ガレキ類・ ガラス陶磁器（石膏ボード）等 地域の中間処理施設の再資源化に応じた分別方法 （RPF化による可燃物等）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同 上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（これまでに実施した取組） スクラップ等の有償売却・建設汚泥の自ら利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 同 上		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 該当無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 石綿含有産業廃棄物の適正保管・埋立処分委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 同 上		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

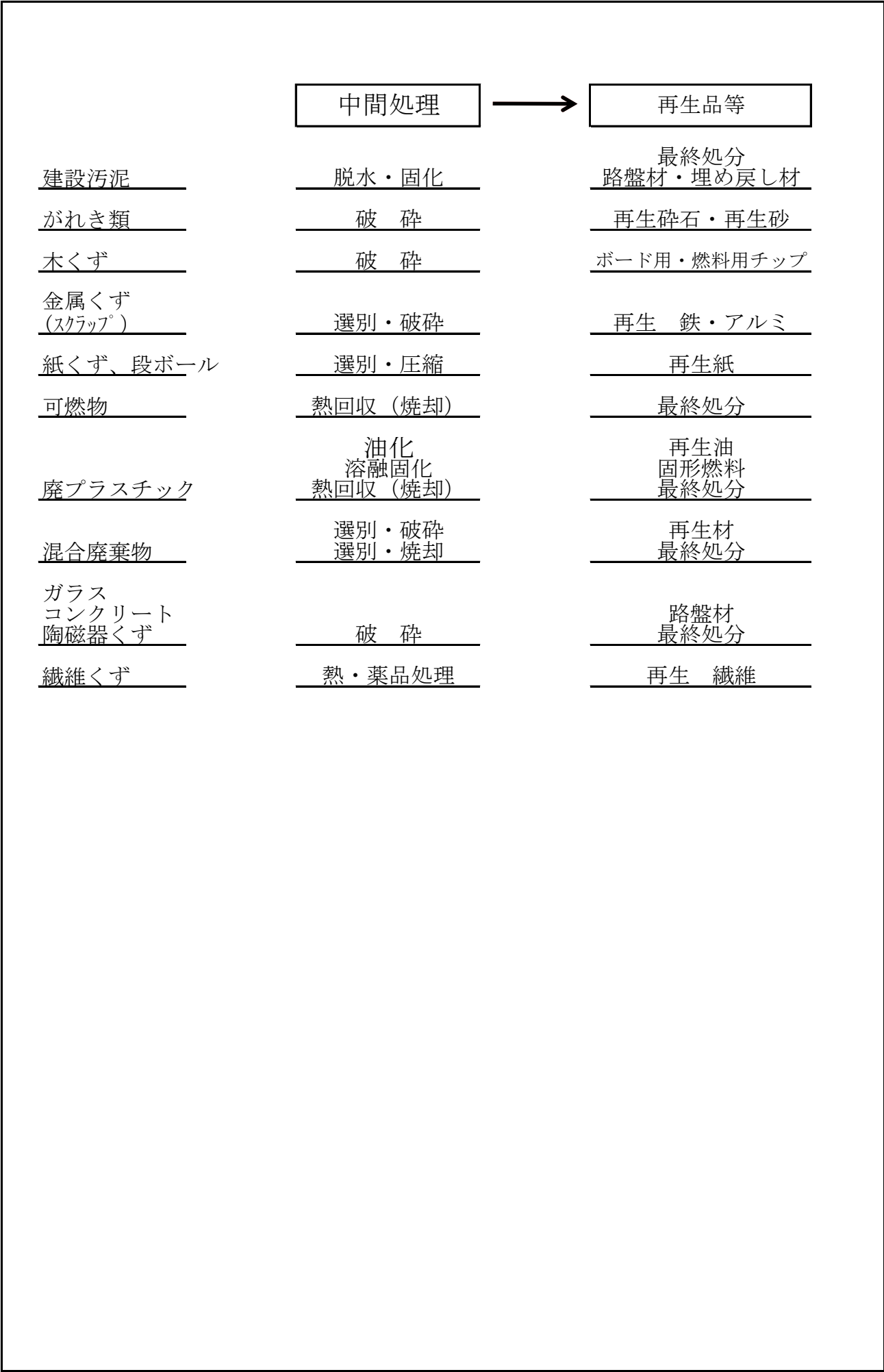
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃棄物の種類・性状・処理能力を踏まえ業者を選択 ・ 優良業者の優先委託 ・ 契約前の処理施設の処理能力・維持管理の実態及び周辺状況の調査 ・ 定期的に処理施設の現地確認		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 処理施設の点検の頻度を増加		
※事務処理欄			

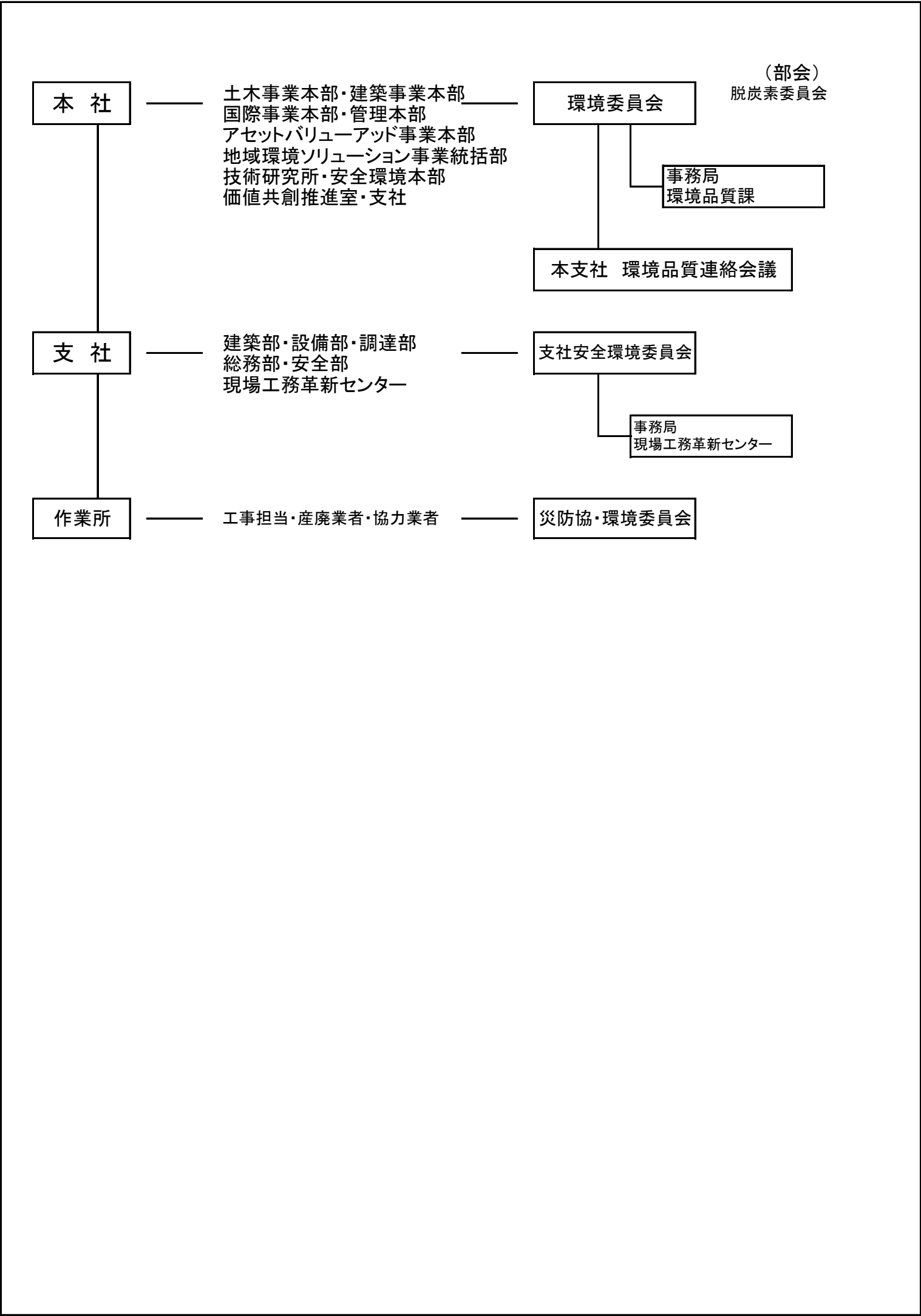
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図



別添 2 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	排出量	210.03 t	0.71 t	100.13 t	46.05 t	81.96 t	30.52 t	41.20 t	33.30 t	1,440.08 t	393.34 t	188.70 t	3.51 t	249.86 t	26.16 t				
②計画	【目標】																		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	排出量	189.03 t	0.64 t	90.12 t	41.45 t	73.76 t	27.47 t	37.08 t	29.97 t	1,296.07 t	354.01 t	169.83 t	3.16 t	224.87 t	23.54 t				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】																		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】																		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

[illegible]

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月14日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区虎ノ門2-2-1

氏 名 西松建設株式会社 関東建築支社

常務執行役員支社長 黒田隆司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6453-0588

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	西松建設株式会社 関東建築支社
事業場の所在地	東京都港区虎ノ門2-2-1
事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,443.78 t	全処理委託量	7,443.78 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	5,845.57 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	7,443.78 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

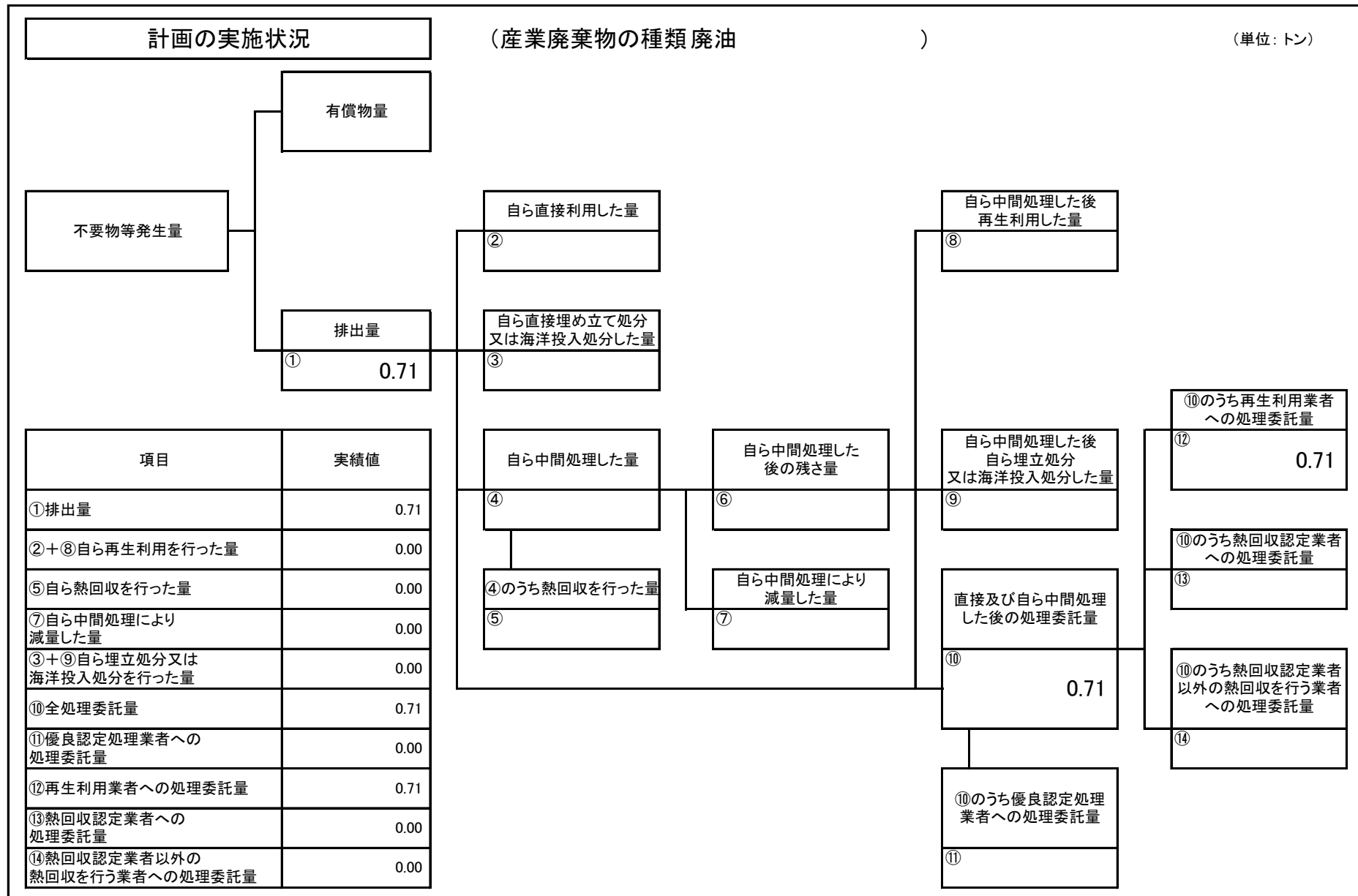
（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 汚泥)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		②				⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
① 210.03		③		⑥		⑨		⑫ 210.03	
		④		⑦		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量		⑬	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑤		⑦		⑩ 210.03		⑭	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 210.03			

項目	実績値
①排出量	210.03
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	210.03
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	210.03
⑫再生利用業者への処理委託量	210.03
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃プラスチック類)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		②				⑧			
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量							
		③							
排出量		①		自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
100.13				④		⑥		⑫	
				④のうち熱回収を行った量		⑦		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
				⑤				⑬	
						⑨		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
						⑩		⑭	
						100.13			
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪			
						100.13			

項目	実績値
①排出量	100.13
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	100.13
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	100.13
⑫再生利用業者への処理委託量	100.13
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 紙くず)				(単位: トン)																									
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	②	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫	46.05																							
	排出量	①	46.05	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	③				⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬																					
<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>①排出量</td><td>46.05</td></tr><tr><td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑤自ら熱回収を行った量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑩全処理委託量</td><td>46.05</td></tr><tr><td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td><td>46.05</td></tr><tr><td>⑫再生利用業者への処理委託量</td><td>46.05</td></tr><tr><td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00</td></tr></tbody></table>	項目	実績値	①排出量	46.05	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	46.05	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	46.05	⑫再生利用業者への処理委託量	46.05	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	④	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑨	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	
	項目	実績値																													
	①排出量	46.05																													
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																													
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																													
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																													
	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																													
	⑩全処理委託量	46.05																													
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	46.05																														
⑫再生利用業者への処理委託量	46.05																														
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																														
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																														
	④のうち熱回収を行った量	⑤	自ら中間処理により 減量した量	⑦	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩	46.05	⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑪	46.05																					

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 木くず)				(単位: トン)																				
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量																						
	排出量	②		⑧																						
	① 81.96	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量																								
		③																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>81.96</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>81.96</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>81.96</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>81.96</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	81.96	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	81.96	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	81.96	⑫再生利用業者への処理委託量	81.96	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	81.96																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																								
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																								
	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																								
	⑩全処理委託量	81.96																								
	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	81.96																								
	⑫再生利用業者への処理委託量	81.96																								
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																									
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																									
④	⑥	⑨	⑫ 81.96																							
④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量																							
⑤	⑦	⑩	⑬																							
		81.96	⑭																							
		⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量																								
		⑪ 81.96																								

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 金属くず)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量			自ら中間処理した後 再生利用した量	
	排出量	②	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		⑧	
	① 30.52	③	自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
		④	⑥	⑨	⑫ 30.52	
		④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑬	
		⑤	⑦	⑩ 30.52	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑭	
				⑪ 30.52		

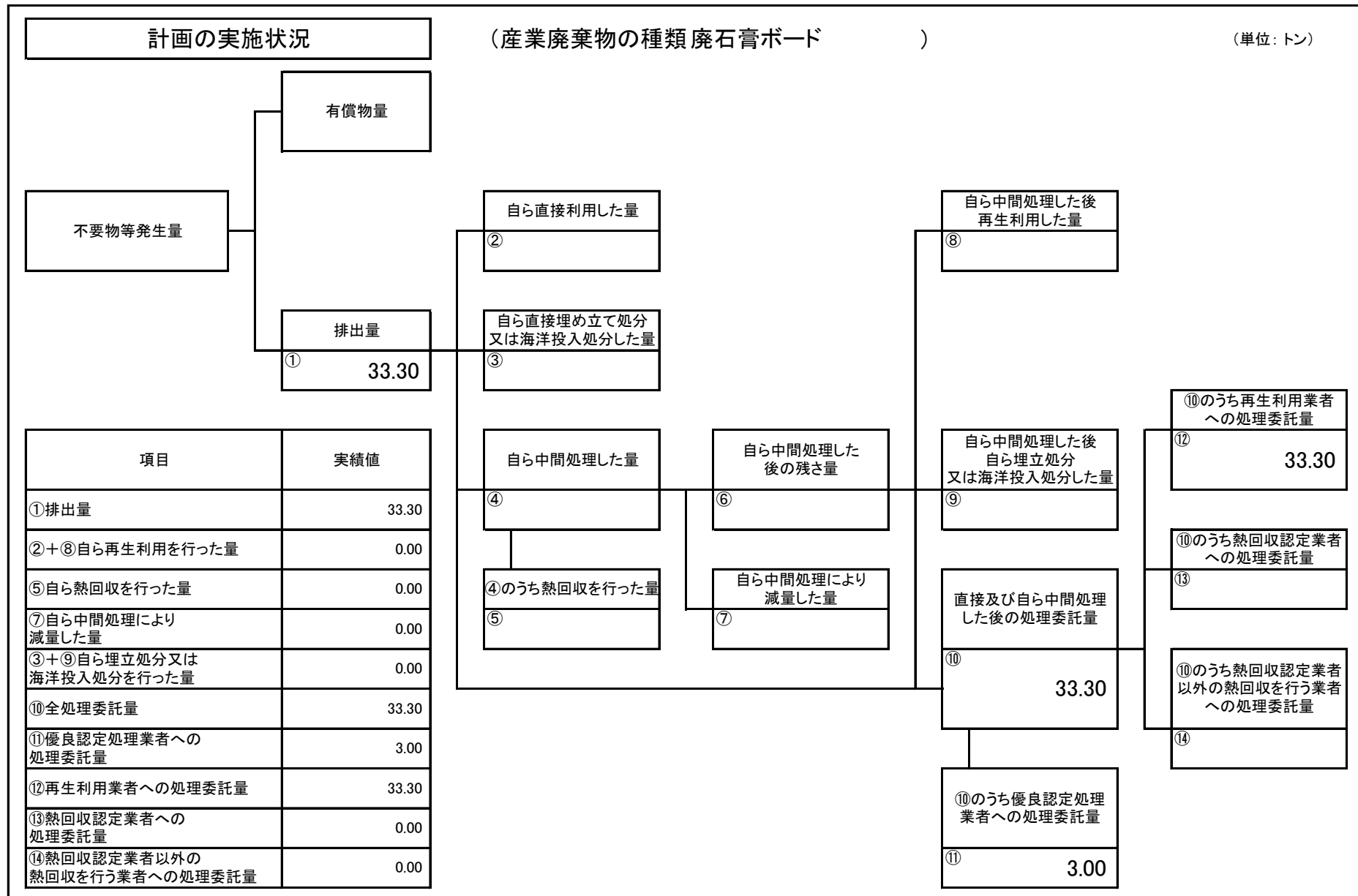
項目	実績値
①排出量	30.52
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	30.52
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	30.52
⑫再生利用業者への処理委託量	30.52
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず)				(単位: トン)	
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量		
	排出量	②	④	⑧	⑫	41.20	
	① 41.20	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量	⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量		
		③	⑦ 自ら中間処理により 減量した量	⑩ 直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑬		
			⑤ ④のうち熱回収を行った量		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量		
				41.20	⑭		
				⑪ ⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
				41.20			

項目	実績値
①排出量	41.20
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	41.20
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	41.20
⑫再生利用業者への処理委託量	41.20
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 コンクリート片)				(単位: トン)			
有償物量 不要物等発生量 排出量 ① 1,440.08		自ら直接利用した量 ② 自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量 ③ 自ら中間処理した量 ④ ④のうち熱回収を行った量 ⑤ 自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ 自ら中間処理により減量した量 ⑦ 自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩ 1,440.08 ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 68.08				⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫ 1,440.08 ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭			
項目	実績値								
①排出量	1,440.08								
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00								
⑤自ら熱回収を行った量	0.00								
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00								
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00								
⑩全処理委託量	1,440.08								
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.08								
⑫再生利用業者への処理委託量	1,440.08								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00								
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00								

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類アス・コン片)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量			自ら中間処理した後 再生利用した量	
	排出量	②	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		⑧	
	① 393.34	③	自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
		④	⑥	⑨	⑫ 393.34	
		④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑬	
		⑤	⑦	⑩ 393.34	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑭	
				⑪ 30.34		

項目	実績値
①排出量	393.34
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	393.34
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	30.34
⑫再生利用業者への処理委託量	393.34
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 その他がれき類)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量			自ら中間処理した後 再生利用した量	
	排出量	②	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		⑧	
	① 188.70	③	自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
		④	⑥	⑨	⑫ 188.70	
		④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑬	
		⑤	⑦	⑩ 188.70	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑭	
				⑪ 188.70		

項目	実績値
①排出量	188.70
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	188.70
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	188.70
⑫再生利用業者への処理委託量	188.70
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物(安定型))				(単位:トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		①		②		⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
① 3.51		③		⑥		⑨		⑫ 3.51	
		④		⑦		⑩		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑬	
		⑤		⑦		⑩ 3.51		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量		⑭	
						⑪ 3.51			

項目	実績値
①排出量	3.51
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3.51
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	3.51
⑫再生利用業者への処理委託量	3.51
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物(管理型))				(単位:トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		①		②		⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
① 249.86		③		⑥		⑨		⑫ 249.86	
		④		⑦		⑩		⑬	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
		⑤		⑦		⑩ 249.86		⑭	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 249.86			

項目	実績値
①排出量	249.86
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	249.86
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	249.86
⑫再生利用業者への処理委託量	249.86
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		①		②		⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
① 26.16		③		⑥		⑨		⑫	
		④		⑦		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量		⑬	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑤		⑦		⑩ 26.16		⑭	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 26.16			

項目	実績値
①排出量	26.16
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	26.16
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	26.16
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 6月 19日	
千葉県知事 様	
提出者 住 所 東京都品川区大崎1-5-1大崎センタービル 氏 名 日鉄エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 石俣 行人 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 03-6665-2000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量 その他処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日鉄エンジニアリング株式会社
事業場の所在地	東京都品川区大崎1-5-1大崎センタービル
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 77億円（前年度実績）
③従業員数	1,453人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
	(管理体制図) 別紙のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	排出量	158.40 t	0.80 t
	(これまでに実施した取組) 調達品については梱包の簡素化に取り組んだ。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	排出量	100.00 t	1.00 t
	(今後実施する予定の取組) 従来活動を継続する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 処理委託前に可能な限り分別を実施し「建設混合廃棄物」委託処理量の低減啓発を実施している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 従来通り、「建設混合廃棄物」の排出量の低減を実施する。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	74.60 t	1.70 t	30.90 t	389.80 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	50.00 t	1.00 t	30.00 t	300.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
排 出 量	1,048.10 t	1.20 t	249.80 t	77.80 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
排 出 量	- t	1.00 t	50.00 t	50.00 t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特段実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 特段の計画はなし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特段実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 特段の計画はなし。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特段実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 特段の計画はなし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	全処理委託量	158.40 t	0.80 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	0.80 t
	再生利用業者への 処理委託量	158.40 t	0.80 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 処理委託実績があり、且つ電子マニフェスト対応可能業者と優先的に 契約を結んでいる。		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	74.60 t	1.70 t	30.90 t	389.80 t
優良認定処理業者 への処理委託量	74.60 t	1.60 t	- t	68.50 t
再生利用業者への 処理委託量	74.60 t	1.70 t	30.90 t	389.80 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第4面) - 3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
全処理委託量	1,048.10 t	1.20 t	249.80 t	77.80 t
優良認定処理業者 への処理委託量	174.50 t	1.20 t	99.60 t	75.20 t
再生利用業者への 処理委託量	1,048.10 t	1.20 t	249.80 t	77.80 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
	全 処 理 委 託 量	50.00 t	1.00 t	30.00 t	300.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	50.00 t	1.00 t	- t	50.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	50.00 t	1.00 t	30.00 t	300.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	- t	1.00 t	50.00 t	50.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	1.00 t	50.00 t	50.00 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	1.00 t	50.00 t	50.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程

燃え殻→遮断型埋立処分（委託）

汚泥（建設汚泥・その他の汚泥）→脱水（委託）

→再生利用（委託）、管理型・安定型埋立処分（委託）

廃油→焼却(委託) →管理型埋立処分（委託）

廃酸・廃アルカリ→中和(委託)・乾燥（委託）→焼却→管理型・安定型埋立処分（委託）

廃プラ→選別・破碎・圧縮・熔融・焼却（委託）

→再生利用（委託）、管理型・安定型埋立処分（委託）

ガラス・陶磁器くず→選別・圧縮・破碎（委託）

→再生利用（委託）、管理型・安定型埋立処分（委託）

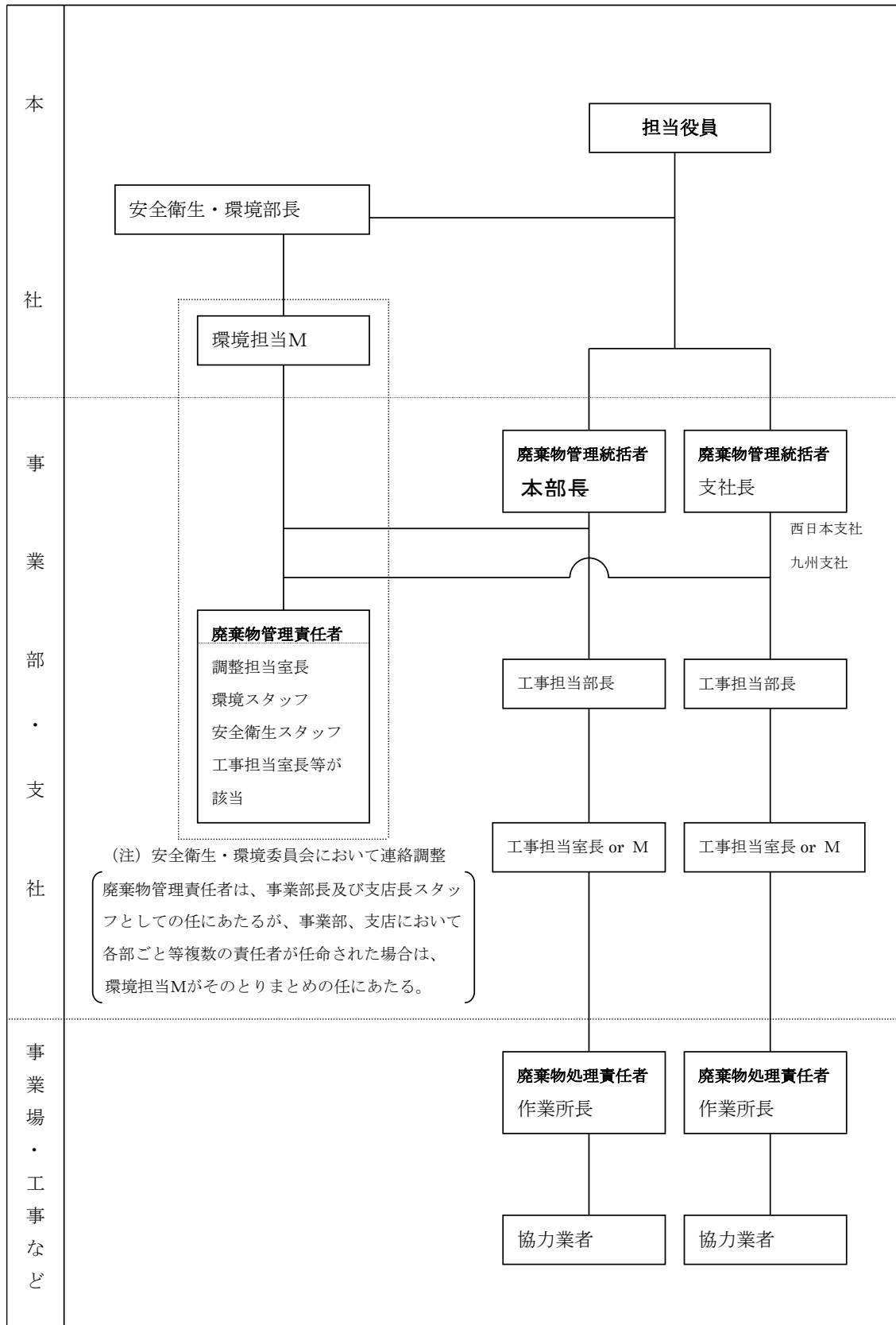
がれき類（コンクリート片・廃アスファルト・レンガ破片など）

→破碎（委託）→再生利用（委託）、安定型埋立処分（委託）

木くず・紙くず→破碎（委託）→焼却（委託）、再生利用（委託）→管理型埋立処分（委託）

建設混合廃棄物→選別・破碎・圧縮（委託）→管理型・安定型埋立処分（委託）

日鉄エンジニアリング株式会社の産業廃棄物排出管理体制



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 1 4 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒299-1141	
住 所 千葉県君津市君津1番地	
日鉄環境株式会社 建設事業本部 氏 名 取締役常務執行役員 建設事業本部長 高野 良広	
電話番号 0439-52-1288	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日鉄環境株式会社 建設事業本部
事業場の所在地	千葉県君津市君津1番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高：7,800百万円
③ 従業員数	150人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	2499.02 t	4.025 t
	（これまでに実施した取組） ・ 産業廃棄物抑制の観点から施工方法や使用機材等の検討を実施している。 ・ 廃棄物教育等を通じて産業廃棄物抑制の啓蒙活動に努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	100 t	5 t
	（今後実施する予定の取組） ・ 前年度の取り組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 混合廃棄物について現場での分別に努める。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 混合廃棄物について現場分別の促進を継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	2499.02 t	4.025 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2499.02 t	4.025 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・排出する産業廃棄物の種類に応じた委託契約の締結 ・電子マニフェスト対応可能業者への委託		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	100 t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	100 t	2.5 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・前年度の取り組みを継続する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉋さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	排 出 量	162.02 t	70.44 t	40.2 t	460.7 t	7012.67 t	87.529 t	112.866 t	44.76 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉋さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	排 出 量	150 t	60 t	50 t	0 t	8000 t	100 t	80 t	30 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
----------------------	--	--	--

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉋さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉋さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

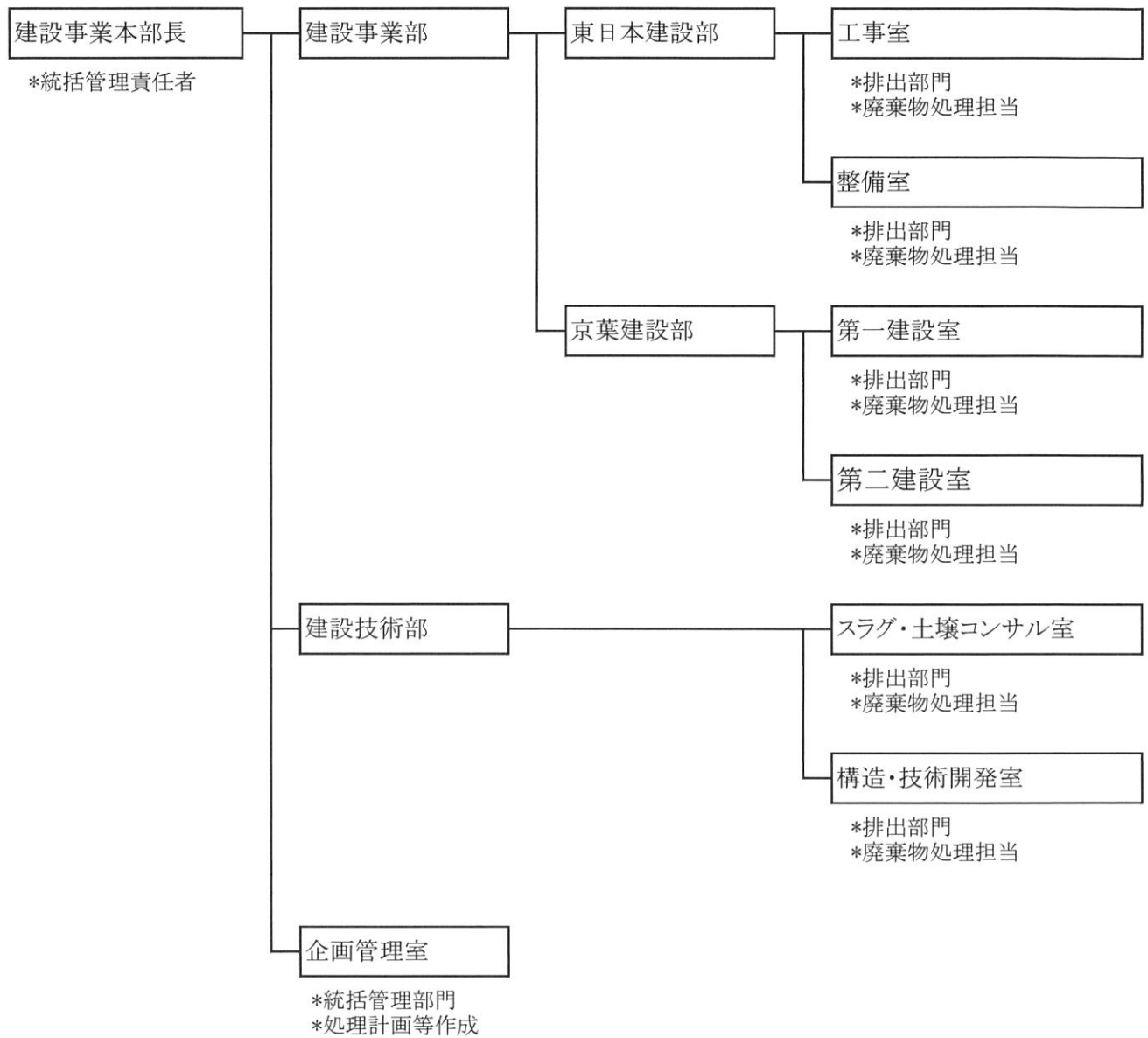
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2 管理体制図



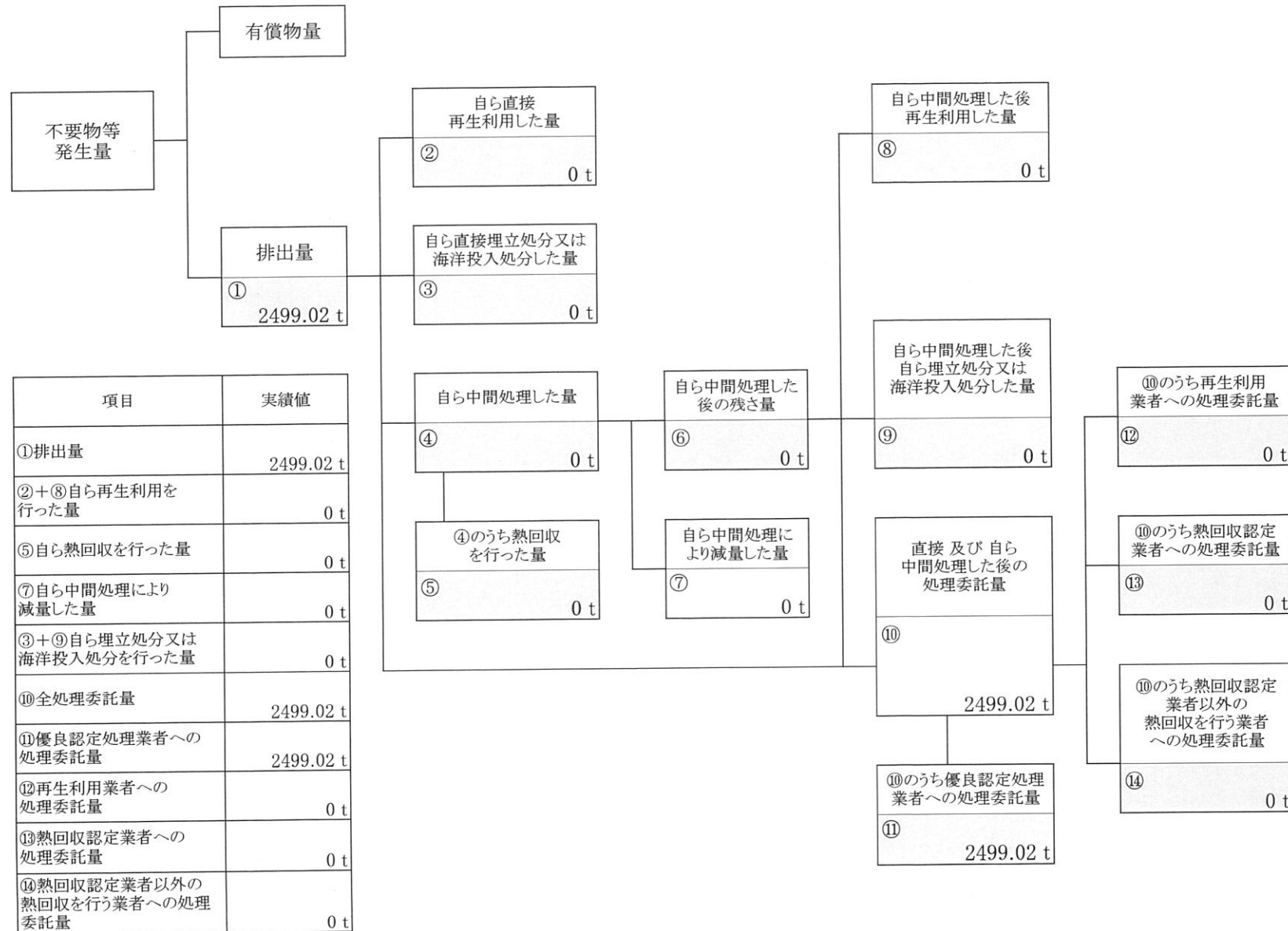
産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
令和 6年 6月 14日				
千葉県知事 熊谷 俊人 殿				
提出者 〒299-1141				
住 所 千葉県君津市君津1番地				
氏 名 日鉄環境株式会社 建設事業本部				
取締役常務執行役員 建設事業本部長				
高野 良広				
電話番号 0439-52-1288				
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称		日鉄環境株式会社 建設事業本部		
事業場の所在地		千葉県君津市君津1番地		
事業の種類		D06ー総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値				
項目		目標値	項目	目標値
排 出 量		9871 t	全 処 理 委 託 量	9871 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1783.25 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	9640 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	20.75 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t
※事務処理欄				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥

)



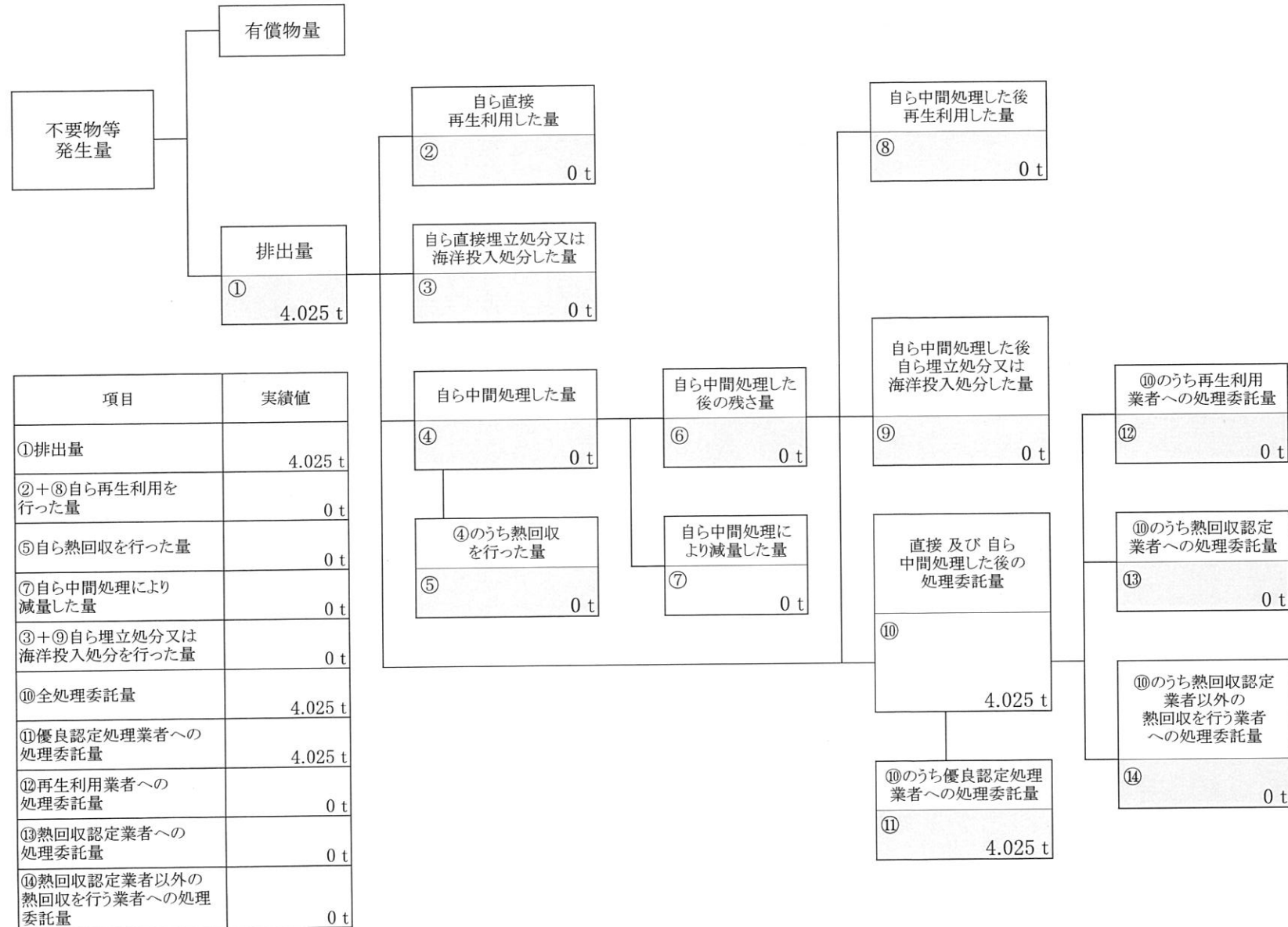
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類

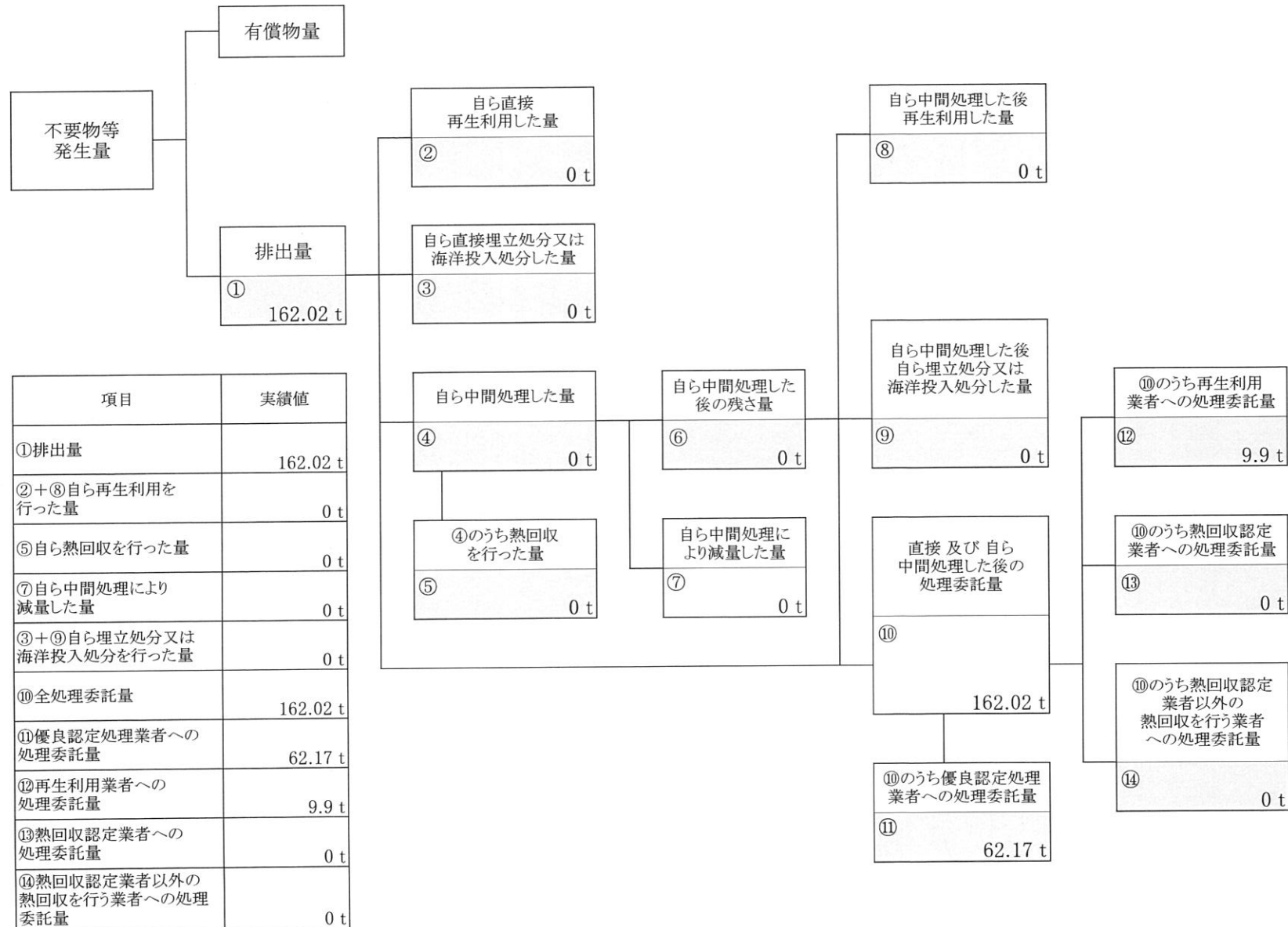
)



(第2面)

計画の実施状況

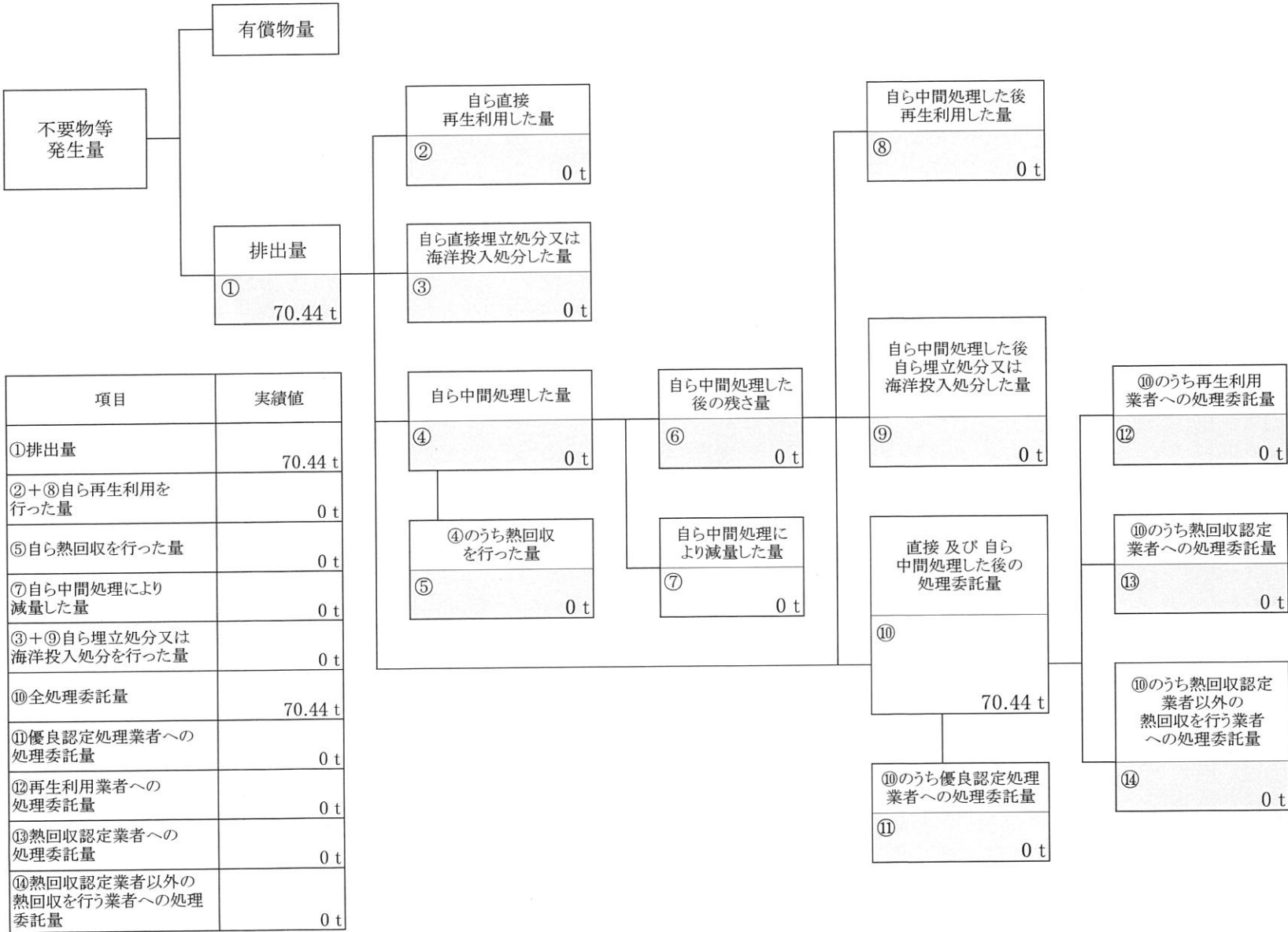
(産業廃棄物の種類: 木くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

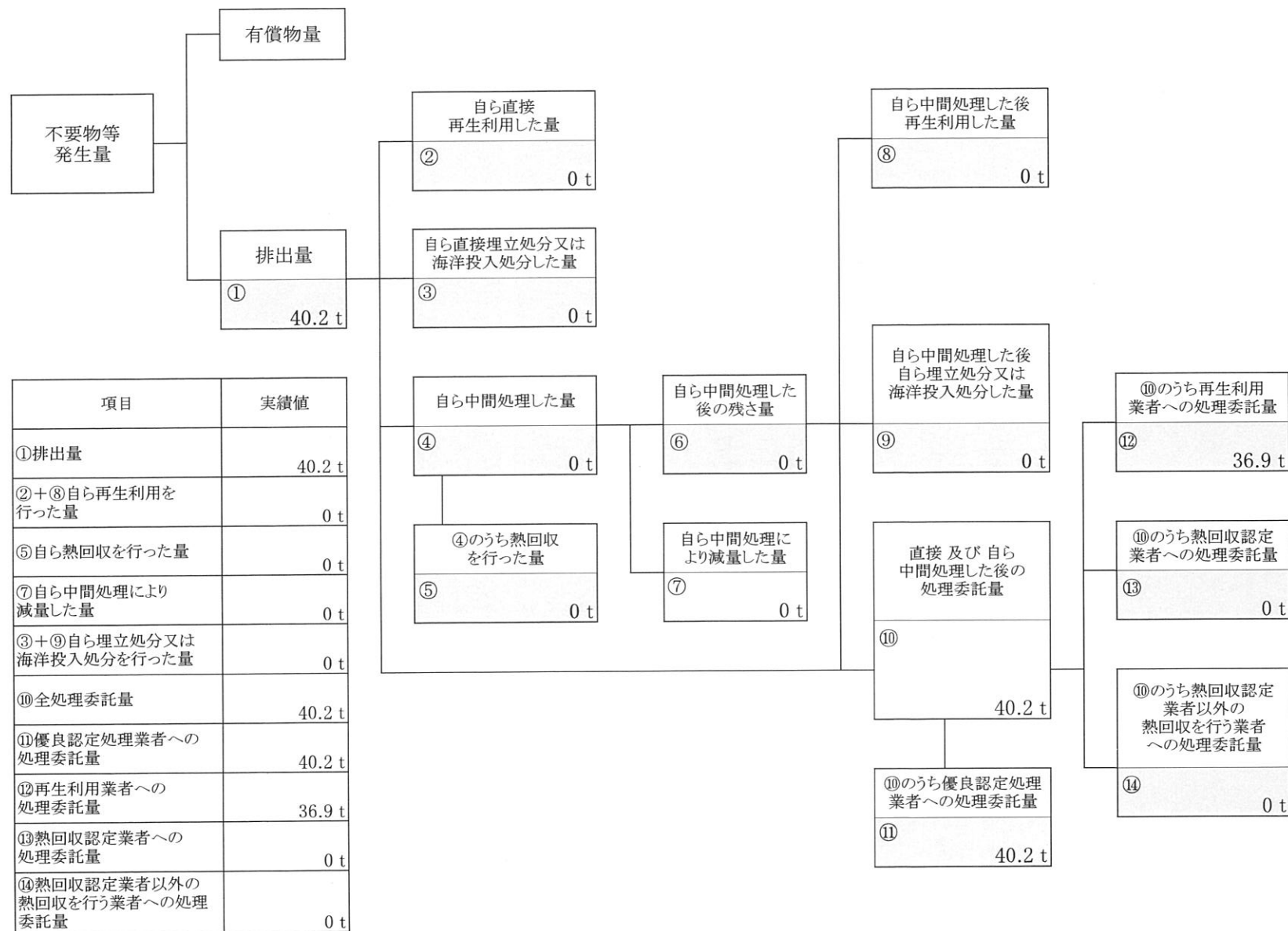
金属くず



(第2面)

計画の実施状況

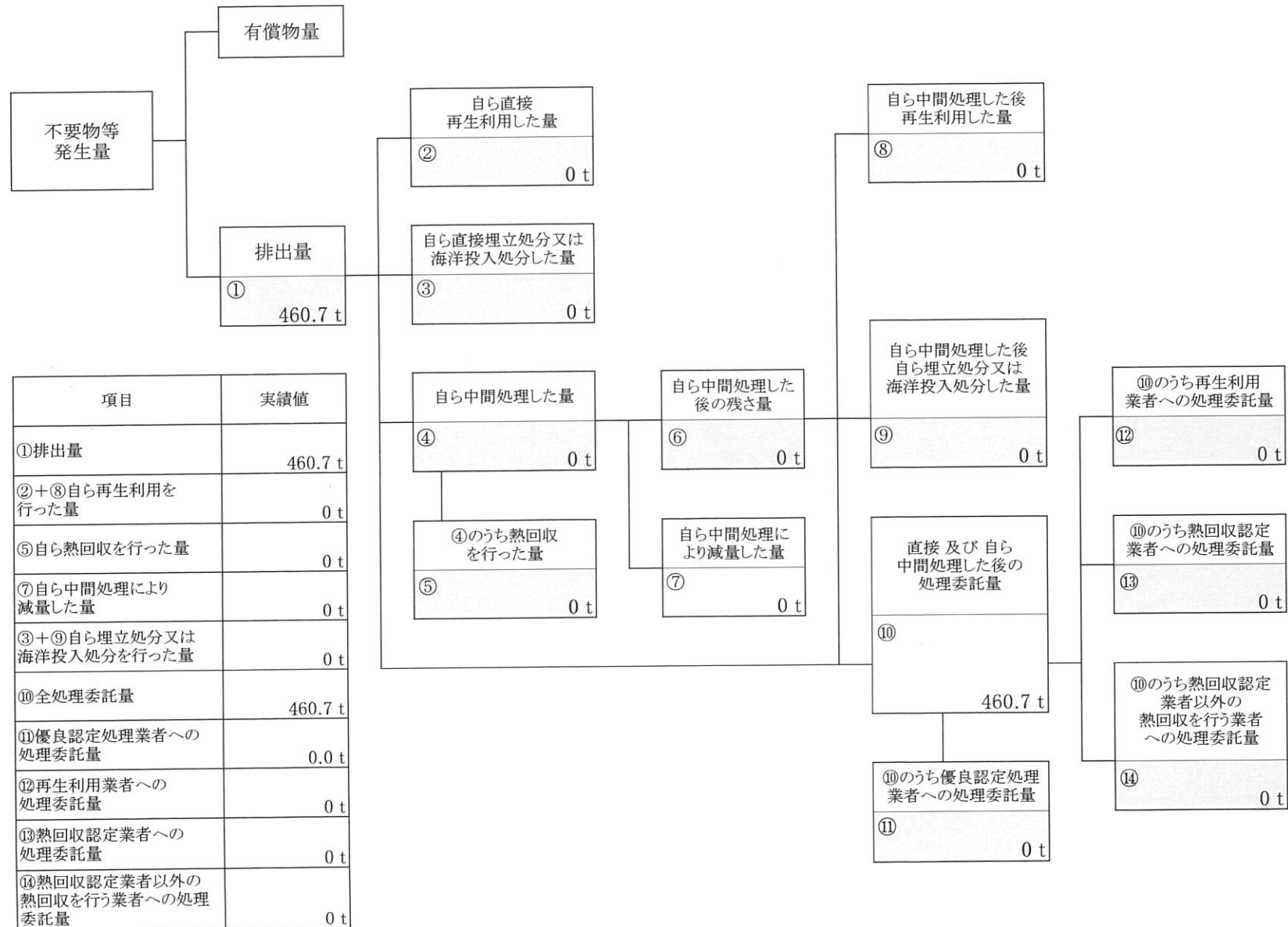
(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 鉋さい)



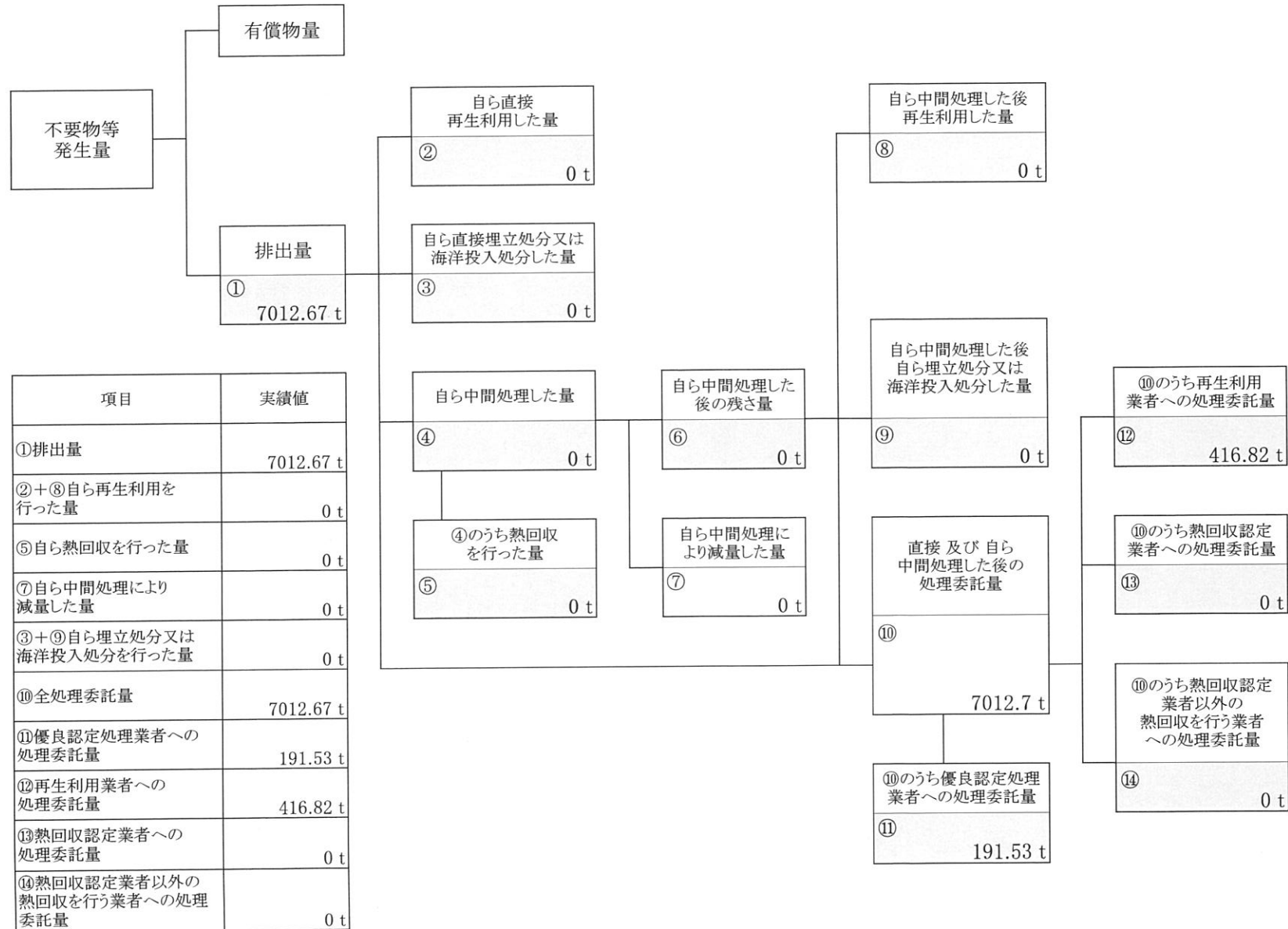
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)



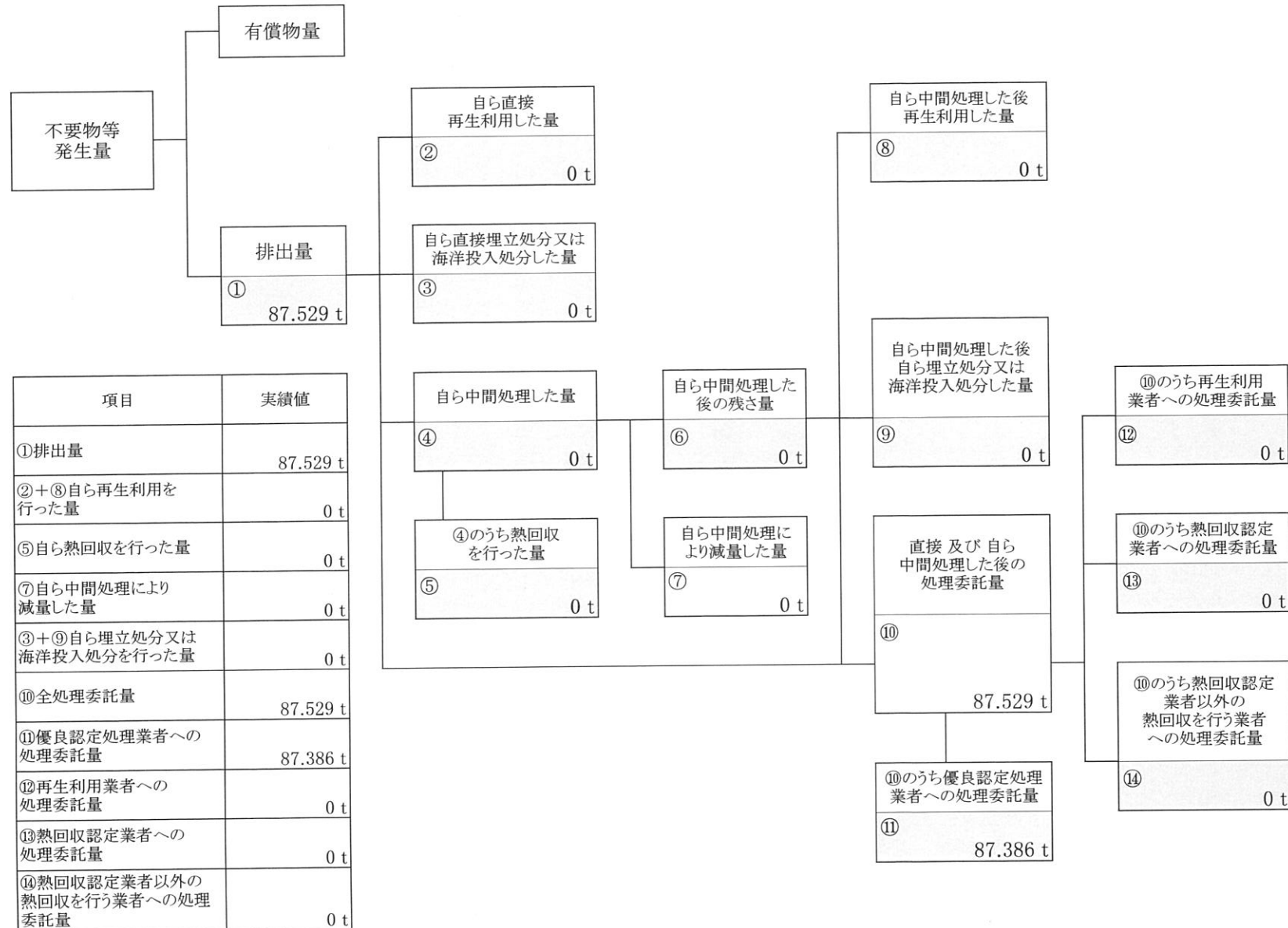
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物

)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他混合廃棄物)

その他混合廃棄物)

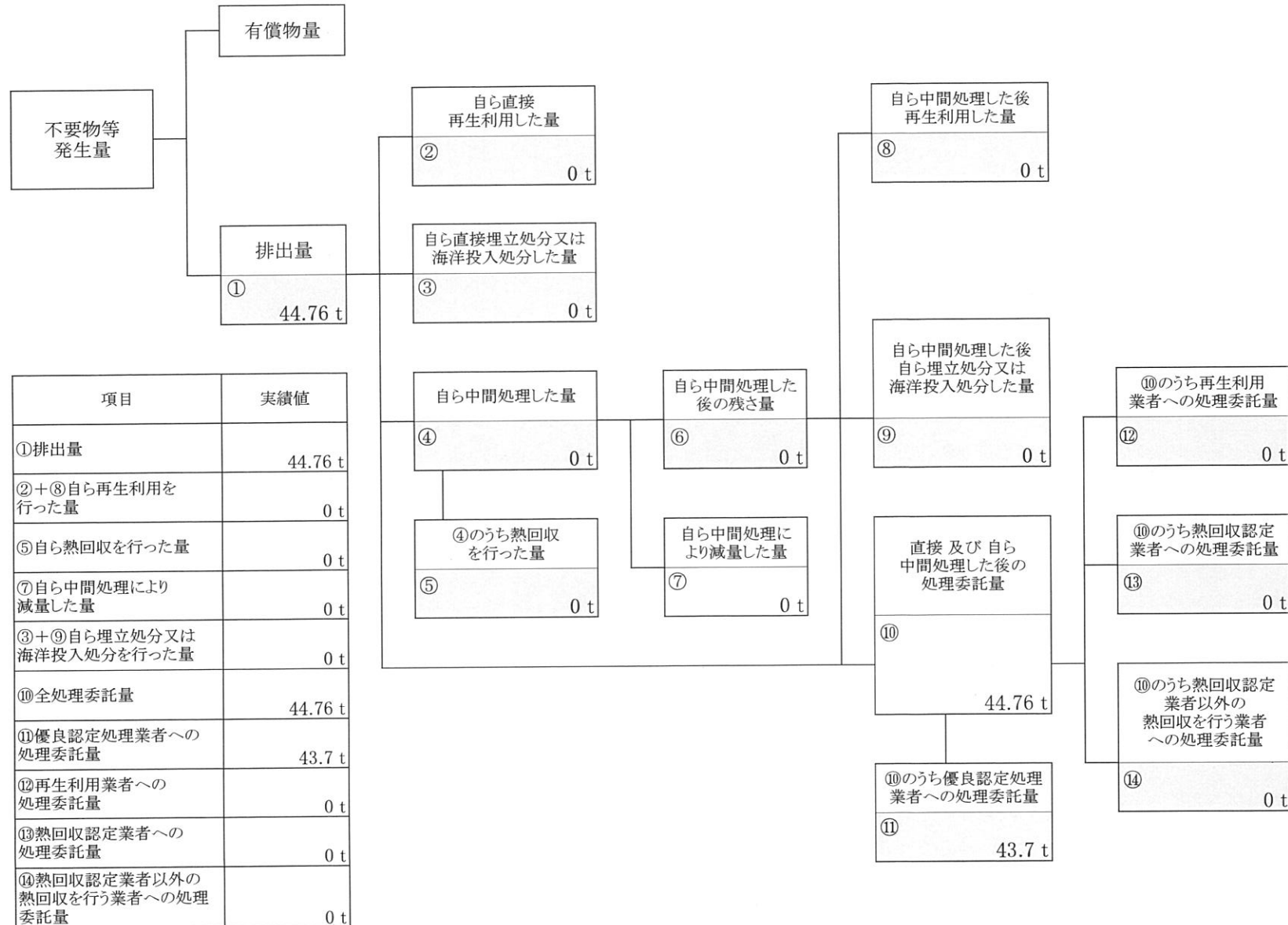


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

石綿含有廃棄物

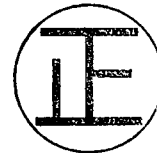
)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年6月15日	
千葉県知事 熊谷 俊人殿	
提出者 住 所 299-1141 千葉県君津市君津1番地 氏 名 日鉄テックスエンジ株式会社 東日本支店 執行役員支店長 山口 章臣 電話番号 0439-52-3230	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日鉄テックスエンジ株式会社 東日本支店
事業場の所在地	千葉県君津市君津1番地 日本製鉄(株) 東日本製鉄所構内外
計画期間	2023年4月～2024年3月迄
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業、中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度元請完成工事高：37,616百万円
③ 従業員数	1366
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(管理体制図)

		支店環境委員		君津電計センター	
		事務局: 総務・安全衛生部		管理担当マネージャー	
		メンバー: 各センター長			
		各センター担当		君津機械センター	
支店長				管理担当マネージャー	
				君津生産部	
				管理担当マネージャー	
				君津建設センター	
				管理担当マネージャー	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ⇒別紙2の通り

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物における現場での分別促進。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物における現場での分別促進を継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 ⇒別紙3の通り			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

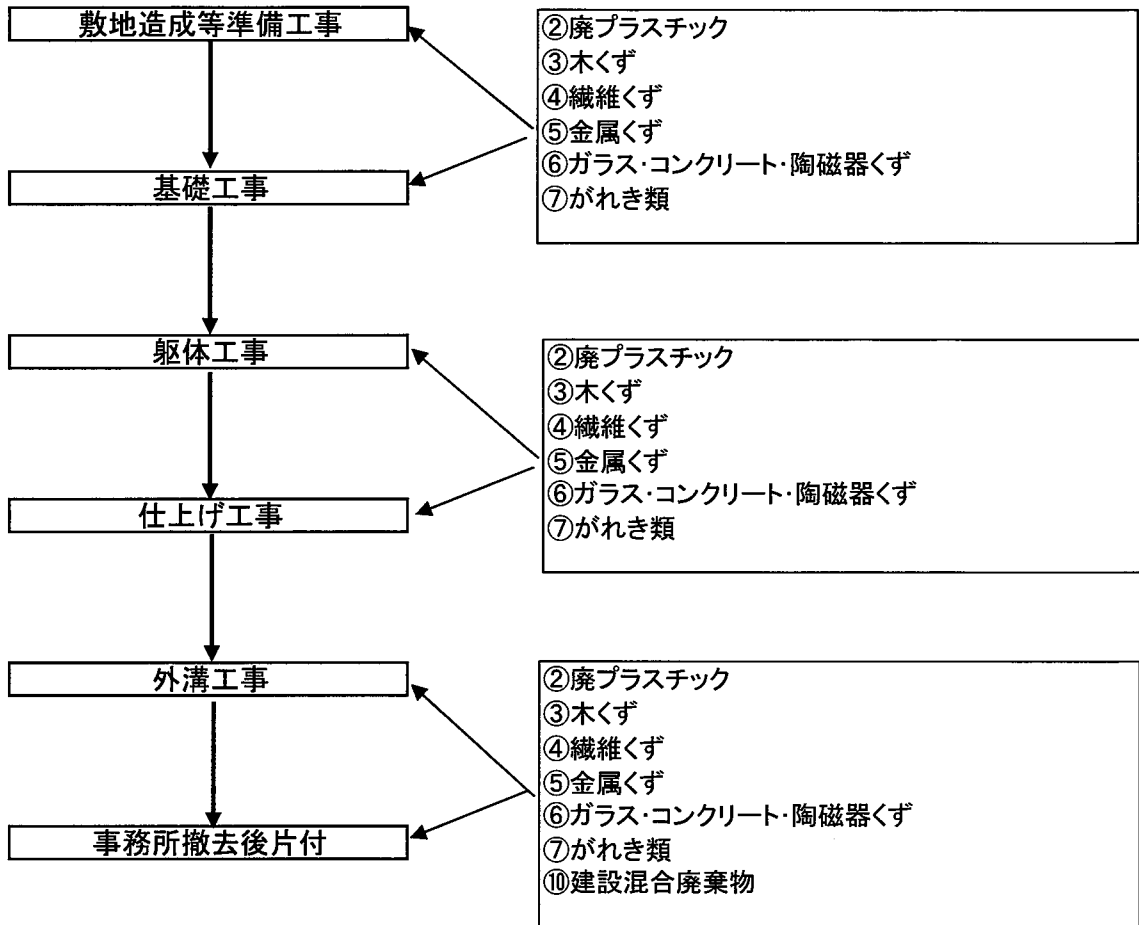
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

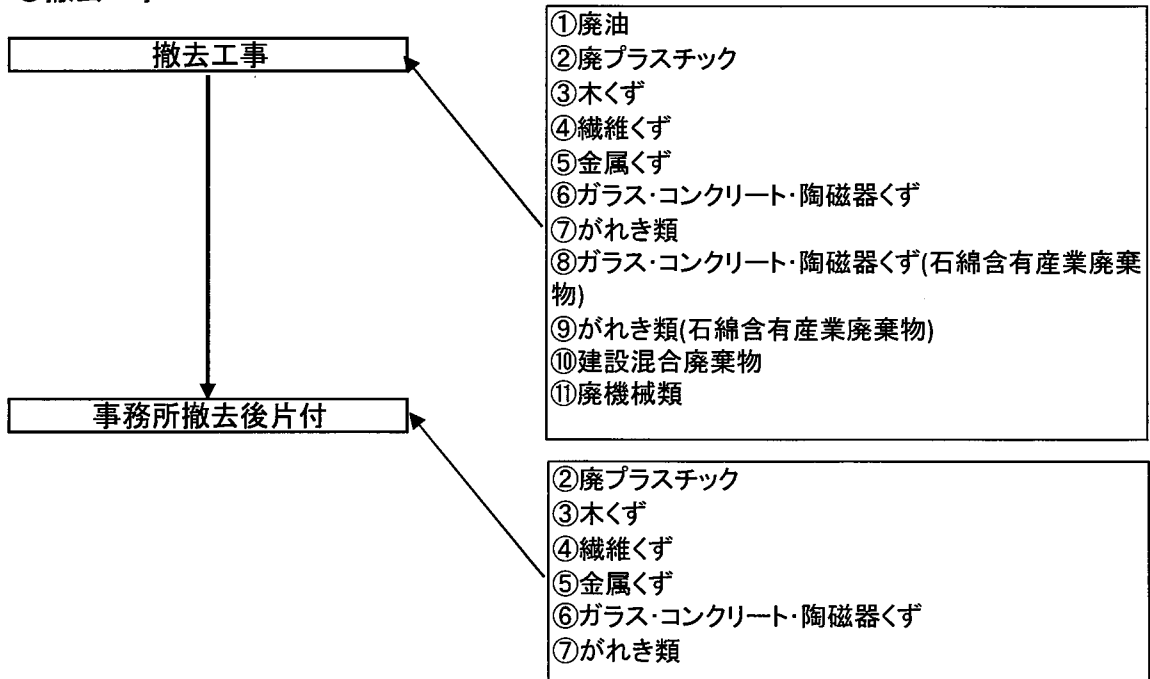
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

○建設新築工事



○撤去工事

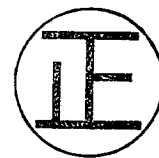


産業廃棄物処理計画(2024年度)別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項													
①現状	【前年度(2023年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず及びコンクリートくず、陶磁器くず	がれき類	木くず	紙くず	建設混合廃棄物	廃機械類	廃電池	繊維くず
	排 出 量(t)	4151.48	20.79	95.58	59.93	103	10925.15	188.31	1.89	910.29	0.00	0.90	1.44
	(これまでに実施した取組) ※本年度の実績値は16459tの廃棄物排出となり、日本製鉄の(株)の老朽化による解体工事、日本製鉄環境問題によりの受注量の大幅増加により高い廃棄物排出量になった。 次年度は産業廃棄物の排出量減少の見込み。 ※排出事業者として、廃棄物処分業者施設(運搬含)の実地確認を行っている。												
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず及びコンクリートくず、陶磁器くず	がれき類	木くず	紙くず	建設混合廃棄物	廃機械類	廃電池	繊維くず
	排 出 量(t)	20.00	20.00	100.00	100.00	100.00	6,000.00	100.00	5.00	900.00	5.00	5.00	5.00
	(今後実施する予定の取組) ※次年度も日本製鉄所の施設の老朽化による解体工事の受注量の増加傾向にあるが、環境問題の対応は減少傾向を見込んだ目標とする。 ※排出事業者として、廃棄物処分業者施設(運搬含)の実地確認を行って行く。												

産業廃棄物処理計画書(2024年度) 別紙3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
①現状	【前年度(2023年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず及びコンクリートくず、陶磁器くず	がれき類	木くず	紙くず	建設混合廃棄物	廃機械類	廃電池	繊維くず
	全処理委託量(t)	4151.48	20.79	95.58	59.93	103	10925.15	188.31	1.89	910.29	0.00	0.9	1.44
	優良認定処理業者への処理委託量	1941.60	16.97	49.81	21.84	103	4.913.18	132.98	1.89	765.75	0.00	0.9	1.44
	再生利用業者への処理委託量	290.60	9.14	59.25	57.53	79.31	10467.02	160.06	1.51	573.48	0.00	0.00	0.77
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	(これまでに実施した取組) 業者選定に際し、優良認定処理業者・認定熱回収業者については、特に考慮していません。												
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず及びコンクリートくず、陶磁器くず	がれき類	木くず	紙くず	建設混合廃棄物	廃機械類	廃電池	繊維くず
	全処理委託量(t)	20.00	20.00	100.00	100.00	100.00	6,000.00	100.00	5.00	900.00	5.00	5.00	5.00
	優良認定処理業者への処理委託量	10.00	10.00	40.00	50.00	50.00	4,000.00	100.00	0.00	400.00	0.00	0.00	0.00
	再生利用業者への処理委託量	20.00	20.00	60.00	100.00	90.00	5,000.00	80.00	0.00	800.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(今後実施する予定の取組) 再生利用可能な廃棄物に関しては、極力再生利用可能な様に混載廃棄物の量を減らすための分別廃棄を推進する。													



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月15日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 299-1141 千葉県君津市君津1番地

氏 名 日鉄テックスエンジ株式会社 東日本支店

執行役員支店長 山口 章臣

電話番号 0439-52-3230

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日鉄テックスエンジ株式会社 東日本支店
事業場の所在地	千葉県君津市君津1番地 日本製鉄(株)東日本製鉄所構内外
事業の種類	大分類:建設業、中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	2023年4月～2024年3月迄

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5770.0 t 5294.5 t	全処理委託量	5294.5 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	3664.5 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への 処理委託量	5172.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	20.0 10.0 t
※事務処理欄			

君津
地域振興事務所 日本工業規格 A列4番)

-6.6.25

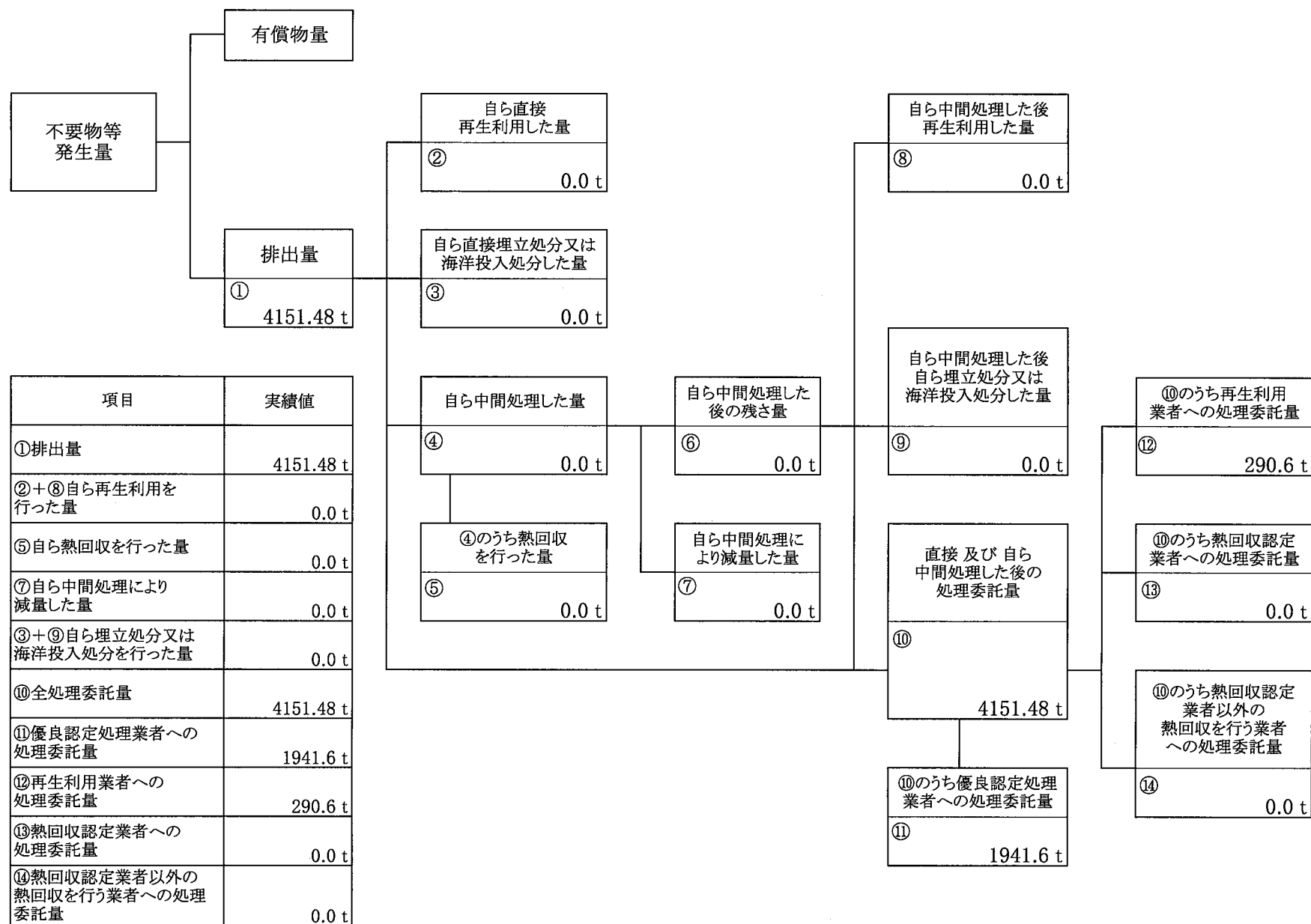
収受

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥

)



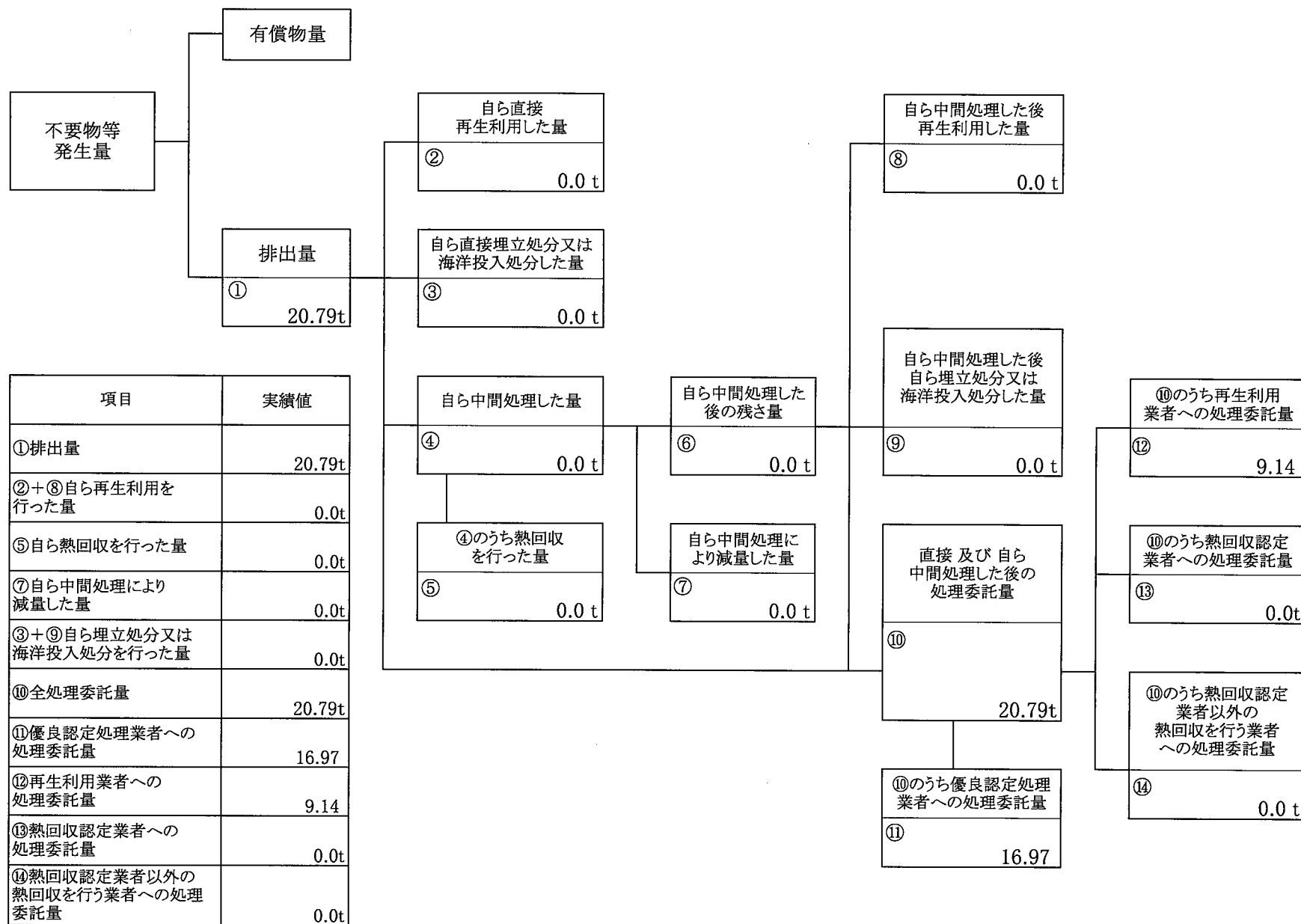
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃油

)



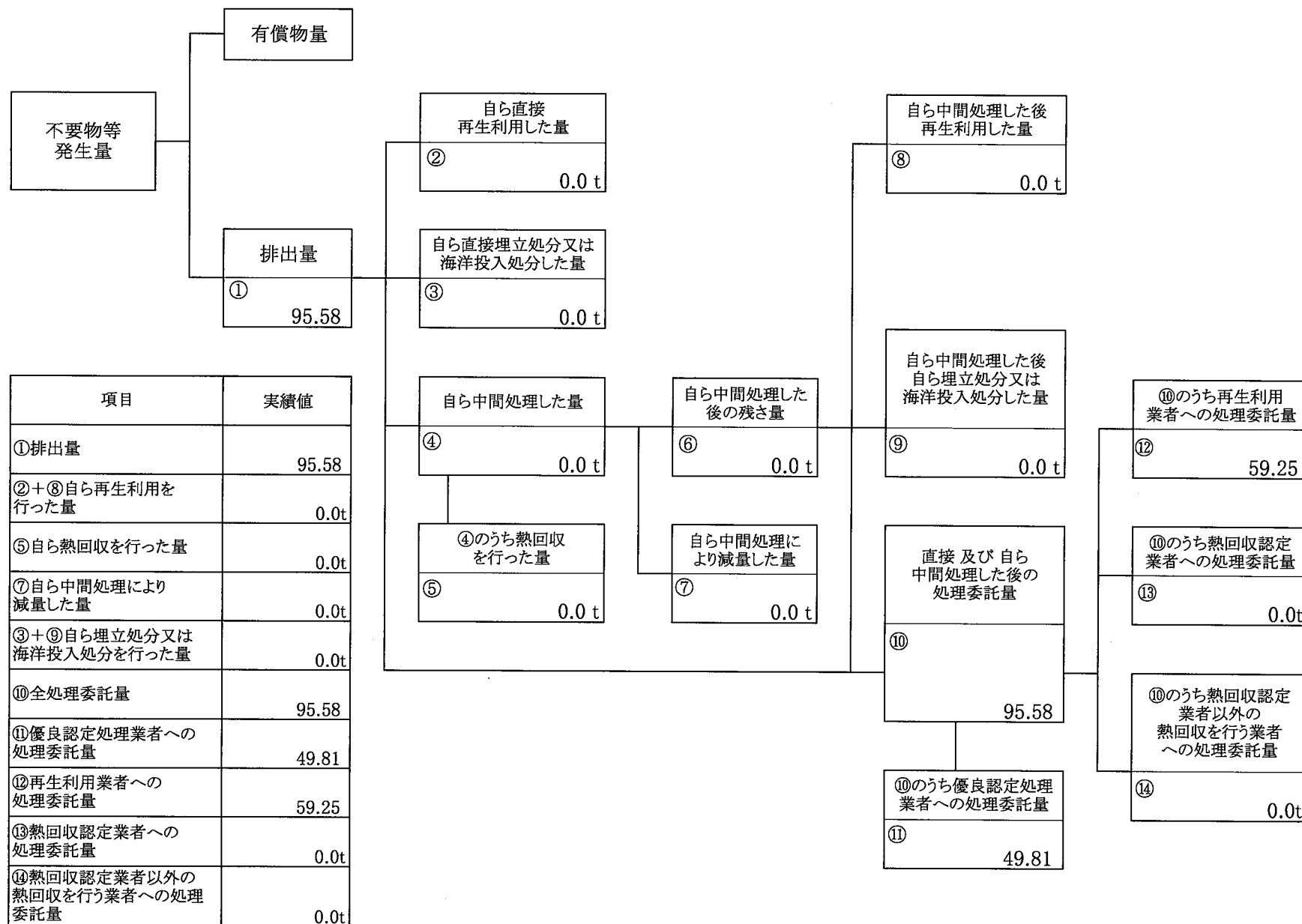
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類

)



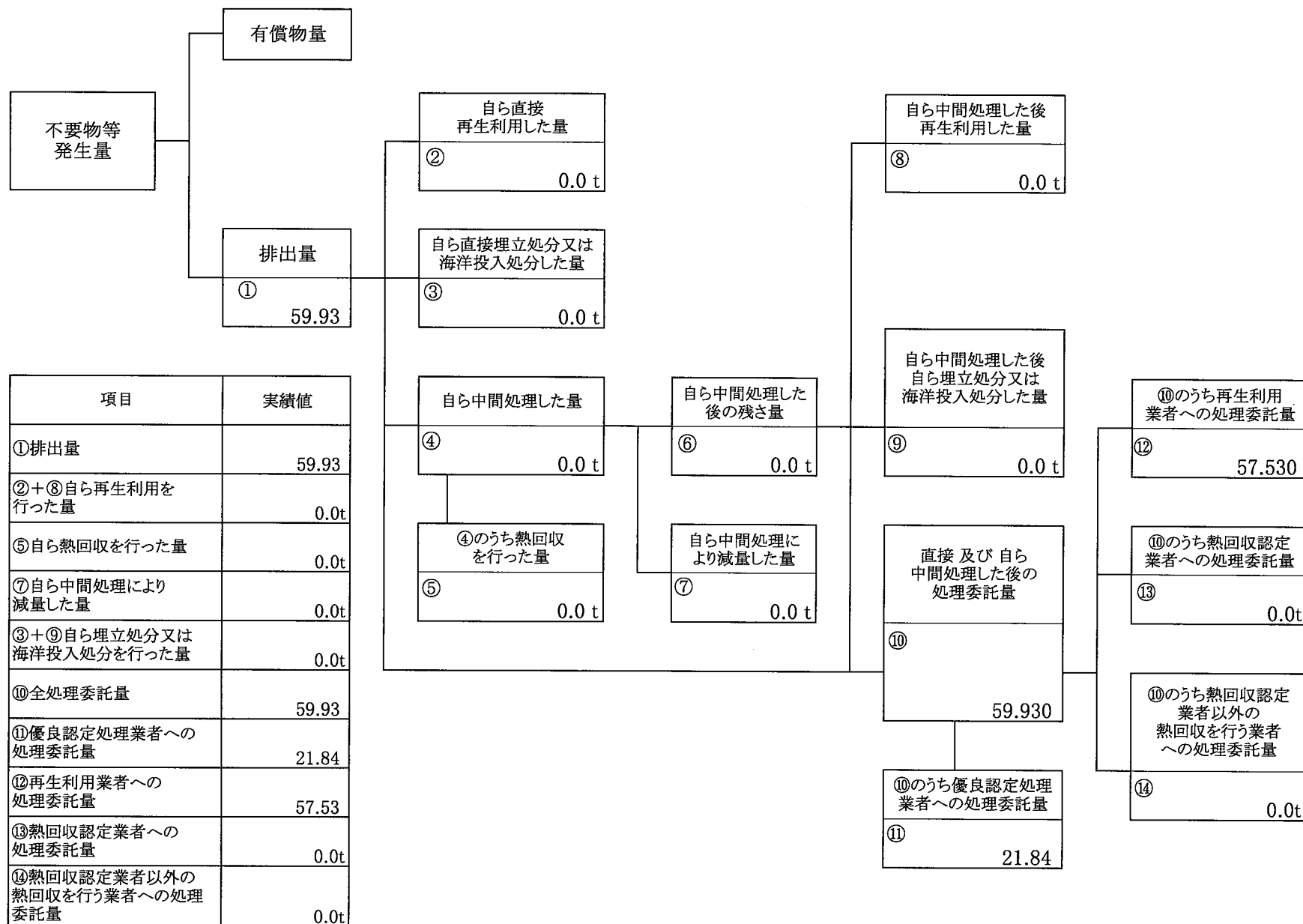
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

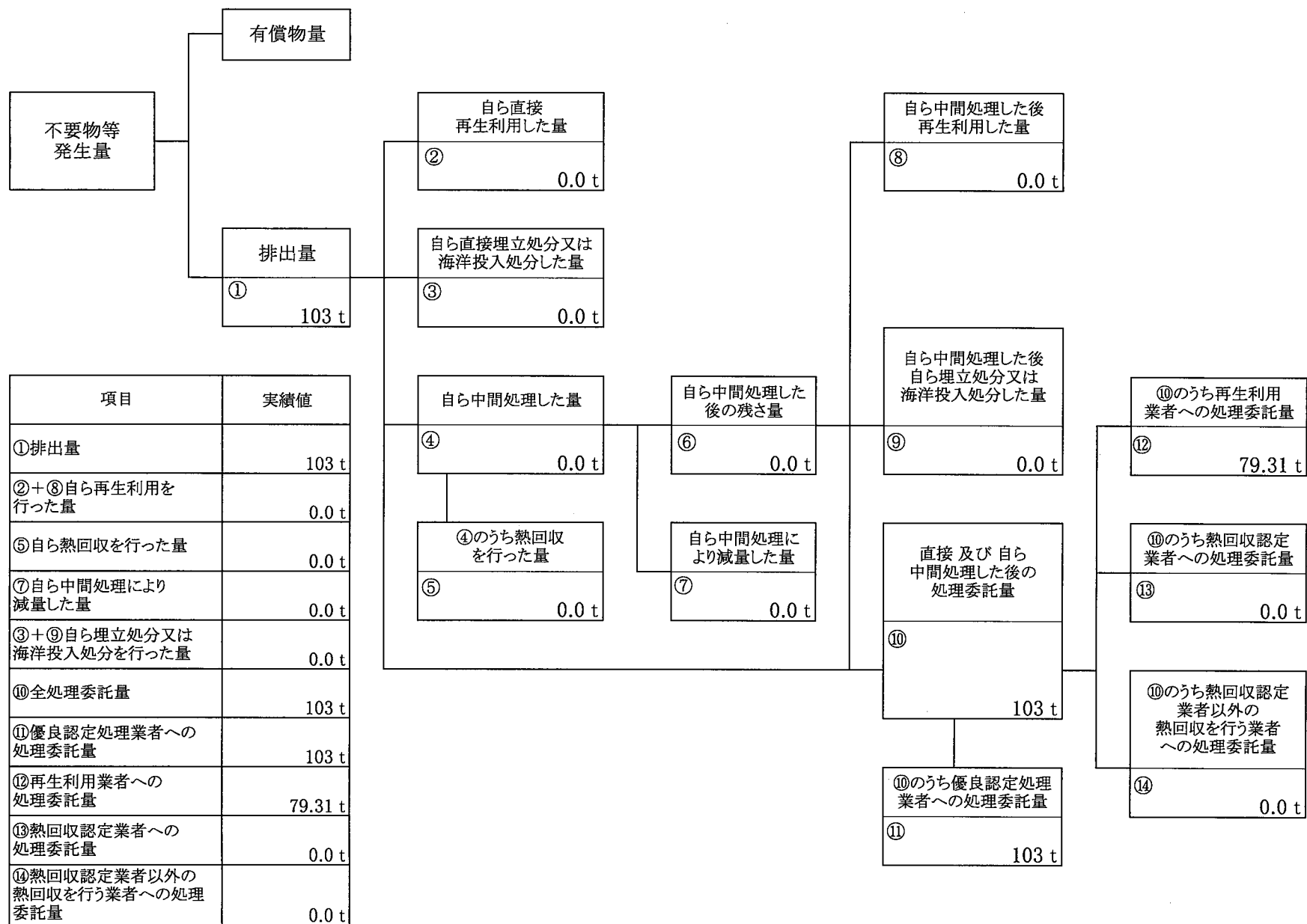
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

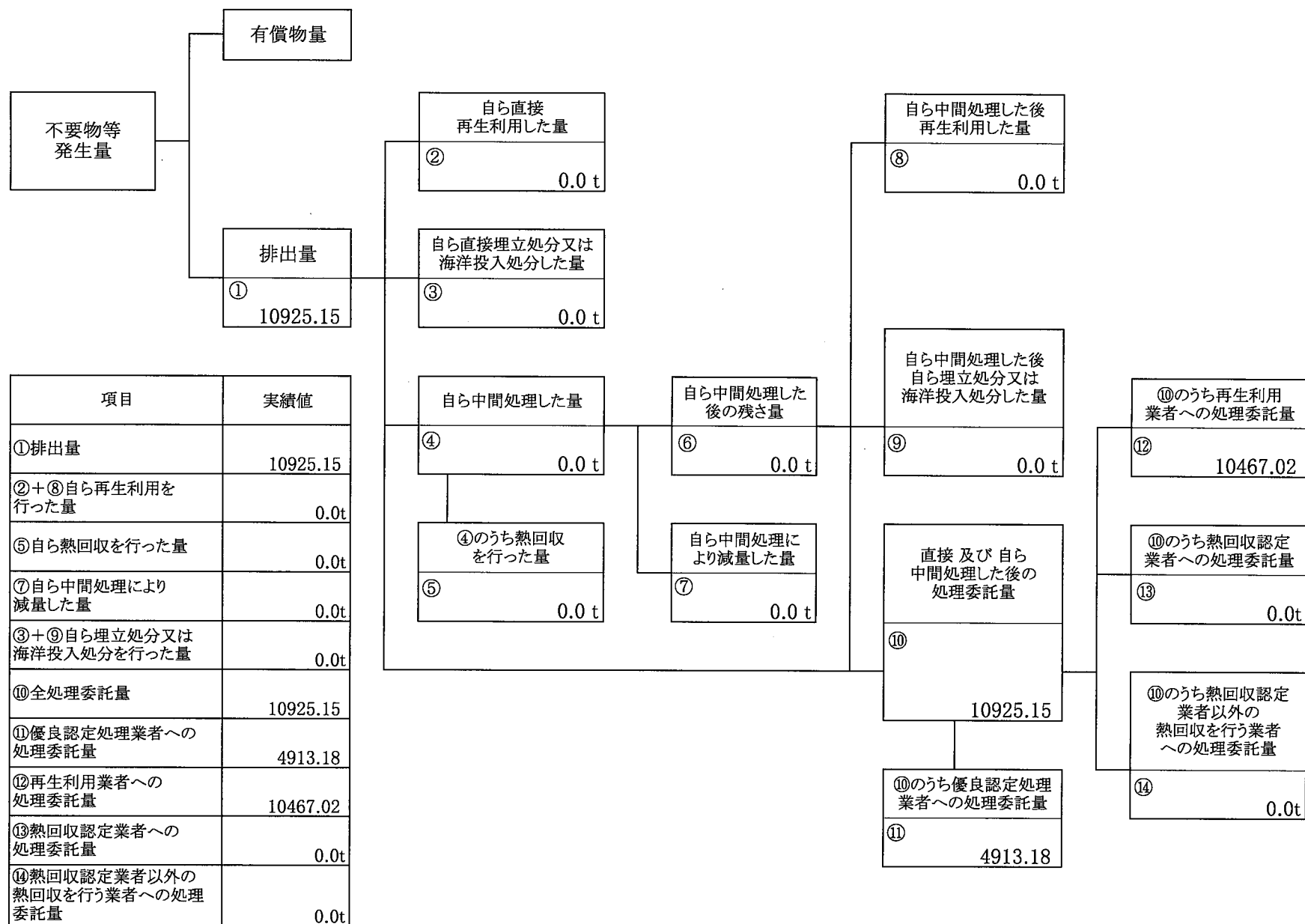


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)



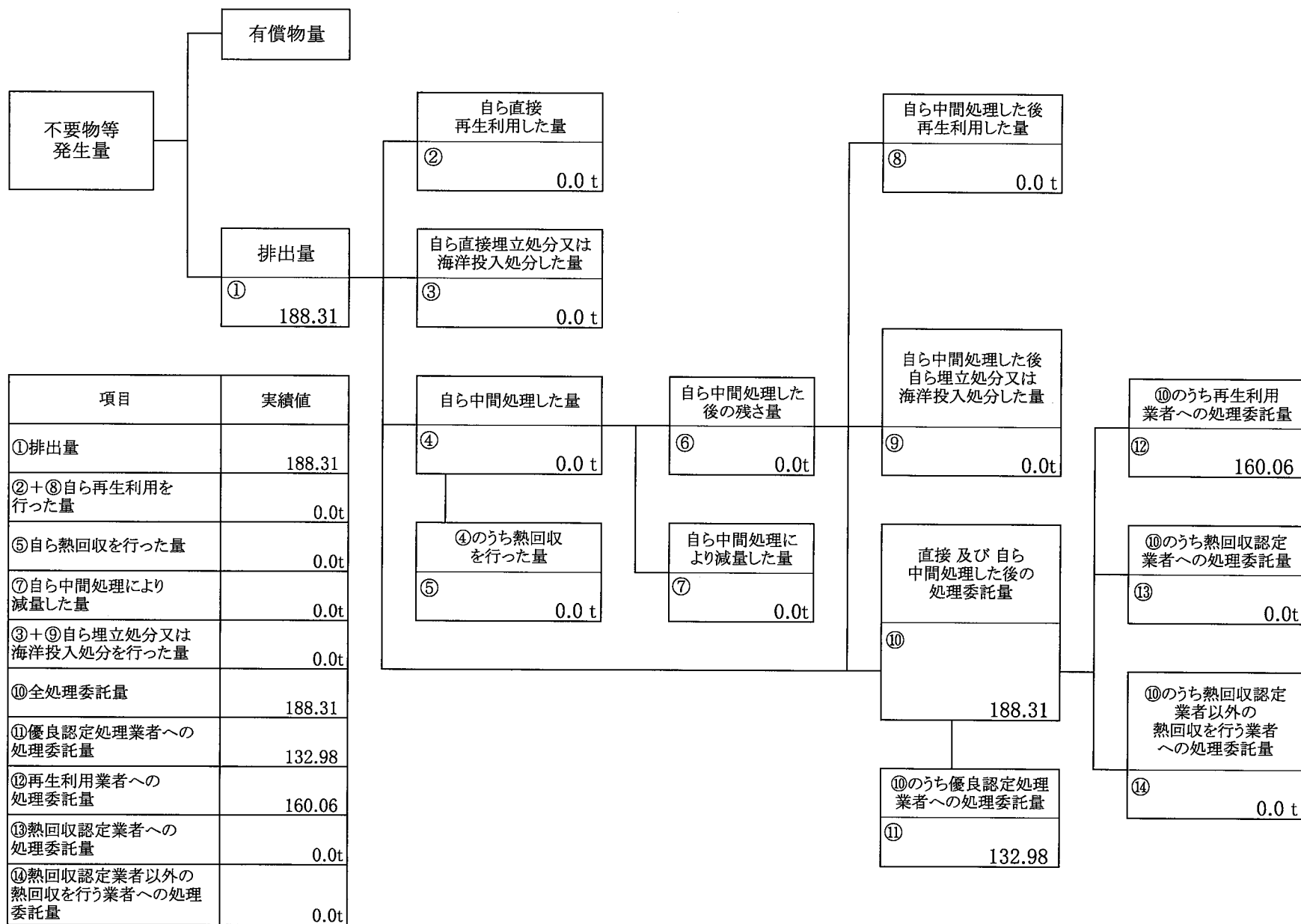
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

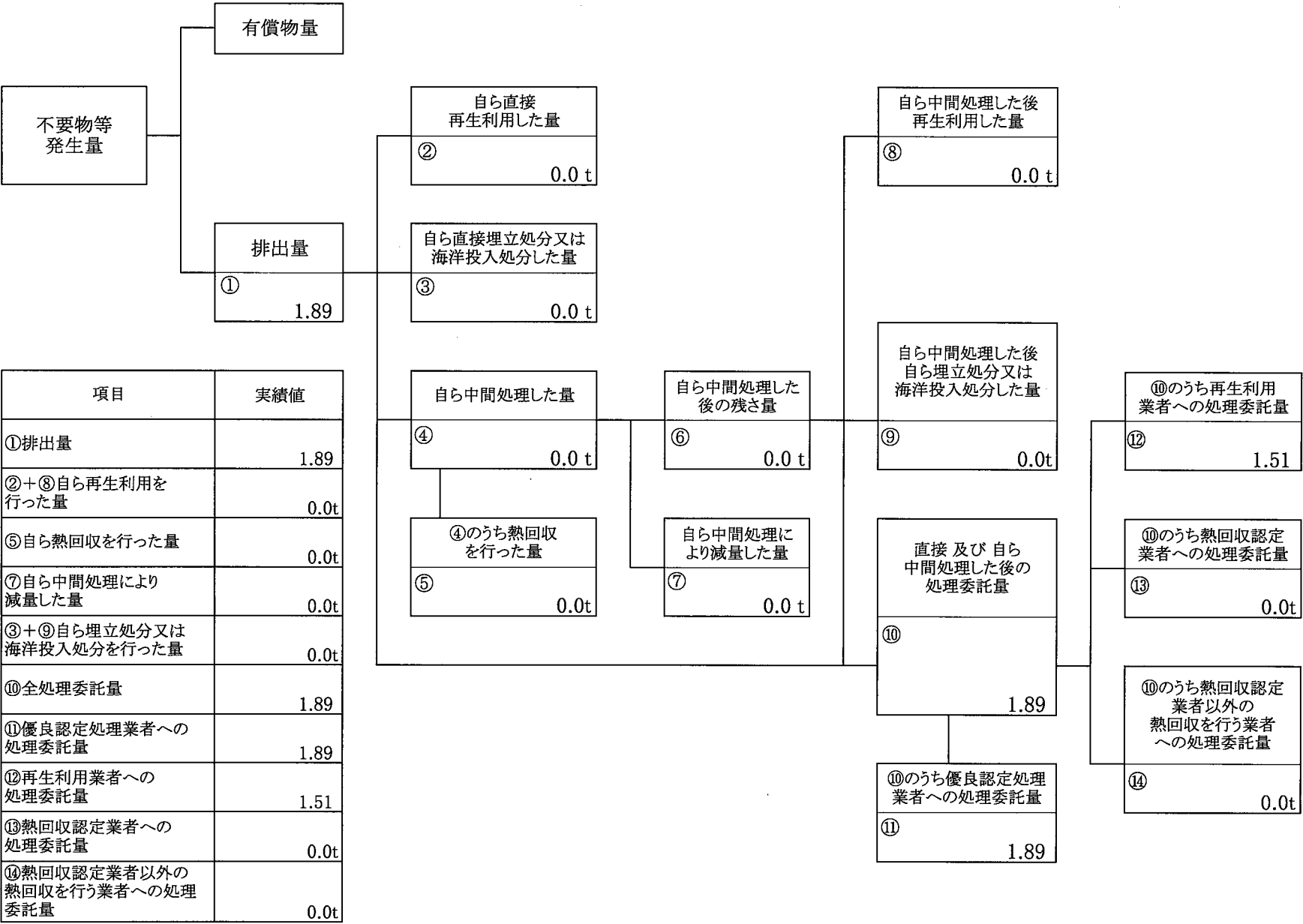


(第2面)

計画の実施状況

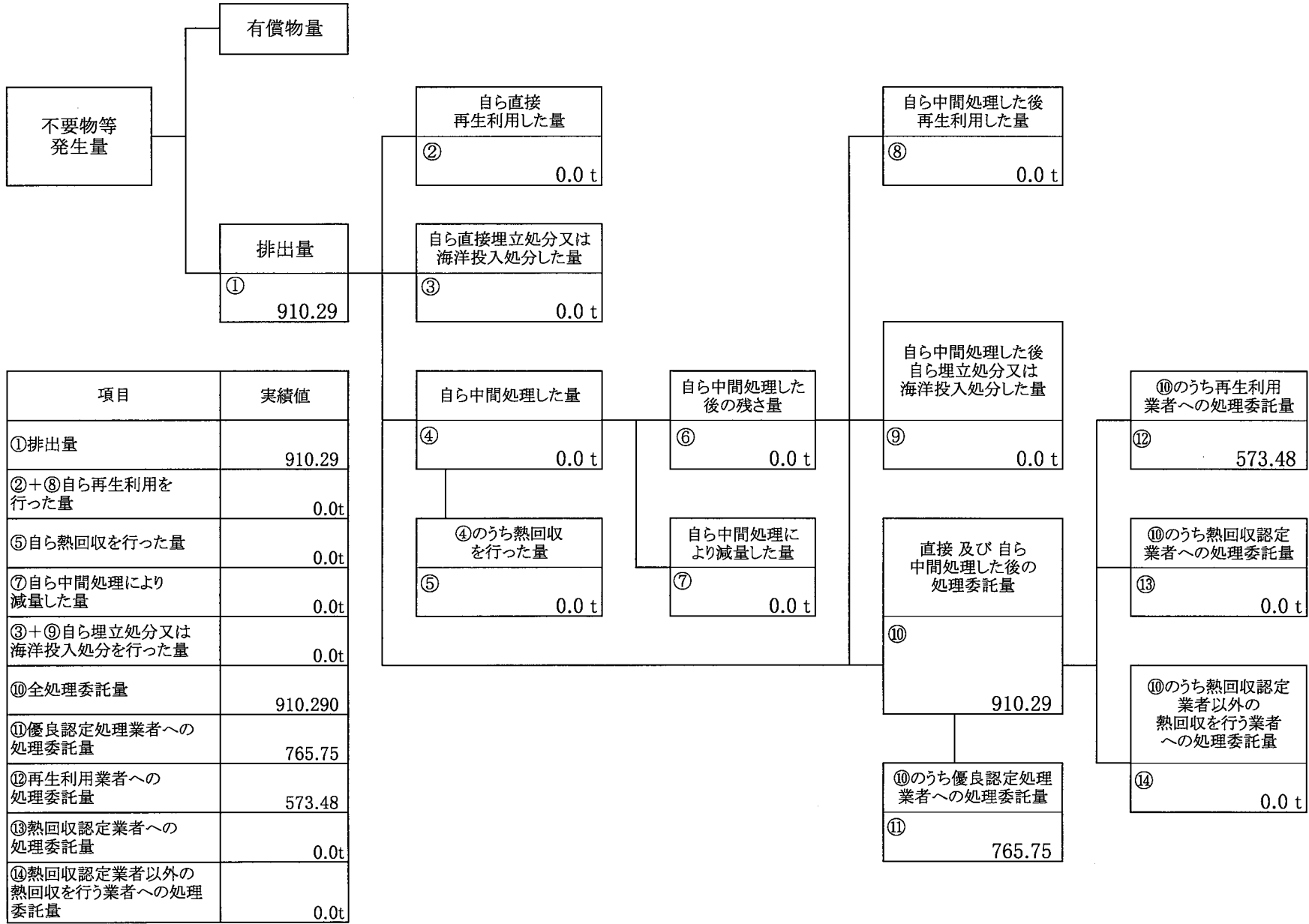
(産業廃棄物の種類: 紙くず)

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

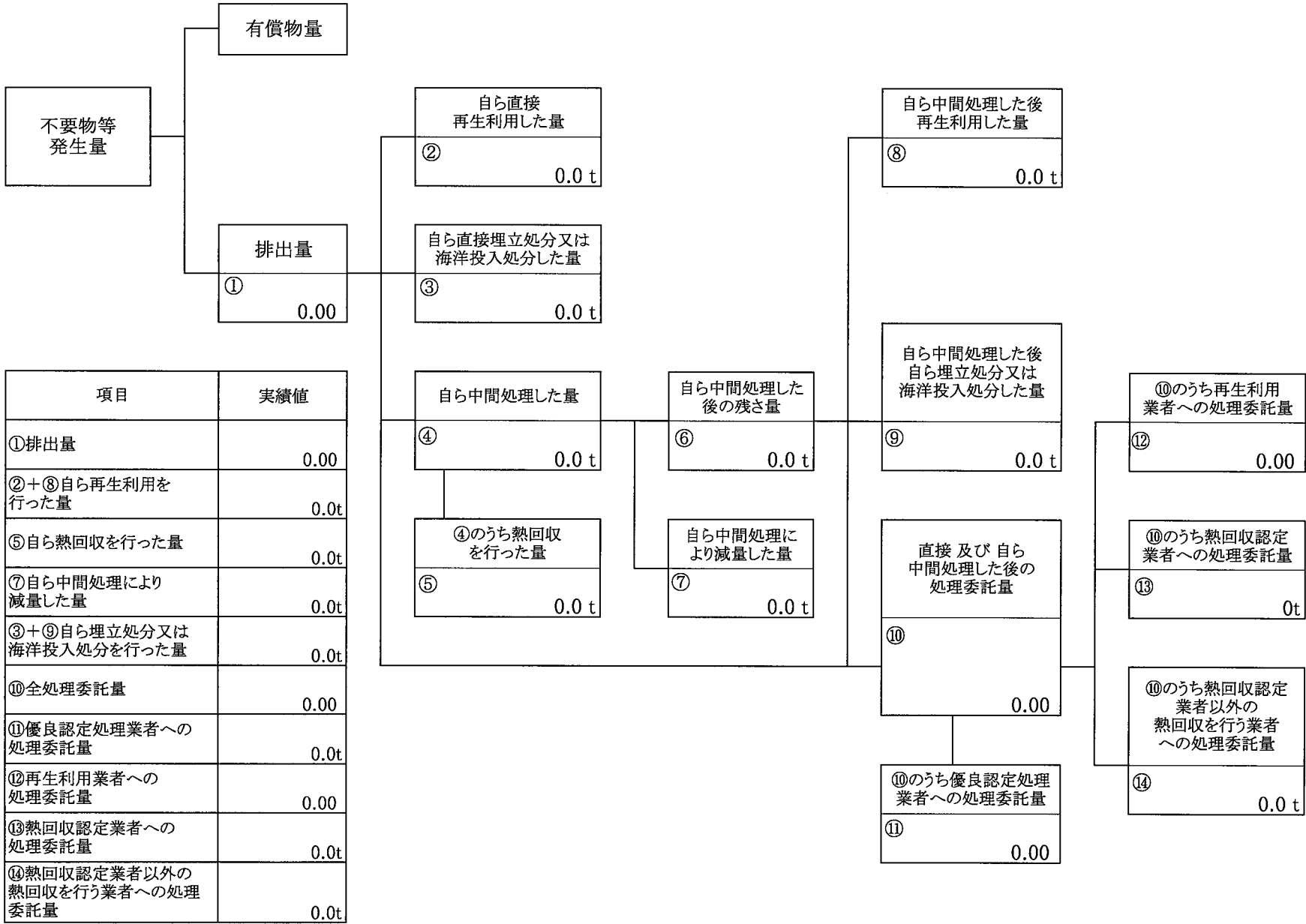


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃機械類

)

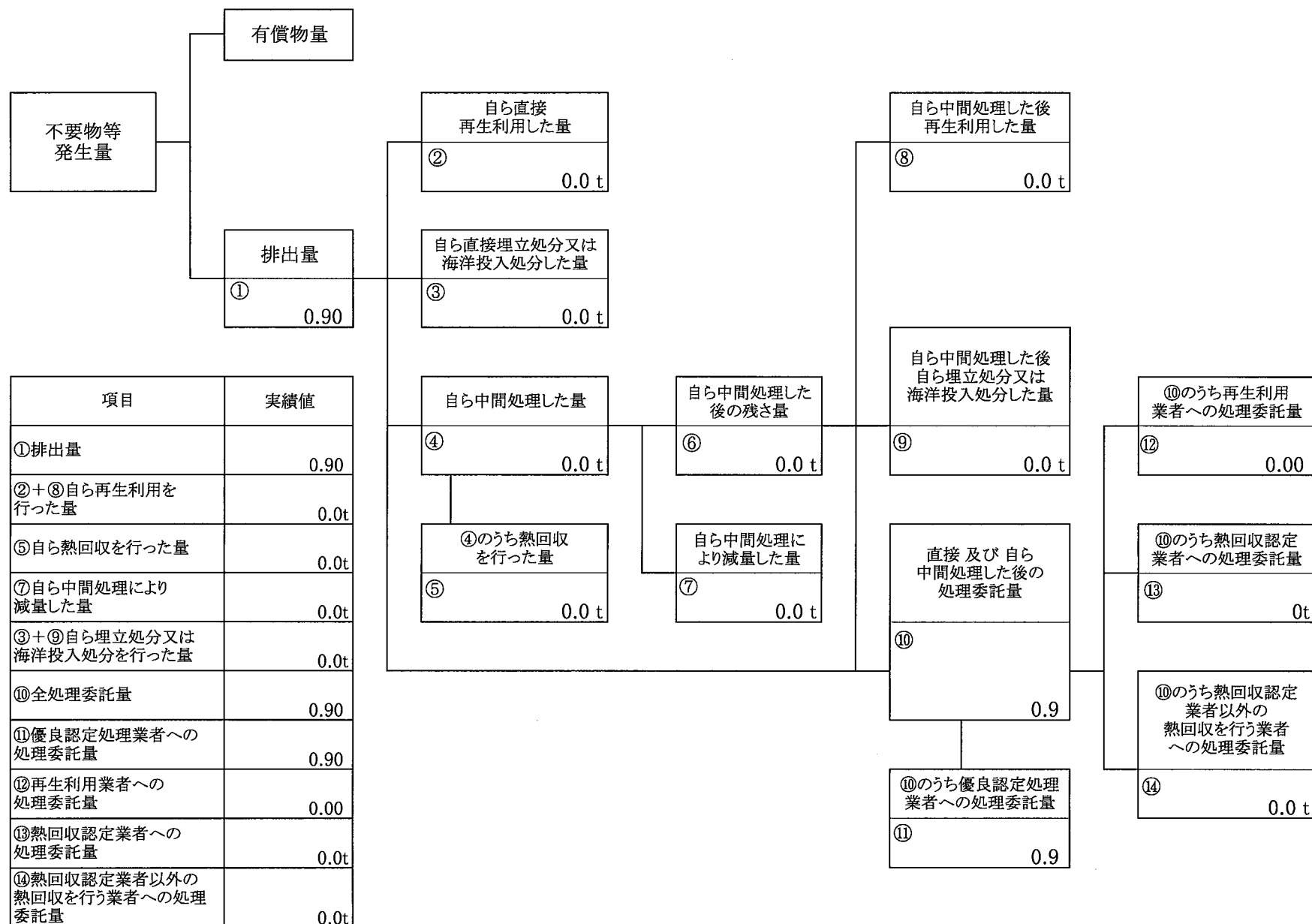


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃電池

)



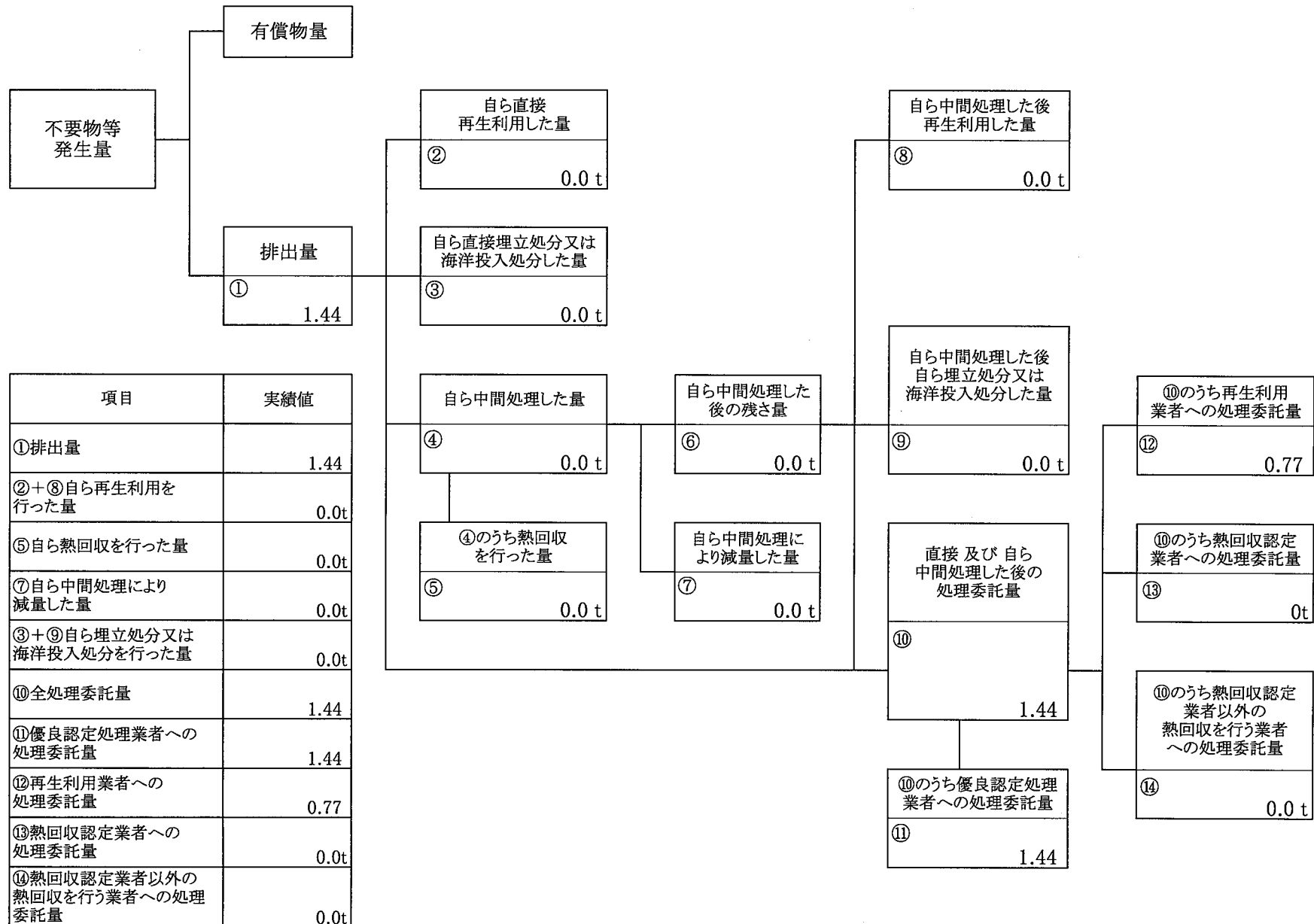
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

繊維くず

)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月19日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 141-0032			
住所 東京都品川区大崎1-5-1大崎センタービル			
法人名 日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社 資源・エネルギー事業部長			
代表者 曾我部 徳久			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-6865-6810			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社 資源・エネルギー事業部 千葉県管内工事事務所		
事業場の所在地	千葉県市原市姉崎1053-6		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	63.5 t	全処理委託量	63.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	63.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリート破片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	17.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート破片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	3.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥(泥状のもの))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	8.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

①排出量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量				
			③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	0.0 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t		0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩全処理委託量	0.0 t				
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 3月 1日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒160-0023	
住 所 東京都新宿区西新宿7-7-30	
氏 名 日東工営株式会社 東京支店	
取締役執行役員 岡田 譲	
電話番号 03-3366-3361	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日東工営株式会社
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿7-7-30
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 10,173,967千円
③ 従業員数	117人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物処理は100%、外部委託です。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

日東工営（株）本社	⇒	東京支店	⇒	工事部	⇒	産廃事務担当	⇒	現場所長	⇒	現場産廃担当者
-----------	---	------	---	-----	---	--------	---	------	---	---------

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	2 t	721 t
	(これまでに実施した取組) 主に産廃優良企業に出してきました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	10 t	350 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 優良企業と一緒に分別、リサイクルに努める
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	2t	721t
	優良認定処理業者への処理委託量	2t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	721t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	優良企業に出してきました。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	10t	350t
	優良認定処理業者への処理委託量	10t	200t
	再生利用業者への処理委託量	t	150t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	次年度以降も引き続き、産廃業者は「優良」企業へ出していく。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
		排出量	26 t	14.5 t	139.3 t	6 t	259 t	38.5 t	33.5 t	56.5 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	・コンクリート・	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
		排出量	15 t	10 t	100 t	5 t	150 t	30 t	20 t	5 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	・コンクリート・	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	・コンクリート・	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	・コンクリート・	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	・コンクリート・	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	・コンクリート・	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	・コンクリート・	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	・コンクリート・	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	26 t	14.5 t	139.3 t	6 t	259 t	38.5 t	33.5 t	56.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t	14.5 t	38.8 t	6 t	0 t	8 t	14.5 t	17 t
	再生利用業者への処理委託量	25.5 t	0 t	100.5 t	0 t	259 t	30.5 t	19 t	39.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	・コンクリート・	紙くず	その他混廃	金属くず	建設汚泥	石膏ボード	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	15 t	10 t	100 t	5 t	150 t	30 t	20 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	15 t	10 t	100 t	5 t	150 t	30 t	20 t	5 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 3月 1日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒160-0023
住 所 東京都新宿区西新宿7-7-30
氏 名 日東工営株式会社 東京支店
取締役執行役員 岡田 譲
電話番号 03-3366-3361

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日東工営株式会社
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿7-7-30
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

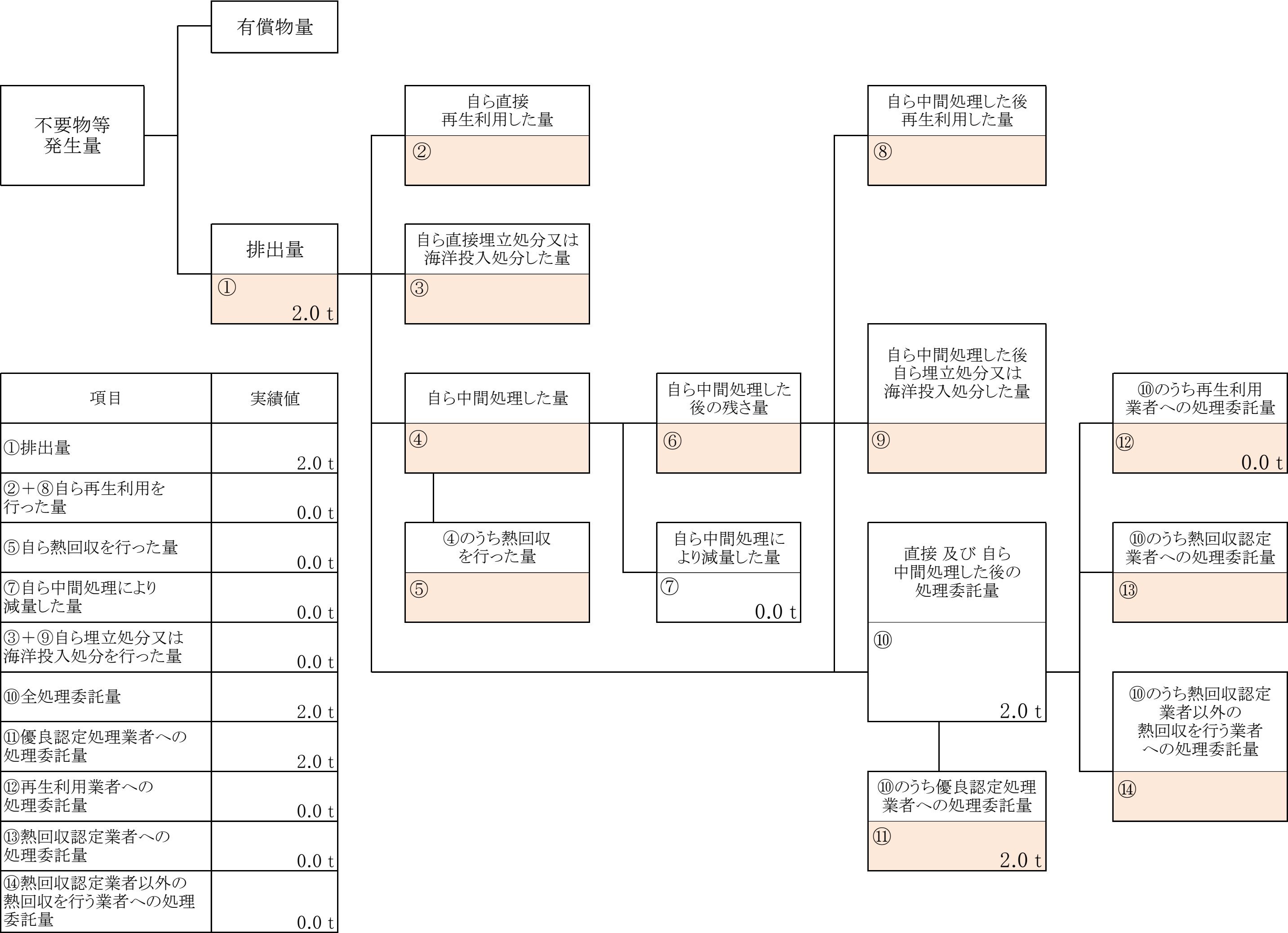
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	830.1 t	全処理委託量	830.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	524.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	305.3 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

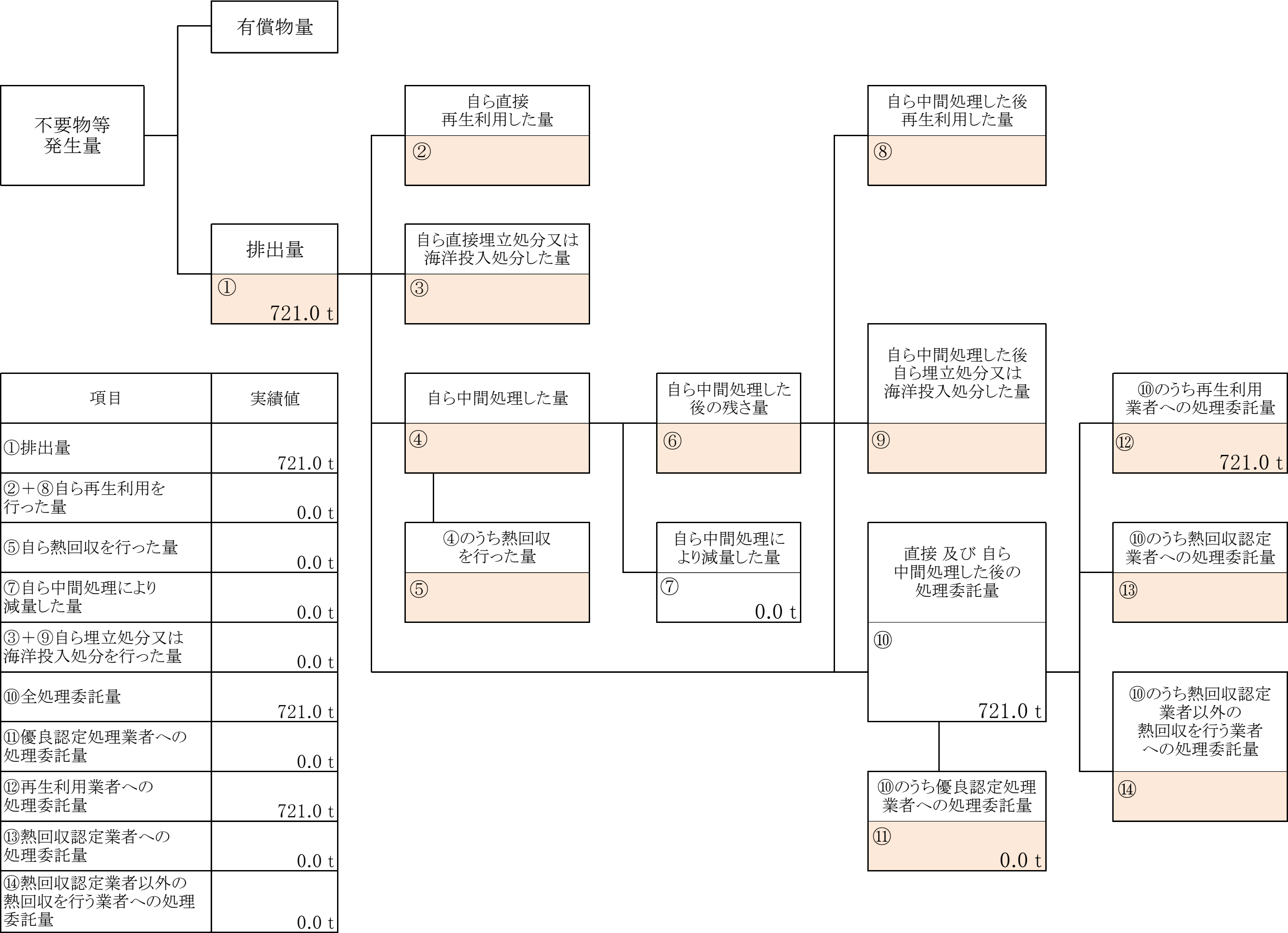
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



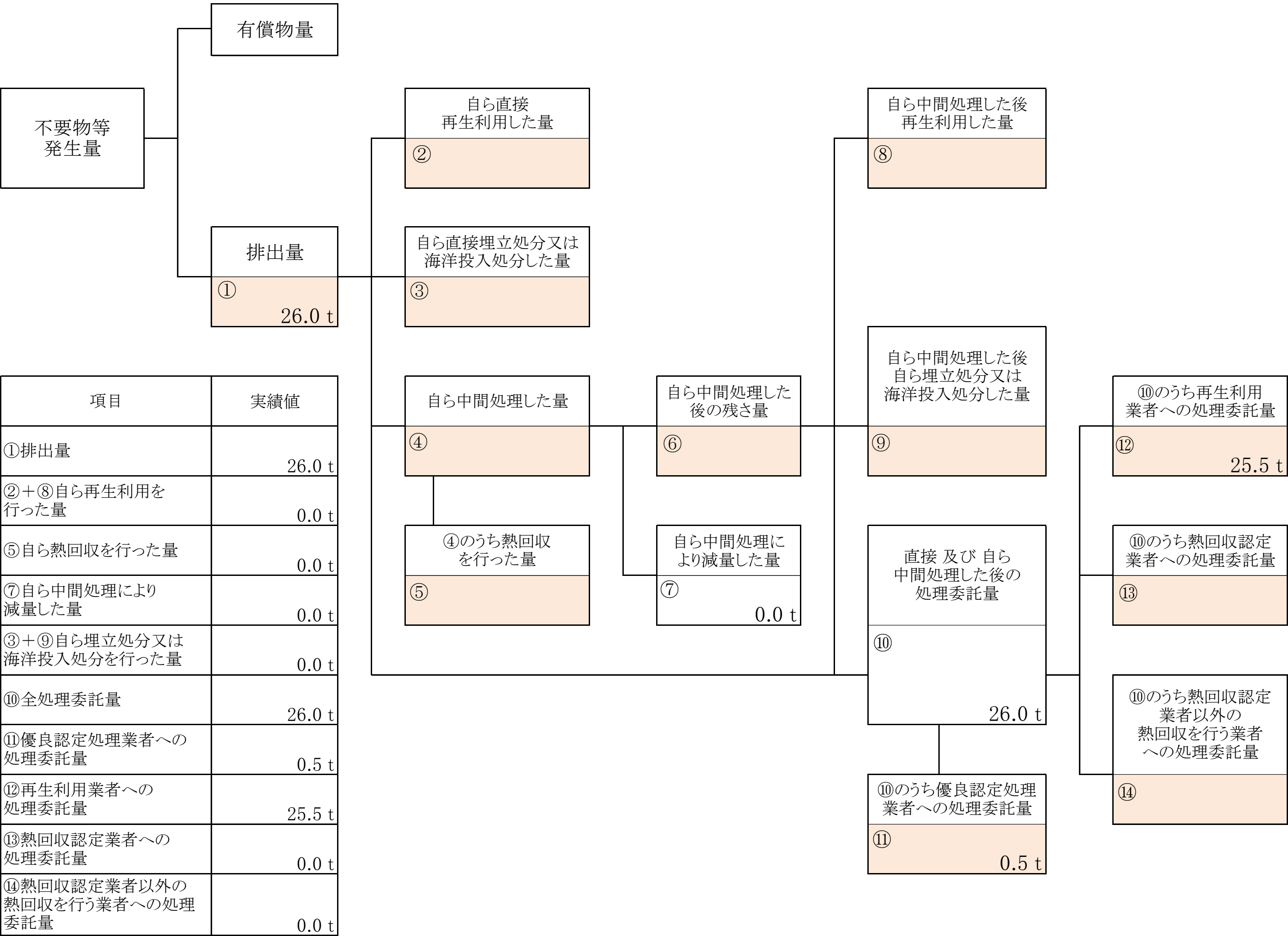
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



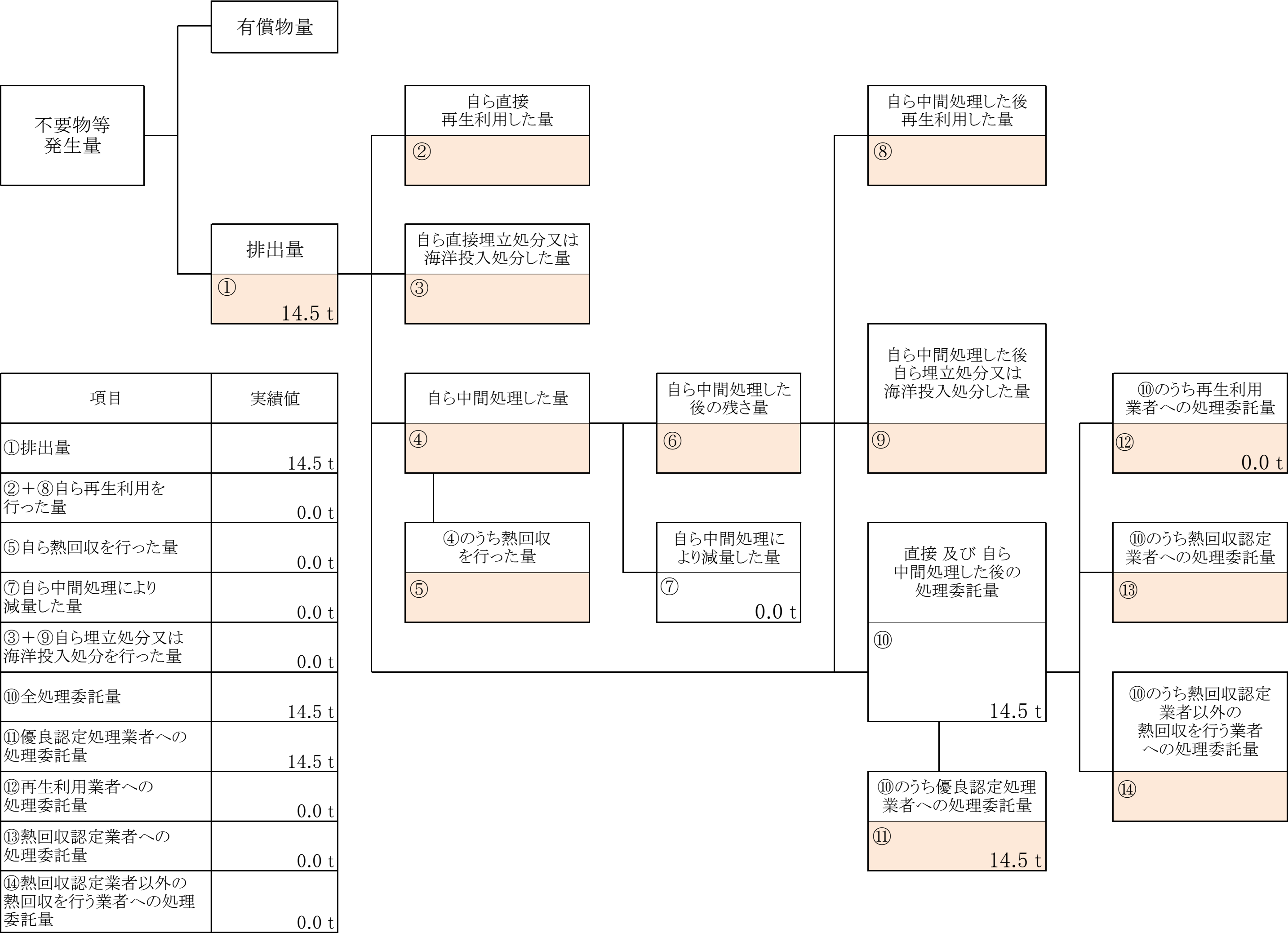
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



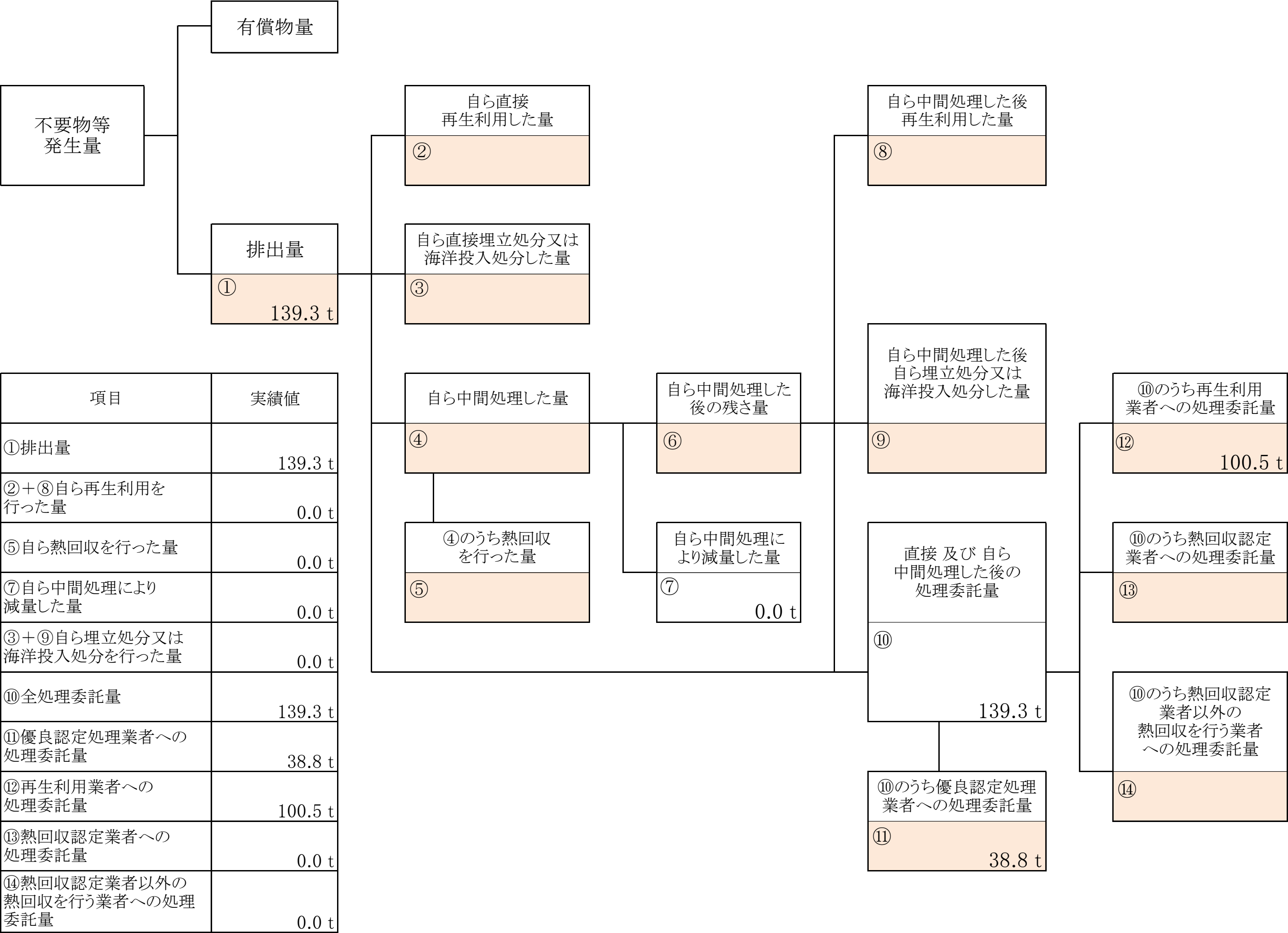
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



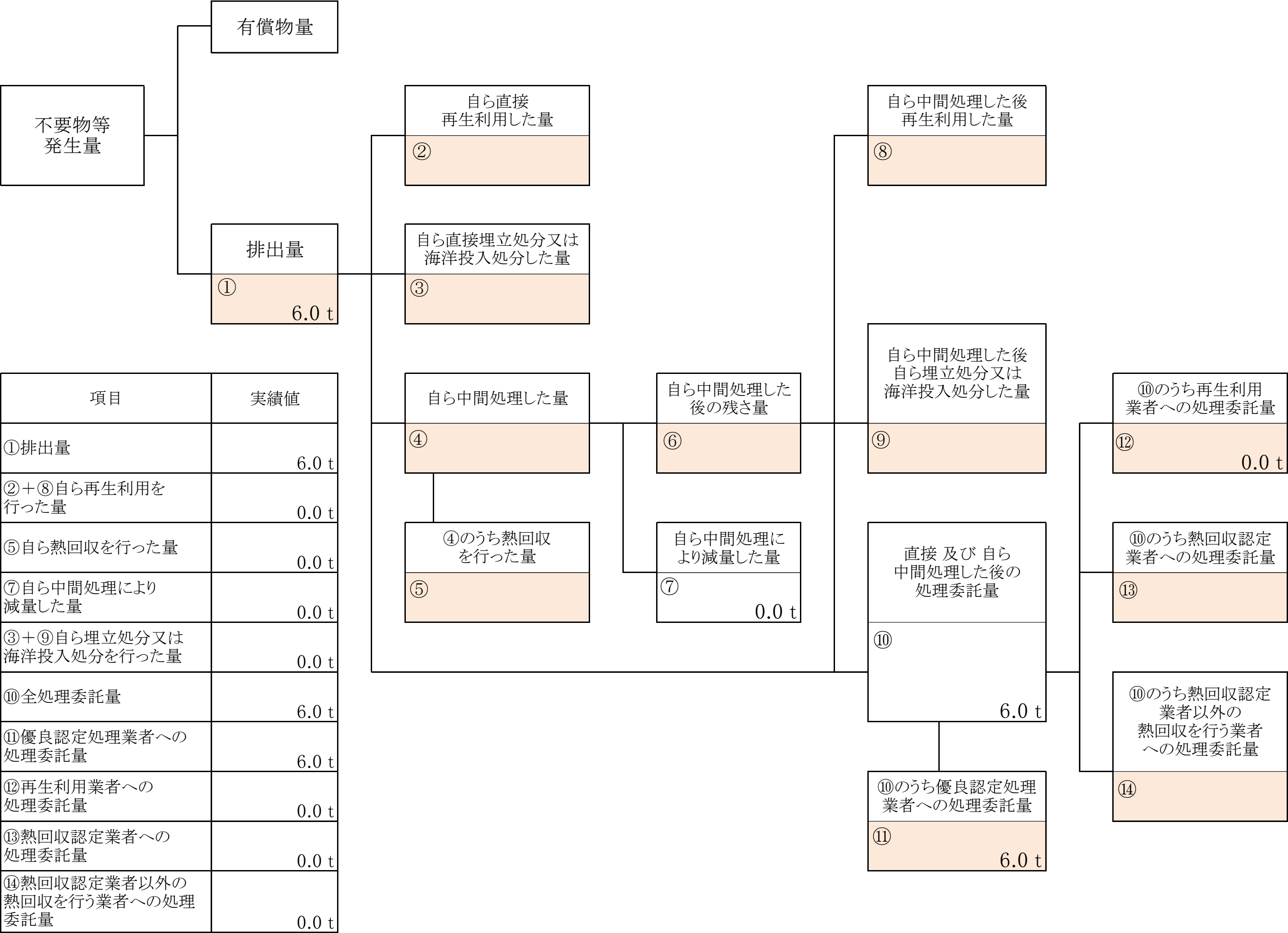
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他混合廃棄物)



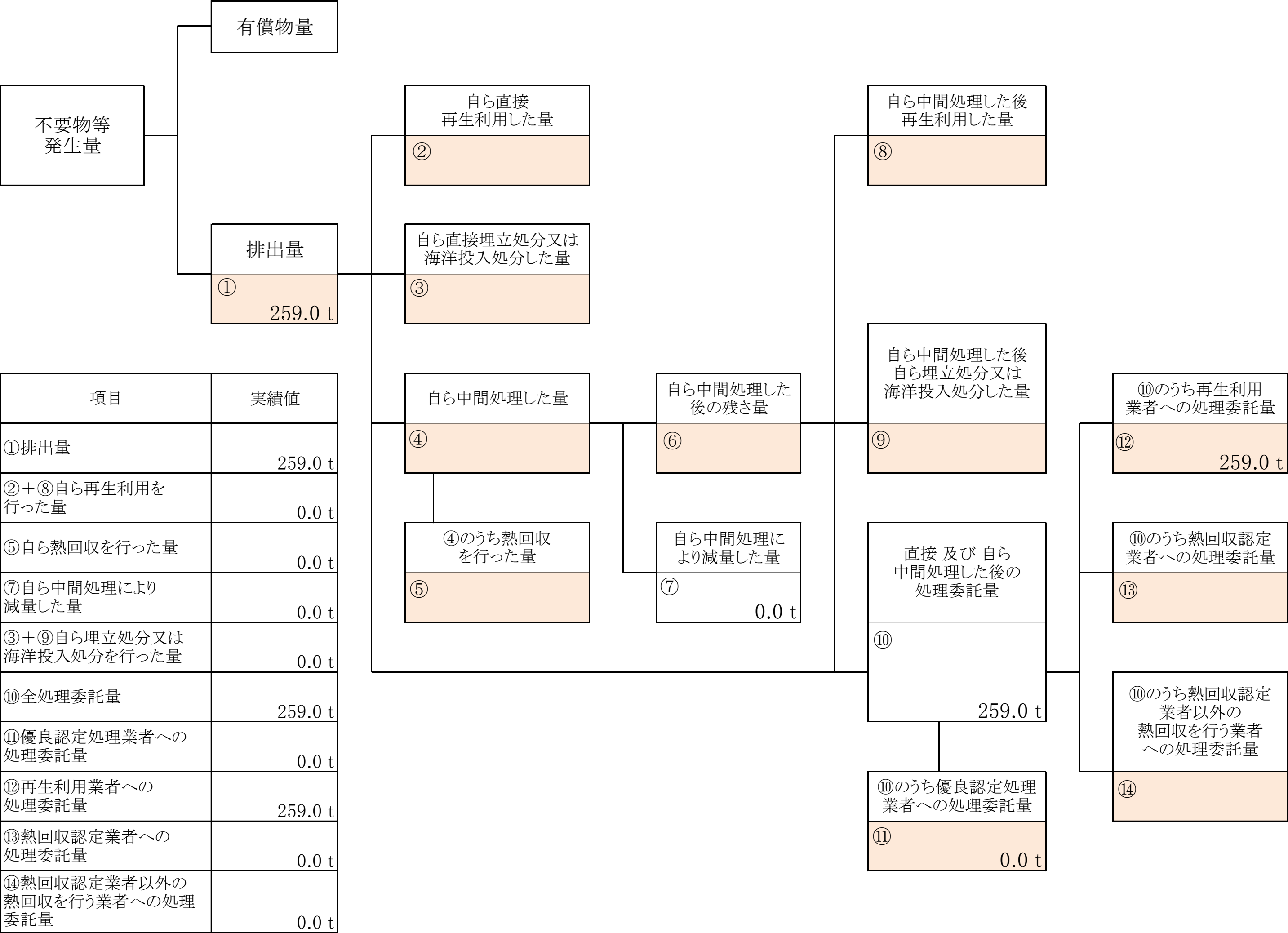
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



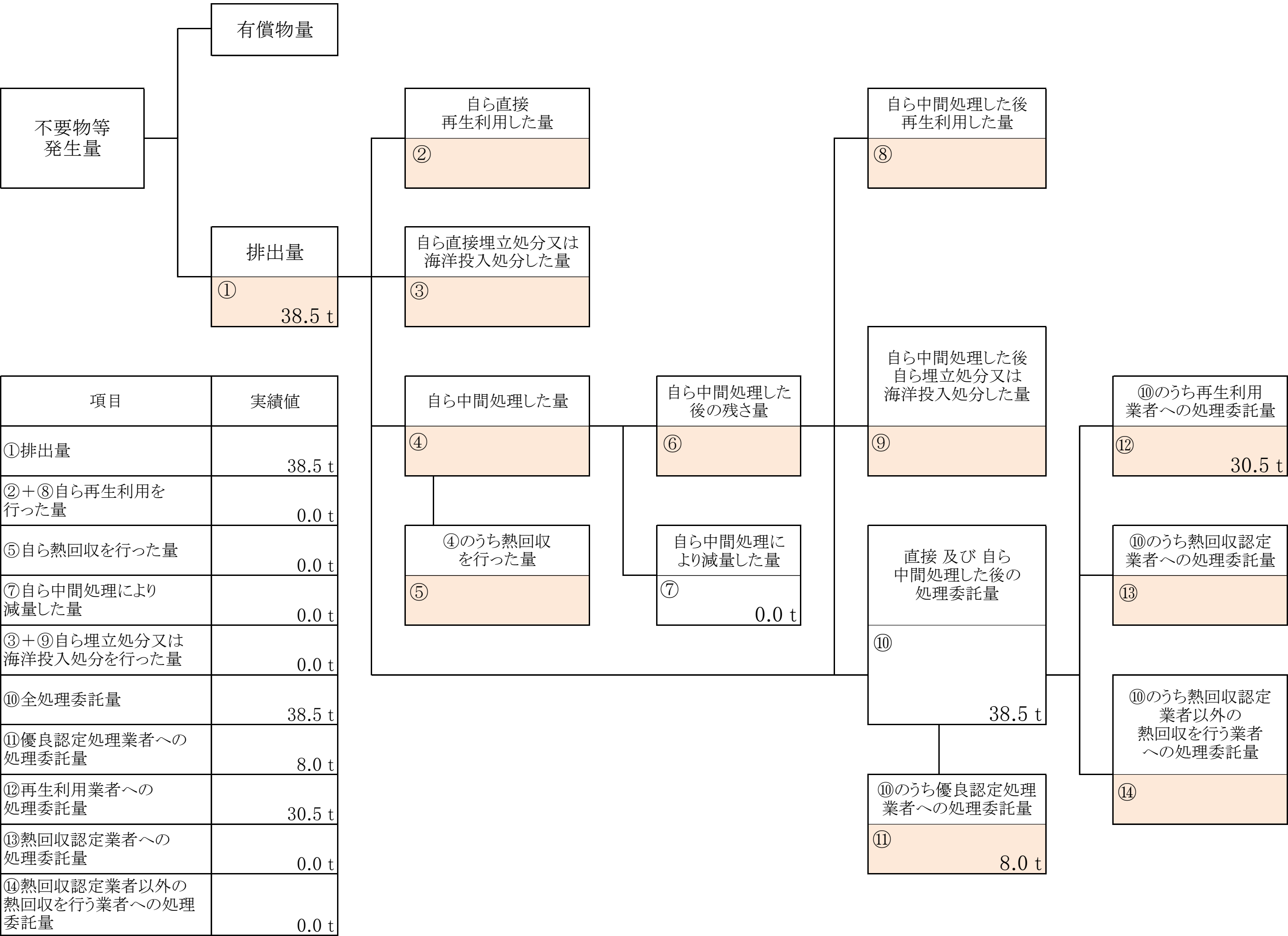
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)



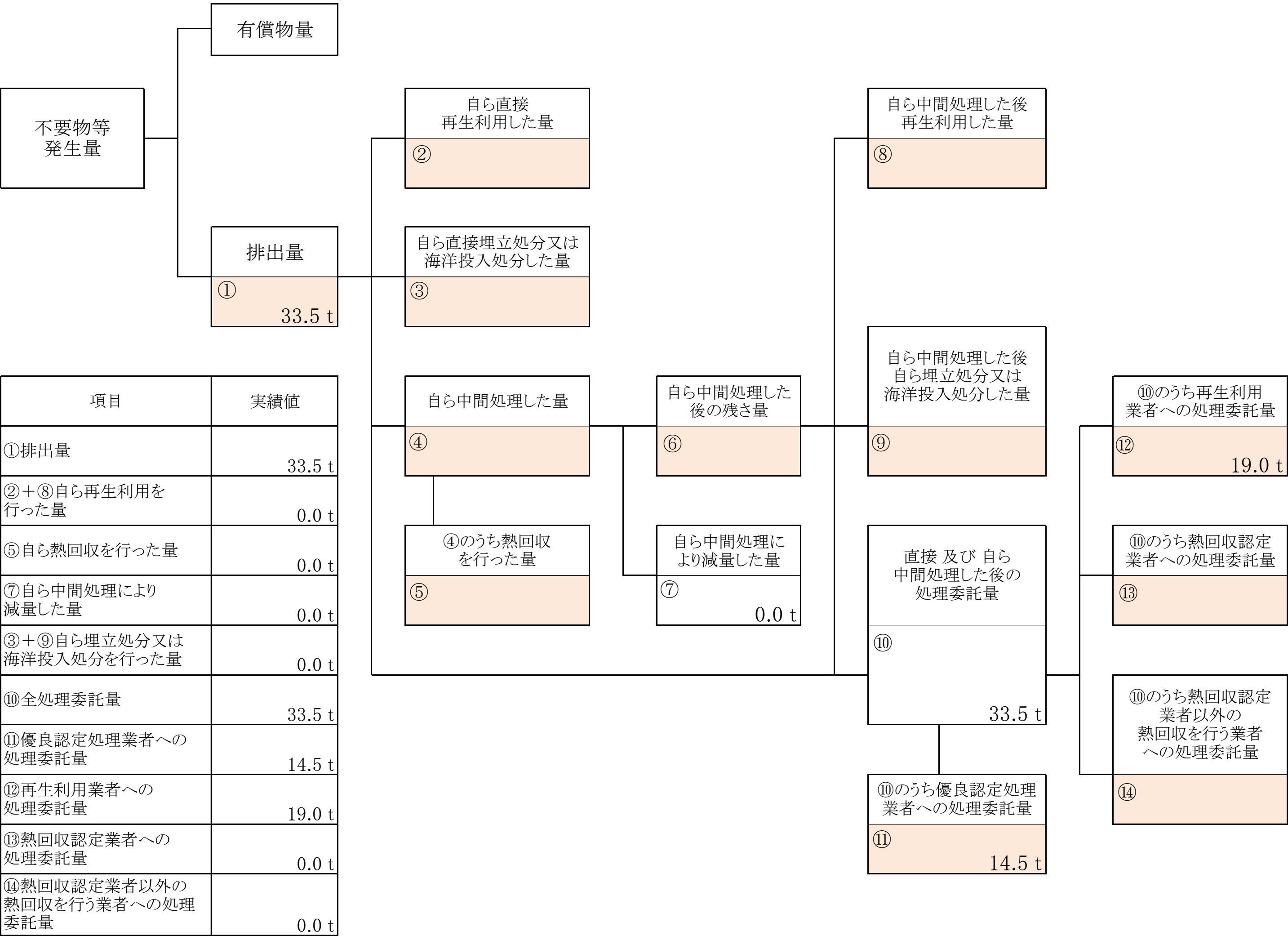
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石膏ボード)



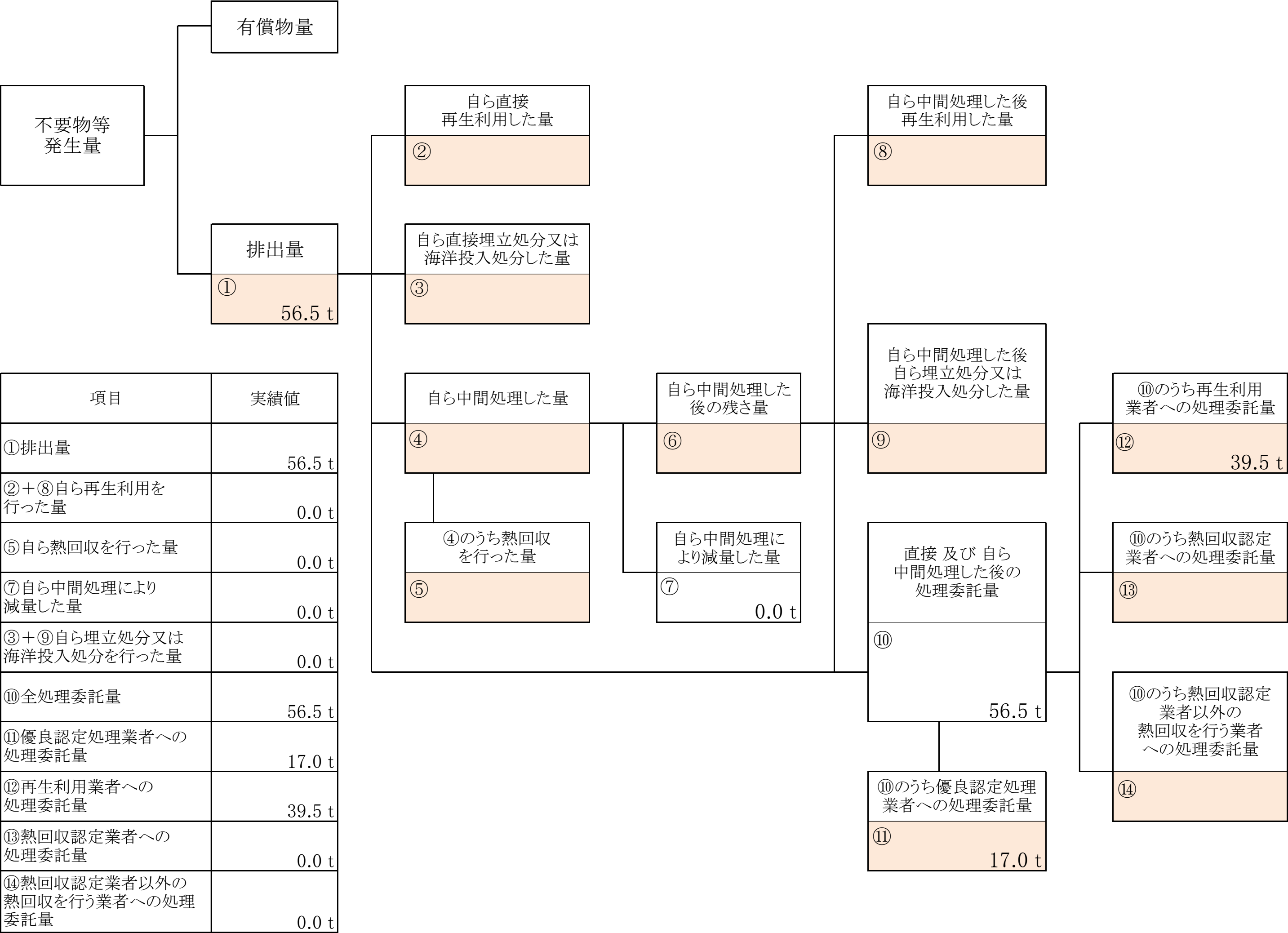
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月25日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 110-0014			
住所 東京都台東区北上野2-23-5 住友不動産上野ビル2号館			
法人名 株式会社NIPPO 関東建築支店			
代表者 中谷 一雄			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-4582-1050			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社NIPPO 関東建築支店		
事業場の所在地	東京都台東区北上野2-23-5 住友不動産上野ビル2号館		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,888.32 t	全処理委託量	1,888.32 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,235.93 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	836.19 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	3.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

3.0t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

3.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

3.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

3.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	3.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	12.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

6.5t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

6.5 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

6.5 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

6.5 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0.0 t

項目	実績値
①排出量	6.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	315.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	315.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	315.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	33.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	33.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

その他がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	38.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	38.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	38.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(安定型))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	6.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	6.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	3.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

水銀使用製品

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	10.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月21日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー20F

氏 名 株式会社NIPPO 関東第一支店

支店長 高 橋 誠 治

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5323-3671

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	株式会社NIPPO 関東第一支店
事 業 場 の 所 在 地	東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー20F
計 画 期 間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	大分類:D建設業 06総合工事業 業種名:063舗装工事業
②事 業 の 規 模	100億円
③従 業 員 数	370名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 発生した廃棄物は現場にて極力分別して、混合廃棄物としての排出量を低減する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 発生した廃棄物は現場にて極力分別して、混合廃棄物としての排出量を低減する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 木くず・廃プラ・紙くず・金属くず・混合に分類
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 取り組みを継続していく

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 実績はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 現時点で予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 100%再生骨材・再生路盤材としている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 現状を維持していく。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 実績はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 現時点で予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

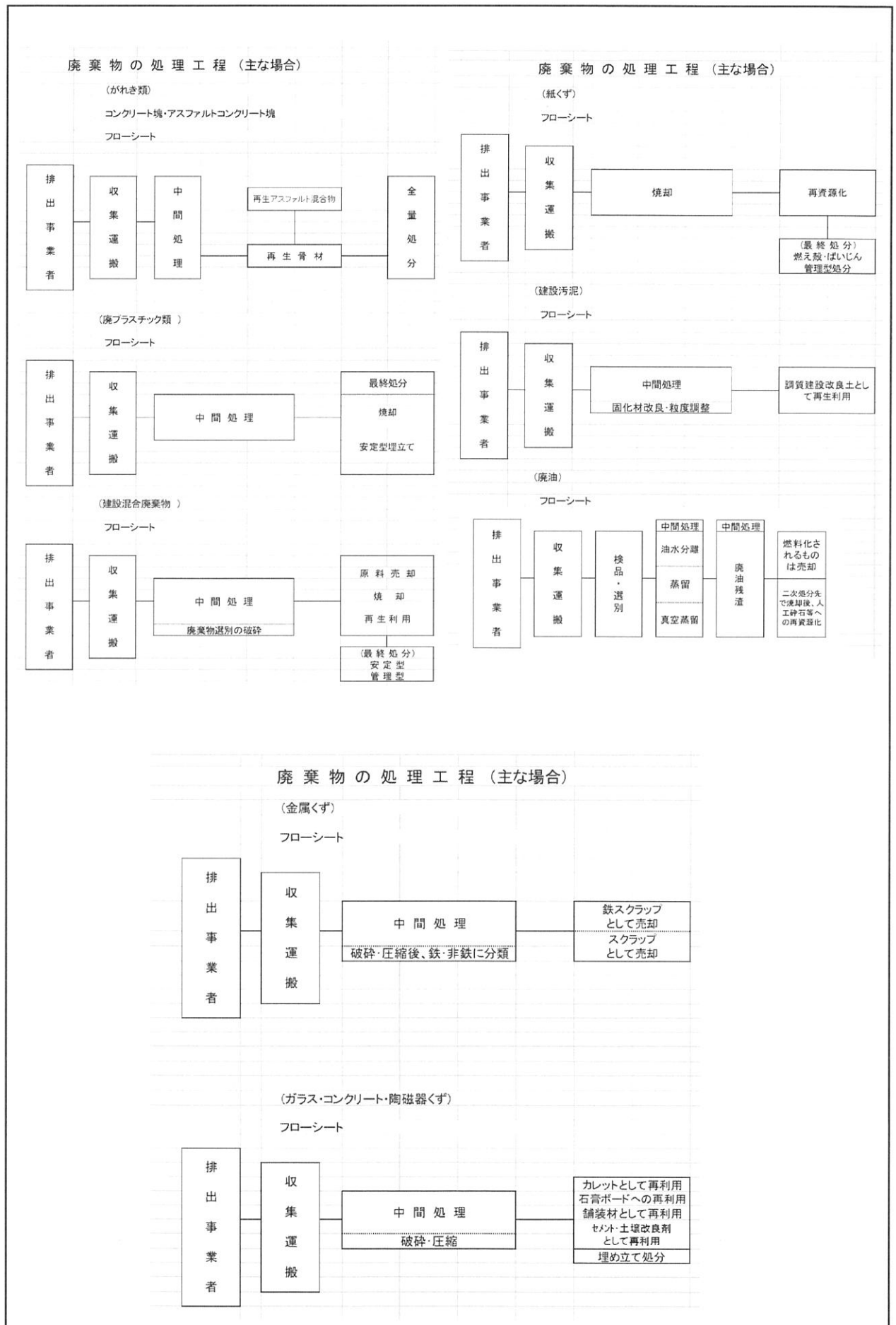
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託処理業者の調査を行い、問題のない優良業者を選定し、委託契約を締結する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の通りに維持していく。定期的に委託業者の処理状況を確認する。		
※事務処理欄			

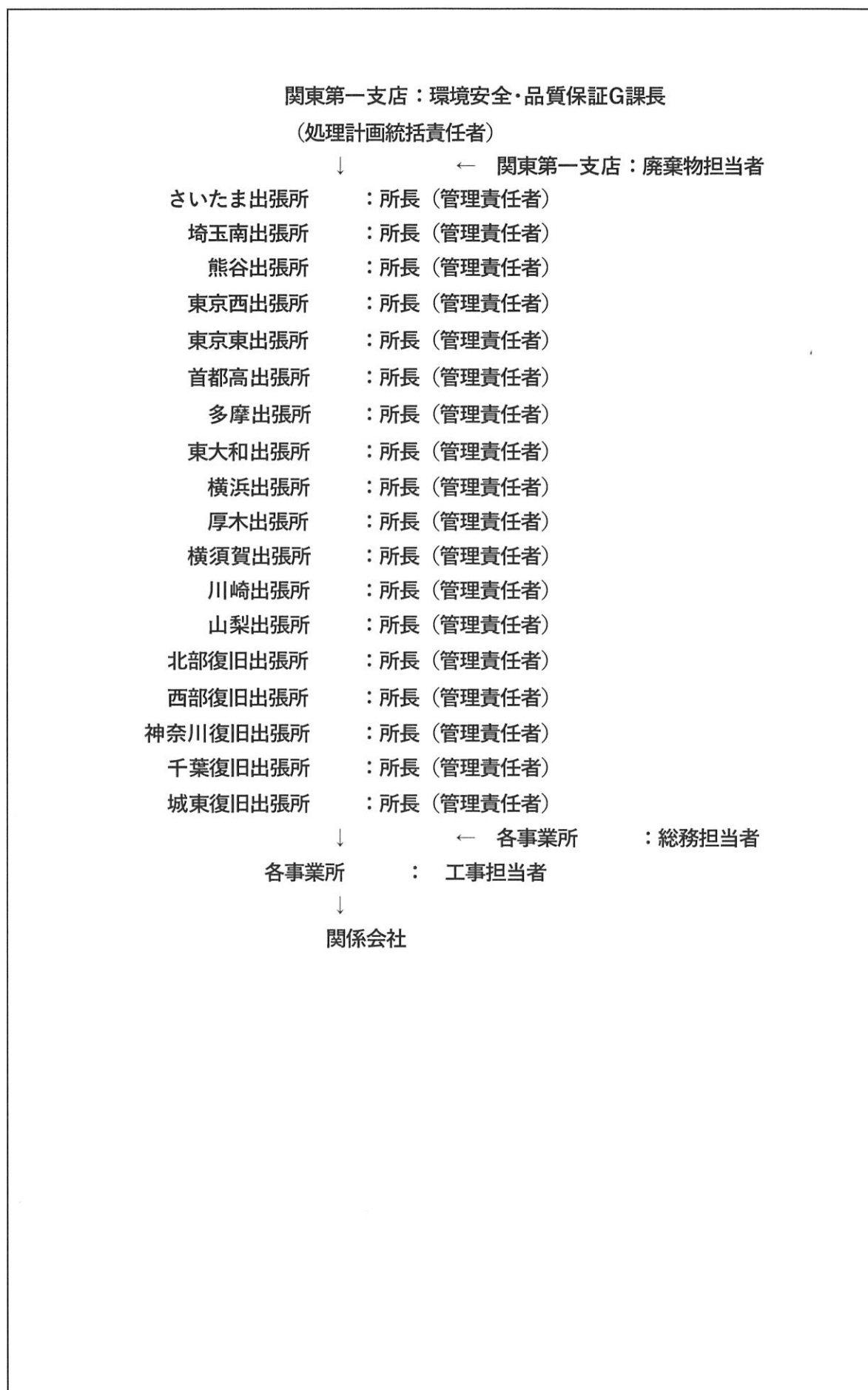
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図



別添 2 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	排 出 量	4.84 t	93.50 t	2,420.00 t	42.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	排 出 量	4.35 t	84.15 t	2,178.00 t	37.80 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度（令和5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	【前年度（令和5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	全処理委託量	4.84 t	93.50 t	2,420.00 t	42.00 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	全処理委託量	4.35 t	84.15 t	2,178.00 t	37.80 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月21日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー20F

氏 名 株式会社NIPPO 関東第一支店

支店長 高 橋 誠 治

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5323-3671

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社NIPPO 関東第一支店		
事 業 場 の 所 在 地	東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー20F		
事 業 の 種 類	大分類:D建設業 06総合工事業 業種名:063舗装工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2,384.21 t	全 処 理 委 託 量	2,384.21 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	6.22 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 汚泥)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量 ②	自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した後の残さ量 ⑥	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫
	排出量 ① 4.84	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③	④のうち熱回収を行った量 ⑤	自ら中間処理により 減量した量 ⑦	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬
項目	実績値				直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 4.84	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭
①排出量	4.84					
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00					
⑤自ら熱回収を行った量	0.00					
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00					
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00					
⑩全処理委託量	4.84					
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00					
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00					
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00					

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類コンクリート片)				(単位: トン)																							
不要物等発生量 有償物量		自ら直接利用した量 ②		自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧																									
		排出量 ① 93.50					自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 30%;">実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td style="text-align: right;">93.50</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により減量した量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td style="text-align: right;">93.50</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績値	①排出量	93.50	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	93.50	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00	⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量 ④		自ら中間処理した後の残さ量 ⑥		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫
		項目	実績値																										
		①排出量	93.50																										
		②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																										
		⑤自ら熱回収を行った量	0.00																										
		⑦自ら中間処理により減量した量	0.00																										
		③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00																										
⑩全処理委託量	93.50																												
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00																												
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00																												
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00																												
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																												
④のうち熱回収を行った量 ⑤		自ら中間処理により減量した量 ⑦		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 93.50	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬																								
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭																						

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 アス・コン片)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
				②		⑧			
		排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
		① 2,420.00		③					
項目		実績値		自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
①排出量		2,420.00		④		⑥		⑨	
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.00							
⑤自ら熱回収を行った量		0.00		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
⑦自ら中間処理により 減量した量		0.00		⑤		⑦		⑩	
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		0.00						2,420.00	
⑩全処理委託量		2,420.00						⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量		0.00						⑫	
⑫再生利用業者への処理委託量		0.00						⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量		0.00						⑬	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量		0.00						⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
								⑭	
								⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
								⑪	

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 その他がれき類)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
				②		⑧			
		排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
		① 42.00		③					
				自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
				④		⑥		⑨	
				④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
				⑤		⑦		⑩ 42.00	
								⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
								⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
								⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
								⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
								⑪	
								⑫	
								⑬	
								⑭	

項目	実績値
①排出量	42.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	42.00
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八

条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 1 8 日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者 住 所 東京都台東区北上野2-23-5 住友不動産上野ビル2号館 氏 名 (株)N I P P O 関東第二支店 執行役員 支店長 丹 晴彦 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-4582-1062 担当課 : 安全環境G	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	(株)N I P P O 関東第二支店 千葉統括事業所
事 業 場 の 所 在 地	千葉県稲毛区長沼原町652
計 画 期 間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：舗装工事業
②事 業 の 規 模	前年度の工事売上高：6 3 億 6 千万円
③従 業 員 数	8 5 人 (在籍社員数)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-処理工程図

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙-廃棄物管理組織・体制			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		別紙 続く
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	239.68 t	44.80 t
	(これまでに実施した取組) ・発生時に分別を徹底し、再生を前提とした業者選定・処理の委託を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	230.00 t	40.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・プロセスの見直しと改善により、廃棄物の発生抑制並びに再生利用の促進を図る。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一時保管場所にて、アスコンがらとがれき類（最終処分）に分別している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き分別を行い最終処分量の減量に努める		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・ 自社においてがれき類の中間処理を行い、再生品を自社で使用するとともに、製品販売を行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・ がれき類の処理状況及び維持管理状況のシステム管理を徹底する。 ・ 自らの再生利用促進を図る。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・ なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・ なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・ これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 引き続き、埋立処分又は海洋投入する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	239.68 t	44.80 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	239.68 t	44.80 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・ 産業廃棄物処理業者の選定・委託にあたっては、あらかじめ支店安全環境・品質保証Gにて申請・承認を得た支店登録業者から選定して委託契約を締結している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	230.00 t	40.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	230.00 t	40.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続きがれき類の自社中間処理状況及び維持管理状況のシステム管理を徹底することにより、委託処理量の減少を図る。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙- 1 -1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
	①現状	【前年度（ 5年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず [※]
		排出量	4.50t	23.86t	4.00t
		（これまでに実施した取組） ・発生時に分別を徹底し、再生を前提とした業者選定、処理の委託を行っている。			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず [※]
		排出量	4.00t	23.00t	4.00t
		（今後実施する予定の取組） ・プロセスの見直しと改善により、廃棄物の発生抑制及びに再生利用の促進を図る。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず	金属くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		(これまでに実施した取組) ・なし				
	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず	金属くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		(今後実施する予定の取組) ・なし				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
	①現状	【前年度（ 5年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(これまでに実施した取組) ・なし			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(今後実施する予定の取組) ・なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
	①現状	【前年度（ 5年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(これまでに実施した取組) ・なし			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(今後実施する予定の取組) ・なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類		紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず	金属くず
	全処理委託量		4. 50t	23. 86t	4. 00t	7. 91t
		優良認定処理業者への 処理委託量	0. 00t	0. 00t	0. 00t	0. 00t
		再生利用業者への 処理委託量	4. 50t	23. 86t	4. 00t	7. 91t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0. 00t	0. 00t	0. 00t	0. 00t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0. 00t	0. 00t	0. 00t	0. 00t
	(これまでに実施した取組)					
	・ 産業廃棄物処理業者の選定、委託にあたっては、あらかじめ支店安全環境品質保証Gにて 申請・承認を得た支店登録業者から選定し、委託契約を締結している。					

	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず	金属くず
		全処理委託量	4.00t	23.00t	4.00t	7.00t
		優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への処理委託 量 認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
			4.00t	23.00t	4.00t	7.00t
			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		(今後実施する予定の取組) ・引き続き期限内での処理完了を確認する				

別紙- 1 -2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
	①現状	【前年度（ 5年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
		排出量	0.13t	45.89t	31.78t
		(これまでに実施した取組) ・発生時に分別を徹底し、再生を前提とした業者選定・処理の委託を行っている。			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
		排出量	0.00t	40.00t	30.00t
		(今後実施する予定の取組) ・プロセスの見直しと改善により、廃棄物の発生抑制及びに再生利用の促進を図る。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
	①現状	【前年度（ 5年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(これまでに実施した取組) ・なし			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(今後実施する予定の取組) ・なし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
	①現状	【前年度（ 5年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(これまでに実施した取組) ・なし			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(今後実施する予定の取組) ・なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
	①現状	【前年度（ 5年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(これまでに実施した取組) ・なし			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
		(今後実施する予定の取組) ・なし			

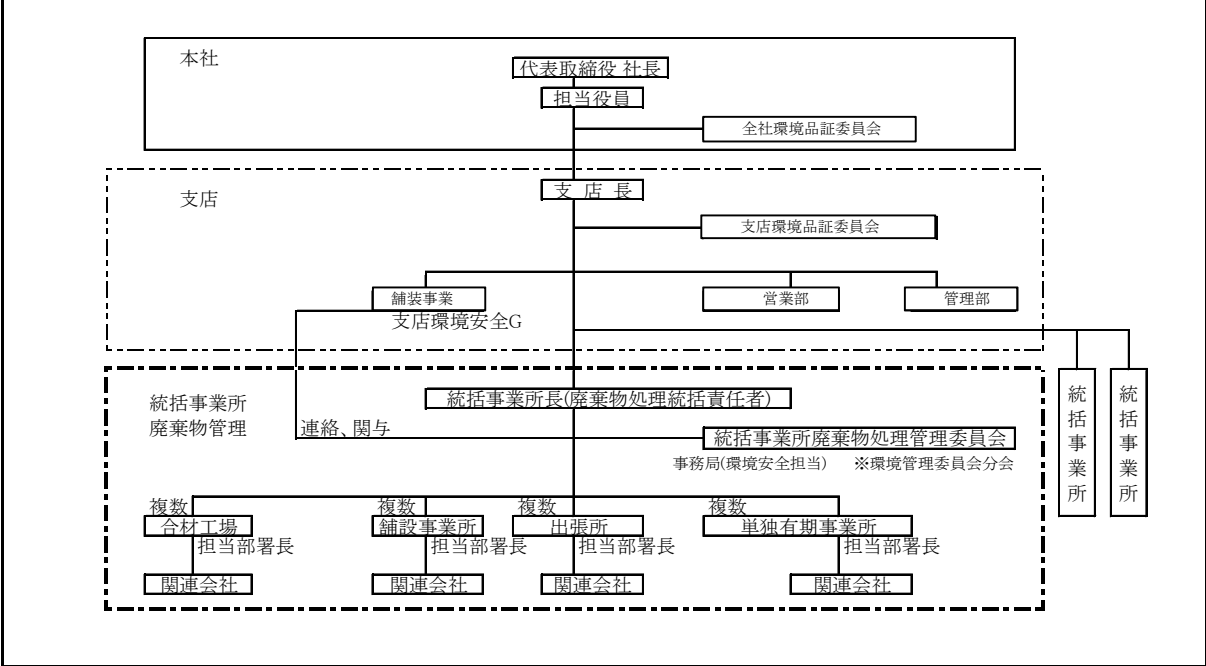
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（ 5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類		安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類
	全処理委託量		0.13t	45.89t	31.78t	26,520.98t
		優良認定処理業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	1,453.50t
		再生利用業者への 処理委託量	0.13t	45.89t	31.78t	25,067.48t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物処理業者の選定、委託にあたっては、あらかじめ支店安全環境品質保証Gにて 申請・承認を得た支店登録業者から選定し、委託契約を締結している。					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類		安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類
	全処理委託量		0.00t	40.00t	30.00t	24,950.00t
		優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	1,400.00t
		再生利用業者への処理委託量	0.00t	40.00t	30.00t	23,550.00t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組) ・発生事業場での分別を徹底し、委託処理量の低減を図る。					

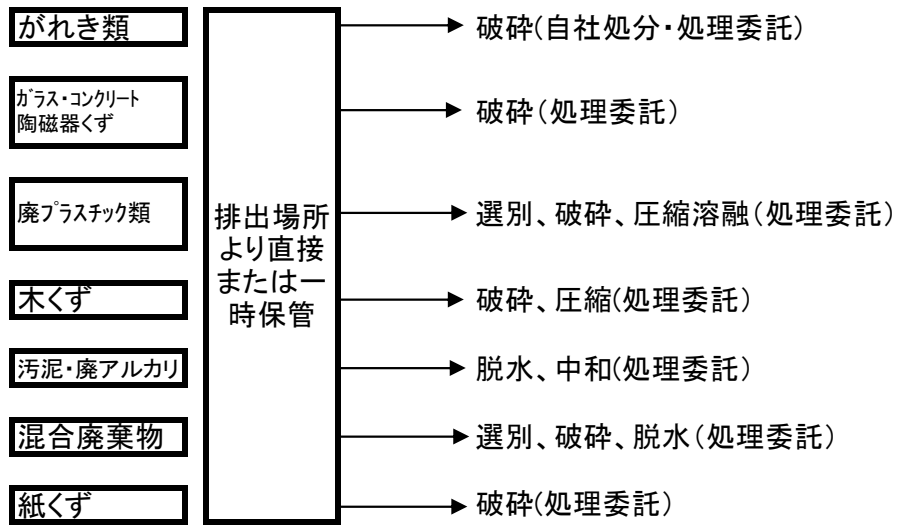
処理工程図

管理組織責任者	所属 千葉統括事業所	職・氏名 千葉統括事業所長
廃棄物担当組織名	組織名 統括事業所環境安全担当	廃棄物担当組織人数 8 人
	電話番号 043-216-7851	
処理計画組織規定	名 称	千葉統括事業所 廃棄物処理管理委員会
	概 要	法令、条例、社内規程等に基づいて、産業廃棄物処理に関する適切な環境保全活動を推進する。 1)建設廃棄物の有効利用(再生資源の利用を促進する。) 2)建設廃棄物の減量化(建設副産物の発生の抑制及び再利用、また分別して廃棄すること等により最終処分率の低減を図る。) 3)その他の産業廃棄物
	情報管理方法 (役 割)	廃棄物処理統括責任者 (統括事業所長)
		・廃棄物処理に関する活動方針の策定 ・統括事業所管内の管理規程の策定・改廃 ・産廃処理に関する各種事項の決定、承認 ・定期的な環境管理点検による適切な活動の推進
		廃棄物管理担当部署長 (管内部署所長)
	統括事業所環境安全担当	・部署内廃棄物処理計画の作成 ・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・運搬・処理業者の調査、選定及び管理 ・委託契約の締結 ・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・部署内従業員、関連会社に対する教育、啓発 ・監督官庁への各種報告(上位部署での報告もあり) ・部署内環境管理点検
		・廃棄物処理計画(実施状況報告)のまとめ、作成 ・情報、指示、連絡等の組織内周知徹底 ・統括事業所内環境管理点検による適切な活動の推進

産業廃棄物対策組織図



処理工程図



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月18日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

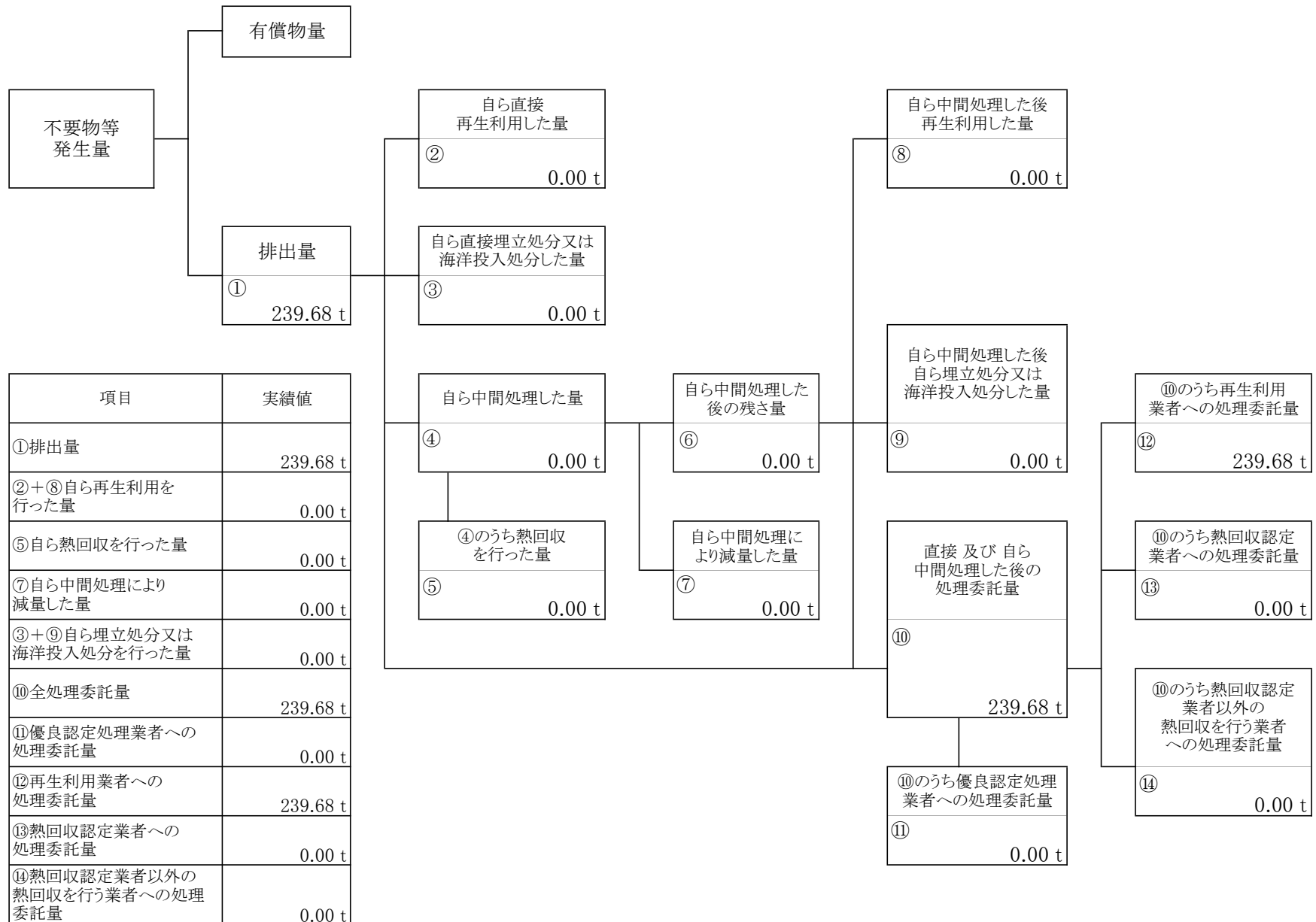
提出者 〒110-0014
住 所 東京都台東区北上野2-23-5
住友不動産上野ビル2号館
氏 名 (株)NIPPO 関東第二支店
執行役員支店長 丹 晴彦
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-4582-1062 担当者;安全環境G

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	(株)NIPPO 関東第二支店千葉統括事業所		
事業場の所在地	千葉市稲毛区長沼原町652		
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	54262.20 t	全処理委託量	35962.20 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	18300.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	4100.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	31862.20 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

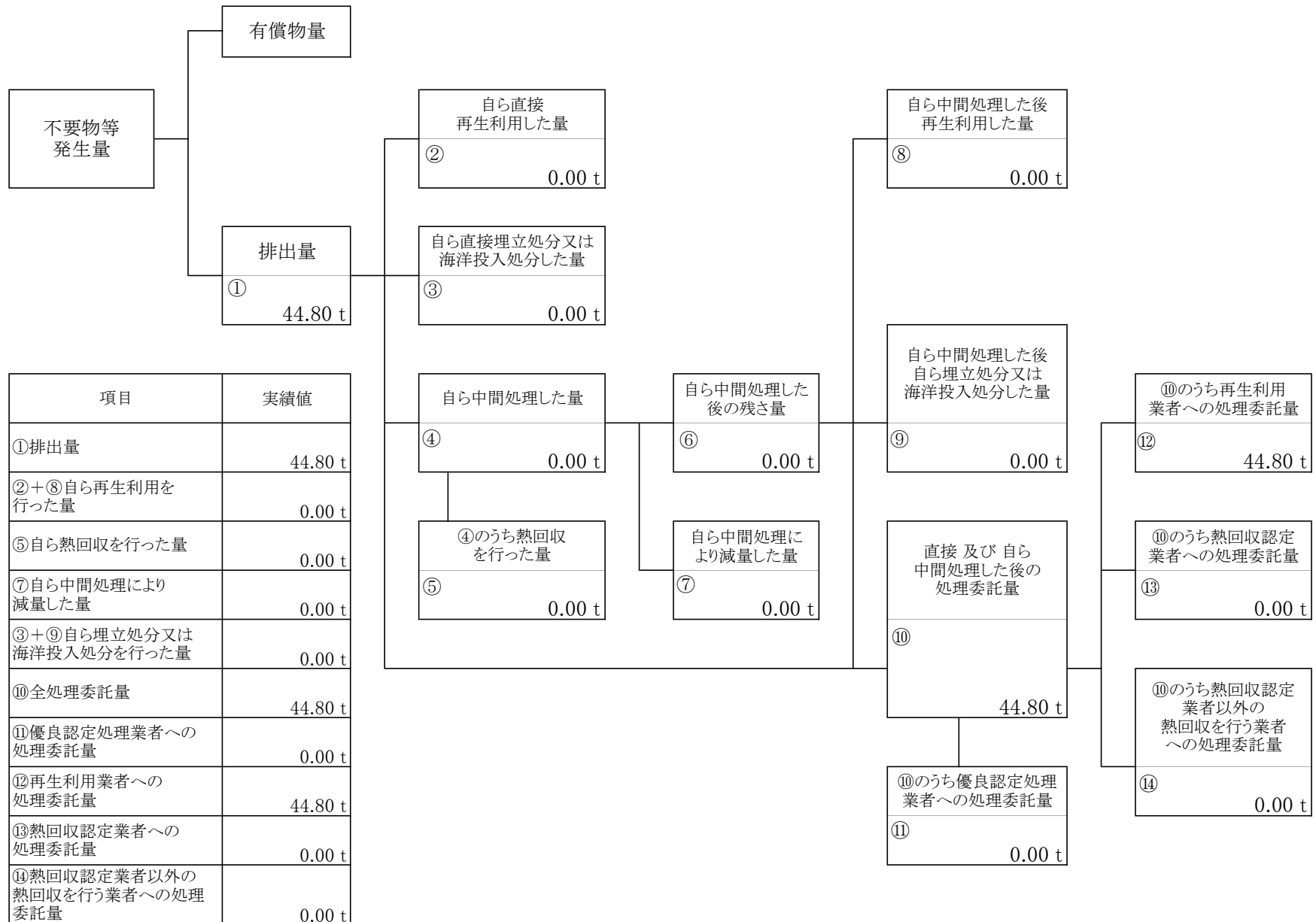
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

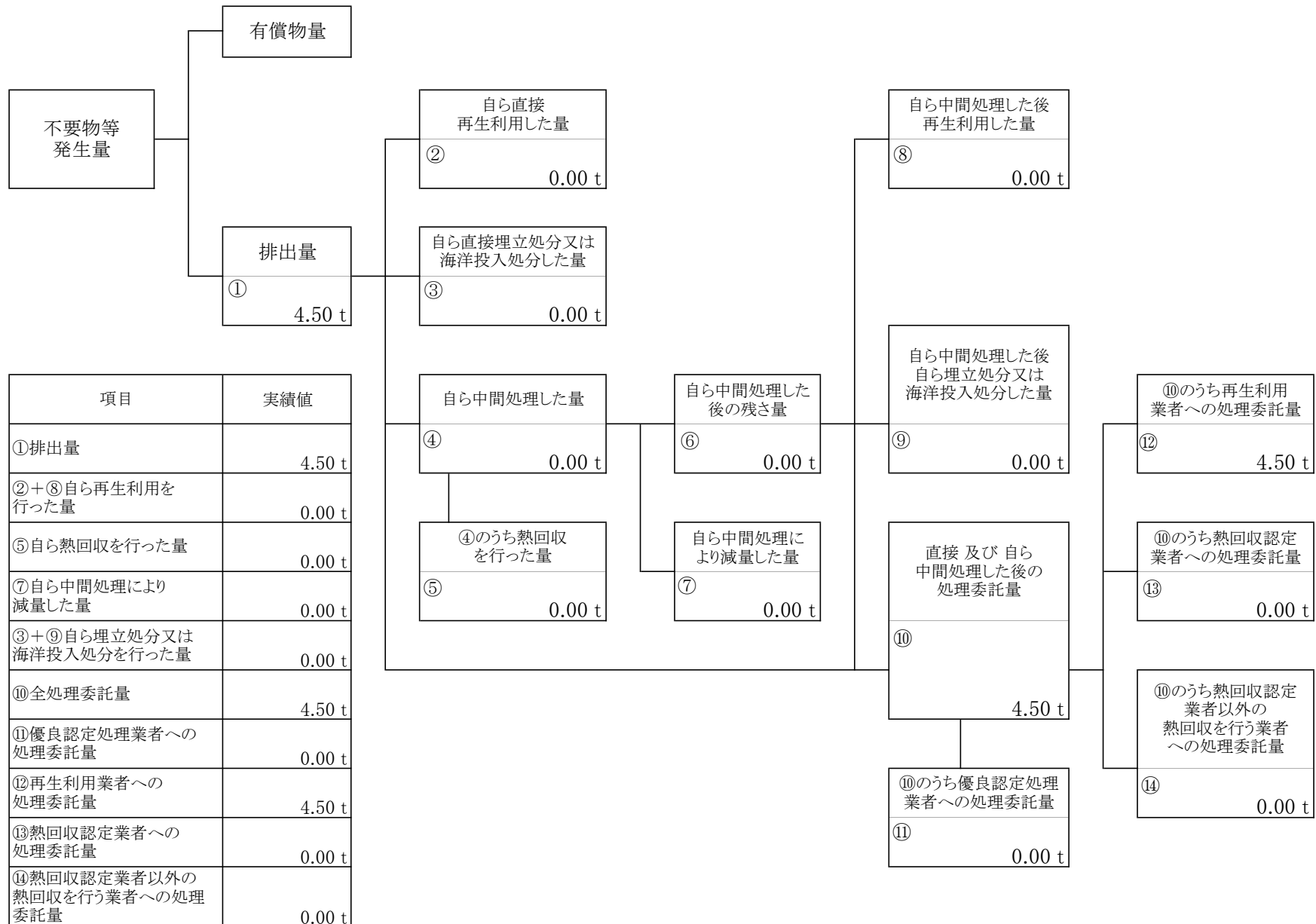


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

紙くず

)

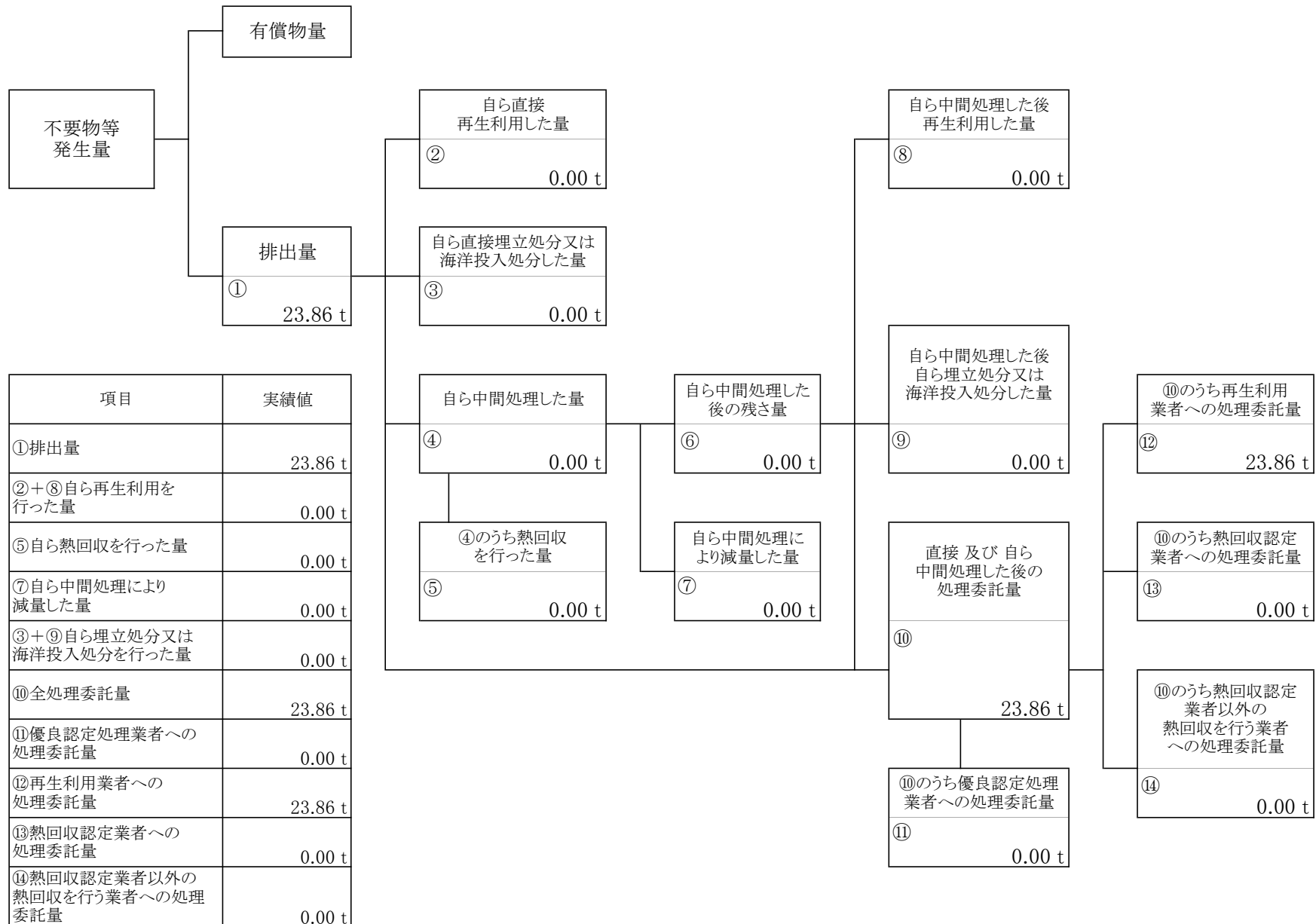


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

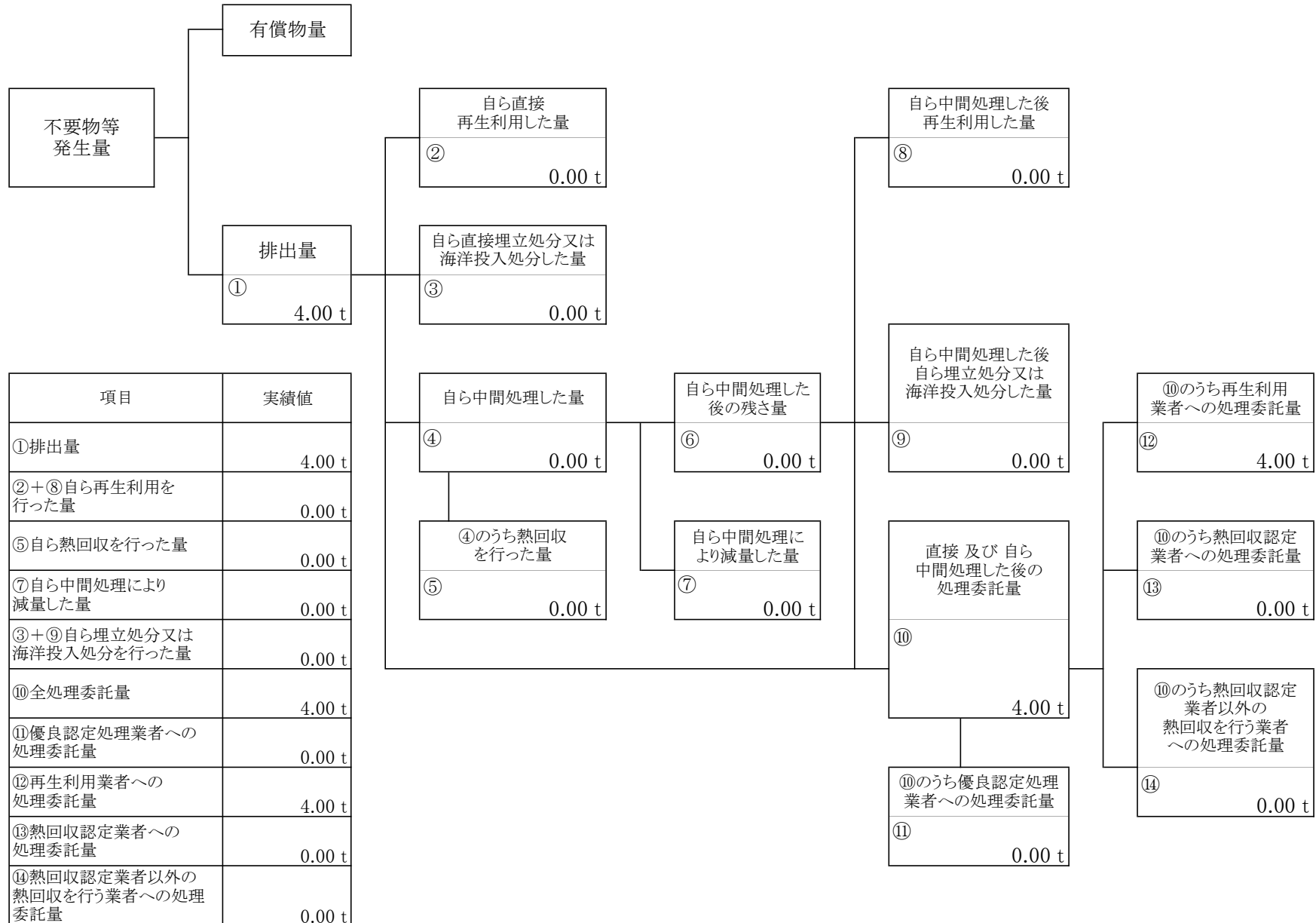
木くず

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

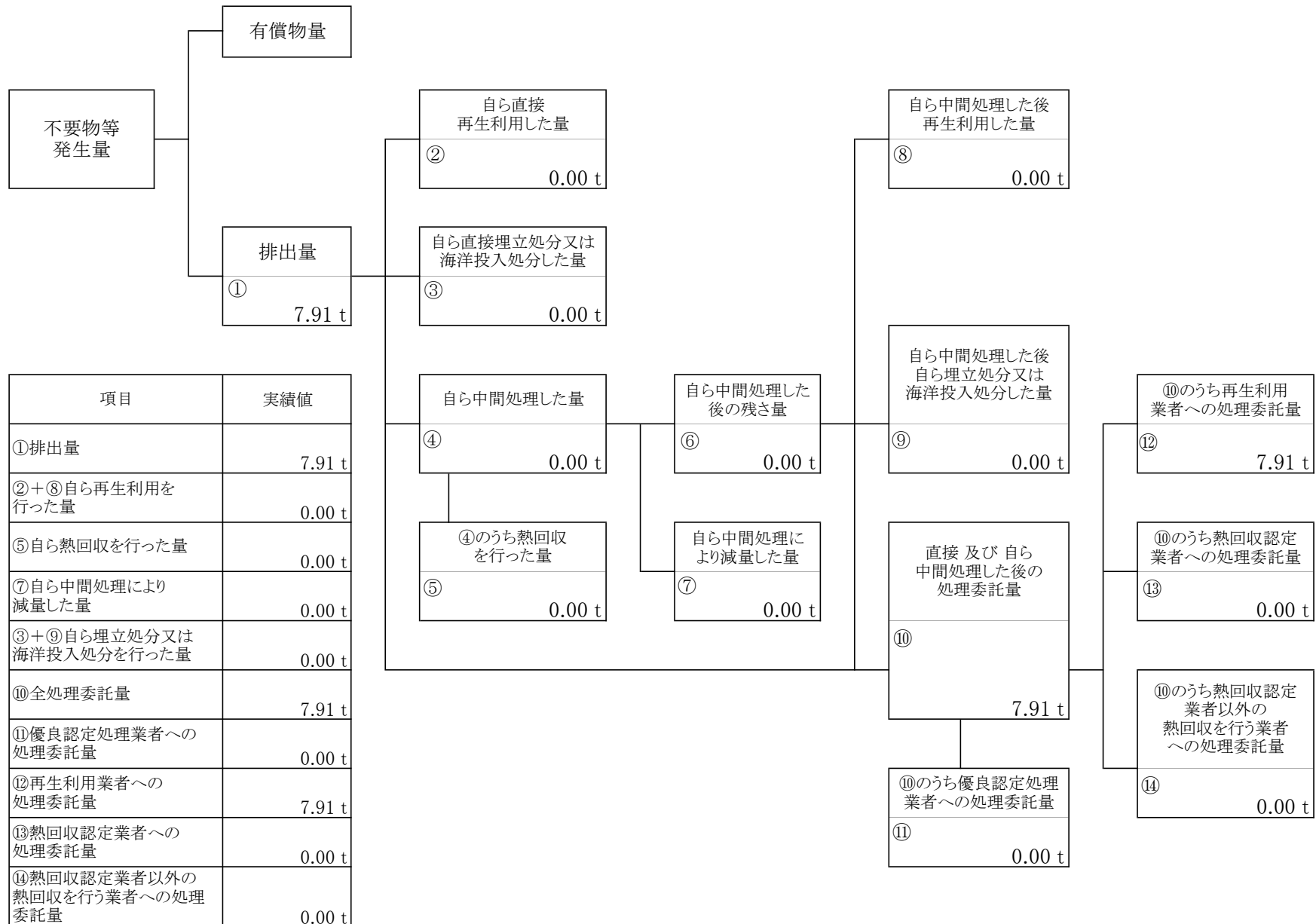


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

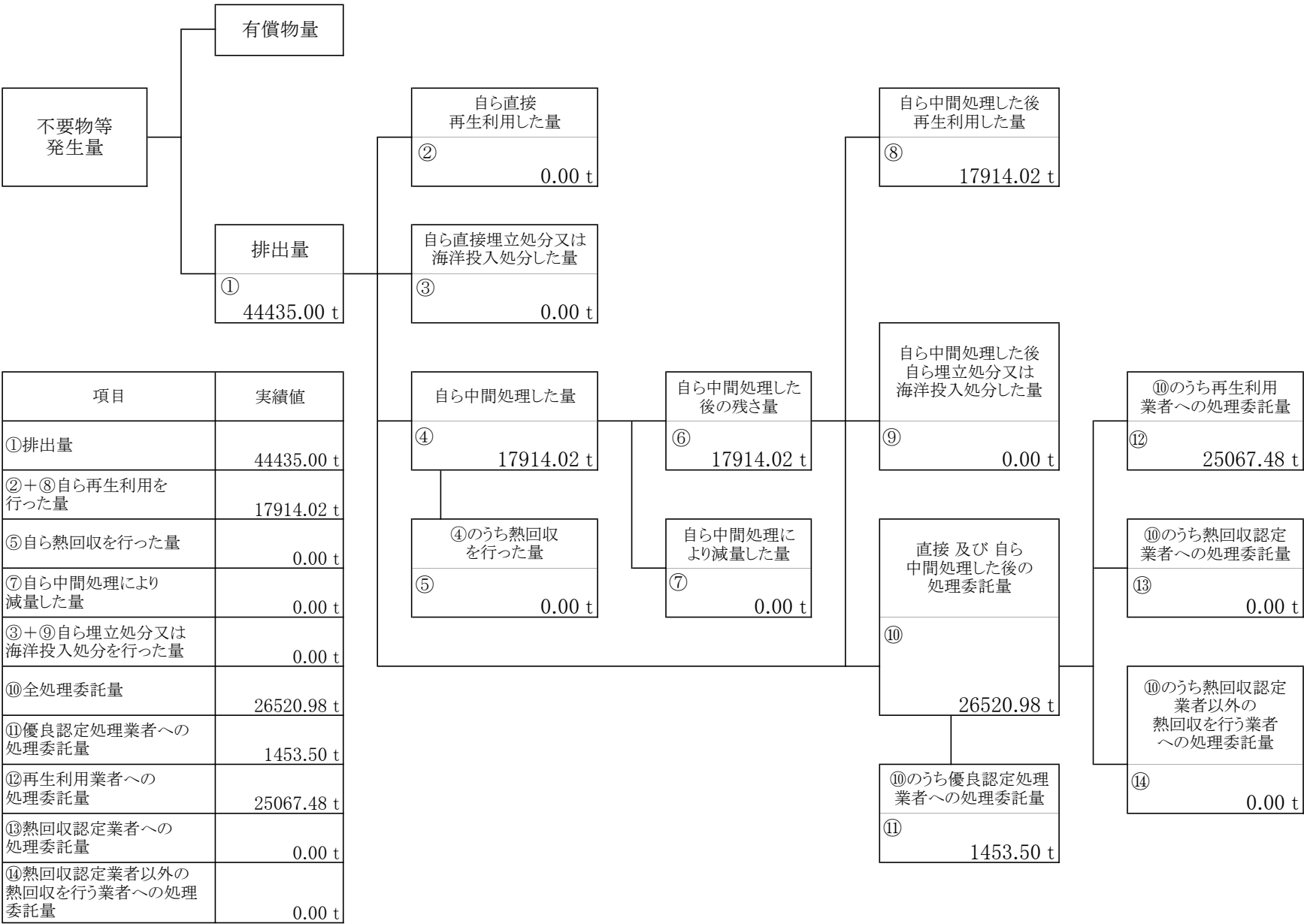
金属くず

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

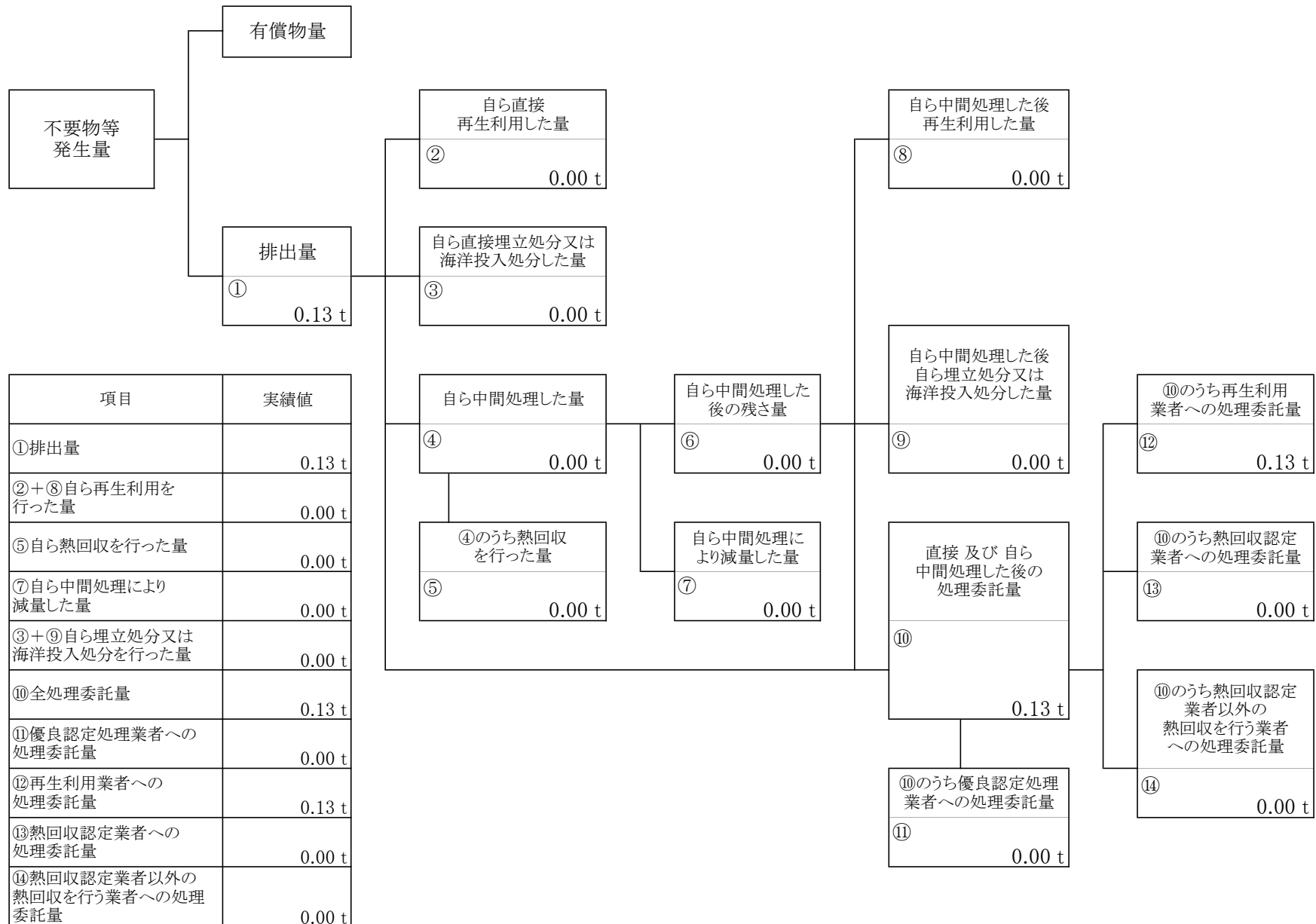


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

安定型混合廃棄物

)

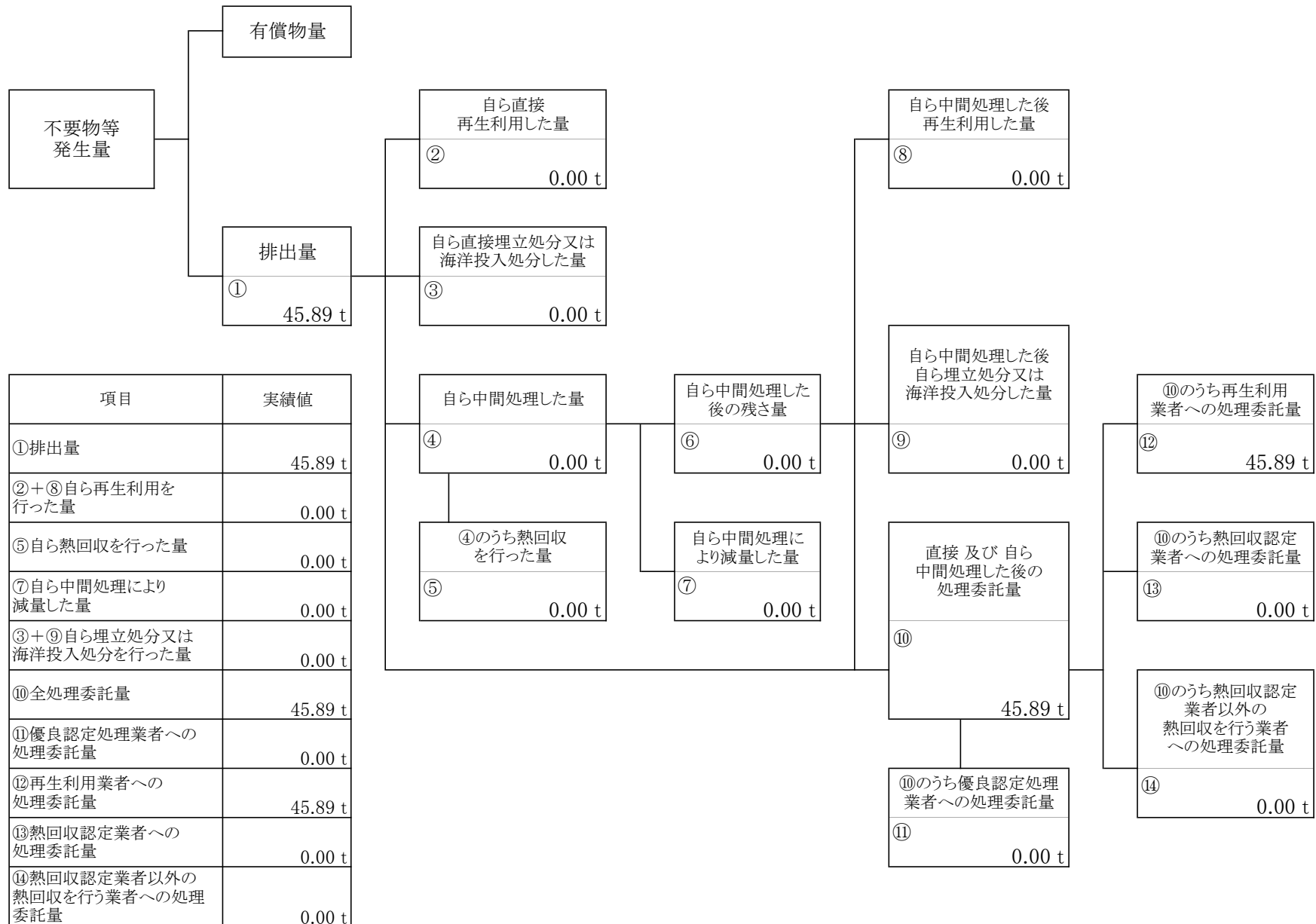


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物

)



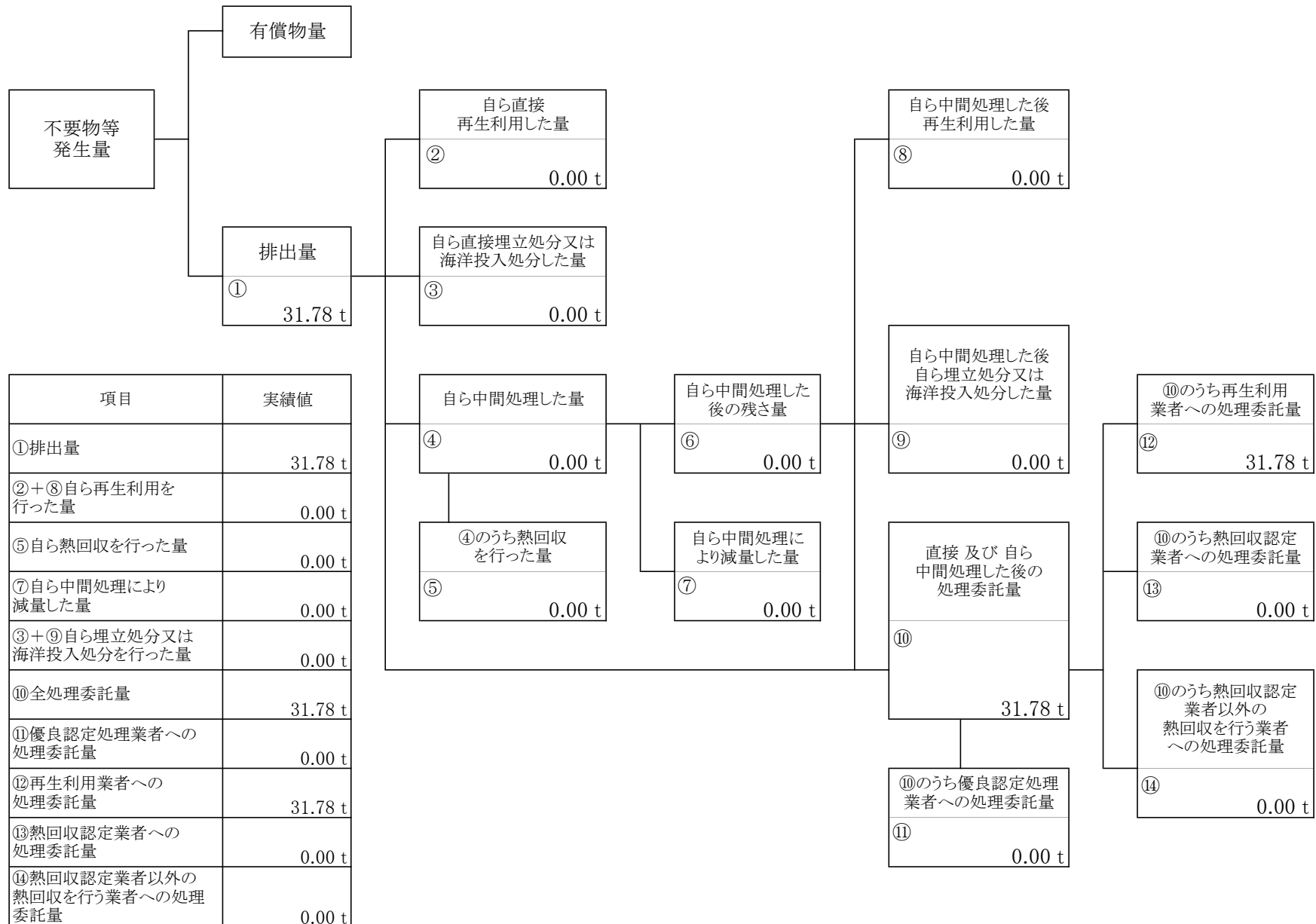
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

管理型混合廃棄物

)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 154-0001
住 所 東京都世田谷区池尻2-11-3
法人名 日鋪建設株式会社
代表者 日高 真吾
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-3418-1361

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日鋪建設株式会社 千葉出張所
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼原町652
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類： 建設業 中分類： 総合工事業
②事業の規模	当該出張所完成工事高 78,372万円（前年度実績）
③従業員数	当該出張所従業員数 8人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→再生処理業者に委託して破碎し再生利用 混合廃棄物→中間処理業者に委託して選別破碎→再資源化 金属くず→中間処理業者に委託して選別→再資源化 木くず→中間処理業者に委託して選別破碎→再資源化 紙くず→中間処理業者に委託して選別破碎→再資源化 廃プラスチック類→中間処理業者に委託して選別破碎圧縮固化→再資源化

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 日鋪建設株式会社 本社工事部 関東南支店 千葉出張所 各個別工事 産業廃棄物処理責任者 個別工事 工事所長 教育・研修 毎年定例の社内研修において、東京都環境局発行の「産業廃棄物適正処理ガイドブック」等を用い産業廃棄物の処置方法を確認している			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1645 t	18 t
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物管理票による産業廃棄物の種類・排出数量の把握を行い、個別工事毎に実数量の把握に努める ・設計数量の事前調査を行い、設計値との差異の把握を行う		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1000 t	15 t
	(今後実施する予定の取組) ・排出する予定の産業廃棄物を当該排出事業所ごとに産業廃棄物管理票による管理を行い、排出事業者毎に月々実績表の作成を行い、排出状況を管理する ・産業廃棄物管理票交付時に種類・数量等の正確な記述を行い、排出産業廃棄物の内容確認の適正化を図る		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・排出事業所毎に掲示板を設置し、保管する廃棄物の種類を明確にする ・排出事業所毎に「産業廃棄物管理票による種類」毎に分別し保管を行う		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・排出する産業廃棄物（コンクリート片及び廃アスファルト等）については直積み運搬を原則とし、仮置きは行わない ・仮置きの場合掲示板を設置し保管するが即日排出とする		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施する予定はない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
実施する予定はない			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1645 t	18 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1645 t	18 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・委託業者への委託契約締結時及び産業廃棄物排出時において定期的な現地確認を行い、適正な運搬及び適正な処理を確認している		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1000 t	15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1000 t	15 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・社内研修の充実を図り、適正な産業廃棄物処理の運用を行う ・マニフェストの適正な運用を行い、正確な数量把握を行う		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	排　　出　　量	61　t	9　t	0.75　t	4.5　t	1　t	0　t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	排　　出　　量	50　t	5　t	0.5　t	3　t	0.5　t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	全処理委託量	61　t	9　t	0.75　t	4.5　t	1　t	0　t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	61　t	9　t	0.75　t	4.5　t	1　t	0　t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合物	汚泥	金属くず	紙くず			
	全処理委託量	50　t	5　t	0.5　t	3　t	0.5　t	2　t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	50　t	5　t	0.5　t	3　t	0.5　t	2　t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月24日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 154-0001			
住所 東京都世田谷区池尻2-11-3			
法人名 日鋪建設株式会社			
代表者 日高 真吾			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-3418-1361			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	日鋪建設株式会社 千葉出張所		
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼原町652		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1160 t	全処理委託量	1160 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1160 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1645.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1645.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1645.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	18.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	61.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	61.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	61.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	9.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	4.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量				
		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量			
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	0.0 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t		0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩全処理委託量	0.0 t				
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6 月 30日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒350-1117	
住 所 埼玉県川越市広栄町24-3	
氏 名 株式会社日本エコジニア 代表取締役渋谷 巧	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 049-293-2919	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社日本エコジニア
事業場の所在地	埼玉県川越市広栄町24-3
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	33000万円
③ 従業員数	30人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類→破砕→圧縮→焼却・焼・再燃料 紙くず→破砕・圧縮→再生・製品 木くず→破壊→燃料チップ 金属くず→破砕・切断→再生原料 ガラス陶磁器くず→破砕→再生・製品 がれき類→破砕→再生・製品 石膏ボード→破砕・圧縮→再生原料 コンクリートがら→破砕→再生・製品 繊維くず→圧縮・再生原料 混合管理型→破砕・圧縮→埋立 混合安定型→破砕・圧縮→埋立 石綿含産業廃棄物→埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
	(管理体制図) 別紙1	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	排出量	962.731 t	1798.63 t
	(これまでに実施した取組) 分別を徹底し、再生を前提とした業者選定、処理の委託を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	排出量	962 t	1798 t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の発生抑制に関する情報や処分委託先についての情報を積極的に取り入れる。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類 紙くず 木くず 金属くず ガラス陶磁器くず がれき類 石膏ボード コンクリートがら現場にて分別実施。 現場での作業員へ直接指導。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類 紙くず 木くず 金属くず ガラス陶磁器くず がれき類 石膏ボード コンクリートがら現場にて分別実施。 現場での作業員へ直接指導。分別に関する情報収集。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	全処理委託量	962.731 t	1798.63 t
	優良認定処理業者への処理委託量	928.97 t	103.21 t
	再生利用業者への処理委託量	962.731 t	1798.63 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、契約を実施。可能な限り、優良認定処理業者から選出。再生処理を中心とした産業廃棄物処理業者の選定を促進する。		

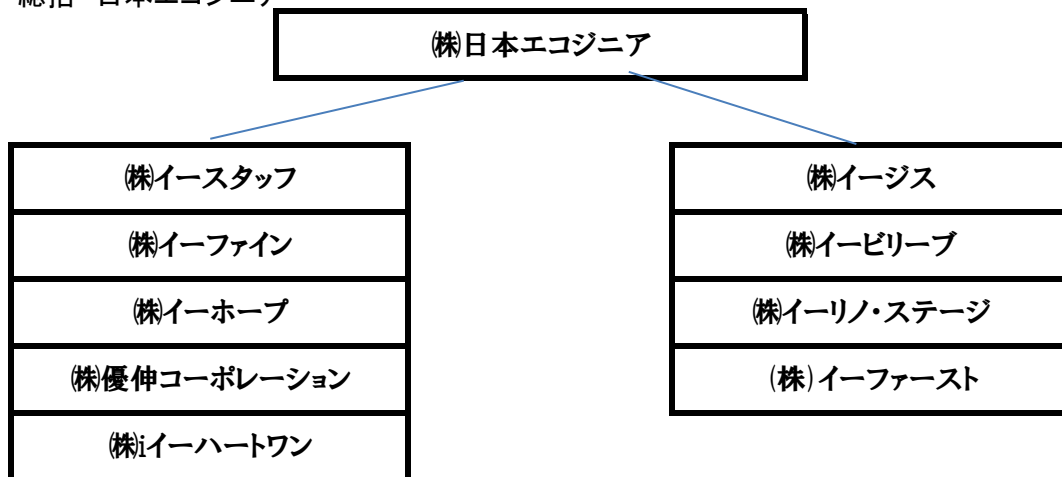
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートガラ
	全処理委託量	962 t	1798 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	929 t	104 t
	再生利用業者への 処理委託量	962 t	1798 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、契約を実施。 可能な限り、優良認定処理業者から選出。 再生処理を中心とした産業廃棄物処理業者の選定を促進する。 丁寧な分別解体の取り組みを維持できるように情報共有を円滑にし、 再資源化を促進していく。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙① 総括 日本エコジニア



現場はグループ会社管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類
		排 出 量	0 t	0.516 t	0 t	423.196 t	11.21 t	41.68 t	20.44 t	69.7745 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類
		排 出 量	0 t	0.51 t	0 t	423 t	11 t	41 t	20 t	69 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類
	全処理委託量	0 t	0.516 t	0 t	423.196 t	11.21 t	41.68 t	20.44 t	69.7745 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.4 t	0 t	4.0 t	0 t	16.0 t	0 t	0.97 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.516 t	0 t	358.64 t	8.3 t	20.84 t	12.61 t	34.887 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず	アスコンガラ	石膏ボード	廃プラスチック類
	全処理委託量	0 t	0.51 t	0 t	423 t	11 t	41 t	20 t	69 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.44 t	0 t	4.2 t	0 t	17 t	0 t	4.4 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.51 t	0 t	0.51 t	8.1 t	20.5 t	12.3 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	排 出 量	6.145 t	0.335 t	65.12 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	排 出 量	6 t	0.3 t	65 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	全処理委託量	6.145 t	0.335 t	65.12 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	4.35 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3.72 t	0.16 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）	汚綿含有産業廃棄物					
	全処理委託量	6 t	0.3 t	65 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	4.4 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3 t	0.15 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 30 日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒350-1117
住 所 埼玉県川越市広栄町24-3
氏 名 株式会社日本エコジニア 代表取締役渋谷
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 049-293-2919

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

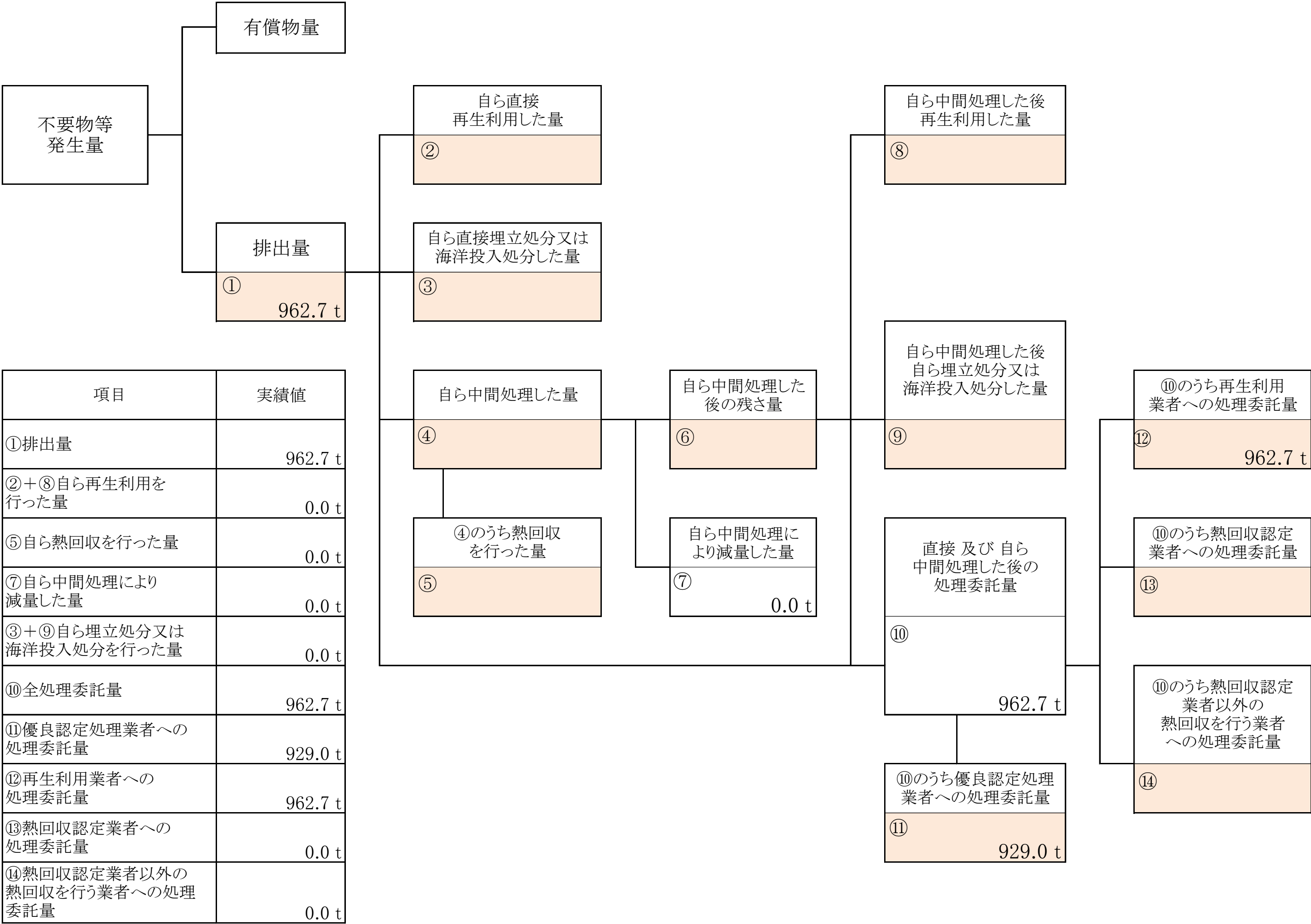
事業場の名称	株式会社日本エコジニア
事業場の所在地	埼玉県川越市広栄町24-3
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2405.9 t	全処理委託量	2405.9 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	527.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1780.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

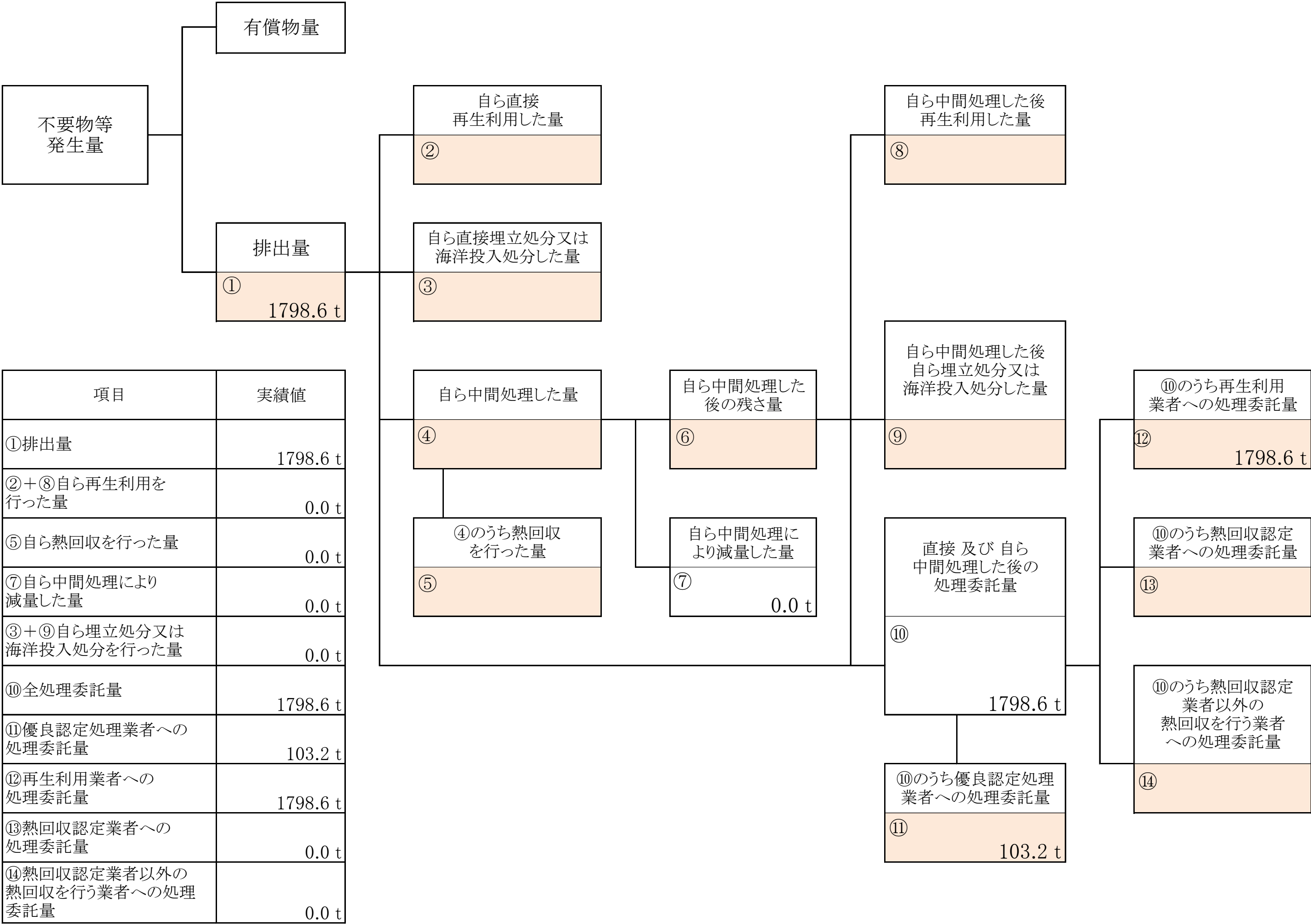
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



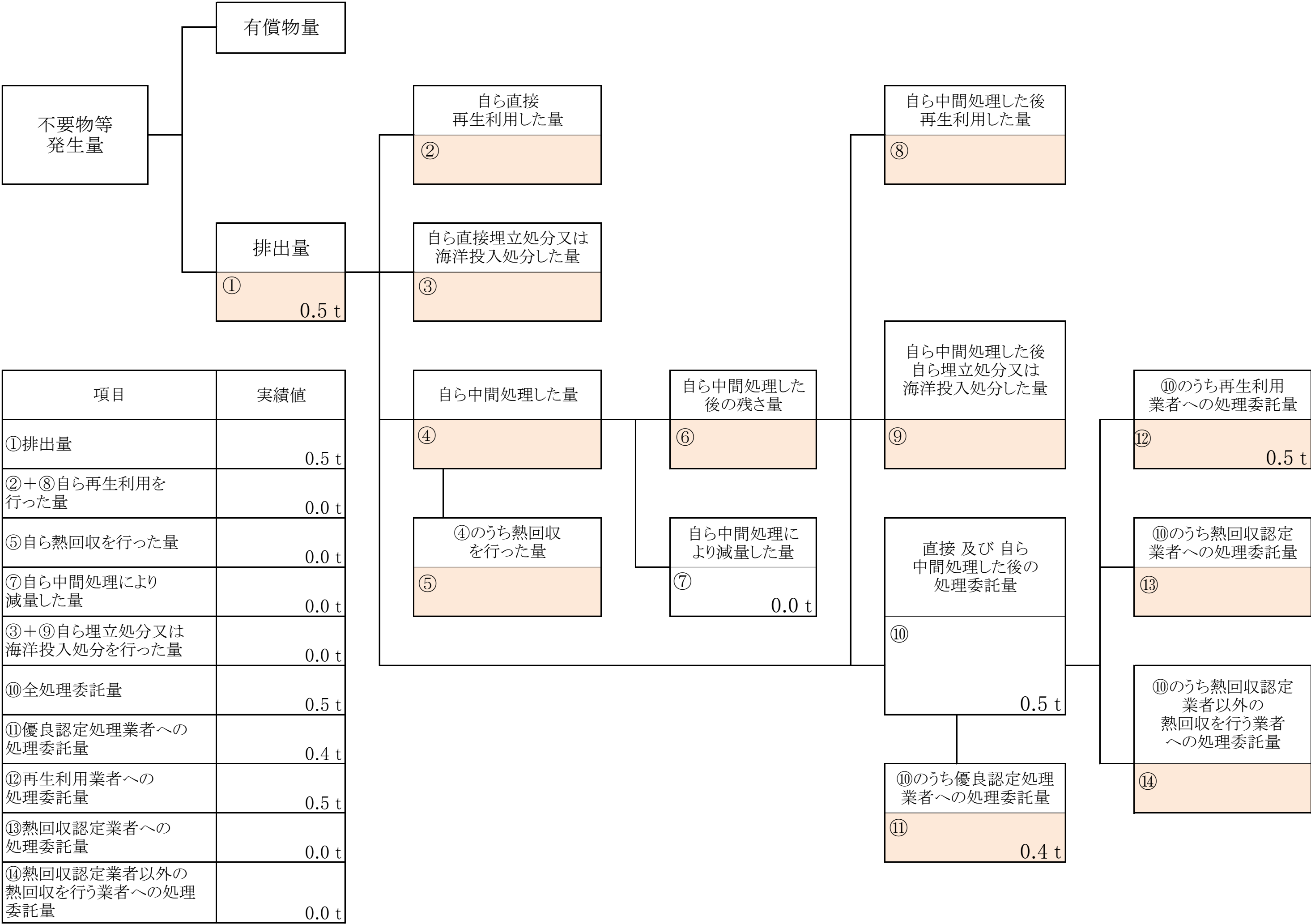
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートガラ)



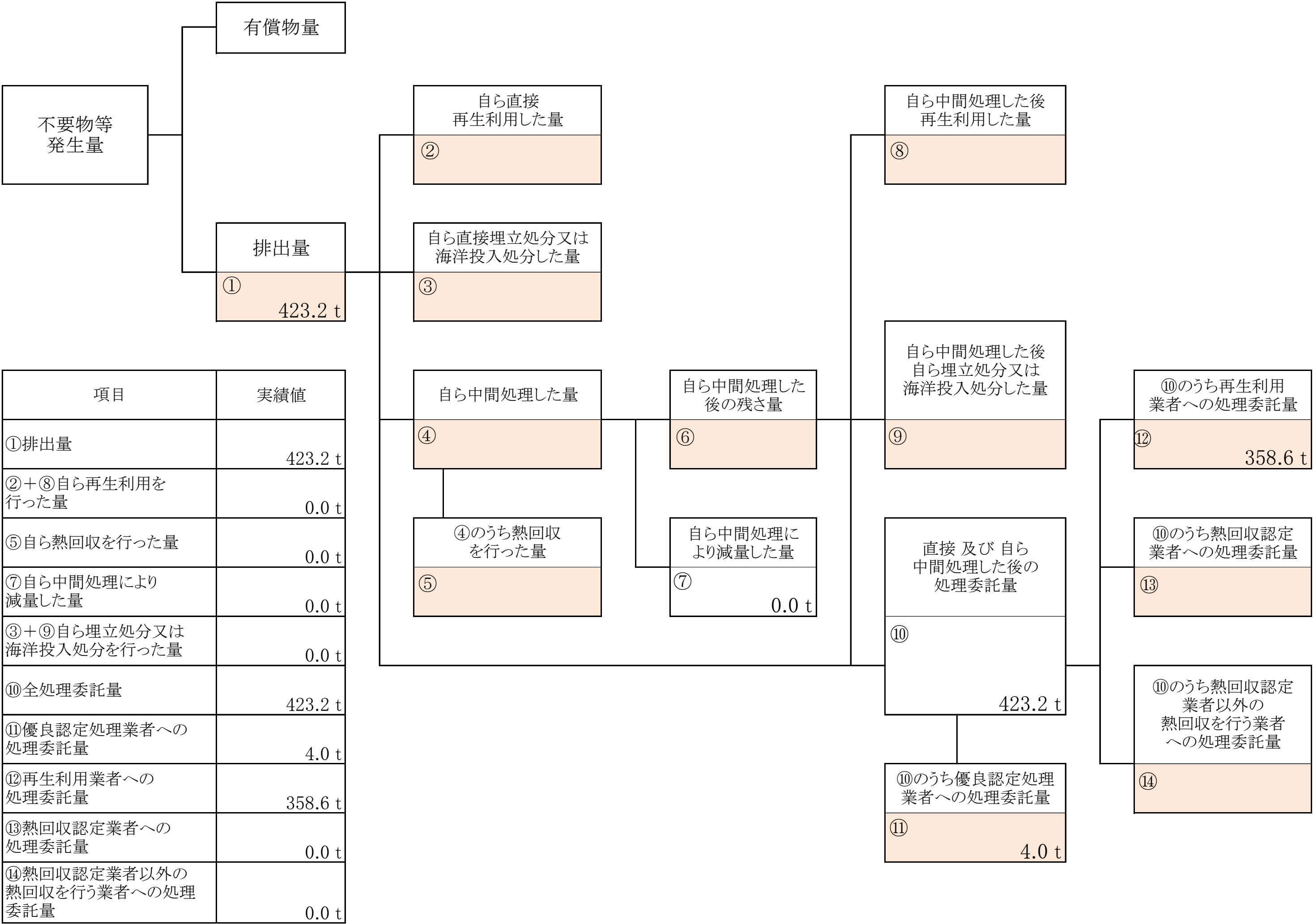
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



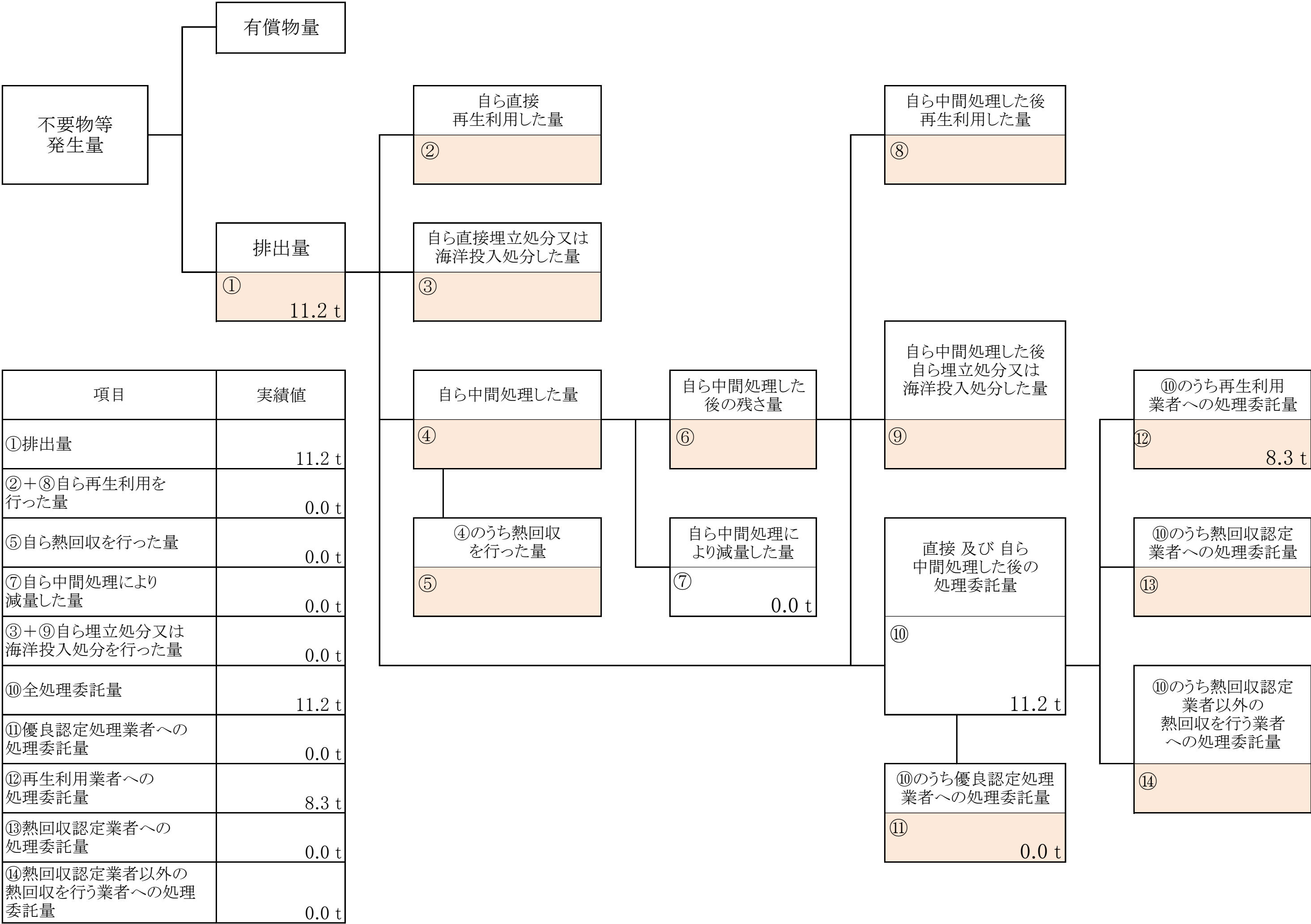
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)



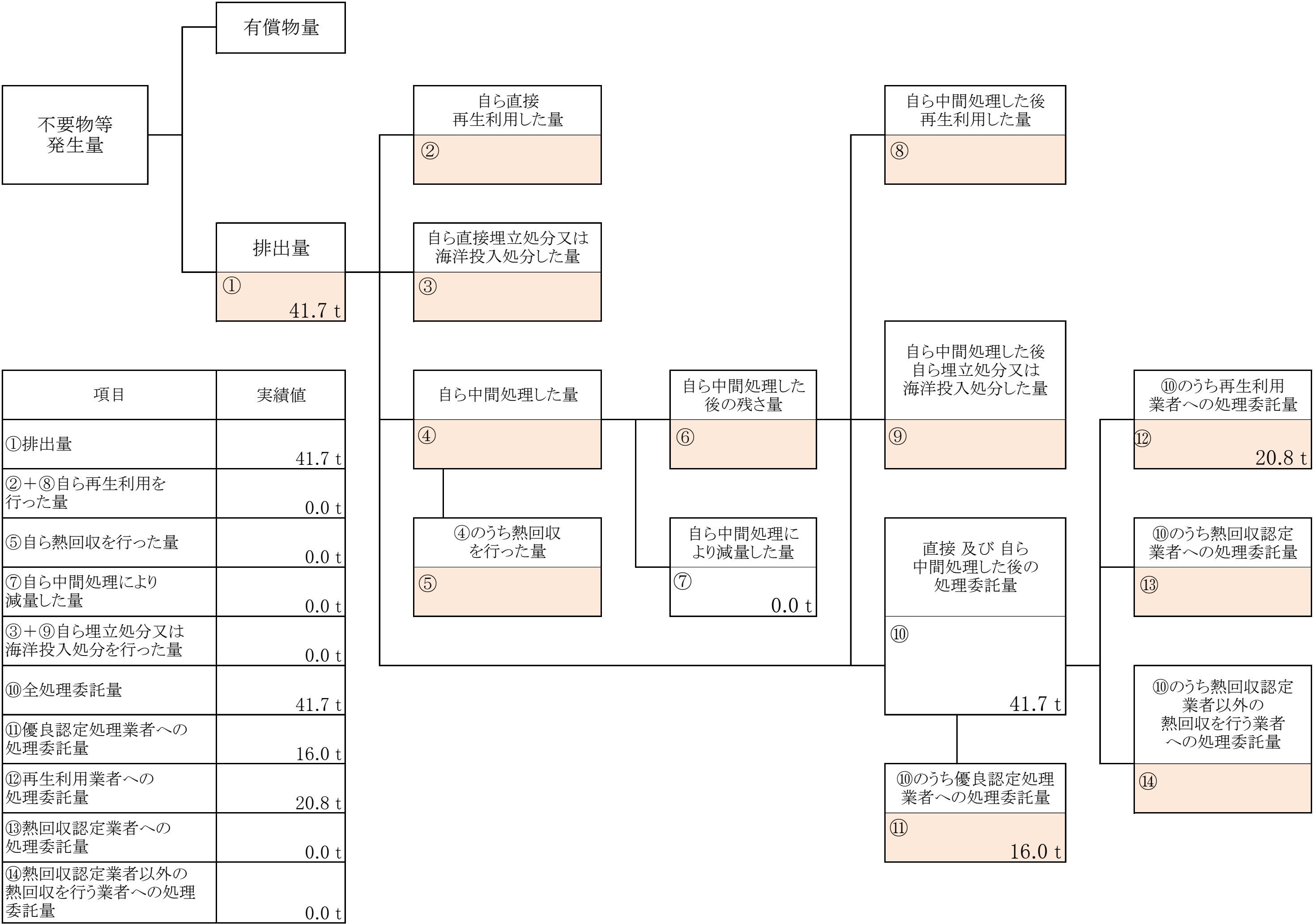
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器くず)



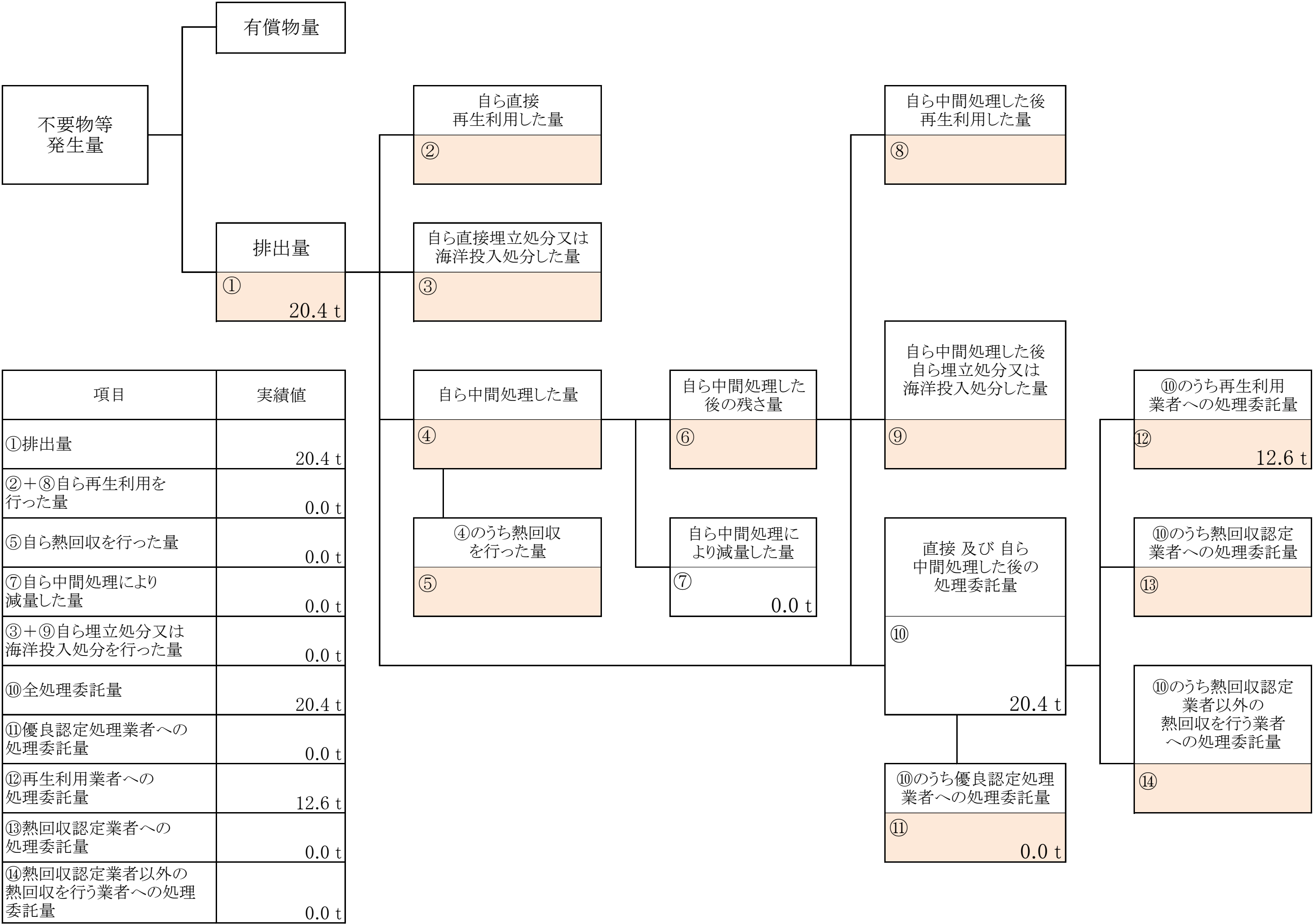
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスコンガラ)



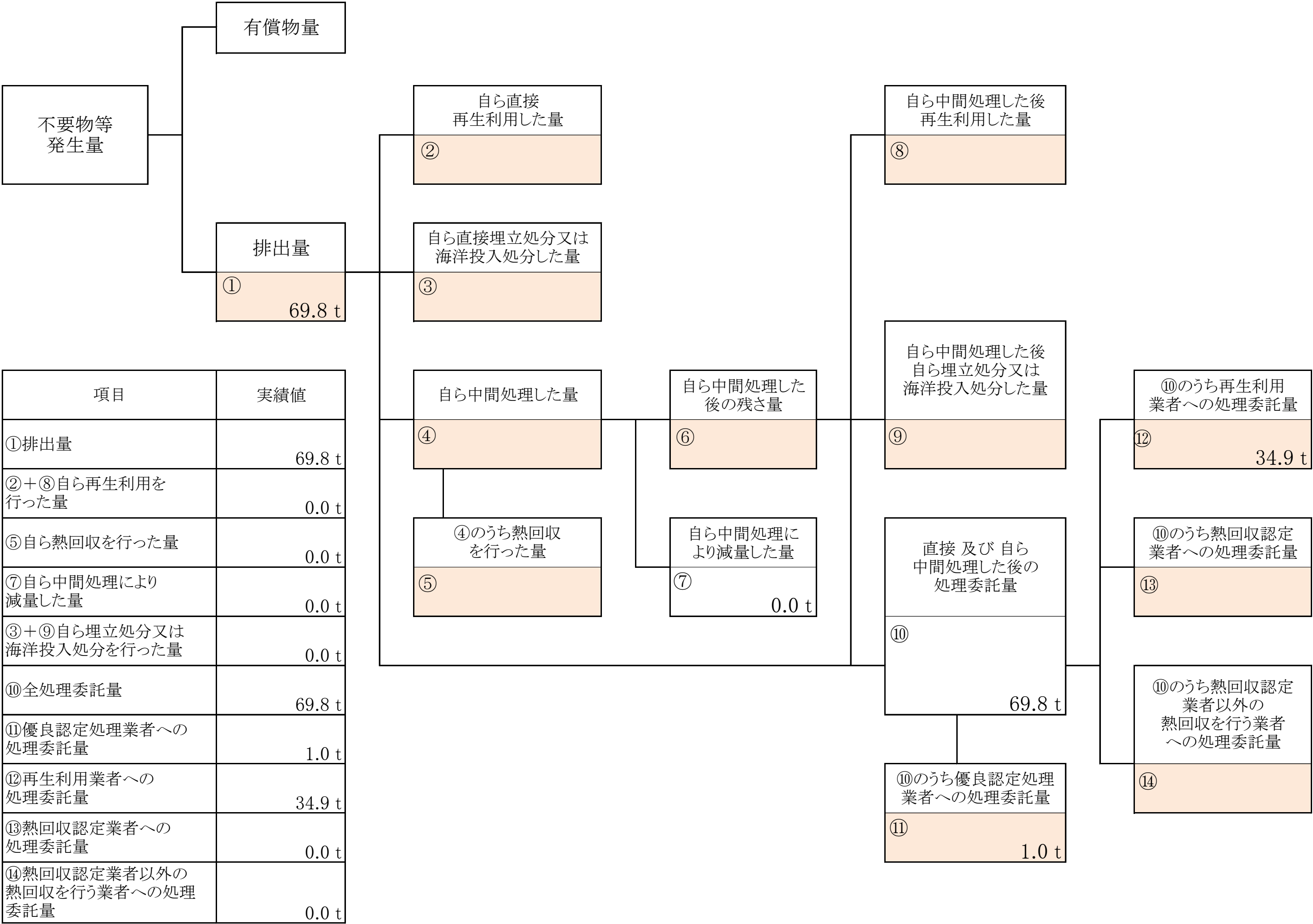
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石膏ボード)



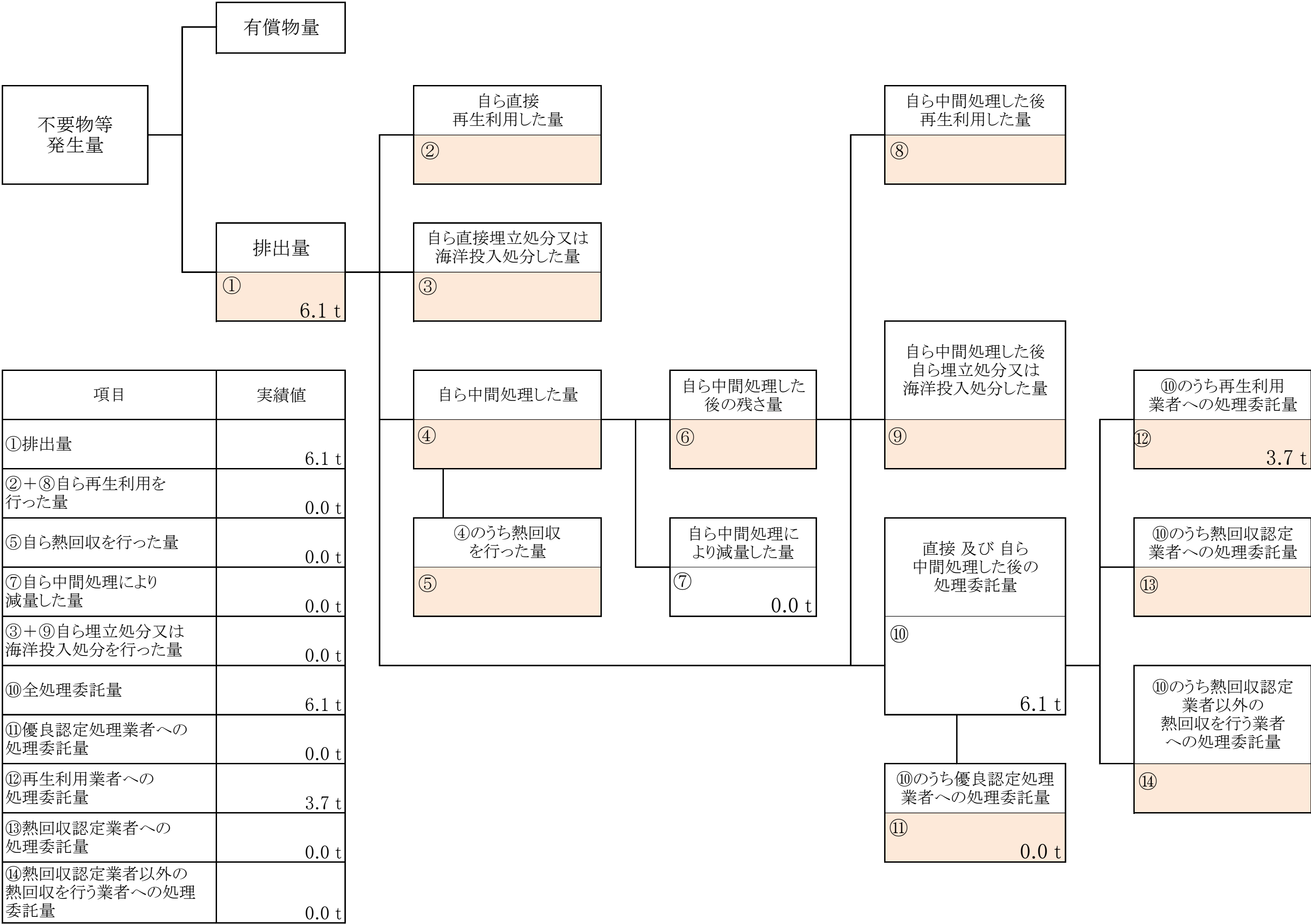
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



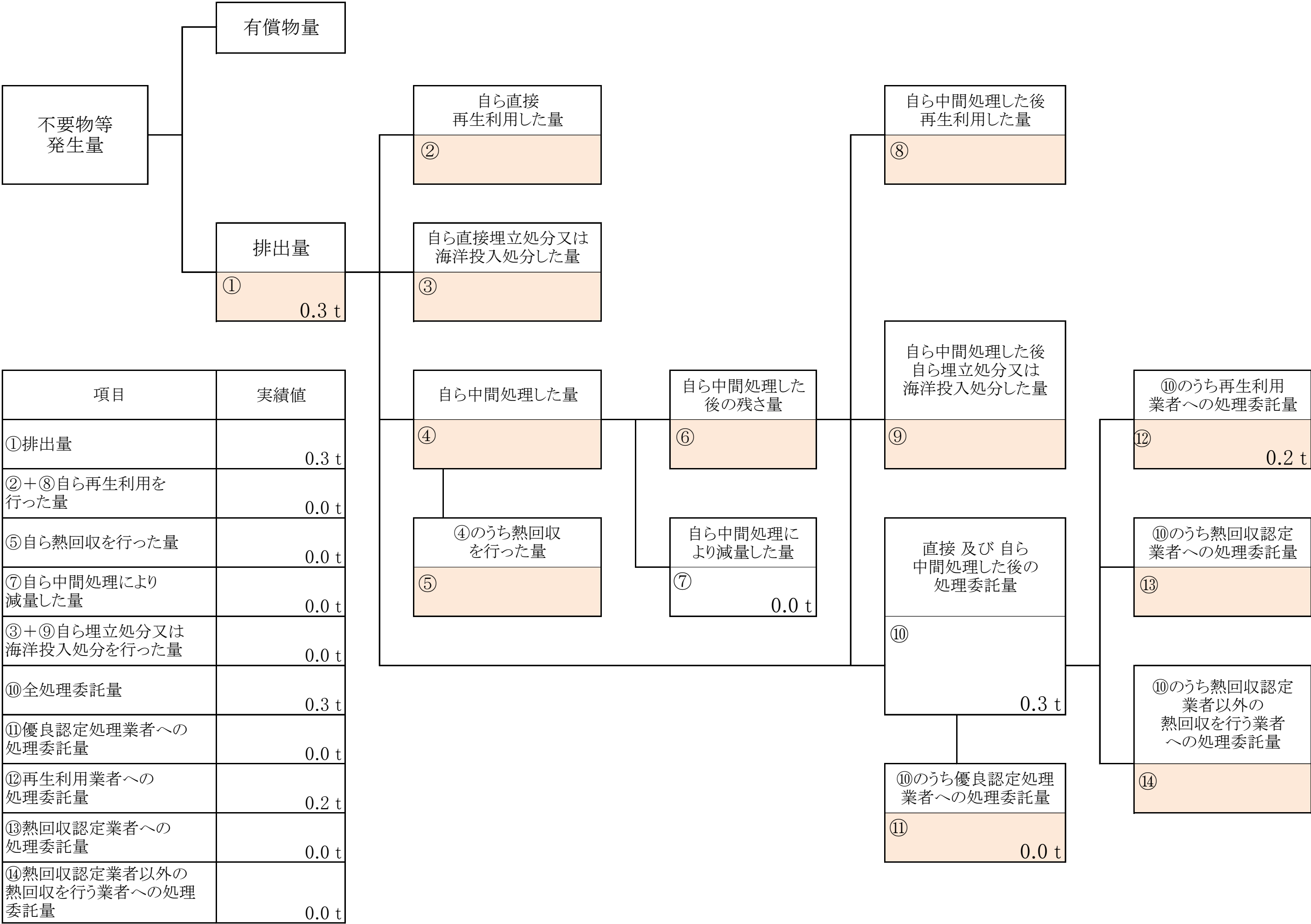
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合(管理型))



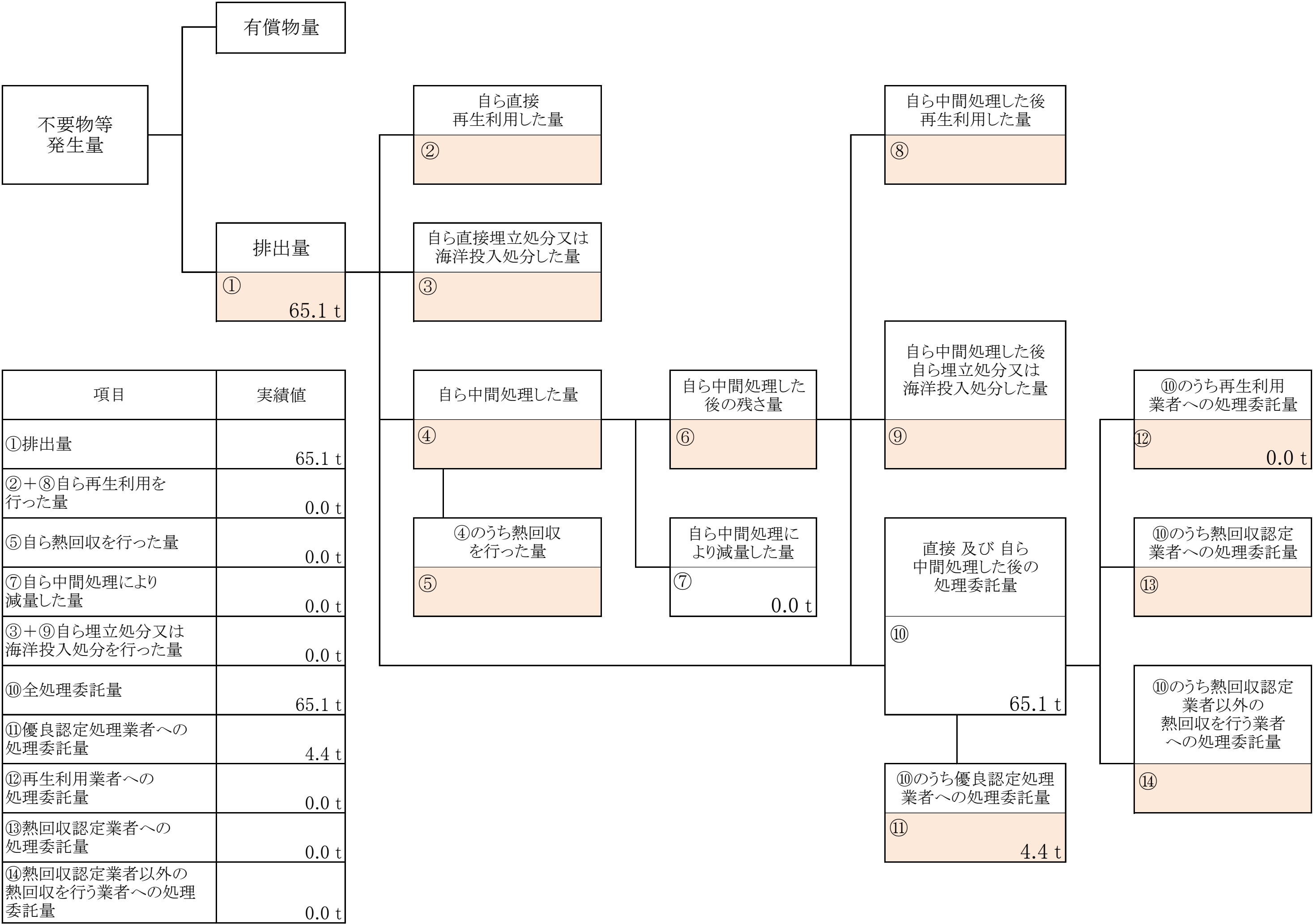
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合(安定型))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 24日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒105-8467	
住 所 東京都港区虎ノ門4丁目3-13 ヒューリック神谷町ビル5階	
氏 名 日本国土開発株式会社 東京支店 執行役員支店長 依田 耕一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 050-1735-9486	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その 処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本国土開発株式会社 東京支店
事業場の所在地	東京都港区虎ノ門4丁目3-13 ヒューリック神谷町ビル5階
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 49,270百万円（前年度実績）
③ 従業員数	212名（エリア内）
④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程	産業廃棄物の処理に関しては、全て許可を得ている収集運搬業者及び 中間処理業者に委託し、契約を締結して処分を行っている。 (別紙フロー図参照)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 組織表の通り		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	排出量	186.9 t	5.4 t
	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェストの運用を原則とし、産業廃棄物の処理に関する法基準と社内ルールの順守。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	排出量	41 t	13 t
	(今後実施する予定の取組) ・電子委託契約の推進と適正処分の確認（追跡調査及び処分地） ・無駄な資材及び副産物の削減 ・混合廃棄物の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ゼロエミッション活動に準じて分別。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ゼロエミッション活動の継続実施。混合廃棄物の削減。 ・石綿及び有害物質が発生した場合は、他の廃棄物に混入しないよう適切に防護し公衆災害を防止する。店社からの支援を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	全処理委託量	186.9 t	5.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	186.9 t	5.4 t
	再生利用業者への処理委託量	186.9 t	5.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	社内産廃委託基準に従い、受入れ可能品目や処理数量等を確認し搬出前に委託契約を交わしている。 添付書類として産廃処理許可証・運搬許可証・登録車一覧・運搬ルート図等を添付。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず・ダンボール
	全処理委託量	41 t	13 t
	優良認定処理業者への処理委託量	41 t	13 t
	再生利用業者への処理委託量	41 t	13 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への処理委託を推奨する。		
※事務処理欄			

(第6面)

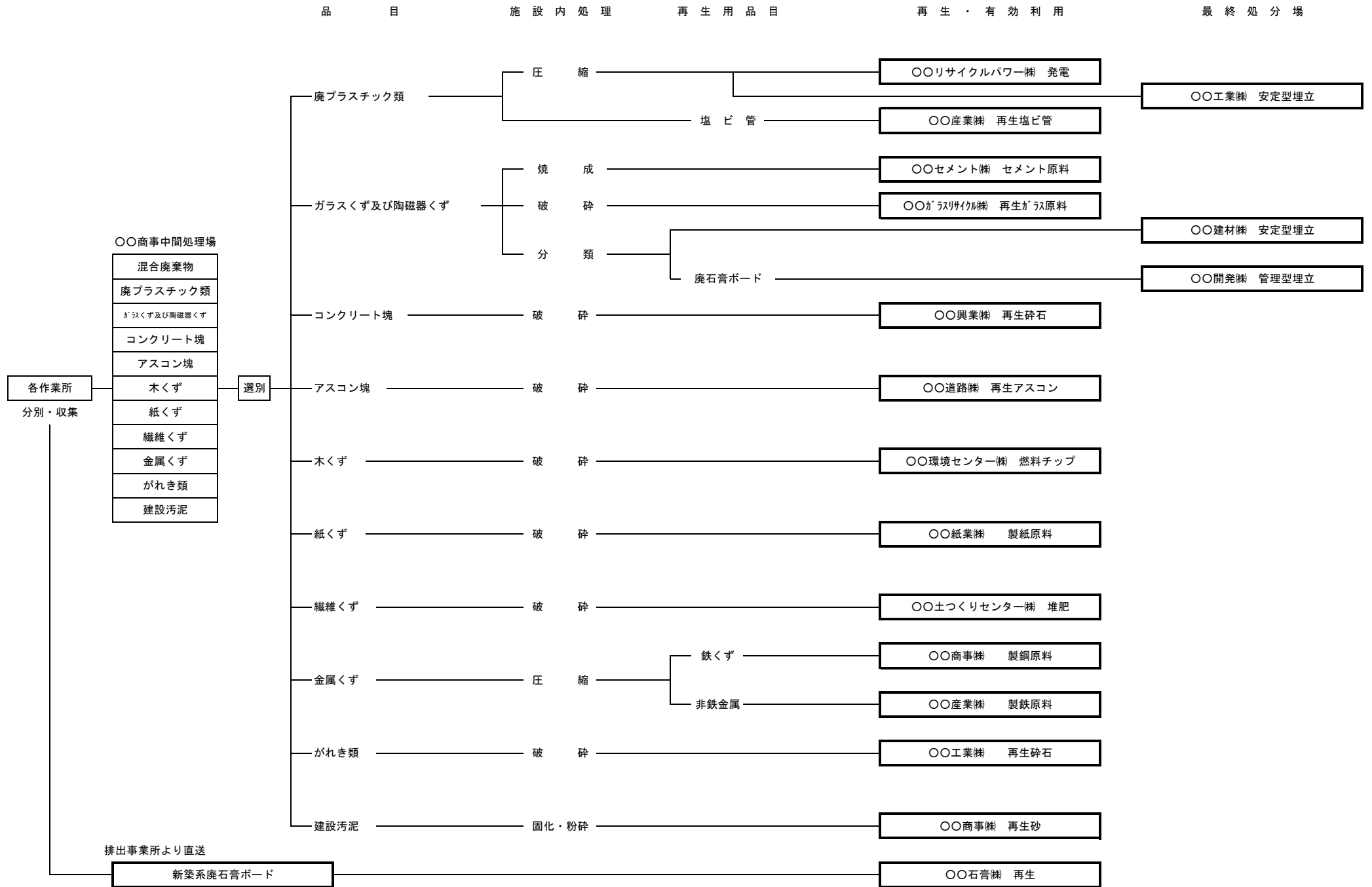
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

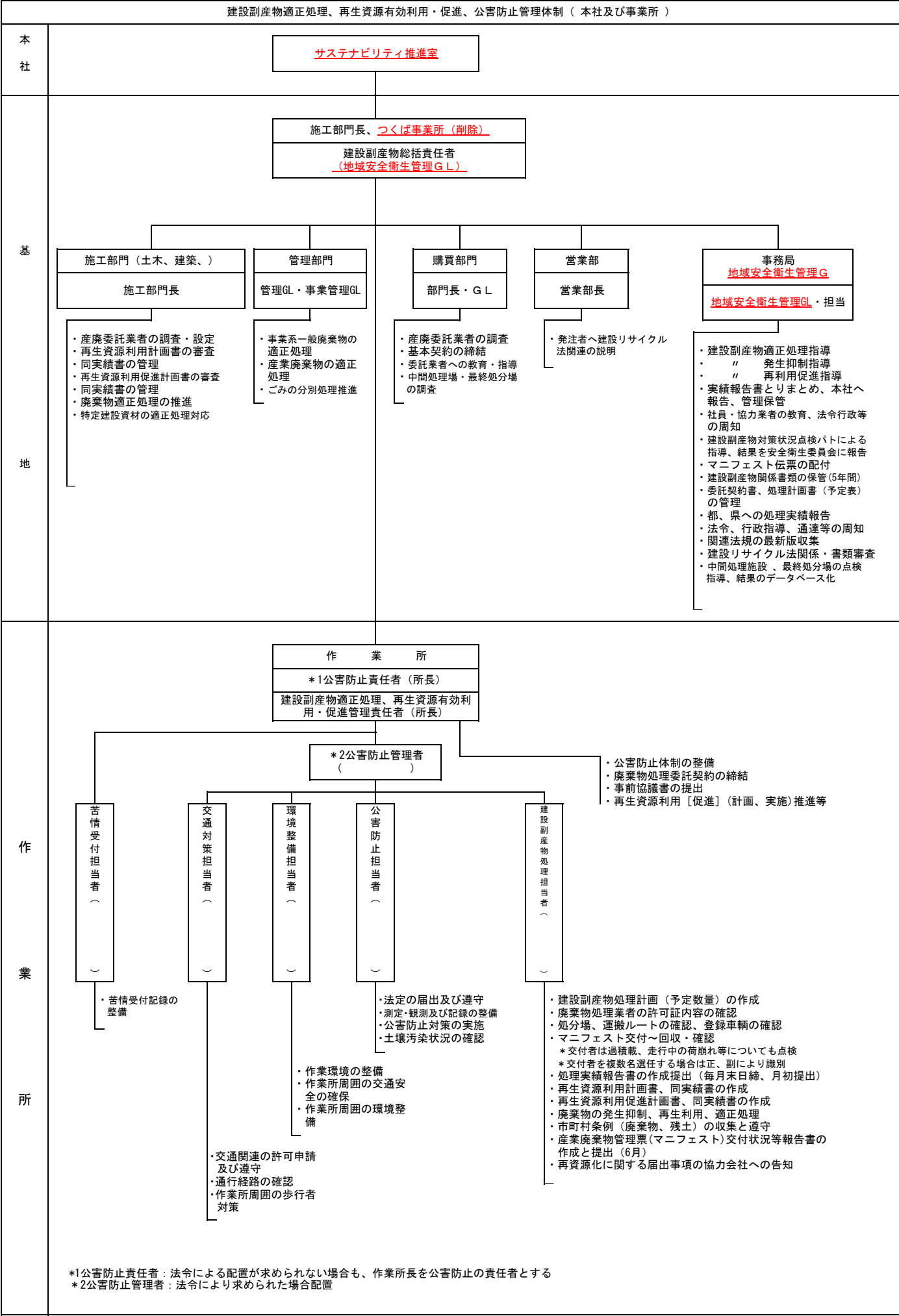
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		排 出 量	7924.95 t	2.825 t	137.05 t	1139.34 t	134.29 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
排 出 量		41 t	24 t	264 t	494 t	143 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	0								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
	全処理委託量	7924.95 t	2.825 t	137.05 t	1139.34 t	134.29 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	215.6 t	2.825 t	87.25 t	637.14 t	134.29 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	7924.95 t	2.825 t	137.05 t	1139.34 t	134.29 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物			
	全処理委託量	41 t	24 t	264 t	494 t	143 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	41 t	24 t	181 t	50 t	143 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	41 t	24 t	264 t	494 t	143 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

廃 棄 物 処 理 ・ 再 生 フ ロ ー 図



建設副産物管理組織表



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 19日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒113-0034	
住 所 東京都文京区湯島2-2-2JS令和ビル	
氏 名 日本総合住生活株式会 社関東支社	
執行役員支社長 小野寺 勇喜	
電話番号 03-6803-3600	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本総合住生活株式会社 千葉西支店
事業場の所在地	千葉県習志野市津田沼5-12-4 習志野クレスト4階
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	76億6戦万円
③ 従業員数	92名（正社員53名 常勤関係職員39名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
	(管理体制図) 別紙2のとおり	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	109.592 t	319.37 t
	(これまでに実施した取組) ・住戸内改修工事では撤去物のうち再利用が可能なもの（畳、流し等）は極力再利用となるよう発注者に対しては仕様変更の提案等を行うよう努めている。 ・屋外環境整備工事においては、コンクリート通路やアスファルト道路等の改修工事では撤去を伴う打替え工事から撤去不要のオーバーレイ工事への仕様変更を機会あるごとに発注者へ提案し協議の上、作業を進める等、積極的な発生抑制に取り組んでいる。 ・分譲工事その他民間から発注する工事については、営業段階から産業廃棄物の発生抑制につながる工法等を選択の上、顧客の理解を得ながら工事全体の枠組みを決めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	104.11 t	303.4 t
	(今後実施する予定の取組) ・当社はUR都市機構の賃貸・分譲住宅における建物全般の改修及び補修工事や屋外の環境整備工事等を主に受注しており、その他にも民間分譲マンション等で同様の補修工事を行っている。工事内容は、建築・機械・電気・土木造園と居住環境に係わる全ての物が対象となり、現場から排出される産業廃棄物の種類も多岐にわたっている。 ・顧客ニーズの変遷（ライフスタイルの多様化）や社会情勢の変化（顕在化する少子高齢化）等に影響されやすい事業であるが、その事業活動を通じて循環型社会の構築に少しでも貢献できるよう、あらゆる環境に対する配慮を怠ることなく産業廃棄物の発生抑制・再資源化に全社一丸となって取り組んでいきたい。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各工事現場から排出される発生材のうち、有価物（金属類、段ボール、紙くず等）の徹底した分別を行うよう教育・指導している。 ・建設現場にて粗分別を行い、その後自社保管場へ移送。保管場には種類毎のコンテナを設置、保管場管理人が管理、廃棄物委託の手配、マニフェスト発行を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・年間を通じ、これまで以上に産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用（再資源化）に取り組むとともに排出段階における混合廃棄物量の削減に積極的に取り組んでいく。 ・現場環境等の事情により止む無く混廃となる場合であっても収集・運搬及び中間・最終処分業者等との連携により、徹底した分別による再資源化率の向上を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	109.592 t	319.37 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.592 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	109.592 t	205 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
	・当社で構築したオンラインの産廃管理システム（JWNTと連携）により、産業廃棄物の適正管理（マニフェストの発行・登録・品目ごとの処分量分析・集計等）を実施している。 ・当社に登録された収集・運搬及び処分業者は100%電子マニフェストに加入している。 ・産業廃棄物の適正な処理状況を確認するため新規登録される中間・最終処理施設については登録前に現地及び営業状況の確認を行い既存施設については毎年1回現地確認を行うこととしている。 ・事業活動を通じた資源環境型社会・低炭素社会の実現に向けて、統合ISO産業廃棄物管理実施手順書にもとづき全ての事業活動、製品及びサービスに適用し効率的に運用している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	104.11 t	303.4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.56 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	104.11 t	194.75 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 関連事業者及び自社従業員に対し断続して産業廃棄物の適正な処理に対する情報提供（指導・教育）を行い関係法令の遵守、適正な契約及び事務処理、統合ISOに定める環境方針の周知等排出事業者としての責務を的確に履行していく。		
	・ 産業廃棄物の処理の委託に関する具体的な取り組みは以下のとおり。		
①処理委託業者の登録資格審査（年1回）			
②中間・最終処分業者の施設現地調査			
③委託する産業廃棄物の品目別処理方法・処分実績の確認（毎月）			
④各事業場における産業廃棄物の発生抑制及び排出時における分別の徹底			
⑤中間処理施設以降における再資源化率向上の指導及び実態の確認			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず
		排出量	54.4 t	0.5 t	309.945 t	92.19 t	98.8 t	10.52 t	2.46 t	156.45 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず
排出量		51.68 t	0.48 t	294.45 t	87.58 t	93.86 t	9.99 t	2.34 t	148.63 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に關する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず
	全処理委託量	54.4 t	0.5 t	309.945 t	92.19 t	98.8 t	10.52 t	2.46 t	156.45 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	25 t	0.5 t	309.945 t	18.08 t	1.3 t	0.55 t	2.46 t	6.05 t
	再生利用業者への 処理委託量	54.4 t	0.5 t	309.945 t	92.19 t	1.3 t	0 t	2.46 t	156.45 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型）	無機性汚泥	紙くず	木くず
	全処理委託量	51.68 t	0.48 t	294.45 t	87.58 t	93.86 t	9.99 t	2.34 t	148.63 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	23.75 t	0.48 t	294.45 t	17.18 t	1.24 t	0.52 t	2.34 t	5.75 t
	再生利用業者への 処理委託量	51.68 t	0.48 t	294.45 t	87.58 t	1.24 t	0 t	2.34 t	148.63 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
		排出量	148.252 t	2.4 t	288.73 t	1.27 t	19 t	9.275 t	26.344 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
排出量		140.84 t	2.28 t	274.29 t	1.21 t	18.05 t	8.81 t	25.03 t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

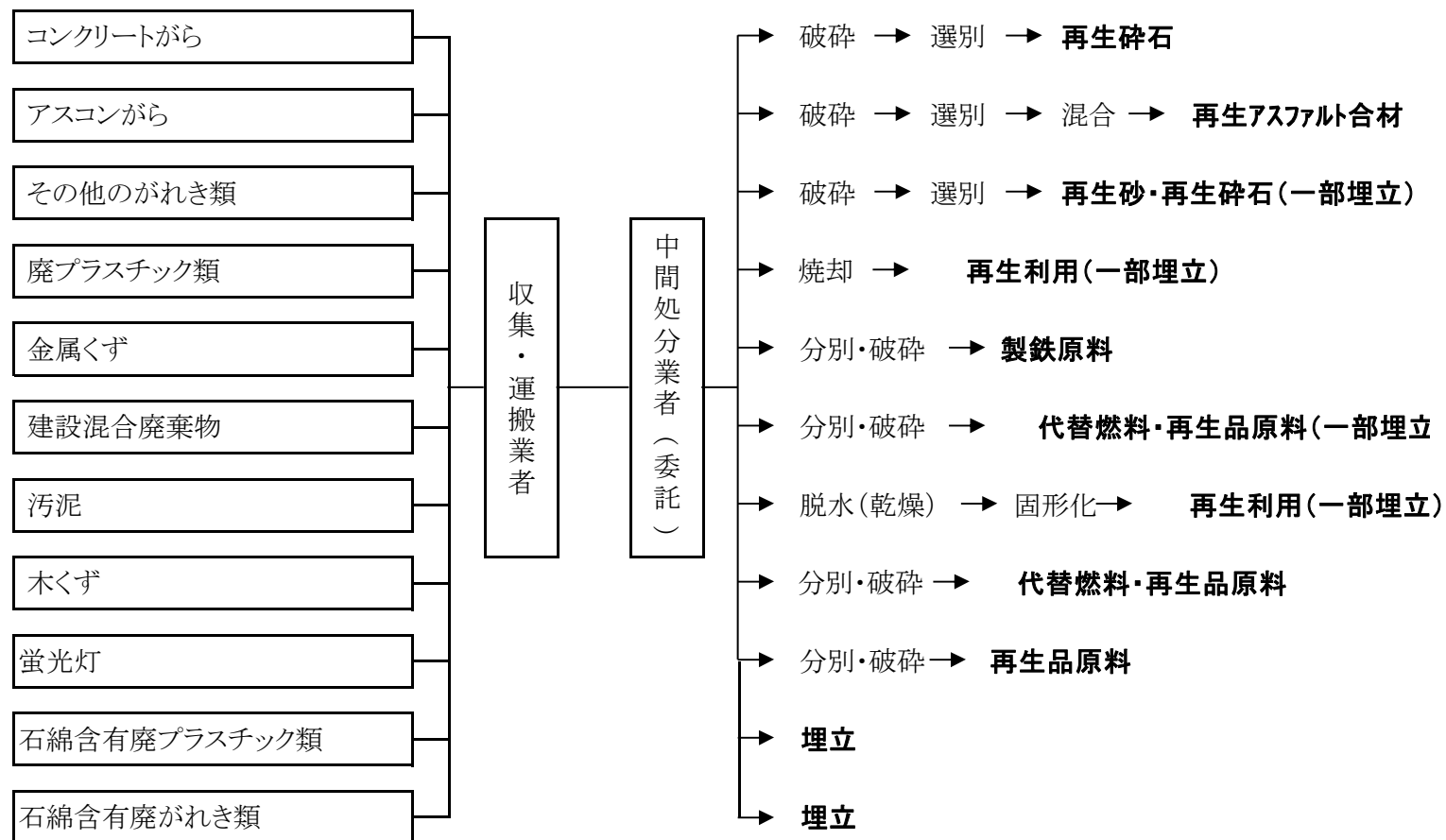
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に關する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
	全処理委託量	148.252 t	2.4 t	288.73 t	1.27 t	19 t	9.275 t	26.344 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	2.4 t	286.65 t	1.27 t	19 t	9.275 t	26.344 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	136.24 t	0 t	286.65 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型）	蛍光灯	有ガラス・コンクリート	綿含有廃プラスチック	石綿含有がれき類	
	全処理委託量	140.84 t	2.28 t	274.29 t	1.21 t	18.05 t	8.81 t	25.03 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	2.28 t	272.32 t	1.21 t	18.05 t	8.81 t	25.03 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	129.43 t	0 t	272.32 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の一連の処理の工程



関東支社 安全品質・産廃処理適正化推進委員会

委員長（支社長）

副委員長（副支社長）

副委員長（副支社長）

総務部長

営業部長

営業部
技術担当部長

業務部長

工事部長

工事部
設備担当部長

千葉西支店長

千葉北支店長

千葉支店長

浦和支店長

東埼玉支店長

西埼玉支店長

安全品質・産廃処理適正化推進部会

座長
安全品質管理部

総務部
総務課長

営業部
技術営業課課長

業務部
業務推進課長

工事部次長
（計画課事務取扱）

工事部
計画課長

工事部
工事課長

工事部
設備課長

工事部次長
（環境整備課事務取扱）

工事部
設計課長

千葉西支店
工事課長

千葉北支店
工事課長

千葉支店
工事課長

浦和支店
工事課長

東埼玉支店
工事課長

西埼玉支店
工事課長

事務局 安全品質管理部

（事務局長）

事務局

事務局

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 19日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 113-0034
住 所 東京都文京区湯島2-2-2JS令和ビル
氏 名 日本総合住生活株式会社 関東支社
執行役員支社長 小野寺 勇喜
電話番号 03-6803-3600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本総合住生活株式会社 千葉西支店
事業場の所在地	千葉県習志野市津田沼5-12-4 習志野クレスト4階
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

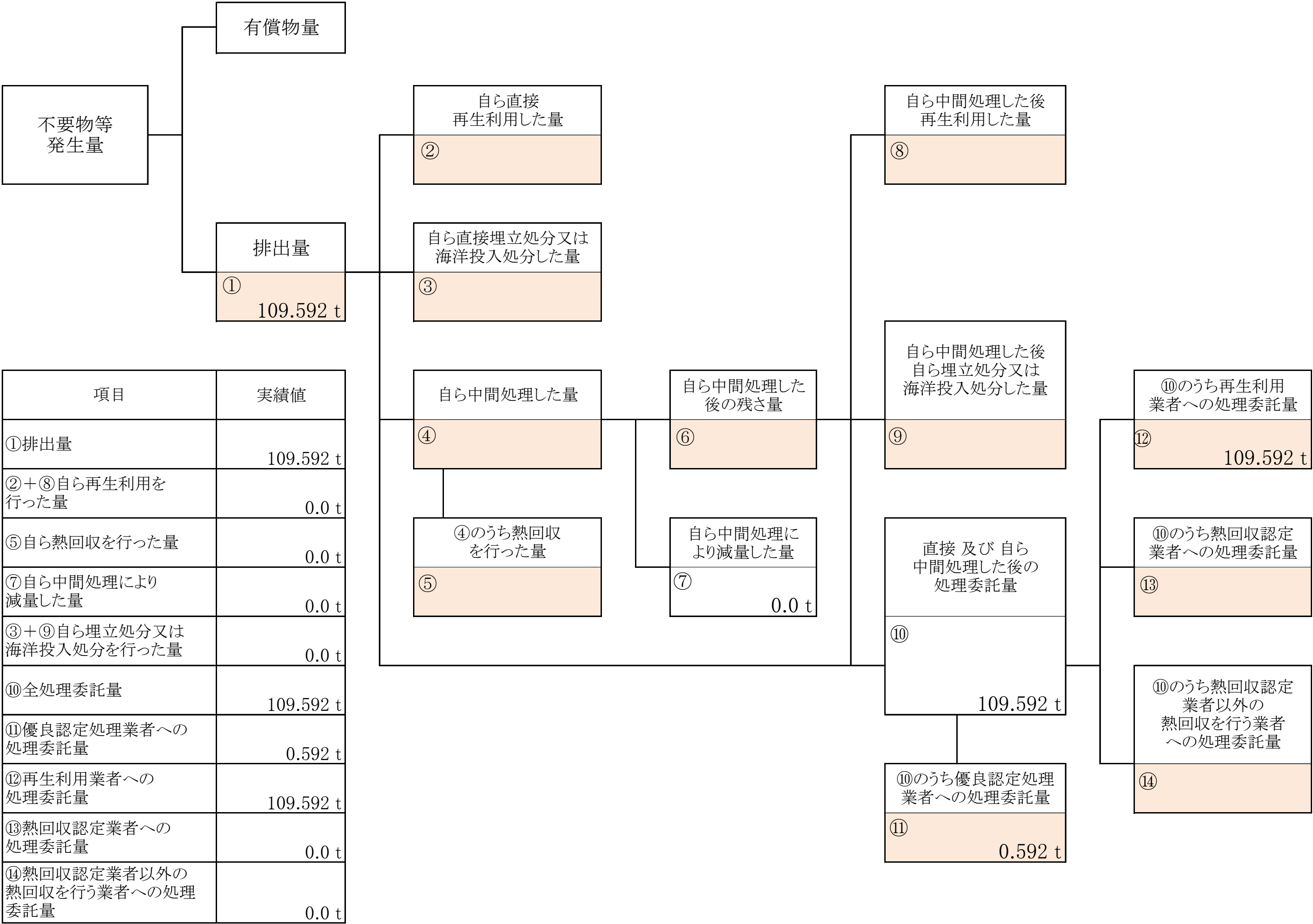
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	982.6 t	全処理委託量	982.6 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	462.02 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	865.81 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

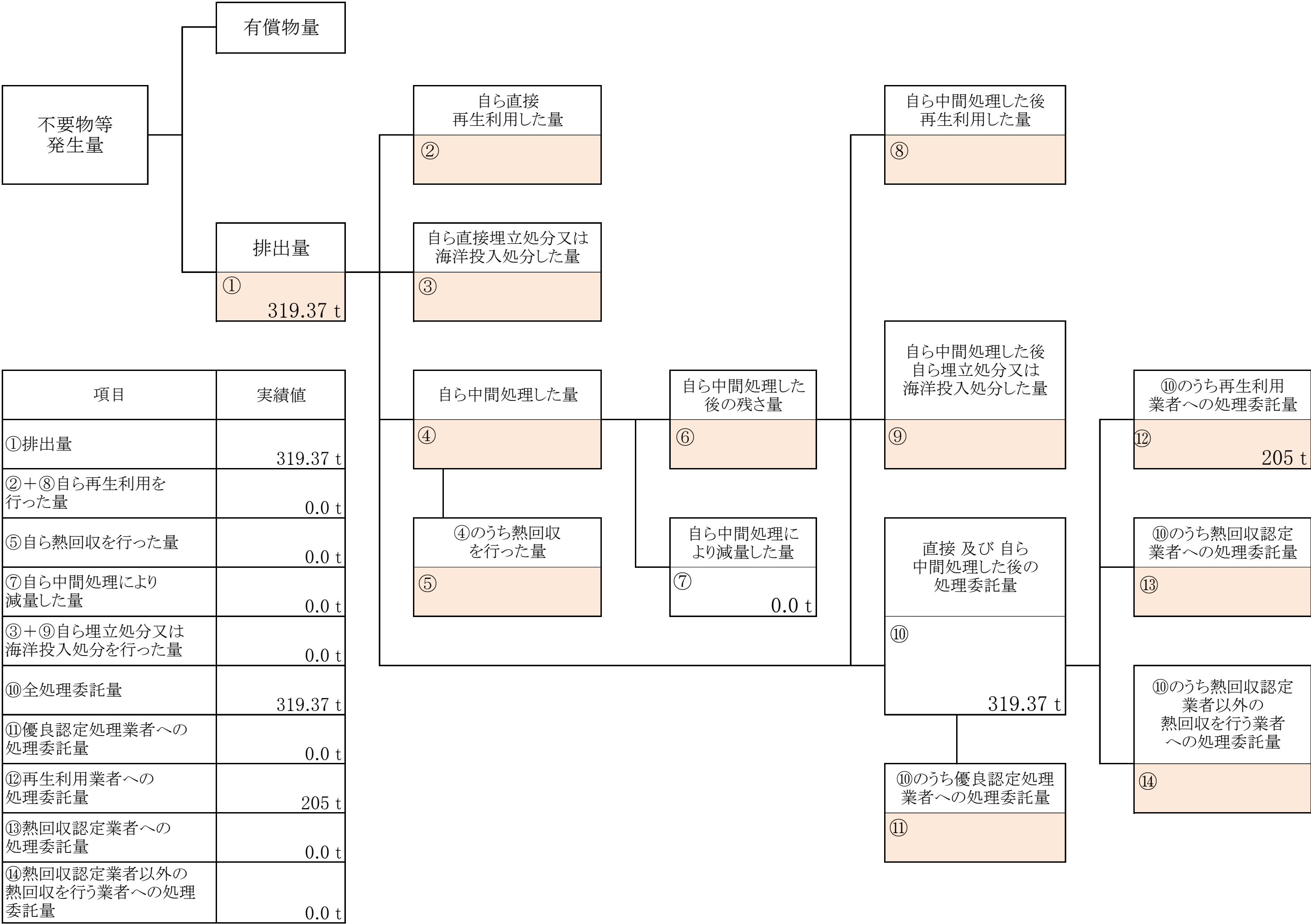
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)



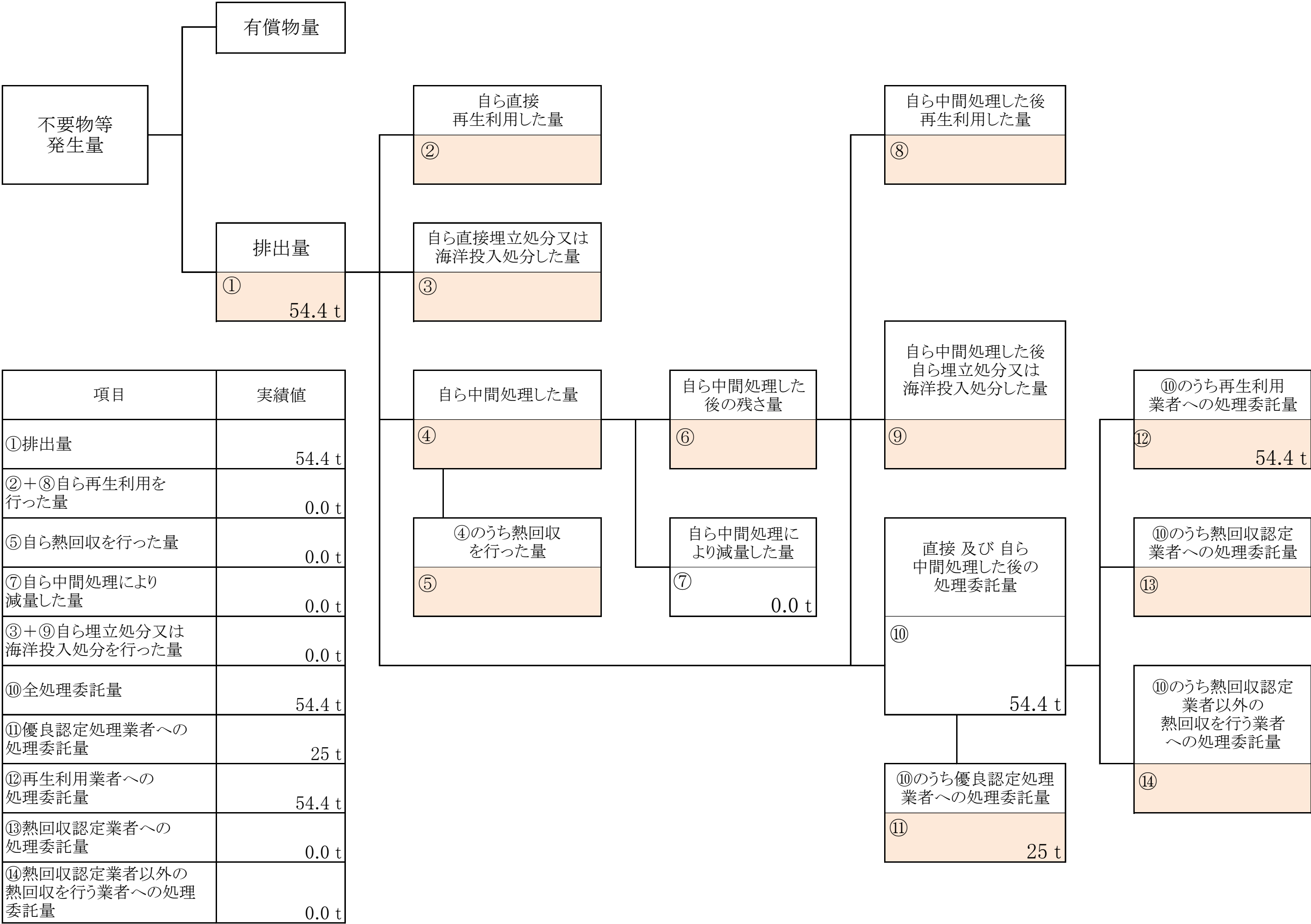
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスコンがら)



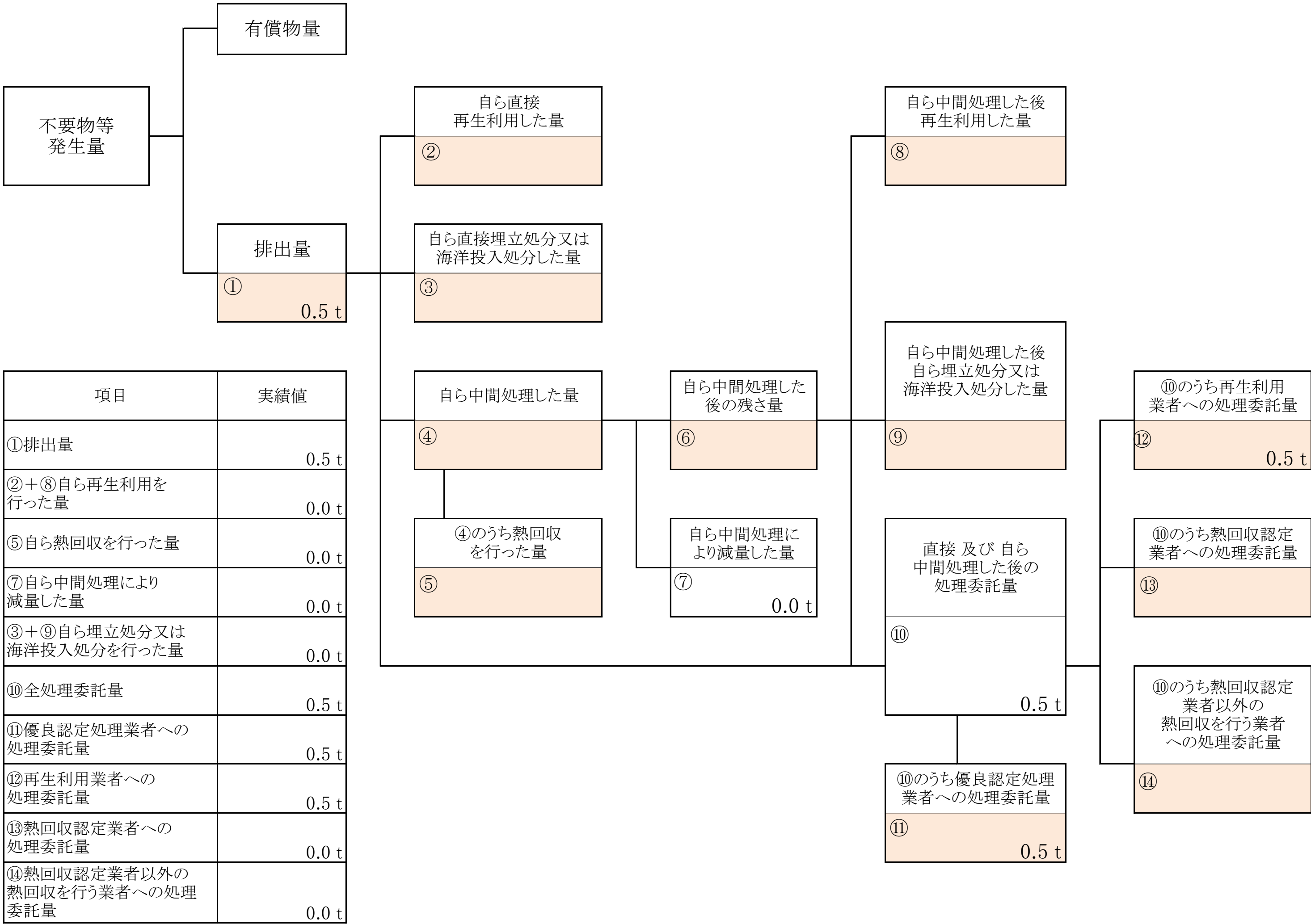
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他ガレキ)



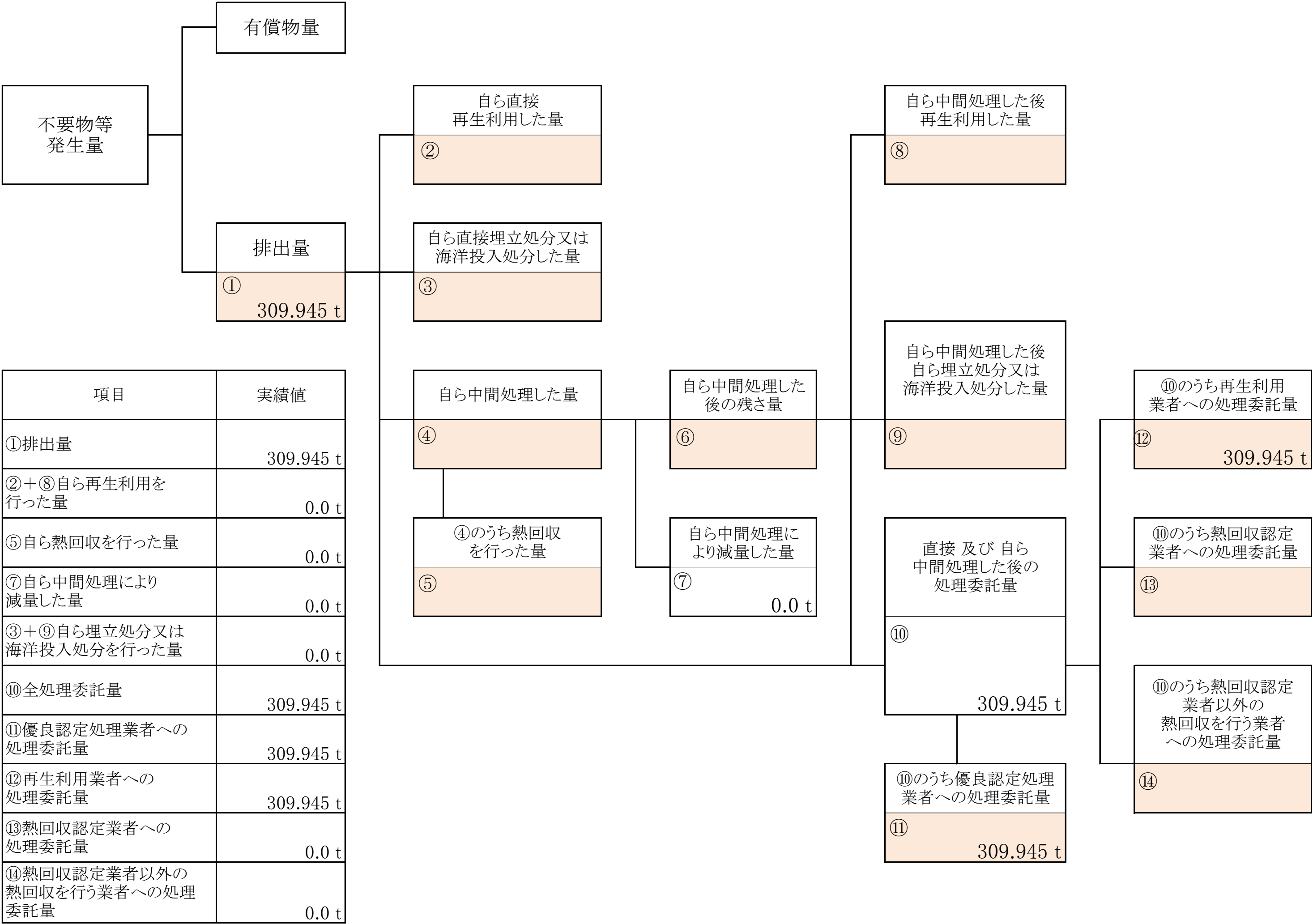
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)



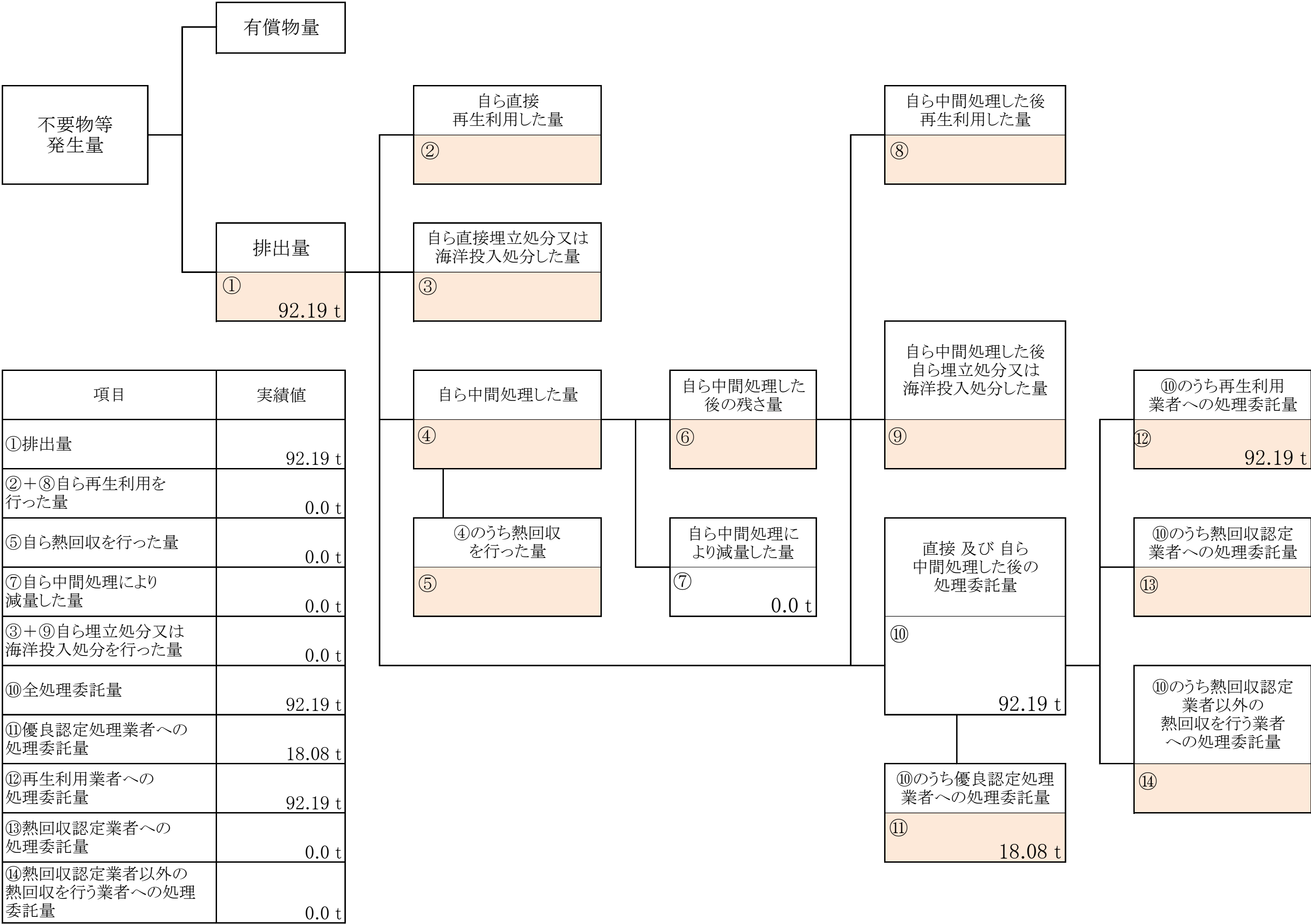
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



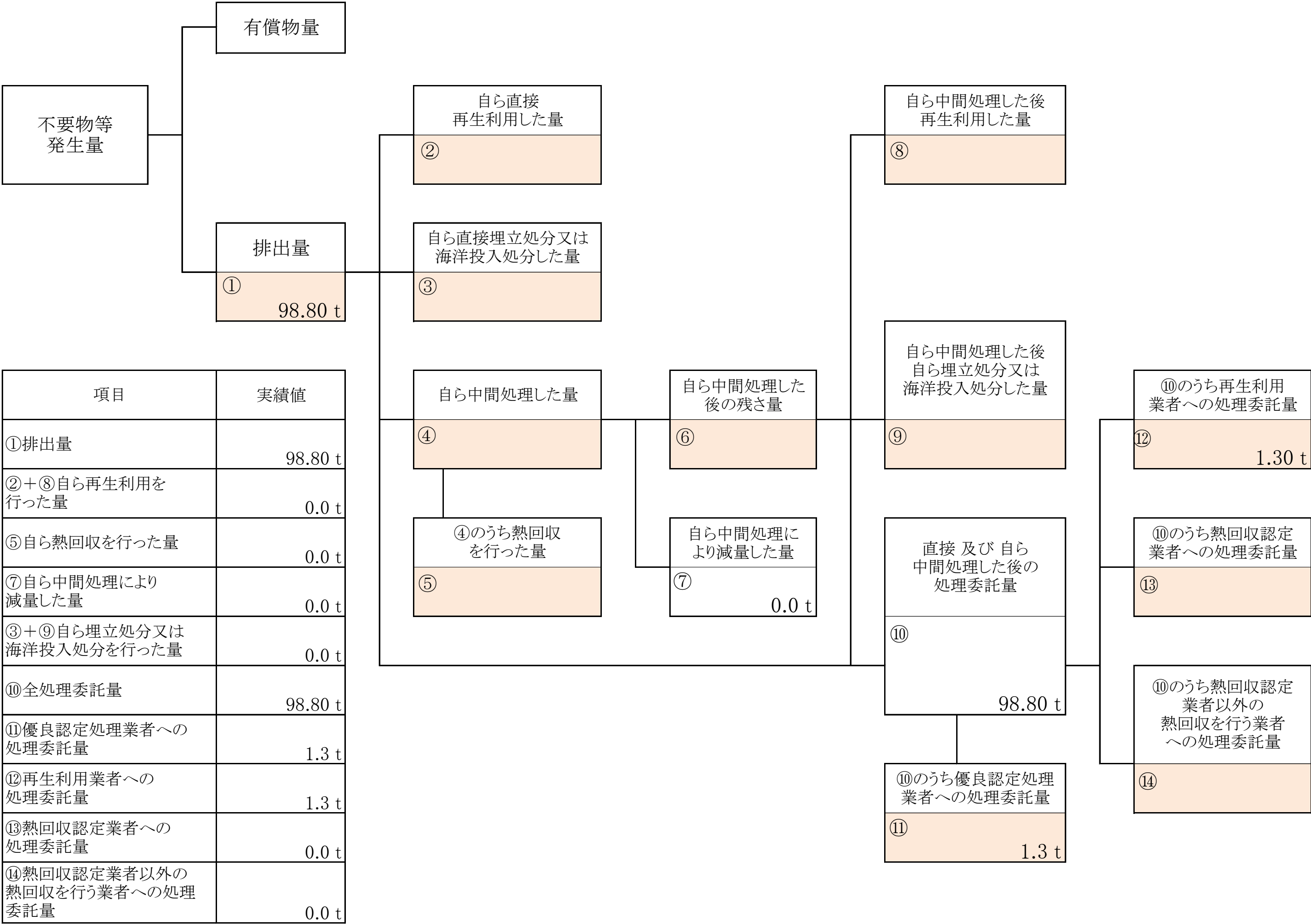
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



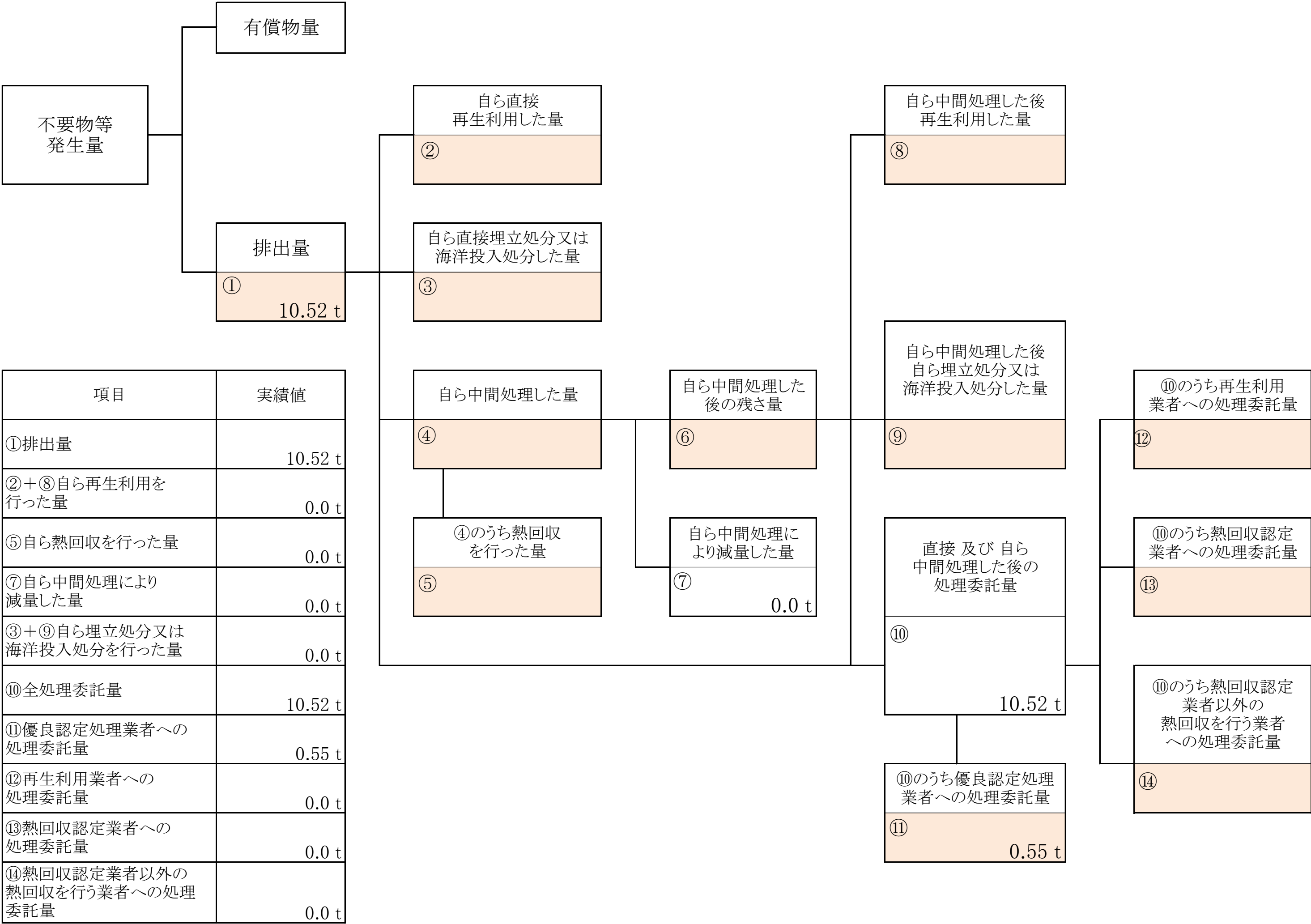
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合(安定型))



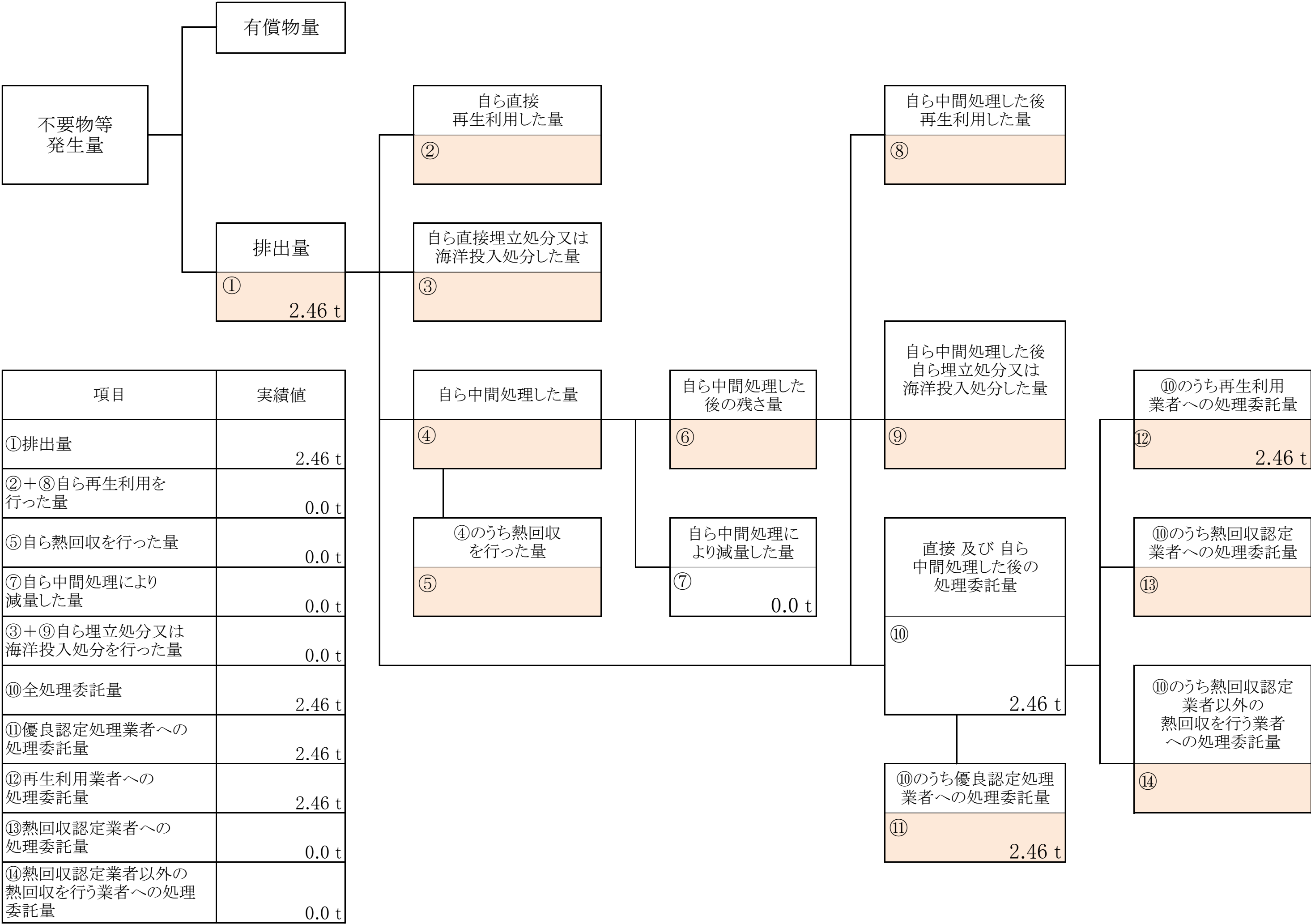
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 無機性汚泥)



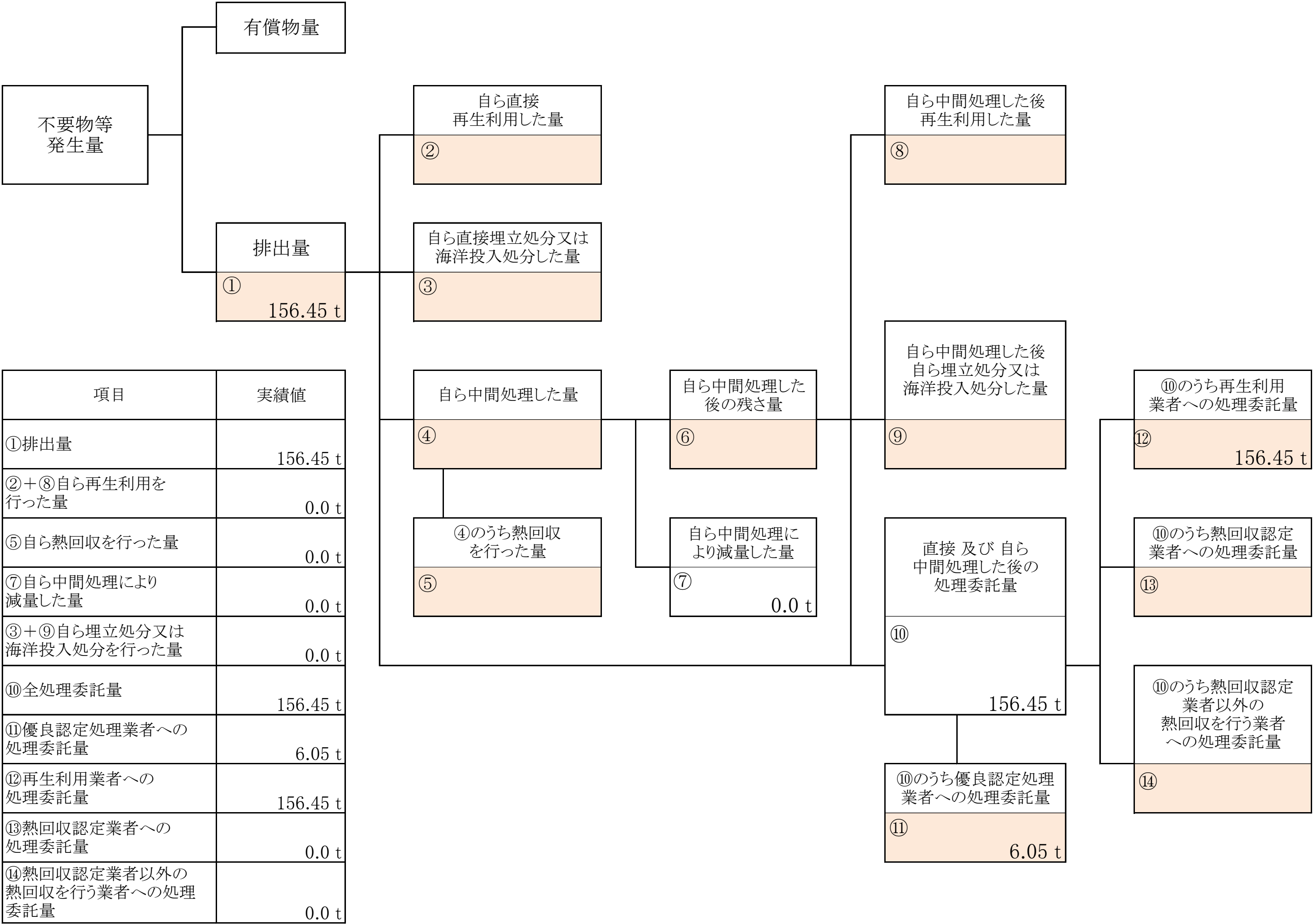
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



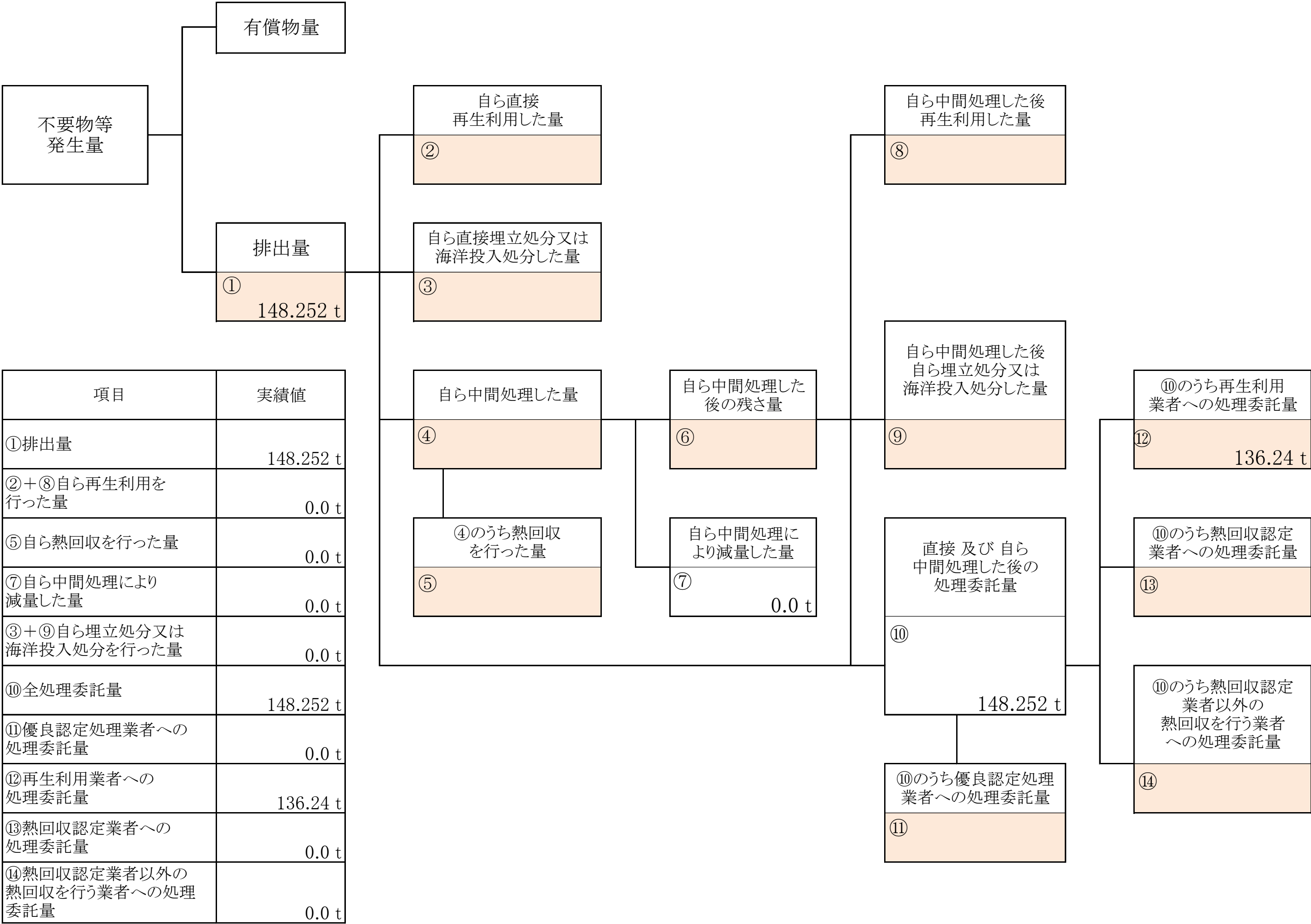
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



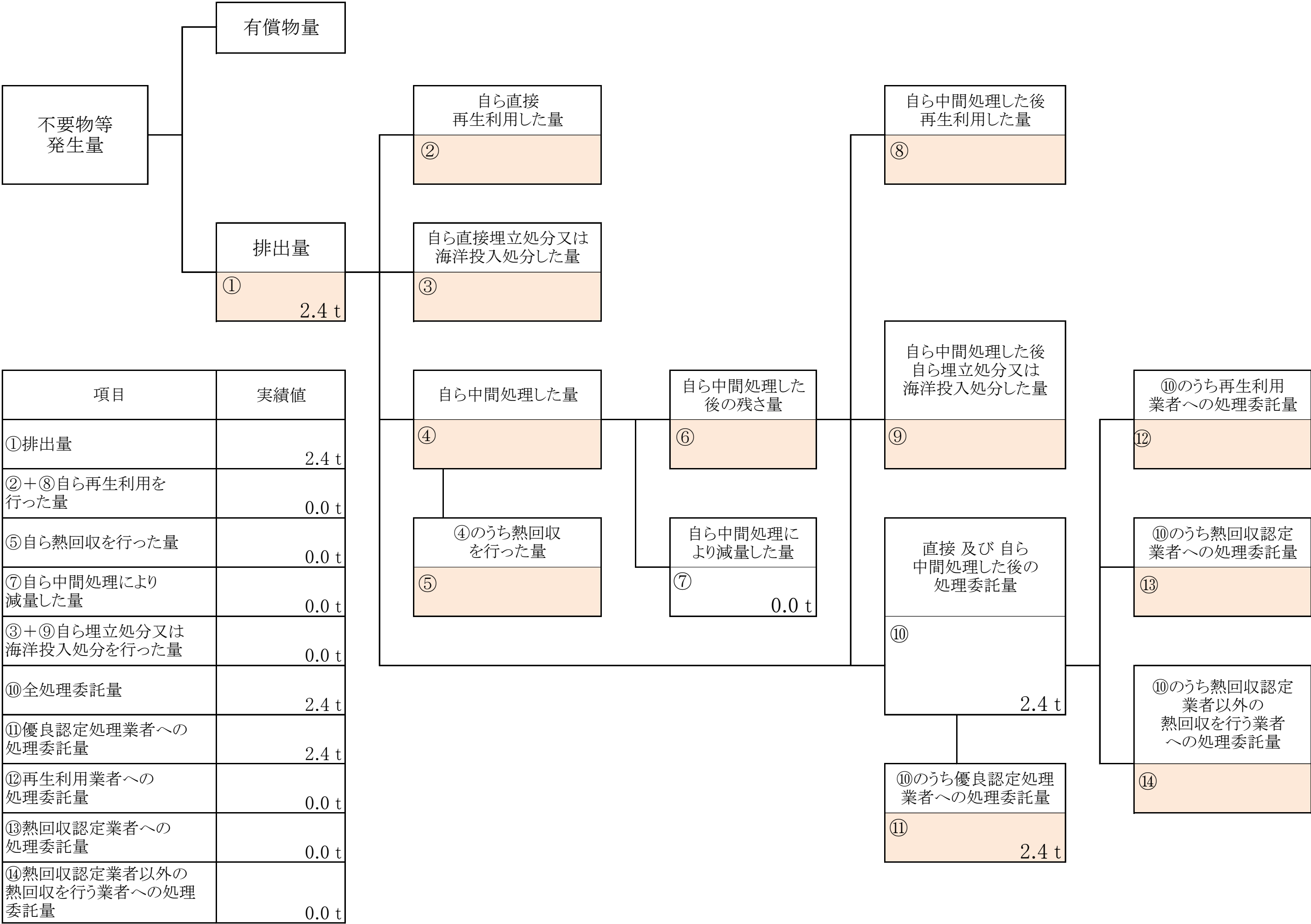
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



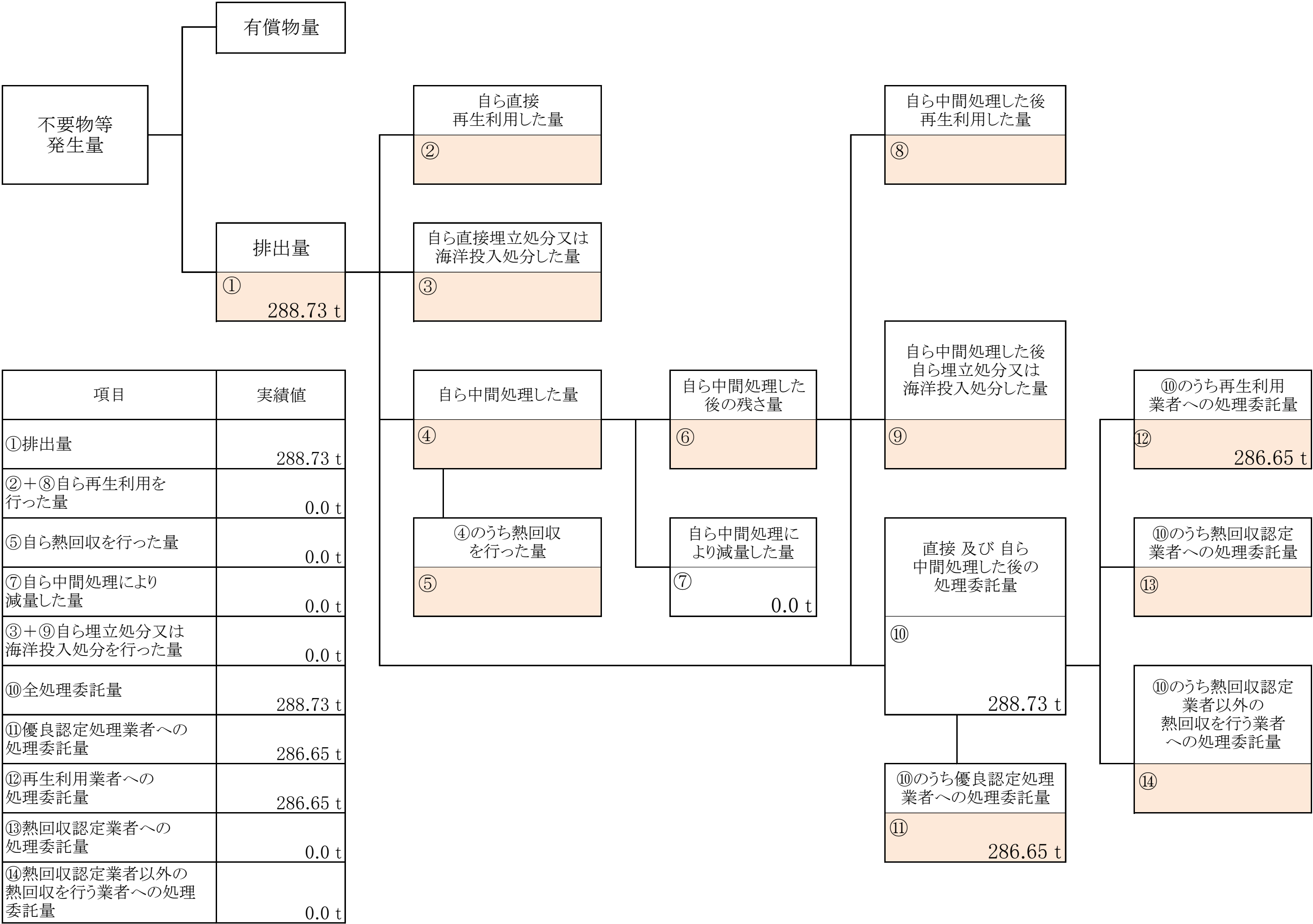
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)



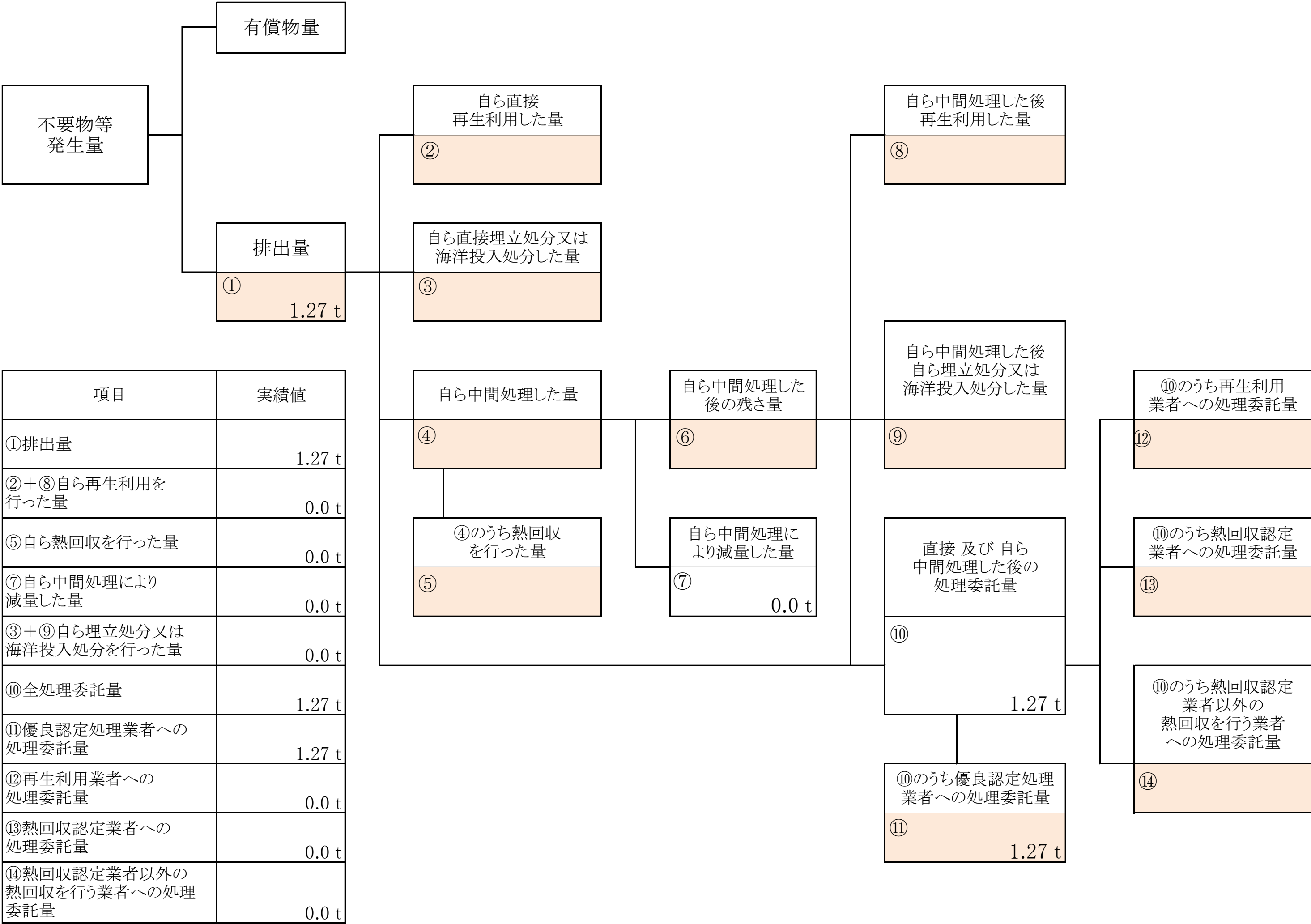
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合(管理型))



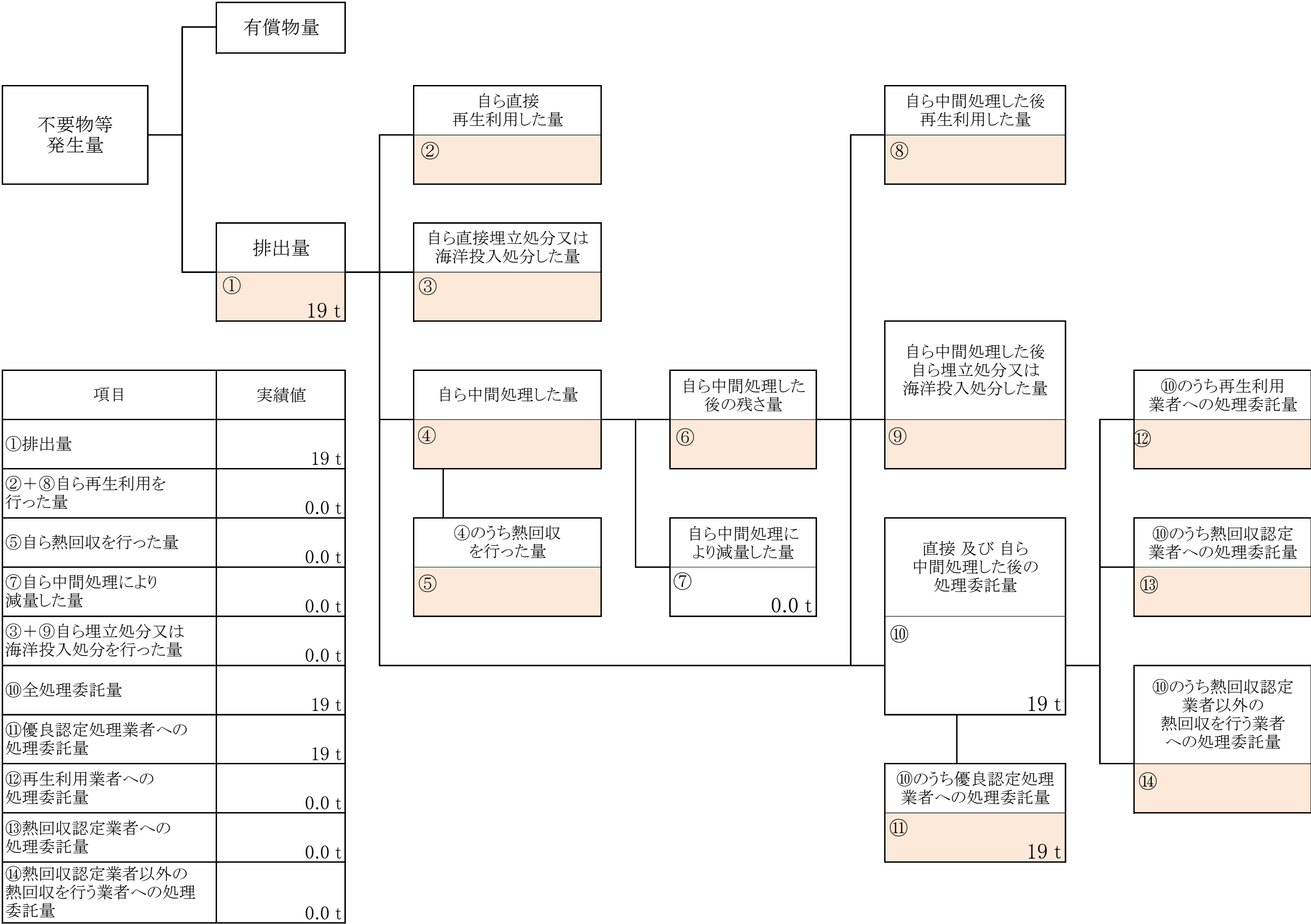
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 蛍光灯)



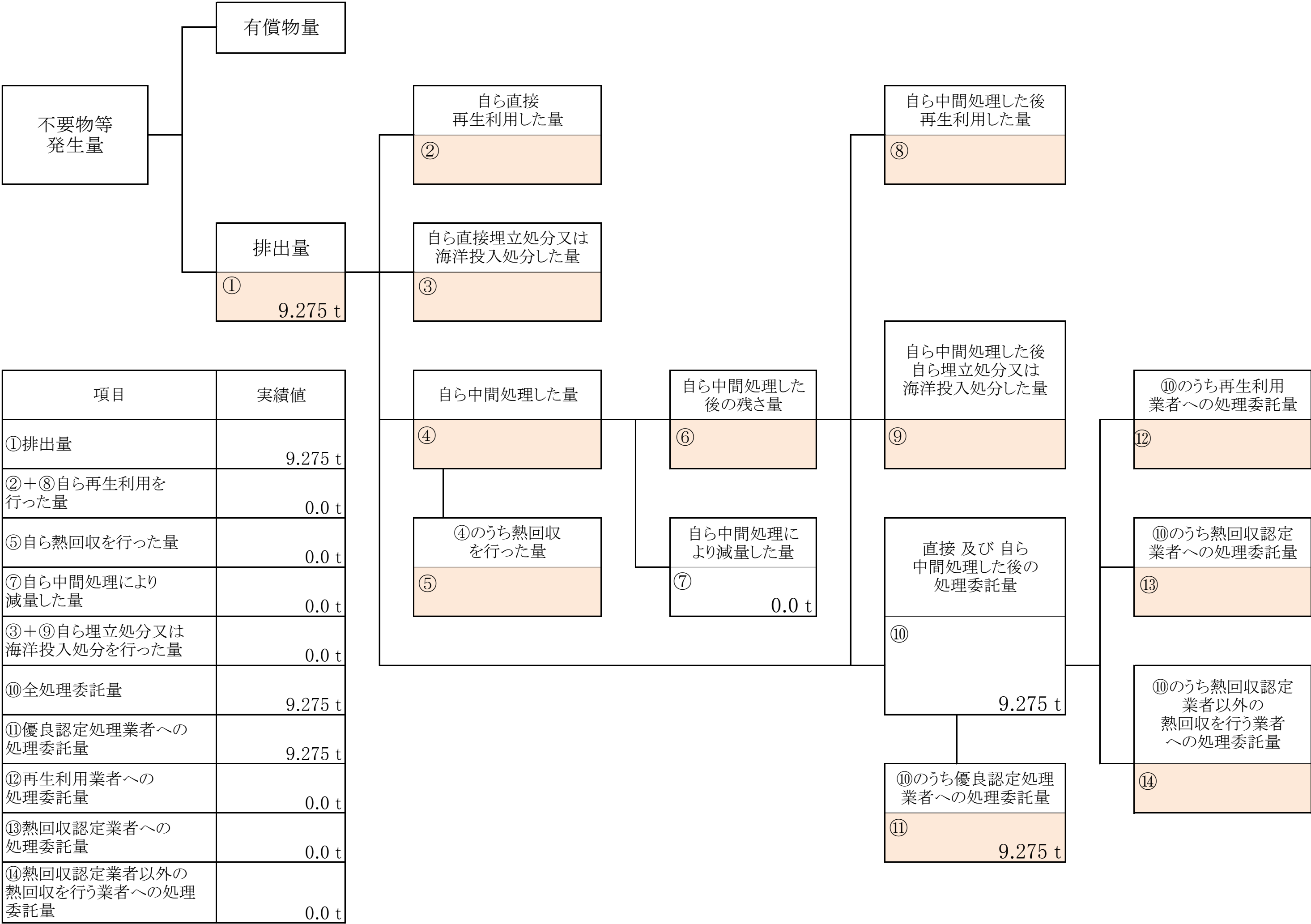
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有ガラス・コンクリート・陶器類)



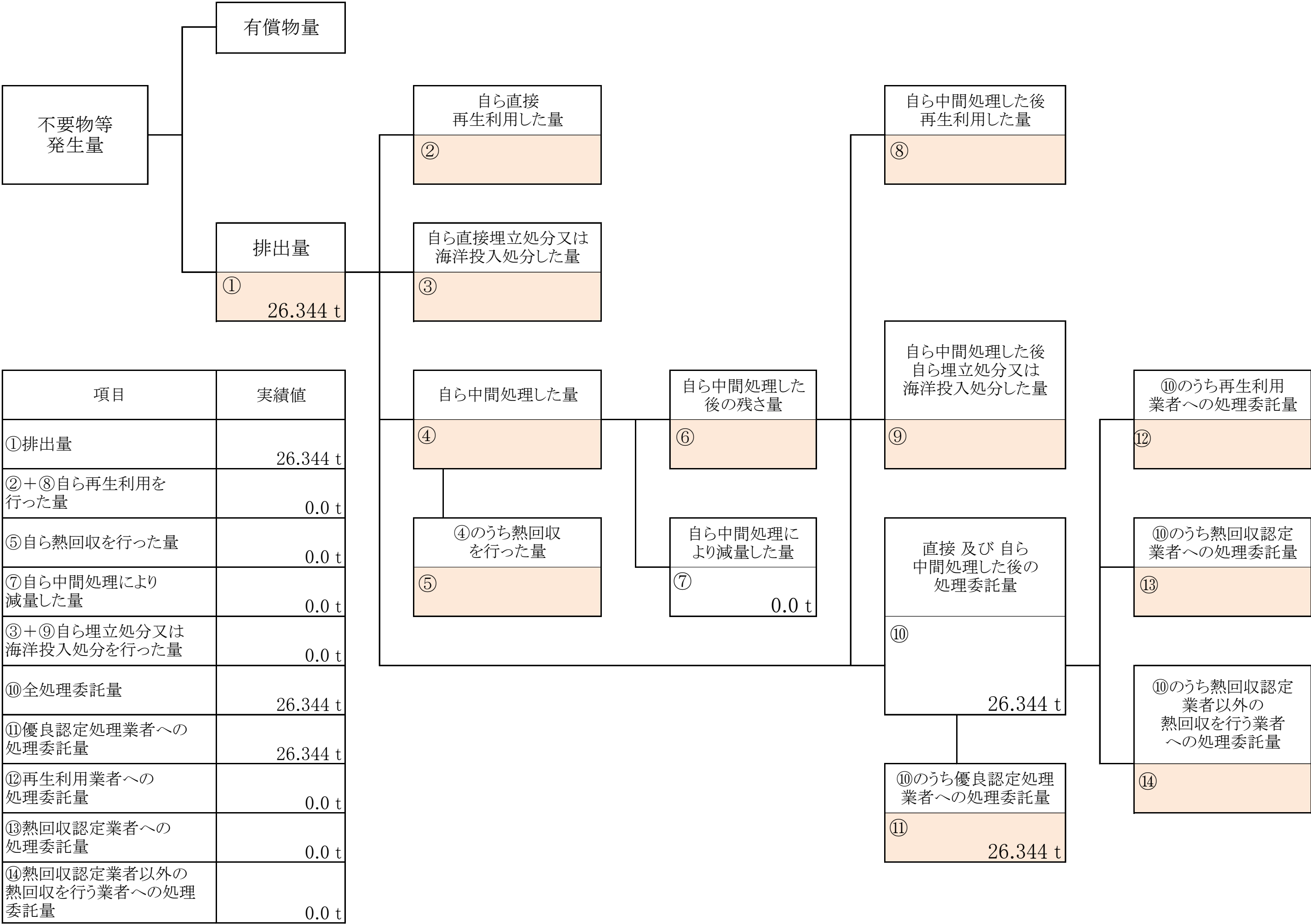
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有廃プラスチック)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有がれき類)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月29日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 260-0001
住 所 千葉県千葉市中央区都町1-19-1
法人名 日本道路株式会社 千葉営業所
代表者 渡部 耕一
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 043-234-6777

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本道路株式会社 千葉営業所		
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区都町1-19-1		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	前年度元請完成工事高 16億8千万円		
③従業員数	48人（正社員39人、常勤関係職員9人）		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1【処理工程図】のとおり		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2【管理体制図】のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	99.08 t	15.4 t
	(これまでに実施した取組) ・路上再生工法等の発生抑制工法を提案し施工		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	90 t	12 t
	(今後実施する予定の取組) ・発注者と発生抑制について協議し、発生抑制工法を提案し実践する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、汚泥・廃アルカリ、廃プラスチック類、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、石膏ボード、がれき類、鋳さい、紙くず、木くず、安定型建設混合廃棄物、管理型建設混合廃棄物、アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがらの15品目に分けて分別している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引続き汚泥、汚泥・廃アルカリ、廃プラスチック類、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、石膏ボード、がれき類、鋳さい、紙くず、木くず、安定型建設混合廃棄物、管理型建設混合廃棄物、アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがらの15品目に分けて分別する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社の処理施設がないため実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も実施する予定はない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社の処理施設がないため実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も実施する予定はない		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 自社で埋立処分又は海洋投入処分を実施したことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自社で埋立処分又は海洋投入処分を実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	99.08 t	15.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	15.4 t
	再生利用業者への処理委託量	99.08 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 再生利用ができる委託業者に処理を委託している		

(第5面)

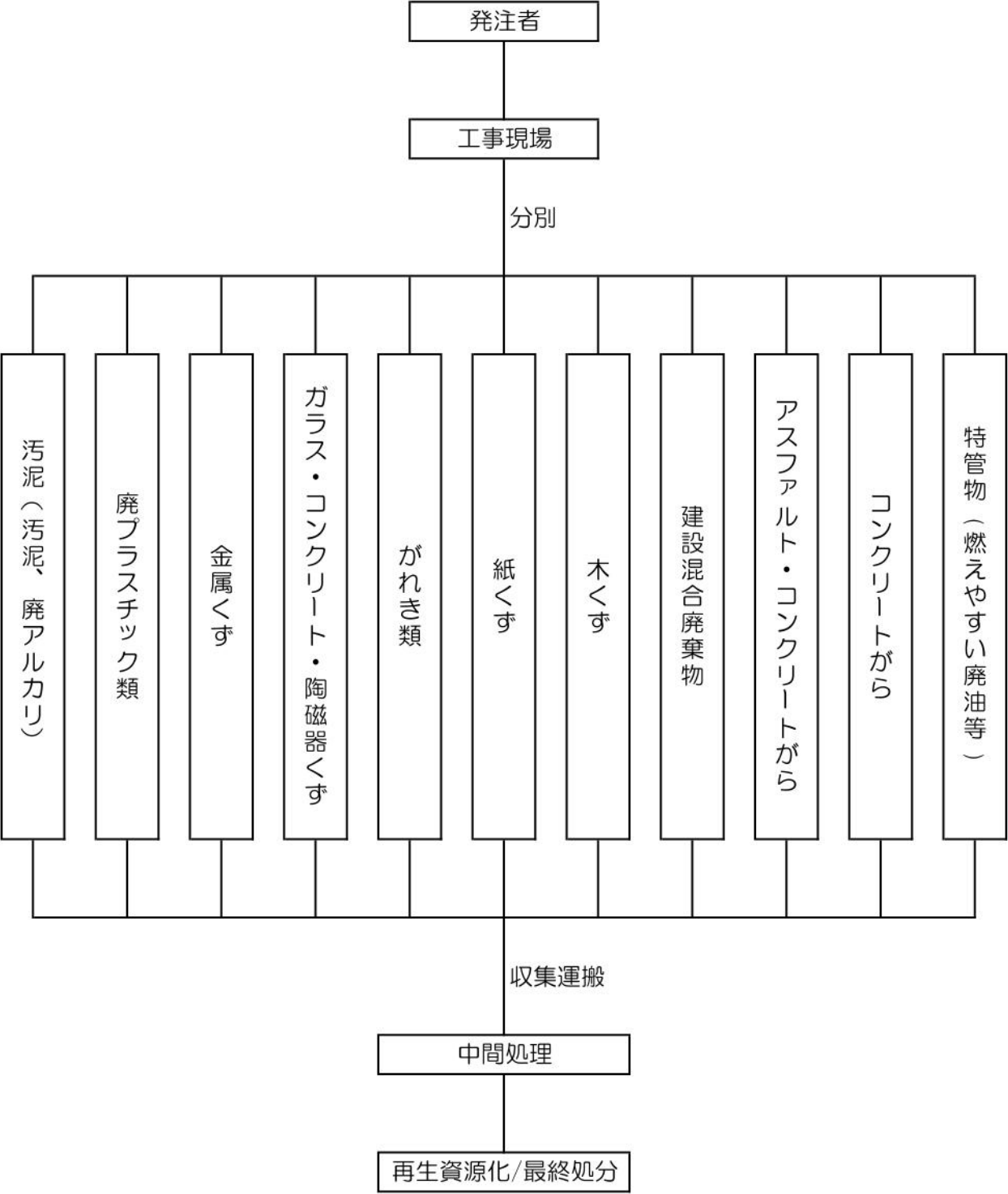
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	90 t	12 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	12 t
	再生利用業者への処理委託量	90 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も再生利用ができる委託業者に処理を委託する		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 【処理工程図】

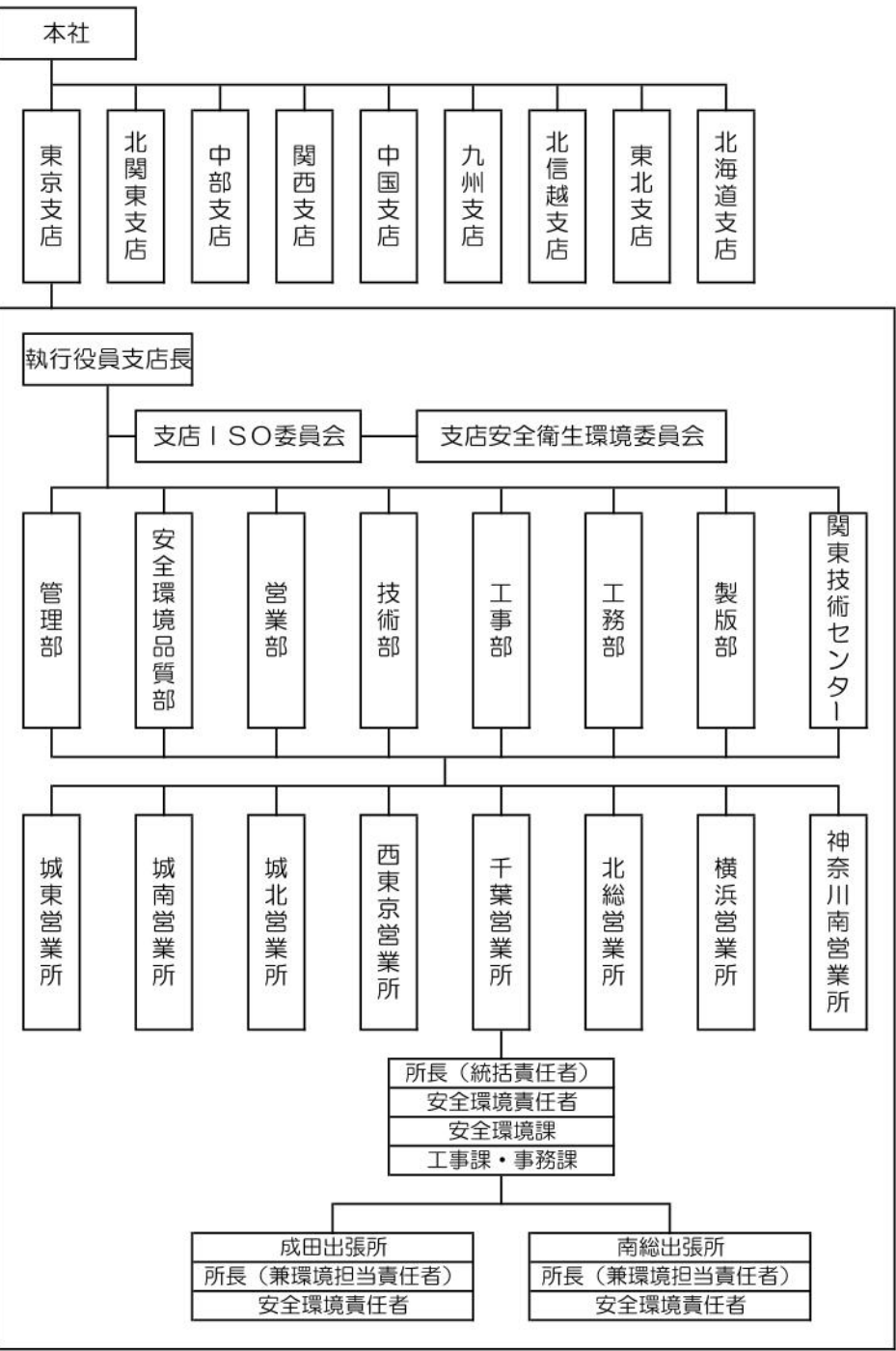


別紙2【管理体制図】

産業廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		所属：千葉営業所
廃棄物担当		千葉営業所（安全環境担当責任者） 安全環境課 工事課 事務課 南総出張所（兼環境担当責任者） 工事課 事務課 成田出張所（兼環境担当責任者） 工事課 事務課
役割	統括責任者	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を各事業所・担当者と検討する。 ○ 廃棄物処理に関する各事項の決定、承認
	環境責任者 安全環境課	○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 各事業所の廃棄物管理規定の策定・改廃（情報を共有化） ○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と検討 ○ 産業廃棄物施設の操業、及び管理状況の把握・確認 ○ 特別産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○ 監督庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育、啓発 ○ その他
	管理課 事務課	○ 委託契約書の締結 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ その他

廃棄物管理組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	排　出　量	2.825 t	8 t	4773.88 t	2.4 t	56.1 t	7.67 t	10509.92 t	1256.89 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	排　出　量	2 t	6 t	4000 t	2 t	50 t	6 t	10000 t	1200 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に關する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度（令和５年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	全処理委託量	2.825 t	8 t	4773.88 t	2.4 t	56.1 t	7.67 t	10509.92 t	1256.89 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2.825 t	0 t	0 t	2.4 t	0 t	7.67 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	8 t	4773.88 t	0 t	56.1 t	0 t	10509.92 t	1256.89 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	がれき類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	全処理委託量	2 t	6 t	4000 t	2 t	50 t	6 t	10000 t	1200 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2 t	0 t	0 t	2 t	0 t	6 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	6 t	4000 t	0 t	50 t	0 t	10000 t	1200 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月6日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 260-0001			
住所 千葉県千葉市中央区都町1-19-1			
法人名 日本道路株式会社 千葉営業所			
代表者 渡部 耕一			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 043-234-6777			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	日本道路株式会社 千葉営業所		
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区都町1-19-1		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	25114.4 t	全処理委託量	25114.4 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	94.4 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	25020 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格 A列4番)

N0.1

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	99.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	99.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	99.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	15.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 鉱さい)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	8.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	4773.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4773.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4773.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	56.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	56.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	56.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	7.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	10509.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10509.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10509.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリートがら

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量		
	①排出量	1256.9t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
		1256.9 t	④自ら中間処理した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1256.9 t
		0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1256.9 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外 の熱回収を行う業者への処理委託量
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	④自ら中間処理した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1256.9 t	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑩全処理委託量	1256.9 t	④自ら中間処理した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1256.9 t	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	④自ら中間処理した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1256.9 t	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量	1256.9 t	④自ら中間処理した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1256.9 t	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	④自ら中間処理した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1256.9 t	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	④自ら中間処理した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1256.9 t	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 5月 23 日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒273-0101

住 所 千葉県鎌ケ谷市富岡2-3-2

氏 名 日本道路株式会社 北総営業所
所長 上津原達也

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-446-2381



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本道路株式会社 北総営業所
事業場の所在地	千葉県鎌ケ谷市富岡2-3-2
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06一総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高2億6千万円
③ 従業員数	15人（正社員14人、常勤関係職員1人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	排出量	3.63 t	40.95 t
	(これまでに実施した取組) 路上再生広工法等の発生抑制工法を提案し施工。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	排出量	3 t	40 t
	(今後実施する予定の取組) 発注者と発生抑制について協議し、発生抑制工法を提案し実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、汚泥・廃アルカリ、廃プラスチック類、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリート・陶磁器くず、石膏ボード、がれき類、鉱さい、紙くず、木くず、安定型建設混合廃棄物、管理型建設混合廃棄物、アスファルト・コンクリートガラの15品目に分けて分別して
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、汚泥・廃アルカリ、廃プラスチック類、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリート・陶磁器くず、石膏ボード、がれき類、鉱さい、紙くず、木くず、安定型建設混合廃棄物、管理型建設混合廃棄物、アスファルト・コンクリートガラの15品目に分けて分別す

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社の処理施設がないため実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社の処理施設がないため実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社で埋立処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自社で埋立処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	全処理委託量	3.63 t	40.95 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	40.95 t
	再生利用業者への処理委託量	2.09 t	40.95 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 再生利用ができる委託業者に処理を委託している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	全処理委託量	3 t	40 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	40 t
	再生利用業者への 処理委託量	3 t	40 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生利用ができる業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	排 出 量	2294.24 t	407.46 t	1613.92 t	0.6 t	1.13 t	13.78 t	28.5 t	22.2 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	排 出 量	2000 t	400 t	1600 t	0.3 t	1 t	13 t	28 t	20 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
----------------------	--	--	--	--

	【前年度（令和5年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

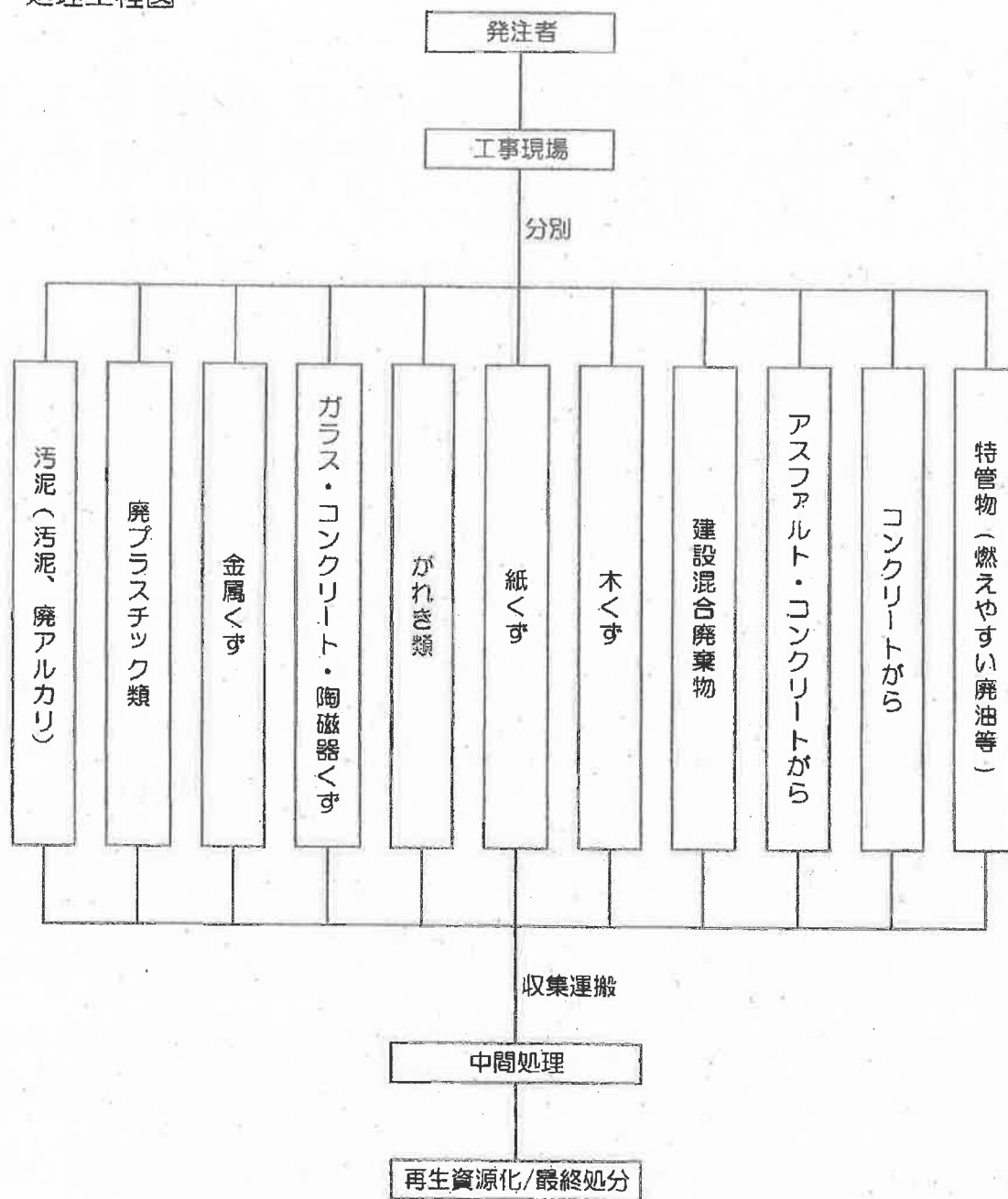
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	全処理委託量	2294.24 t	407.46 t	1613.92 t	0.6 t	1.13 t	13.78 t	28.5 t	22.2 t
	優良認定事業者への 処理委託量	666.74 t	0 t	24.2 t	0.6 t	1.13 t	4.94 t	0 t	22.2 t
	再生利用者への 処理委託量	2294.24 t	407.46 t	1613.92 t	0.6 t	1.13 t	0 t	28.5 t	22.2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト・コンクリートガラ	木くず	紙くず	金属くず	建設混合廃棄物	旧路盤材	がれき類
	全処理委託量	2000 t	400 t	1600 t	0.3 t	1 t	13 t	28 t	20 t
	優良認定事業者への 処理委託量	2000 t	0 t	1600 t	0.3 t	1 t	13 t	0 t	20 t
	再生利用者への 処理委託量	2000 t	400 t	1600 t	0.3 t	1 t	0 t	28 t	20 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

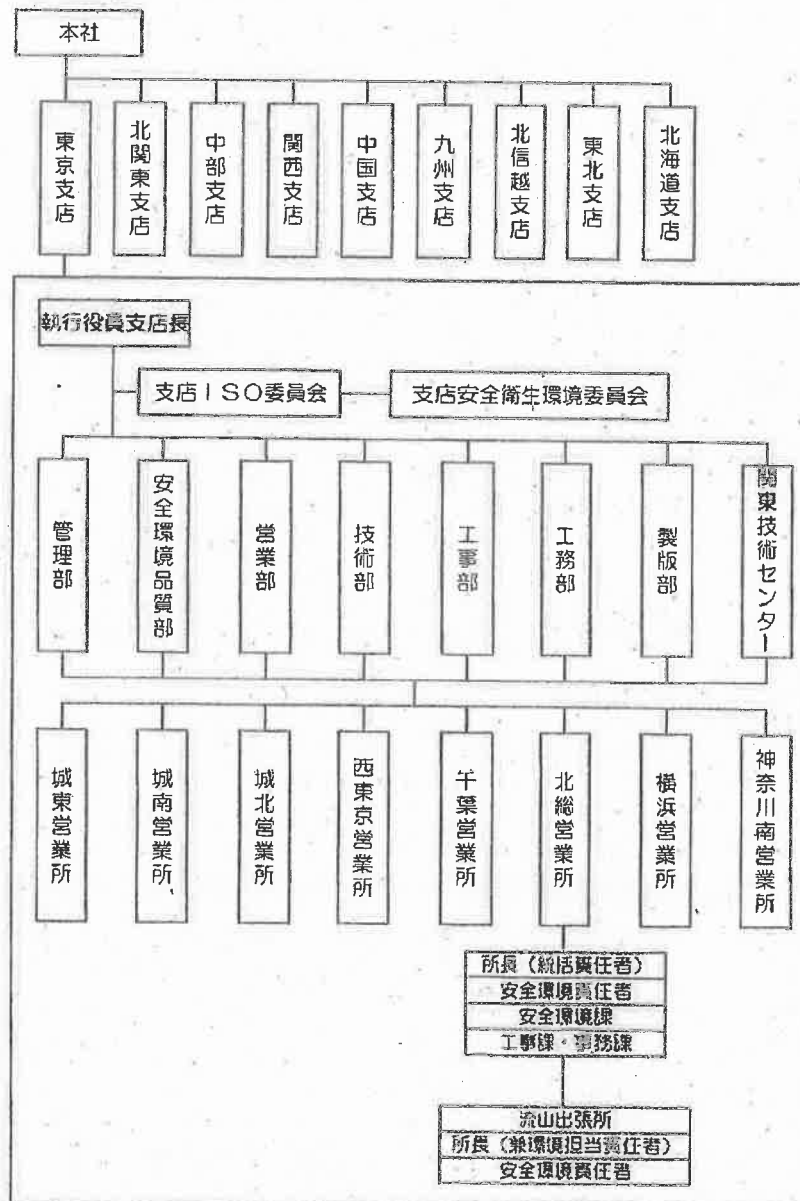
別紙1
処理工程図



産業廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		所属：千葉営業所
役割	廃棄物担当	千葉営業所（安全環境担当責任者） 安全環境課 工事課 事務課 南総出張所（兼環境担当責任者） 工事課 事務課 成田出張所（兼環境担当責任者） 工事課 事務課 北総営業所（安全環境担当責任者） 安全環境課 工事課 事務課 流山出張所（兼環境担当責任者） 工事課 事務課
	統括責任者	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を各事業所・担当者で検討する。 ○ 廃棄物処理に関する各事項の決定、承認
	環境責任者 安全環境課	○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 各事業所の廃棄物管理規定の策定・改廃（情報を共有化） ○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と検討 ○ 産業廃棄物施設の操業、及び管理状況の把握・確認 ○ 特別産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○ 監督庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育、啓発 ○ その他
	管理課 事務課	○ 委託契約書の締結 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ その他

廃棄物管理組織図



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 5月 23日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿



提出者 〒273-0101

住 所 千葉県鎌ケ谷市富岡2-3-2

氏 名 日本道路株式会社 北総営業所
所長 上津原達也

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-446-2381

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本道路株式会社 北総営業所
事業場の所在地	千葉県鎌ケ谷市富岡2-3-2
事業の種類	D06-総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

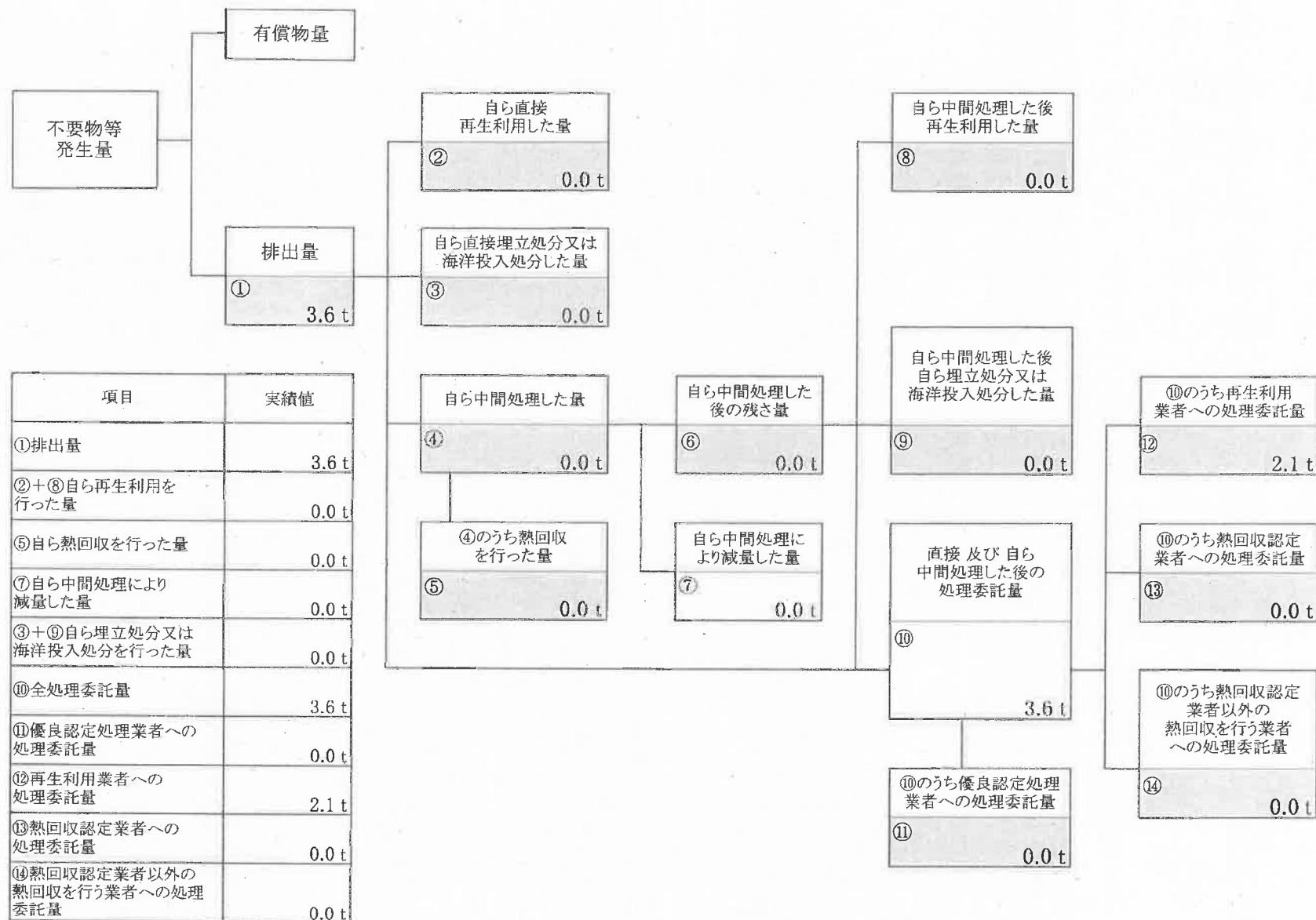
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2088.0 t	全 処 理 委 託 量	2088.0 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	13.0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2075.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥・廃アルカリ)

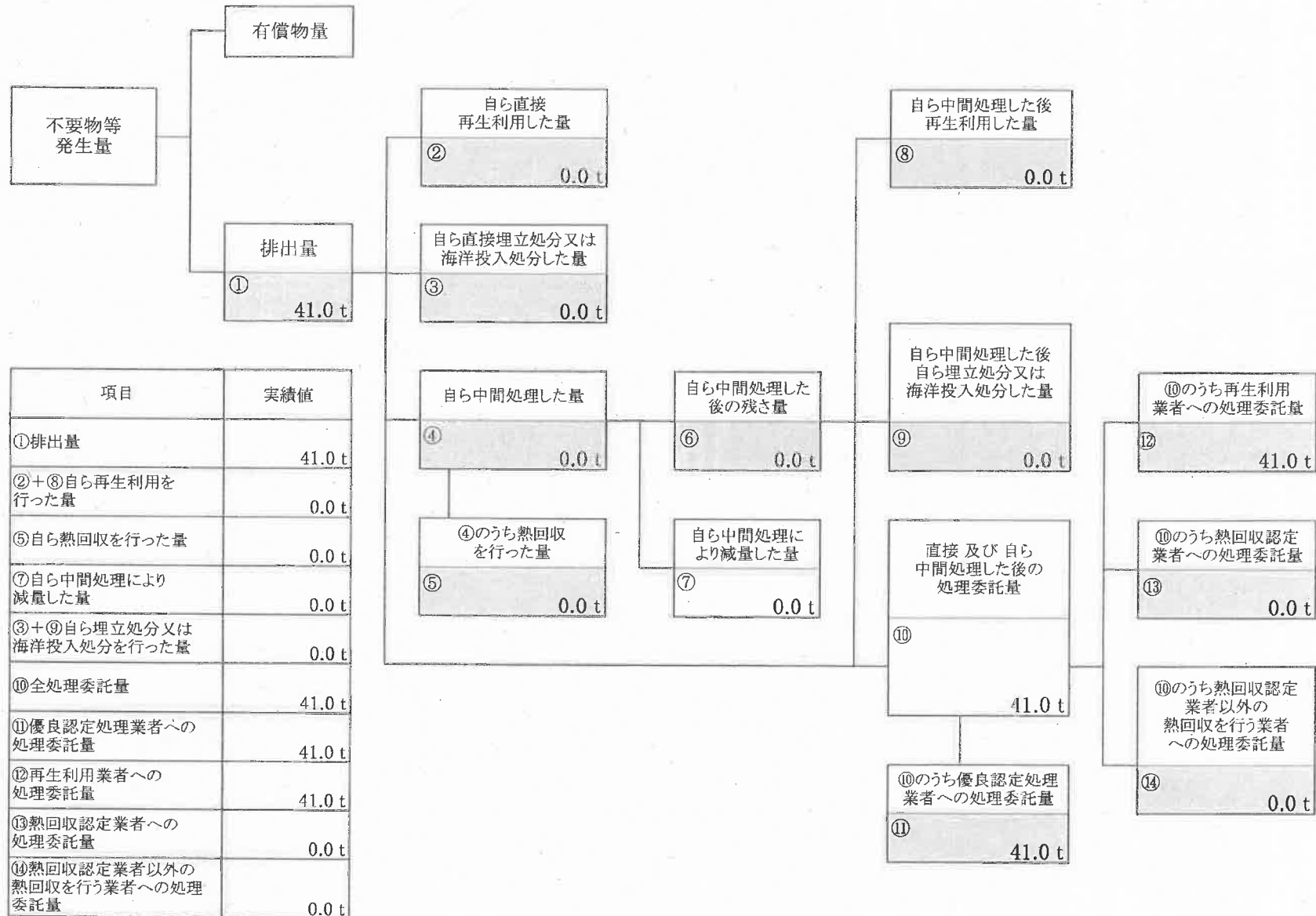


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック)

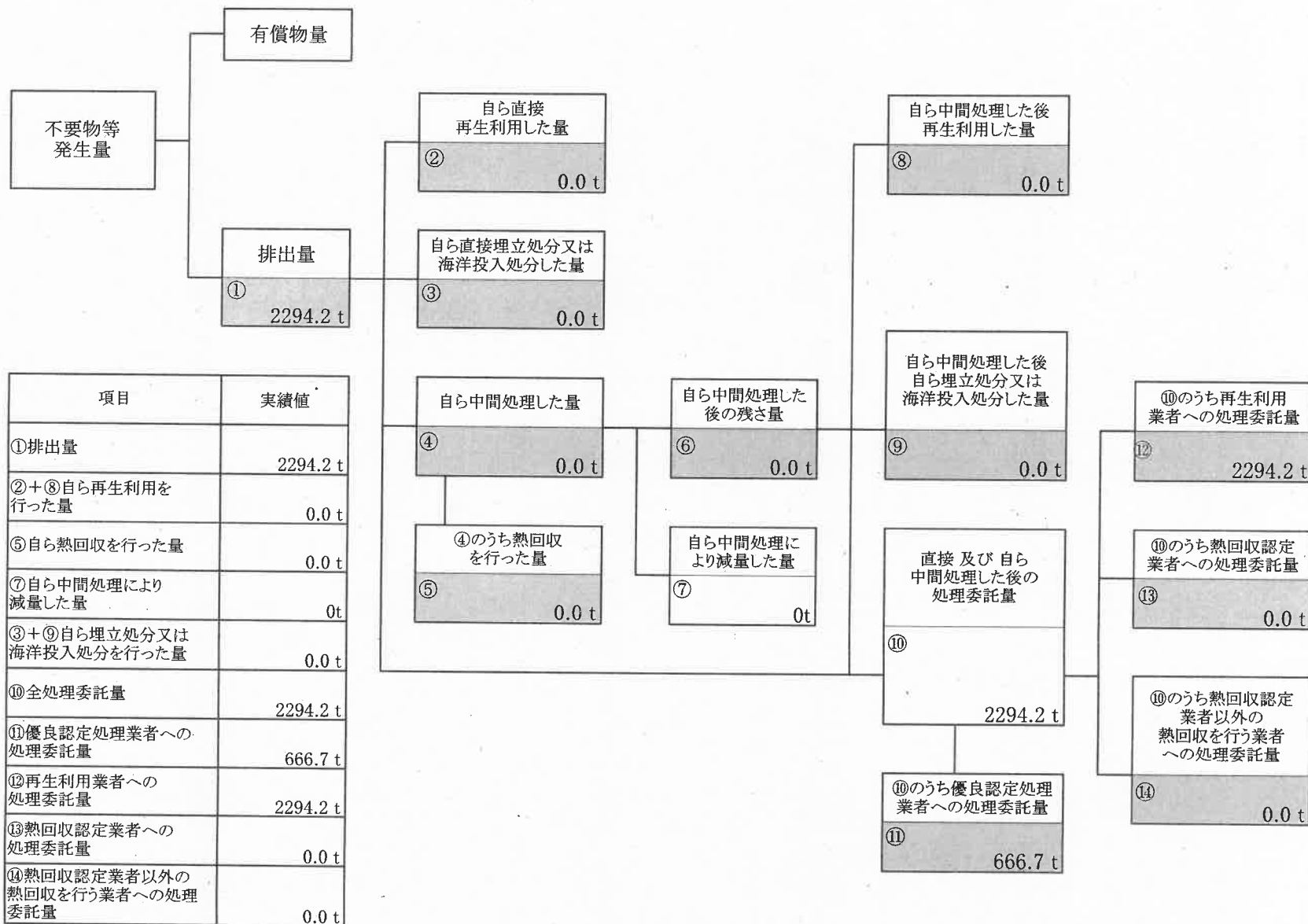


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

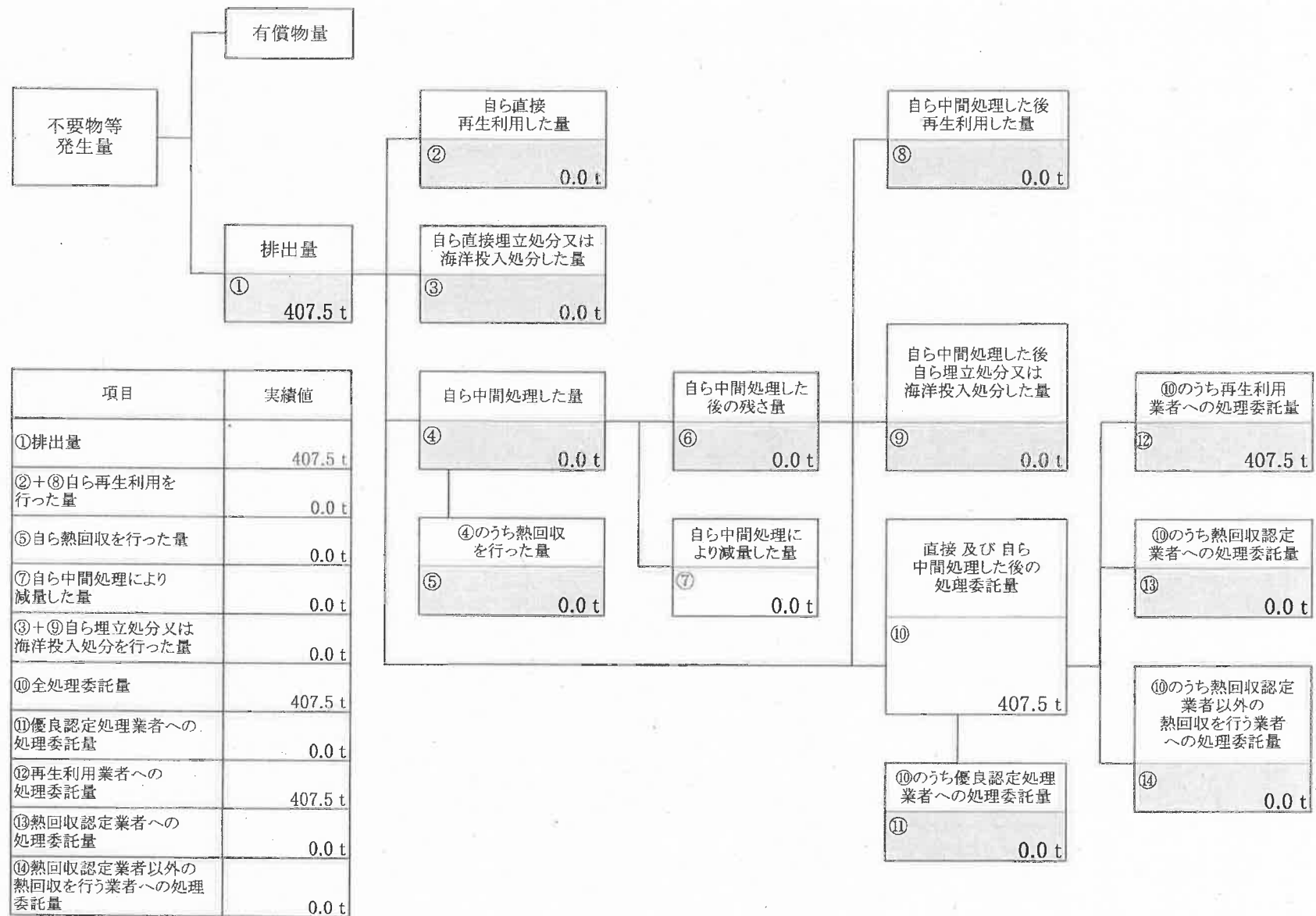
コンクリートガラ



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

アスファルト・コンクリートガラ)

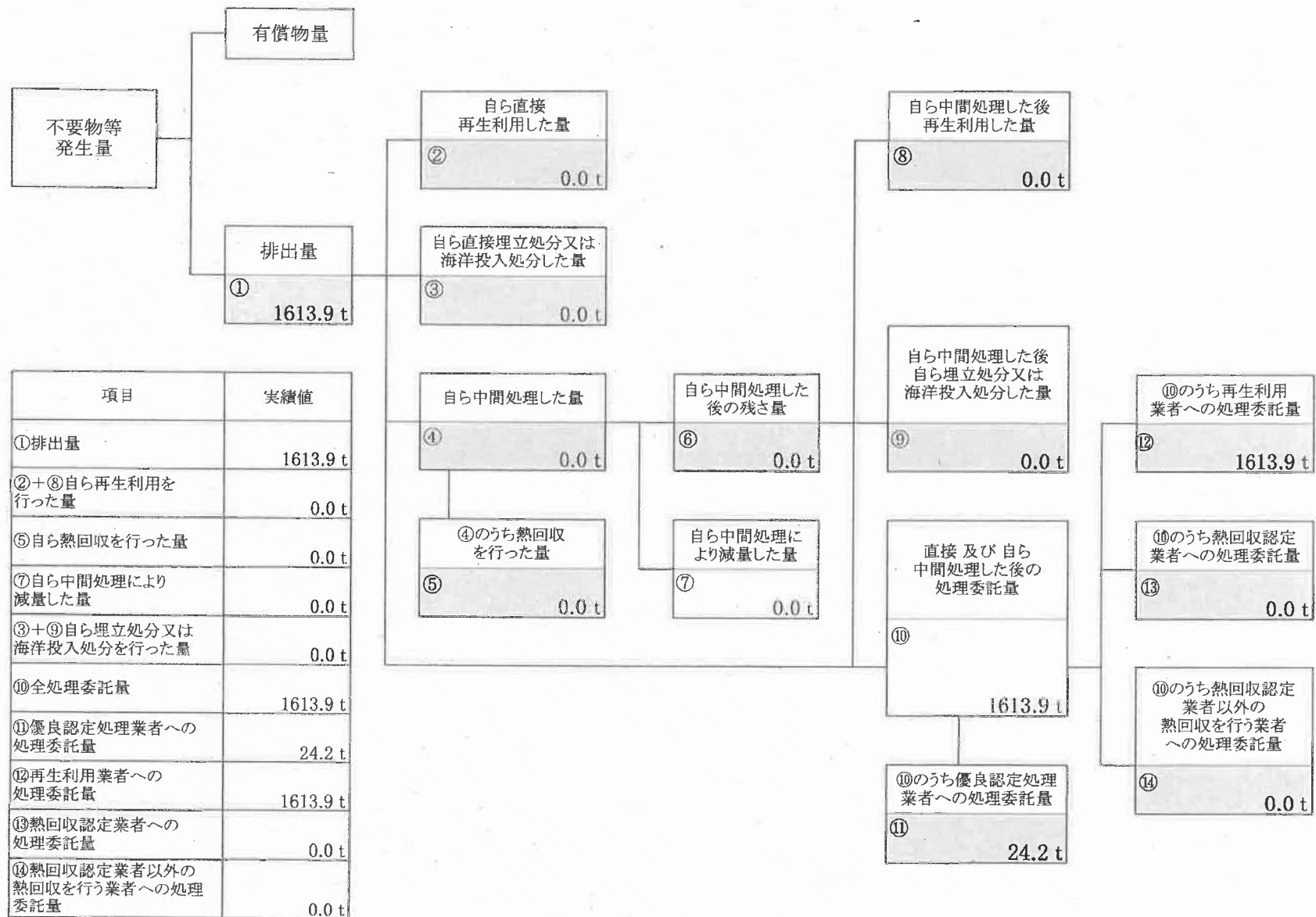


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

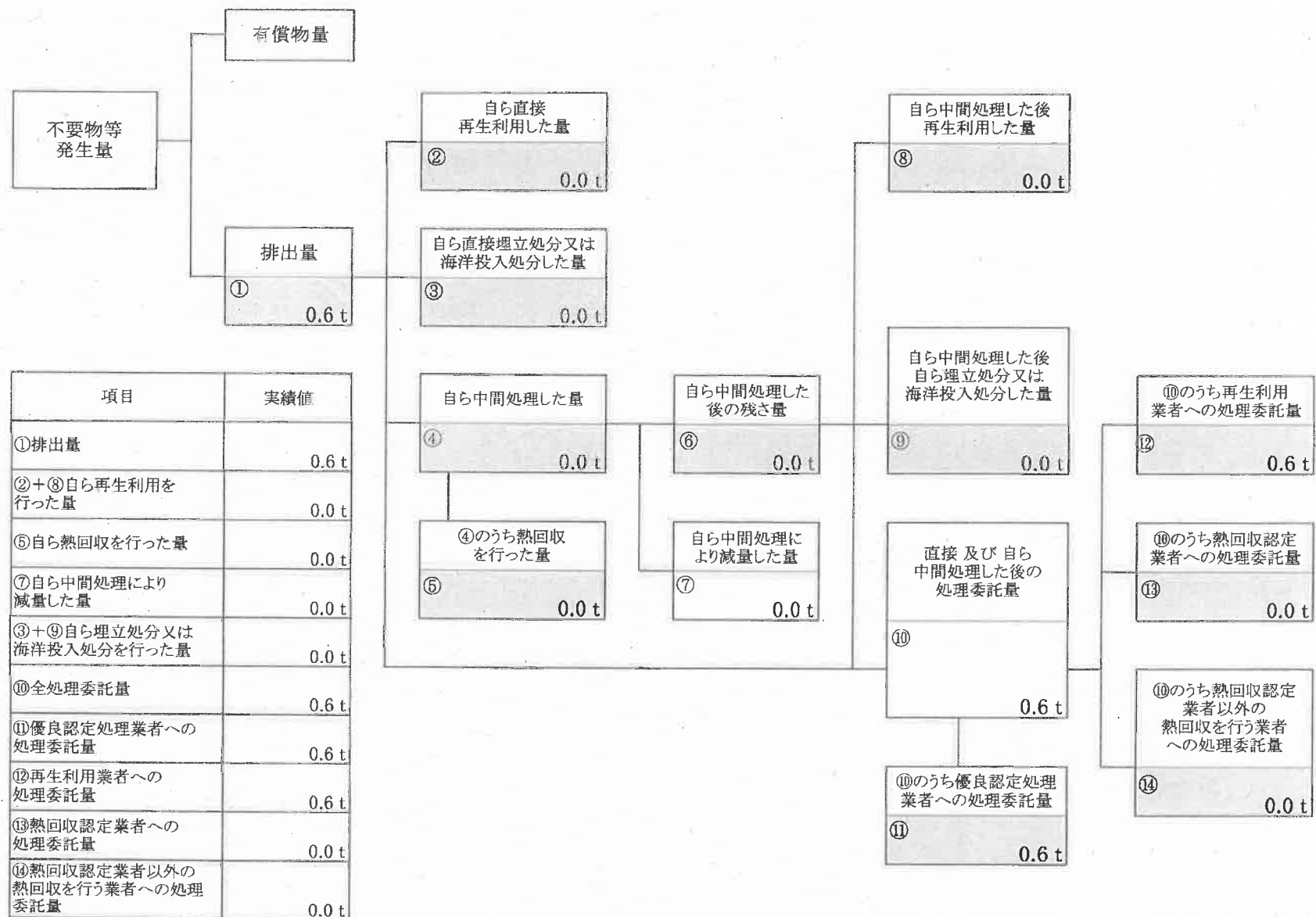


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

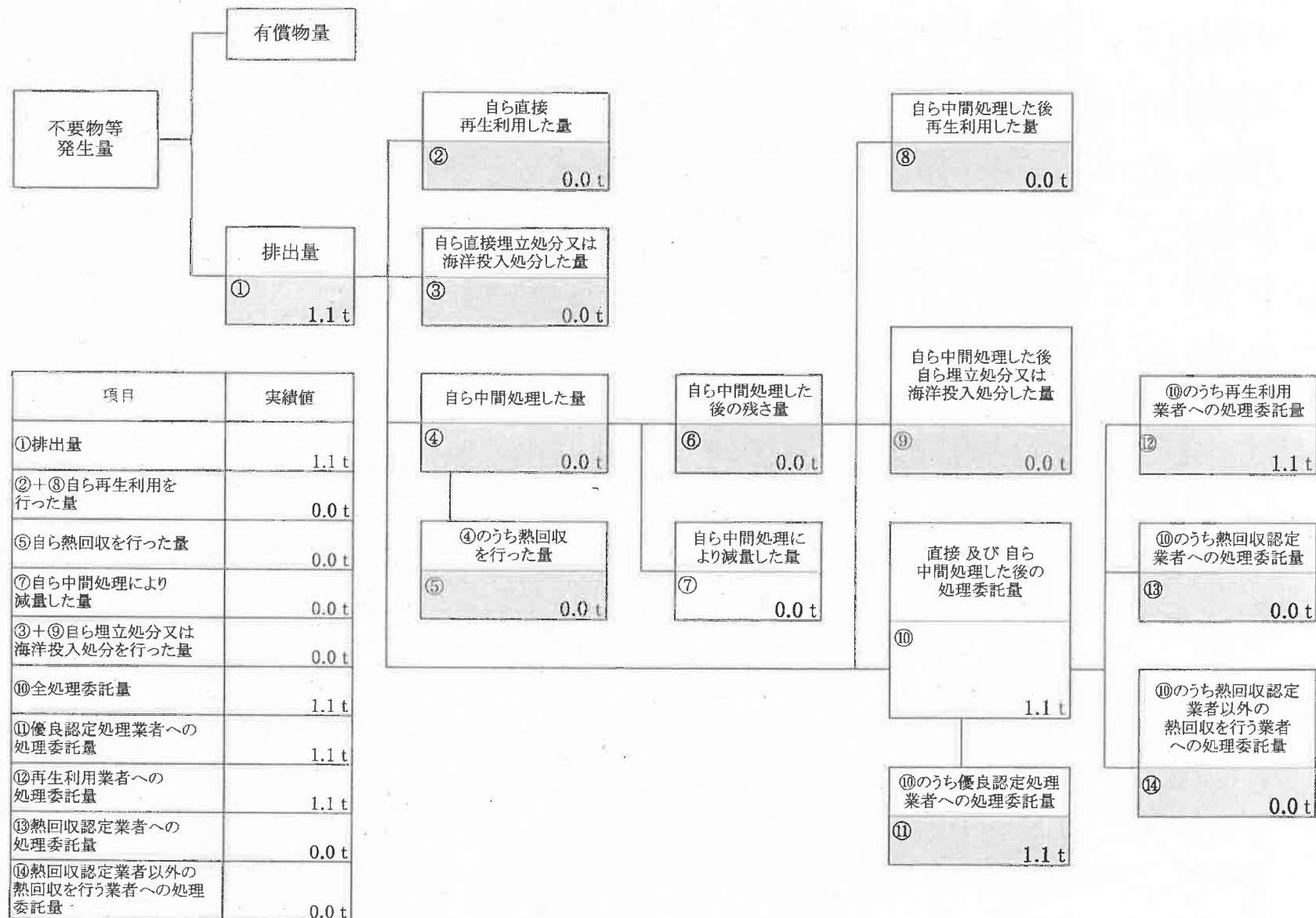
紙くず



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず)

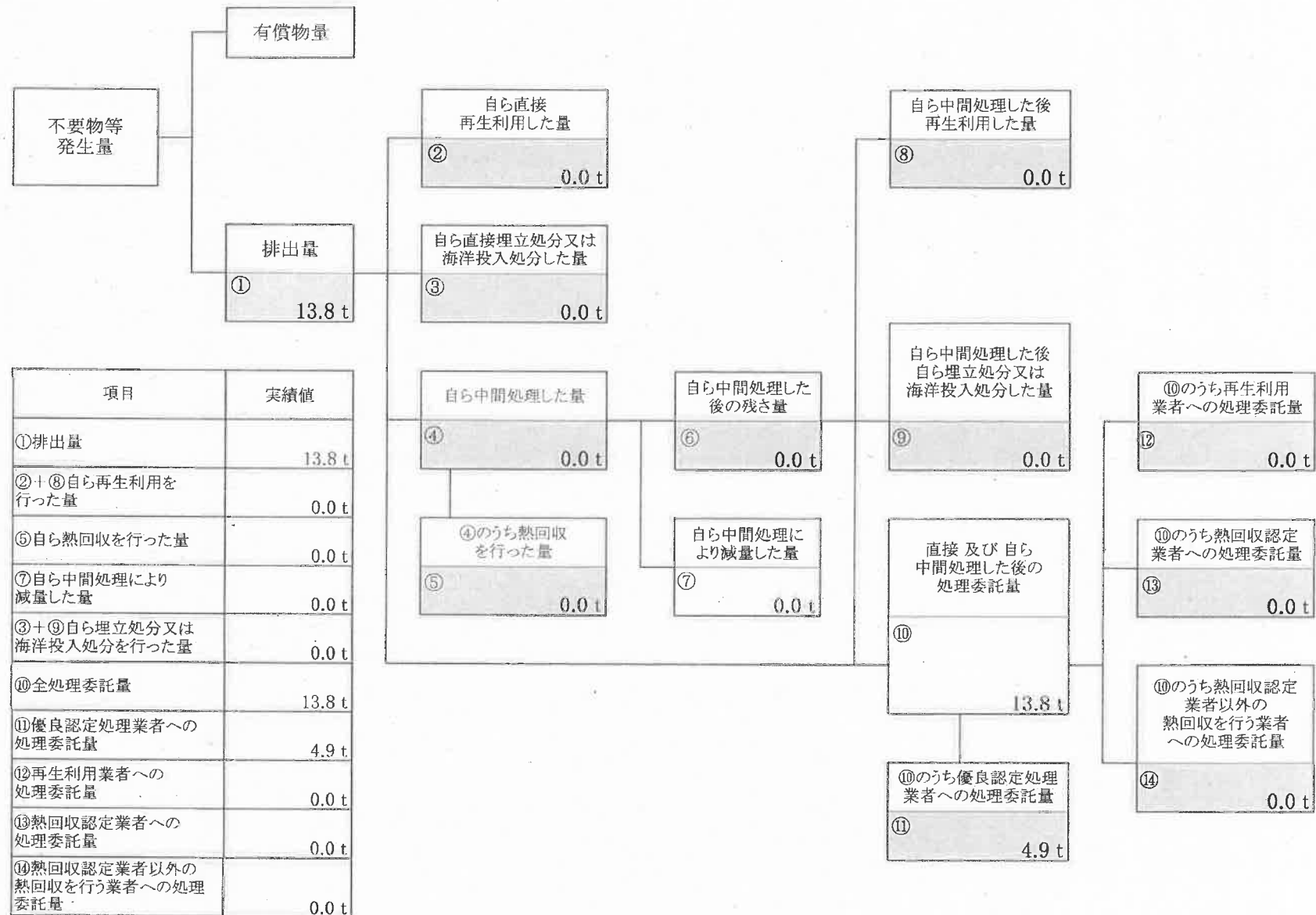


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物)

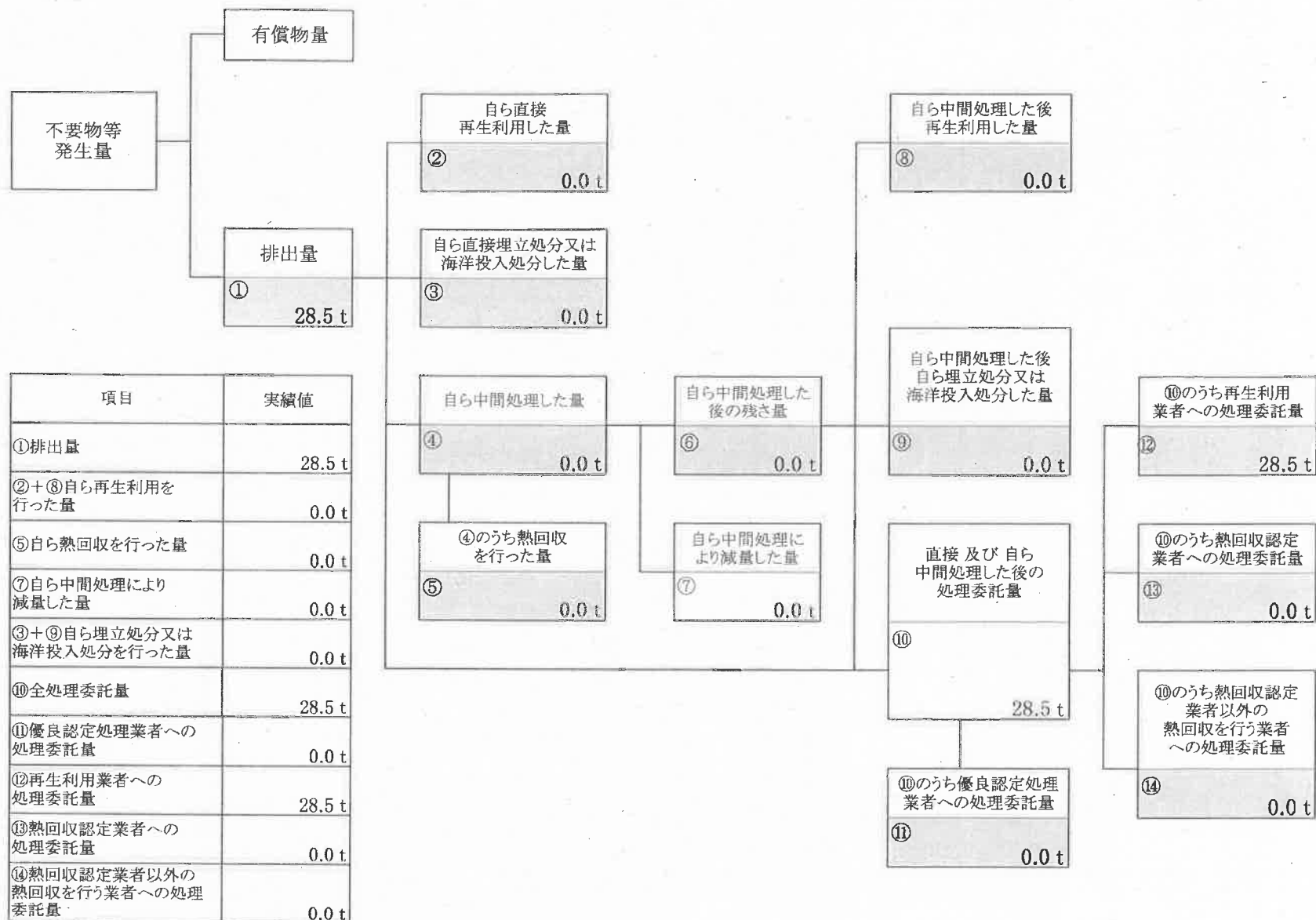


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

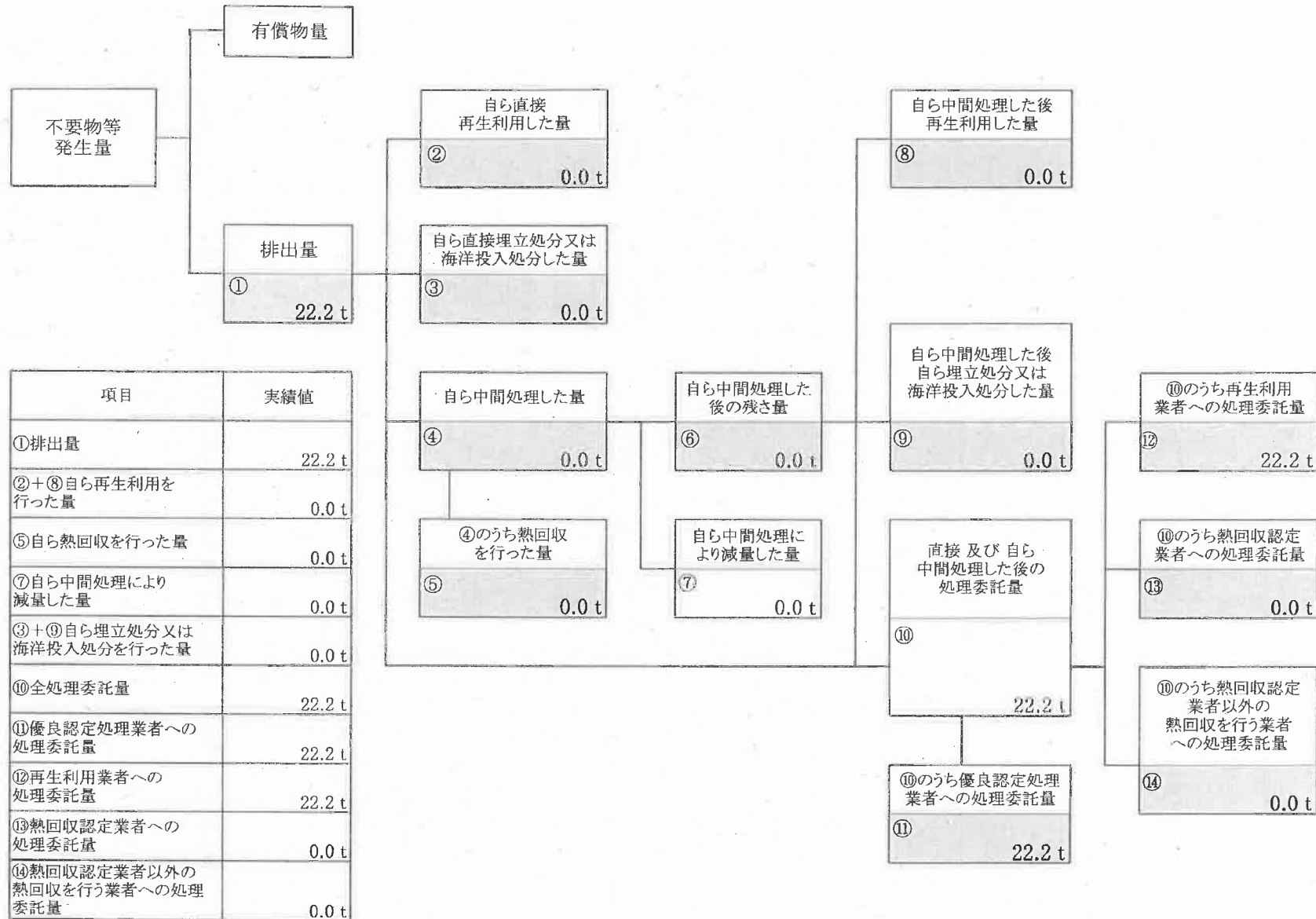
旧路盤材



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類)

がれき類



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月17日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿



提出者 浦安市当代島1丁目6番30号
住 所 株式会社 野田屋水道部
氏 名 代表取締役 高橋 渡
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047(351)4141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 野田屋水道部
事業場の所在地	浦安市当代島1丁目6番30号
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月～令和6年3月

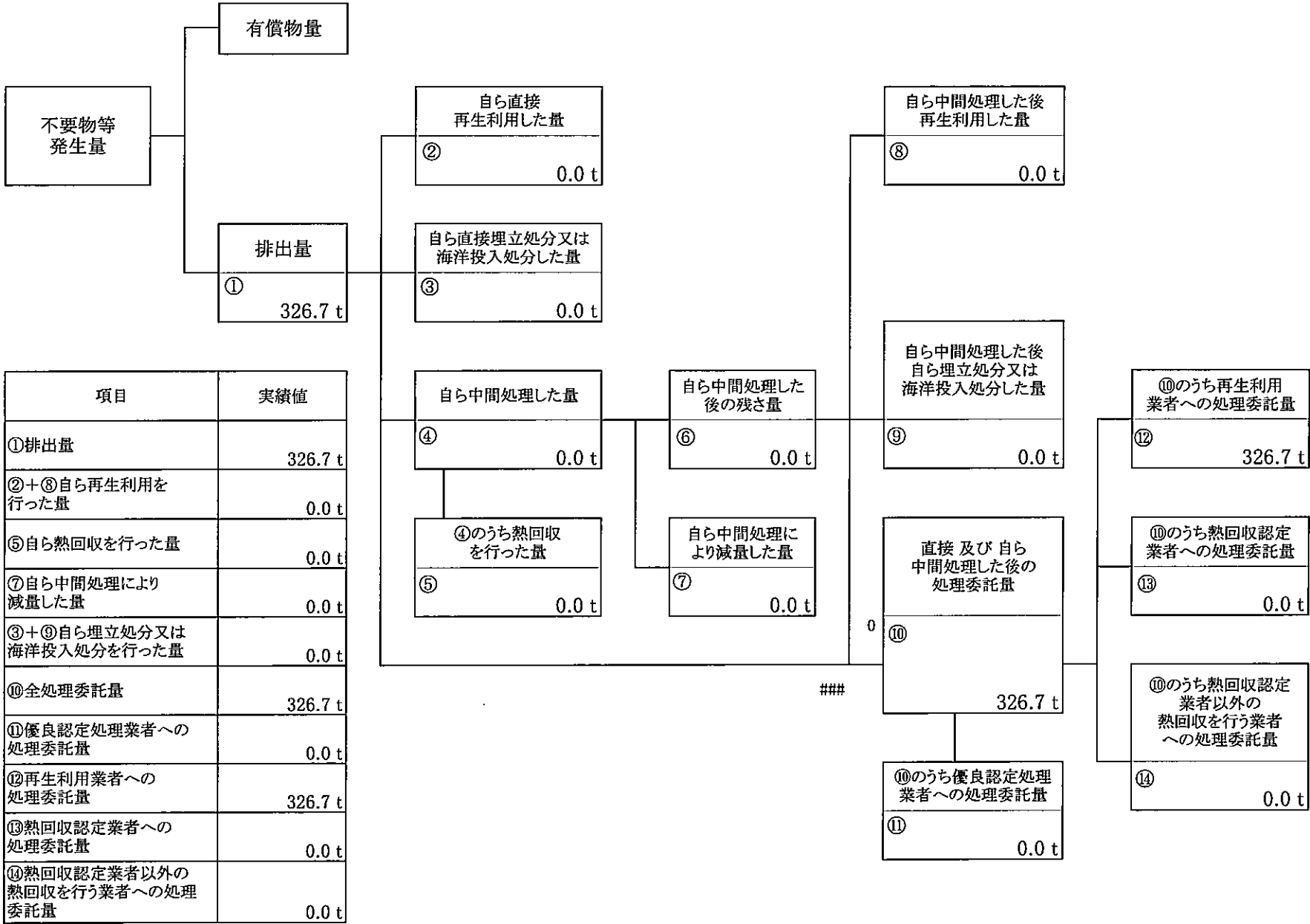
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1,116.0 t	全 処 理 委 託 量	1,116.0 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,116.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t

※事務処理欄

計画の実施状況

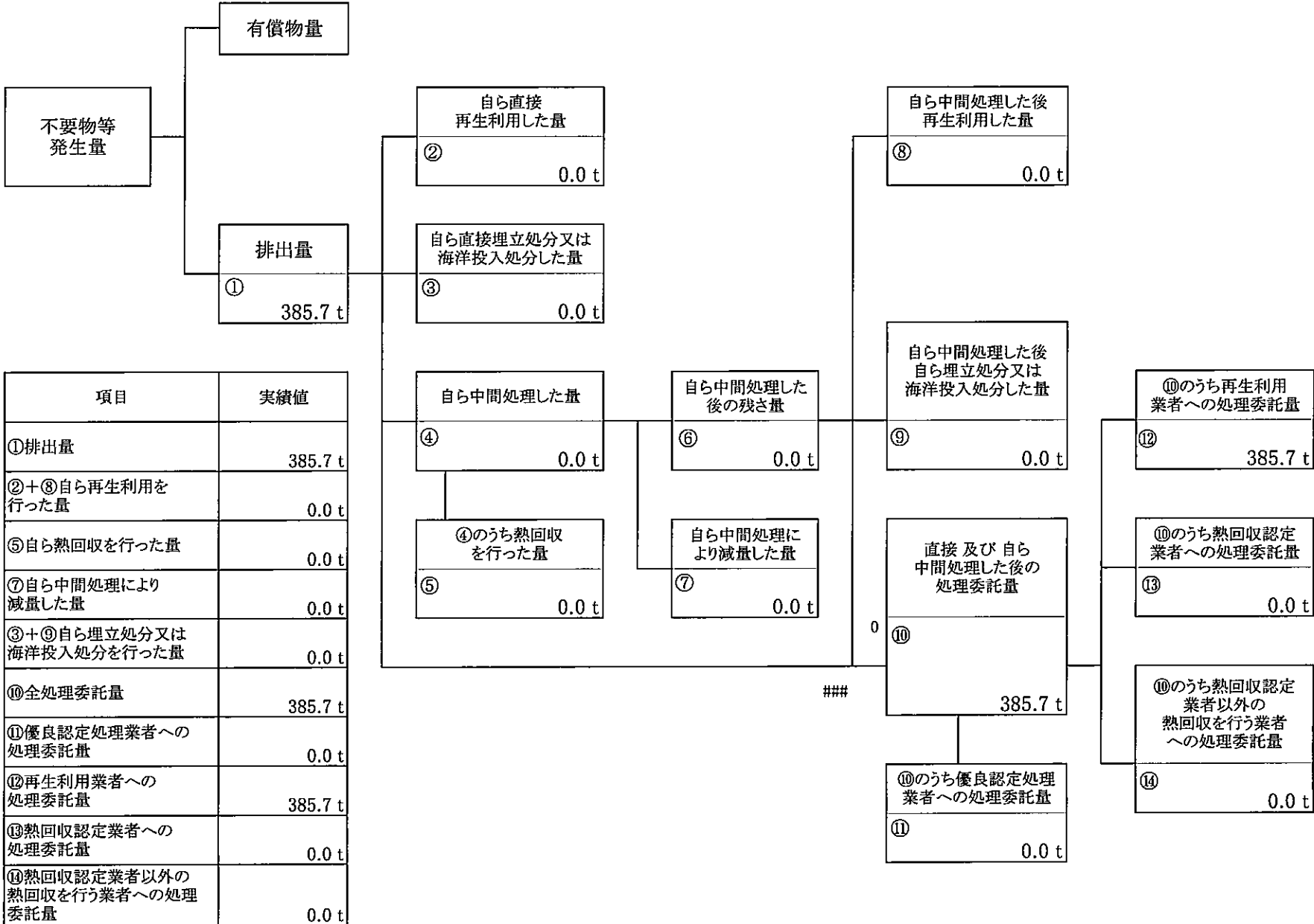
(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

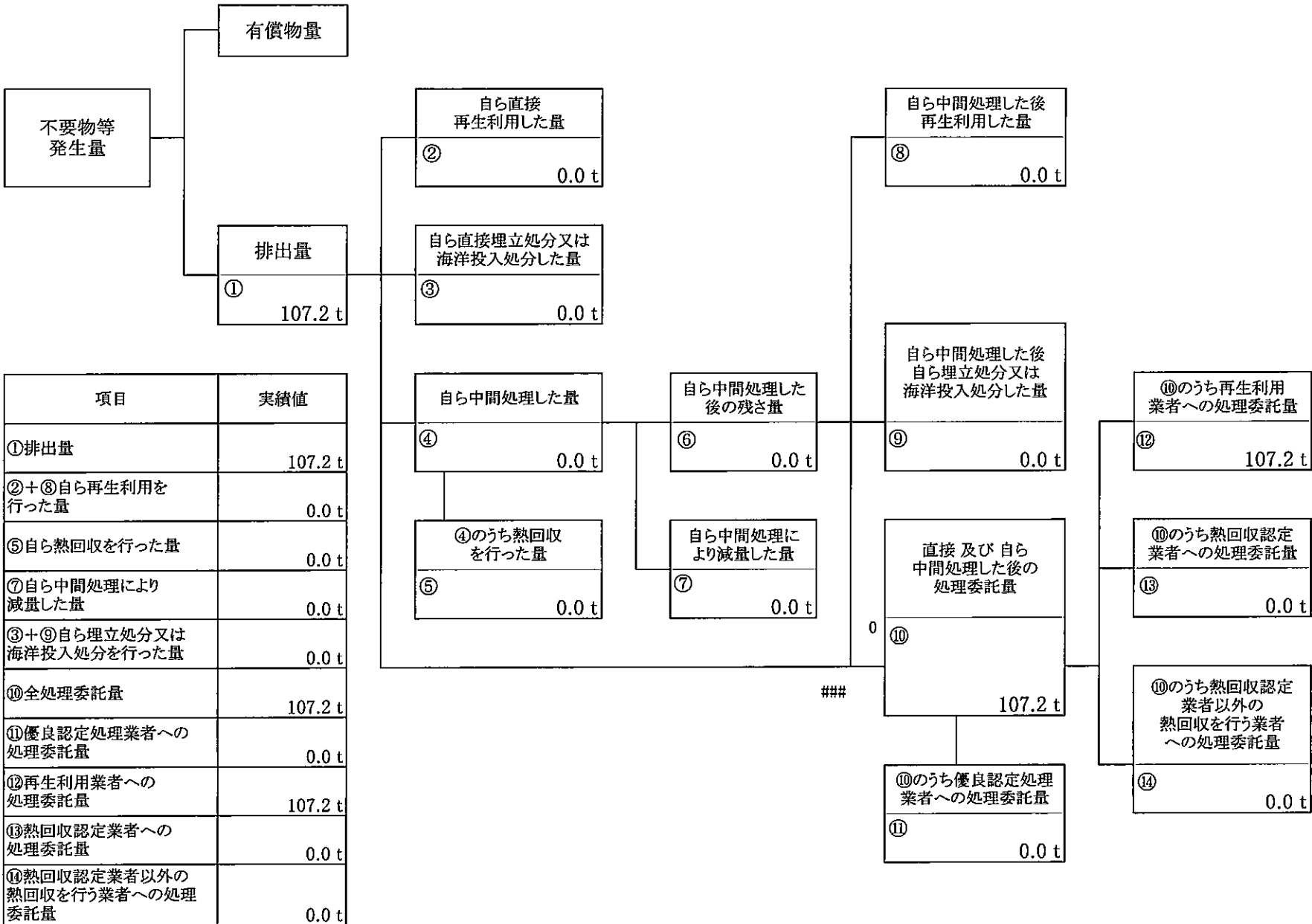
がれき類



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリートがら

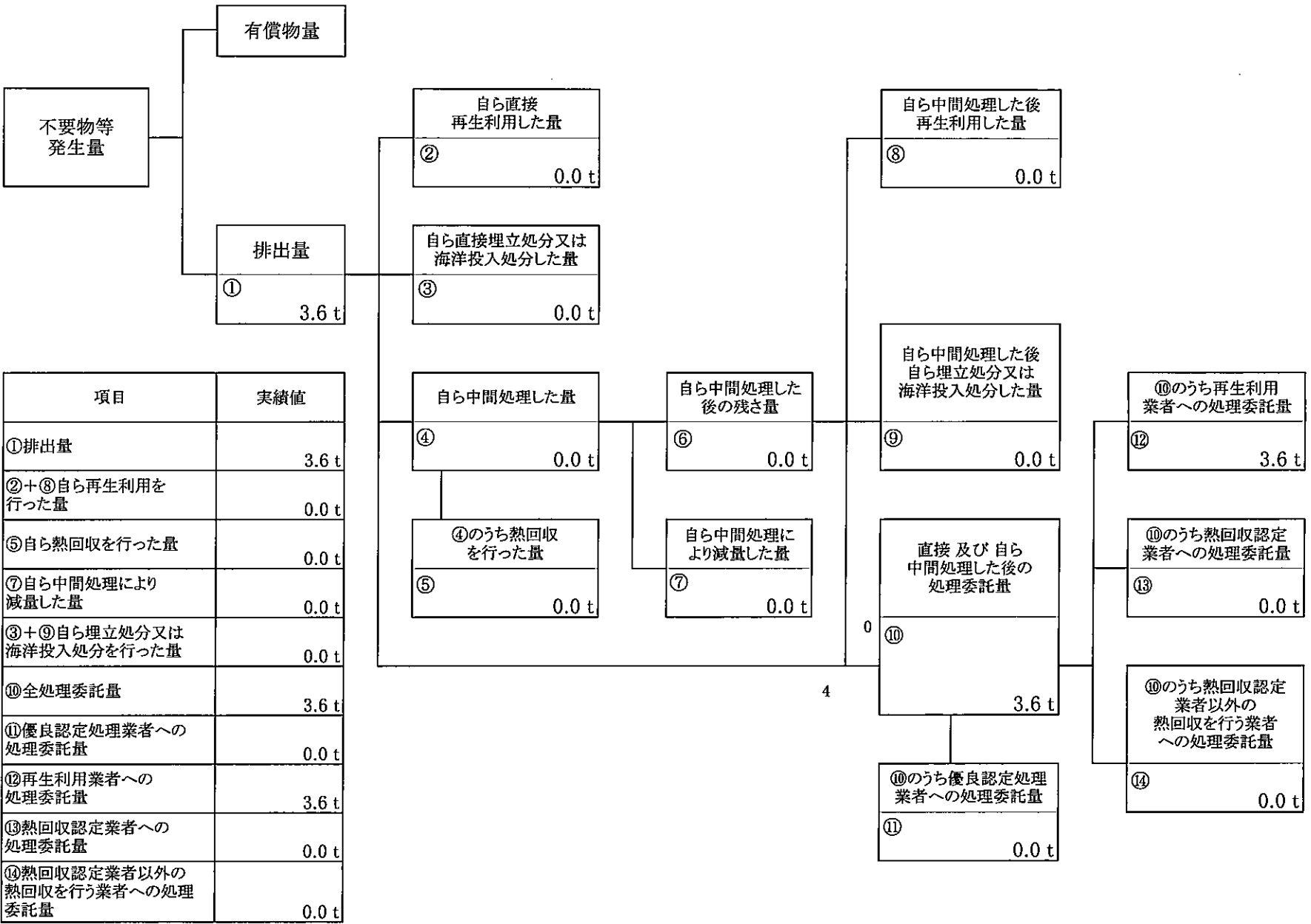


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥

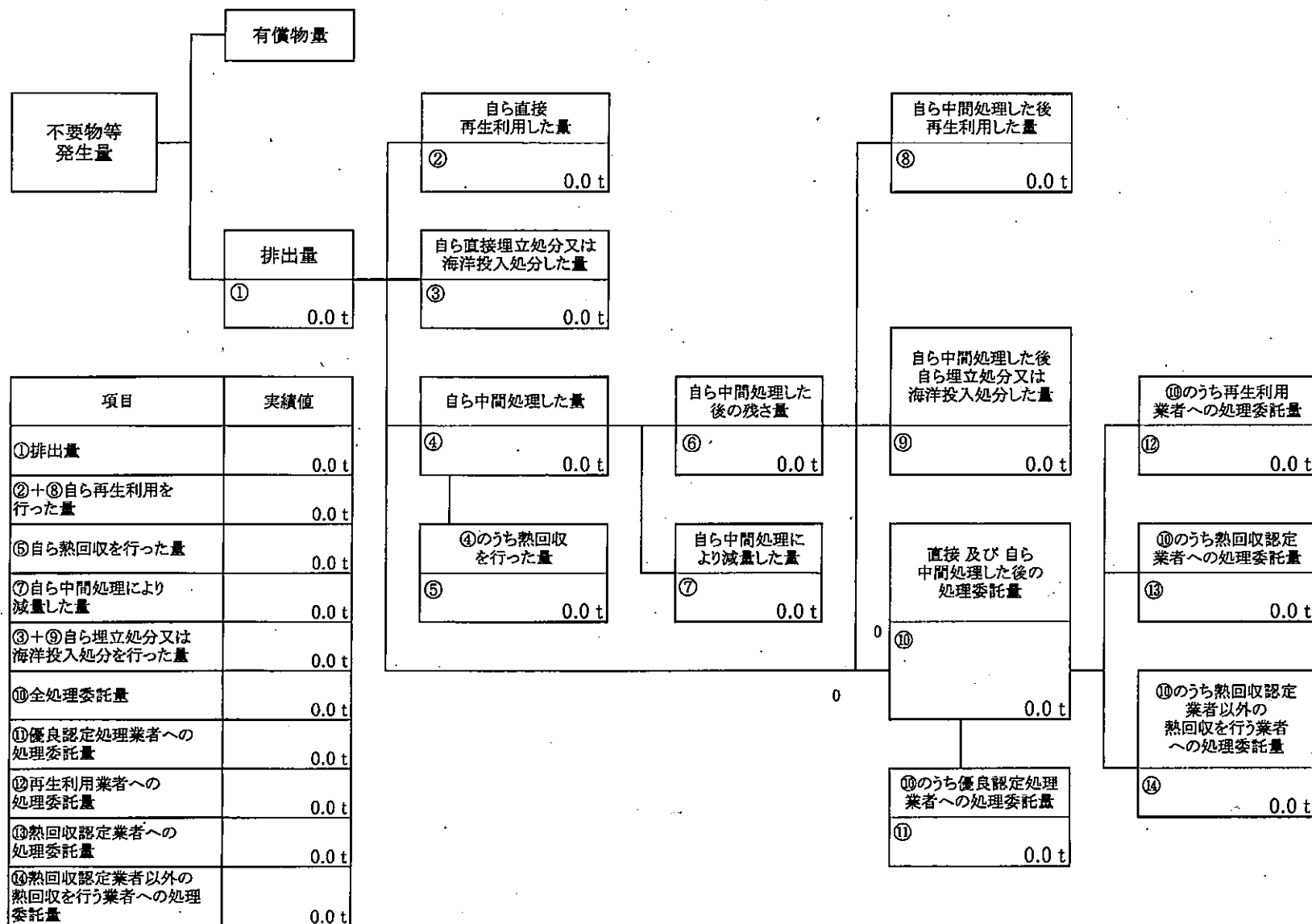
)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。